

事業年度	令和8年度
工事種別	改修工事（建築工事）
工事番号	中大工-1

課長	係長	検算	設計

工事名 可児市立西可児中学校トイレ大規模改造工事（Ⅱ期）

◎注意事項

この内訳書の工事項目及び数量は、積算する上での参考資料です。
積算の際は、設計図面にて工事項目及び数量を拾い出し積算して下さい。

可児市 教育委員会事務局 教育総務課

当初 設計書

工事番号	中大工-1	工事箇所	可児市 若葉台 地内	施設名	西可児中学校
工事名	可児市立西可児中学校トイレ大規模改修工事（Ⅱ期）				
理 由			工 事 概 要		
<p>本工事は西可児中学校において、令和5年度に策定した「可児市小中学校トイレ改修計画」に基づき、経年により老朽化して環境が悪化したトイレの環境改善と共に、洋式化やバリアフリー化を図り、多様性へ十分配慮したトイレを整備するものである。</p>			<p>建築工事 一式 ・躯体工事 ・土間・スラブ工事 ・左官工事 ・内装工事 ・建具工事</p> <p>電気設備工事 一式 ・電灯設備工事</p> <p>機械設備工事 一式 ・衛生器具設備工事 ・給水設備工事 ・排水通気設備工事 ・換気設備工事</p>		
金 額		円	内消費税相当額		円
特 記 仕 様 書					
<p>1. 一般事項</p> <p>(1) 受注者は、工事請負契約書、可児市建設工事共通仕様書及び特記仕様書に基づき施工するものとする。なお、特記仕様書は共通仕様書に優先する。</p> <p>(2) 受注者は、本工事が「可児市工事事品質証明実施要領」の対象となる場合、要領に基づき品質の証明を実施しなければならない。</p> <p>(3) 提出・提示書類は別添「可児市建設工事における取扱い書類一覧表」に基づき実施するものとする。また、工事打合簿（指示、協議、承諾は除く）、材料確認簿、夜間・休日作業届けの書類を提出する場合は、別添様式に基づき、電子メールにて提出するものとし、書面には署名または押印する必要はないものとする。これらに定めのない事項については、監督員と協議する。</p> <p>2. 建設副産物有効利用及び適正処理について</p> <p>(1) 受注者は、建設副産物を排出するにあたっては、建設リサイクル法を遵守するとともに、「岐阜県建設副産物有効利用及び適正処理実施要綱」により、適切に実施すること。</p> <p>(2) 建設発生土については、工事間流用とし、流用先は監督員が指示する。都合により工事間流用ができなくなった場合は、別途協議する。また受注者の都合により処分場を変更する時は監督員に報告するものとする。なお、「岐阜県埋立て等の規制に関する条例」及び「岐阜県建設発生土管理基準」に基づき適正な利用の推進を図ること。</p> <p>3. 使用材料</p> <p>(1) 生コンクリートについて 本工事に使用するコンクリートの水セメント比は、鉄筋コンクリート(24N/mm²以上)については55%以下、無筋コンクリート及び鉄筋コンクリート(21N/mm²以下)については60%以下、均しコンクリートについては60%程度とし、品質を証明する書類を提出して、事前に監督員の許可を得ること。</p> <p>4. 工事施工について</p> <p>(1) 受注者は、工事着手に先立ち、現場付近の地元住民等に対する周知、説明、説得等を行い、トラブルの生じないよう努めること。</p> <p>(2) 工事による既設構造物の破損については、未然に防止するよう予め十分調査をし、また、支障を及ぼさないよう相当の防護工を施工しなければならない。なお、誤って損傷を与えた場合は、請負人の責任において復旧しなければならない。調査に際しては、記録保存の必要を認めた場合は写真撮影、測量等を行わなければならない。</p> <p>5. 工事保険について 本工事において、発注者、受注者及び全下請人を被保険者として、工事着手から工事目的物の引渡しまでの期間について、賠償責任保険(保険対象:第三者に与えた損害)及び工事保険(保険対象:工事目的物、工事材料及び仮設物等)に加入するものとする。</p> <p>6. ワンデーレスポンスの取組について</p> <p>(1) この工事は、ワンデーレスポンス実施対象工事です。 「ワンデーレスポンス」とは受注者からの質問、協議、報告、承諾願、立会願等への回答は、基本的に「その日のうち」に回答するよう対応することです。ただし、即日回答が困難な場合は、いつまでに回答が必要なのかを受注者と協議のうえ、回答期限を設けるなど、何らかの回答を「その日のうち」にすることとする。</p> <p>(2) 実施にあたっては、可児市工事監督におけるワンデーレスポンス実施要領に基づき実施する。</p> <p>(3) 受注者は工事施工中において、問題が発生した場合や計画工程と実施行程を比較照査し、差異が生じた場合は速やかに監督員へ報告すること。</p> <p>(4) 受注者は、施工計画書に基づいて適正な計画工程を作成し、工事の先々を予見しながら、施工するものとする。</p>					

7. 電子納品について
「岐阜県電子納品要領」等に基づき、電子納品を行うこと。なお、電子納品の内容については、監督員と事前に協議し、決定すること。
8. 暴力団等による不当介入における通報義務について
(1) 受注者は、契約の履行に当たって、暴力団又は暴力団員等から、事実関係及び社会通念等に照らして合理的な理由が認められない不当若しくは違法な要求又は契約の適正な履行を妨げる妨害を受けたときは、警察へ通報するとともに、可児市が行う契約からの暴力団排除に関する措置要綱(平成22年可児市訓令甲第47号)に定める様式第9号により可児市に報告しなければならない。なお、通報・報告がない場合は、可児市建設工事請負契約に係る指名停止措置要領に基づき、指名停止等の措置を行うことがある。
(2) 受注者は、暴力団又は暴力団員等による不当介入を受けたことにより、履行期間内に工事等を完了することができないときは、発注者に履行期間の延長変更を請求することができる。
9. 現場代理人の兼務について
現場代理人は、工事請負契約約款第10条第2項の規定により、契約工期内の現場常駐が義務付けられているが、契約締結後、現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間や、工事の全部の施工を一時中止している期間については、監督員との連絡体制を確保した上で、常駐義務を緩和するものとする。
また、以下の条件を全て満たす場合に、他工事の現場代理人を兼務することができる。
1. 他工事は、可児市発注の建設工事で、工事現場が市内であること。
2. 他工事においても、本工事と同様に現場代理人の兼務を認めていること。
3. 兼務を行う工事の総数が、本工事を含めて3件までであること。
4. 兼務を行う工事の請負代金額の合計が4,000万円未満であること。
5. 発注者又は監督員が求めた場合には、工事現場に速やかに向かう等の対応ができること。
なお、工事現場における運営、取締り及び権限の行使に支障がある場合、及び、発注者との連絡体制が確保されていないと監督員の認めた場合は、兼務を取り消すものとする。
現場代理人が兼務となった場合は、本工事の監督員及び他工事の監督員の双方に、現場代理人兼務届を提出しなければならない。
10. 可児市公共基準点の保全について
公共施工区域内に可児市公共基準点が設置してある場合は、基準点鋸を滅失・き損または、その効用に支障をきたすことのないよう十分に留意すること。施工上止むを得ず支障となる場合は、事前に監督員に報告すること。
11. 法定外の労災保険の付保
本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。
12. 建築物・工作物等の解体・改修工事に伴うアスベスト調査について
工事規模、請負金額にかかわらず事前にアスベストの使用の有無の事前調査を行うこと。
また、一定規模以上の工事は、事前調査結果を岐阜県に報告すること。
13. 統一の一斉休工の取組について
(1) 本工事は「建設現場の週休2日」の普及および浸透に向けて、週休2日制モデル工事の適否に関わらず、土曜日の休工に努める「まんなかホリデー(中部地区統一の一斉休工)」に取組むものとする。
なお、本取組は強制的な一斉休工や工程の調整を求めるものではない。
(2) 休工とは、現場事務所での事務作業を含め1日を通して現場や現場事務所が閉所されている状態をいう。
(巡回パトロールや保守点検等現場管理上必要な作業を行う場合を除く)
14. その他
(1) 学校の児童や先生、来校者への安全対策に配慮すること。また、学校運営に支障が無いようにするため、学校や教育委員会と事前に仮設計画や工程等に関する協議を行うこと。
(2) 工事共通仕様
・国土交通省大臣官房庁営繕部監修 公共建築改修工事標準仕様書(建築・電気設備・機械設備工事編) 最新版
・国土交通省大臣官房庁営繕部監修 公共建築工事標準仕様書(建築・電気設備・機械設備工事編) 最新版
(3) 工事用水・電気については施設内のものを使用することができる。ただし、有償とする。

その他図面特記仕様書による。

特記仕様書
(条件明示)

工事名 可児市立西可児中学校トイレ大規模改造工事(Ⅱ期)

下記項目、事項のうちレ印該当欄は、工事施工にあたって制約等をうけることになるので明示する。
 なお、明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、市と協議し適切な処置を講ずるものとする。

施工条件

明示項目	明示事項	制約条件等
工 程	<input type="checkbox"/> 1. 関連する別途発注工事あり	<input type="checkbox"/> A. 工種 () <input type="checkbox"/> B. 期間 (~)
	<input type="checkbox"/> 2. 他機関協議による工程条件あり	<input type="checkbox"/> A. 工種 () <input type="checkbox"/> B. 期間 (~)
	<input type="checkbox"/> 3. 他機関との協議状況	<input type="checkbox"/> A. 協議済機関及び内容 () <input type="checkbox"/> B. 未協議機関及び内容 ()
	<input type="checkbox"/> 4. 占用許可状況 ()	<input type="checkbox"/> A. 許可済 <input type="checkbox"/> B. 申請中
	<input type="checkbox"/> 5. 建築確認	<input type="checkbox"/> A. 許可済 <input type="checkbox"/> B. 申請中
	<input type="checkbox"/> 6. 河川区域、保全区域内作業あり	<input type="checkbox"/> A. 許可済 <input type="checkbox"/> B. 申請中
	<input type="checkbox"/> 7. 文化財協議 (文化財課)	<input type="checkbox"/> A. 協議済内容 () <input type="checkbox"/> B. 未協議内容 ()
	<input type="checkbox"/> 8. 施工時期	<input type="checkbox"/> A. 施工時期 ()
	<input checked="" type="checkbox"/> 9. その他	<input checked="" type="checkbox"/> A. その他 (中学校運営に支障がないよう配慮すること。)
用 地	<input type="checkbox"/> 1. 用地補償物件撤去まで着工制限あり	<input type="checkbox"/> A. 区間 (No. ~ No.) <input type="checkbox"/> B. 着工見込時期 () <input type="checkbox"/> C. 内容 ()
	<input type="checkbox"/> 2. 工事用地の未買収	<input type="checkbox"/> A. 場所 () <input type="checkbox"/> B. 処理の見込み時期 () <input type="checkbox"/> C. 未買収地への立ち入り可否 ()
	<input type="checkbox"/> 3. 仮設ヤードの有無	<input type="checkbox"/> A. 官有地 <input type="checkbox"/> B. 民有地 <input type="checkbox"/> C. その他 () <input type="checkbox"/> D. 別途協議
	<input type="checkbox"/> 4. その他	<input type="checkbox"/> A. その他 ()
公 害 対 策	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 施工方法の制限あり	<input checked="" type="checkbox"/> A. 騒音 (中学校運営に支障がないよう配慮すること。) <input type="checkbox"/> B. 振動 (中学校運営に支障がないよう配慮すること。) <input type="checkbox"/> C. 水質 () <input type="checkbox"/> D. その他 ()
	<input type="checkbox"/> 2. 事業損失防止に関する調査あり	<input type="checkbox"/> A. 調査の項目 ()
	<input type="checkbox"/> 3. 環境影響調査あり	<input type="checkbox"/> A. 生物・植物調査あり
	<input type="checkbox"/> 4. 土壌汚染対策法に関する届出	<input type="checkbox"/> A. 届出済 (3,000㎡以上の土地の形質の変更、工事着手30日前まで)
	<input checked="" type="checkbox"/> 5. 石綿含有に関する事前調査	<input checked="" type="checkbox"/> A. 発注者による含有調査 (含有有り) <input type="checkbox"/> B. 受注者による含有調査 <input type="checkbox"/> C. 調査結果の報告 (一定規模以上)
	<input type="checkbox"/> 6. その他	<input type="checkbox"/> A. フロン回収あり <input type="checkbox"/> B. その他 ()
安 全 対 策	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 交通規制あり	<input type="checkbox"/> A. 全面通行止め <input type="checkbox"/> B. 片側通行止め <input checked="" type="checkbox"/> C. 時間制限あり (登下校時間帯)
	<input type="checkbox"/> 2. 通学路あり	<input type="checkbox"/> A. 迂回路あり <input type="checkbox"/> B. 仮設歩道必要
	<input type="checkbox"/> 3. 交通整理員	<input type="checkbox"/> A. 区間 (No. ~) 配置人員 人/日 <input type="checkbox"/> B. 区間 (No. ~) 配置人員 人/日 <input type="checkbox"/> C. 区間 (No. ~) 配置人員 人/日 <input type="checkbox"/> D. 交替要員あり
	<input type="checkbox"/> 4. 鉄道等の近接作業制限あり	<input type="checkbox"/> A. 工法制限あり () <input type="checkbox"/> B. 作業時間制限あり ()
	<input type="checkbox"/> 5. バス路線 (運行者との協議)	<input type="checkbox"/> A. 協議済内容 () <input type="checkbox"/> B. 未協議内容 ()
	<input checked="" type="checkbox"/> 6. その他	<input checked="" type="checkbox"/> A. その他 (学校敷地内及び学校周囲通行時徐行)
工 事 用 道 路	<input type="checkbox"/> 1. 一般道路 (搬入路) の使用制限	<input type="checkbox"/> A. 搬入経路指定あり <input type="checkbox"/> B. 時間帯制限あり
	<input type="checkbox"/> 2. 仮設道路の設置条件あり	<input type="checkbox"/> A. 一般交通供用あり <input type="checkbox"/> B. 安全施設必要 () <input type="checkbox"/> C. 路面工 () <input type="checkbox"/> D. 工事完了後存続又は撤去 () <input type="checkbox"/> E. 構造 () <input type="checkbox"/> F. 用地 (借地) <input type="checkbox"/> G. 用地 (公用地) <input type="checkbox"/> H. 用地 (その他)
	<input type="checkbox"/> 3. その他	<input type="checkbox"/> A. その他 ()
指 定 仮 設 備	<input type="checkbox"/> 1. 仮設物の指定又は一部指定あり	<input type="checkbox"/> A. 工種 ()
	<input type="checkbox"/> 2. 仮設構造物の転用、兼用あり	<input type="checkbox"/> A. 工種 () <input type="checkbox"/> B. 内容 ()
	<input type="checkbox"/> 3. その他	<input type="checkbox"/> A. その他 ()

明示項目	明示事項	制約条件等
建設発生廃棄物係	<input type="checkbox"/> 1. 発生土砂等の有効利用、適正処理あり [場所が未確定]	<input type="checkbox"/> A. 運搬距離 (km) <input type="checkbox"/> B. 投棄料計上あり <input type="checkbox"/> C. 整地(押土、敷均、締固等)必要 <input type="checkbox"/> D. 整地(押土)必要
	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 発生土砂等の有効利用、適正処理あり [自工事へ流用]	<input checked="" type="checkbox"/> A. 盛土、埋戻 <input type="checkbox"/> B. ストックヤード利用あり () <input type="checkbox"/> C. 仮置場必要 () <input type="checkbox"/> D. 運搬距離 (km) <input type="checkbox"/> E. 仮置場の用地借上費計上あり
	<input type="checkbox"/> 3. 発生土砂等の有効利用、適正処理あり [他工事へ流用、または処分地指定]	<input type="checkbox"/> A. 場所 () <input type="checkbox"/> B. 盛土、埋戻 <input type="checkbox"/> C. 整地(押土、敷き均し、転圧)あり <input type="checkbox"/> D. ストックヤード利用あり () <input type="checkbox"/> E. 仮置場必要 () <input type="checkbox"/> F. 運搬距離 (km) <input type="checkbox"/> G. 仮置場の用地借上費計上あり <input type="checkbox"/> H. 処分料計上あり
	<input type="checkbox"/> 4. 発生土砂等の有効利用、適正処理あり [他工事からの流用]	<input type="checkbox"/> A. 他工事名 () <input type="checkbox"/> B. 請負者運搬あり(運搬距離 km) <input type="checkbox"/> C. 盛土、埋戻し <input type="checkbox"/> D. ストックヤード利用あり () <input type="checkbox"/> E. 仮置場必要 () <input type="checkbox"/> F. 仮置場の用地借上費計上あり
	<input type="checkbox"/> 5. 産業廃棄物の処理条件あり [特別管理産業廃棄物]	<input type="checkbox"/> A. 種類 () <input type="checkbox"/> B. 場所 () <input type="checkbox"/> C. 中間処理施設までの運搬距離 (km) <input type="checkbox"/> D. 処理費計上あり
	<input type="checkbox"/> 6. 浄化槽、汲み取り便槽の取壊し処分あり	<input type="checkbox"/> A. 槽内洗浄必要 <input type="checkbox"/> B. 可見市環境課と打合せの必要あり
	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 「岐阜県建設副産物有効利用及び適正処理実施要綱」に基づく提出・提示書類あり	<input checked="" type="checkbox"/> A. 産業廃棄物管理票(マニフェスト) <input type="checkbox"/> B. 建設発生土管理状況書類及び処理地の関係図書 <input checked="" type="checkbox"/> C. コブリス <input checked="" type="checkbox"/> D. 廃棄物処理委託契約、許可書
工事支障物件	<input type="checkbox"/> 1. 占用支障物件あり(電気)	<input type="checkbox"/> A. 移設時期(R 年 月頃) <input type="checkbox"/> B. 移設時期(別途協議)
	<input type="checkbox"/> 2. 占用支障物件あり(電話)	<input type="checkbox"/> A. 移設時期(R 年 月頃) <input type="checkbox"/> B. 移設時期(別途協議)
	<input type="checkbox"/> 3. 占用支障物件あり(水道)	<input type="checkbox"/> A. 移設時期(R 年 月頃) <input type="checkbox"/> B. 移設時期(別途協議)
	<input type="checkbox"/> 4. 占用支障物件あり(下水道)	<input type="checkbox"/> A. 移設時期(R 年 月頃) <input type="checkbox"/> B. 移設時期(別途協議)
	<input type="checkbox"/> 5. 占用支障物件あり(ガス)	<input type="checkbox"/> A. 移設時期(R 年 月頃) <input type="checkbox"/> B. 移設時期(別途協議)
	<input type="checkbox"/> 6. 占用支障物件あり(マンホール蓋、仕切り弁蓋等)	<input type="checkbox"/> A. 管理者による高さ調整 () <input type="checkbox"/> B. 請負者による高さ調整 ()
	<input type="checkbox"/> 7. 占用支障物件あり(その他)	<input type="checkbox"/> A. 移設時期 () <input type="checkbox"/> B. 移設時期 (別途協議)
	<input type="checkbox"/> 8. その他	<input type="checkbox"/> A. その他 ()
排水工関係	<input type="checkbox"/> 1. 濁水、湧水処理条件あり	<input type="checkbox"/> A. 方法 ()
	<input type="checkbox"/> 2. その他	<input type="checkbox"/> A. その他 ()
再生材使用	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 再生材使用指定あり	<input checked="" type="checkbox"/> A. RC <input checked="" type="checkbox"/> B. アスファルト再生合材(30%再生) <input type="checkbox"/> C. アスファルト再生合材(100%再生) <input type="checkbox"/> D. 再生材を使用できない場合別途協議 <input type="checkbox"/> E.
	<input type="checkbox"/> 2. その他	<input type="checkbox"/> A. その他 ()
その他	<input type="checkbox"/> 1. 現場発生材あり	<input type="checkbox"/> A. 品名 () <input type="checkbox"/> B. 納入場所 ()
	<input type="checkbox"/> 2. 支給材あり	<input type="checkbox"/> A. 品名 () <input type="checkbox"/> B. 引渡し場所 ()
	<input type="checkbox"/> 3. 現場環境改善	<input type="checkbox"/> A. 仮設費 () <input type="checkbox"/> B. 安全費 () <input type="checkbox"/> C. 営繕費 () <input type="checkbox"/> D. 地域連携 ()
	<input checked="" type="checkbox"/> 4. 「可見市工物品質証明実施要領」該当あり	<input checked="" type="checkbox"/> A. 品質証明員の配置あり
	<input type="checkbox"/> 5. 部分使用	<input type="checkbox"/> A. 範囲 () <input type="checkbox"/> B. 時期 ()
	<input type="checkbox"/> 6. その他	<input type="checkbox"/> A. その他 ()

記号	工 事 名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	可児市立西可児中学校トイレ大規模改造工事(Ⅱ期)						
A	建築工事		1	式			
E	電気設備工事		1	式			
M	機械設備工事		1	式			
I	直接工事費 計		1	式			
II	共通仮設費	(共通仮設工事費積上分を含む)	1	式			
	純工事費 計						
III	現場管理費		1	式			
	工事原価 計						
IV	一般管理費等負担額		1	式			
	工事価格 計						
V	消費税相当額		1	式			
	総 合 計						

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
(2)	解体工事						
	コンクリートスラブ・土間解体	ハンドブレーカー主体	0.6	m ³			
	トイレブース撤去		50.7	m ²			
	床おだれ石撤去		7.0	m ²			
	床塩ビシート撤去	t2.0	82.1	m ²			
	床モルタルカッター入れ		17.5	m			
	床下地モルタル撤去		5.3	m ²			
	床嵩上げモルタル撤去		5.3	m ²			
	床フローリングボード撤去	t12.0	15.6	m ²			
	床ステンレス見切撤去	L800	6	箇所			
	塩ビ製幅木撤去		116	m			
	廻り縁撤去		125	m			
	天井ボード撤去	アスベスト含有	89.2	m ²			
	軽天下地撤去		59.4	m ²			
	面台ステンレス板撤去	W100×L900	6	箇所			
	〃	W150×L3900	3	箇所			
	面台壁ボード撤去	ケイカル板t6+不燃化粧板t3	34.0	m ²			
	面台軽鉄下地撤去		34.0	m ²			
	発生材積込	コンクリートがら	0.6	m ³			

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
発生材積込	木屑	2.3	m3			
〃	ガラス陶器類	5.3	m3			
〃	廃プラスチック	1.2	m3			
〃	アスベスト成形板	0.8	m3			
〃	金属類	664	kg			
〃	混合廃棄物	1.4	m3			
発生材運搬	コンクリートがら	0.6	m3			
〃	木屑	2.3	m3			
〃	ガラス陶器類	5.3	m3			
〃	廃プラスチック	1.2	m3			
〃	アスベスト成形板	0.8	m3			
〃	金属類	664	kg			
〃	混合廃棄物	1.4	m3			
発生材処分	コンクリートがら	0.6	m3			
〃	木屑	2.3	m3			
〃	ガラス陶器類	5.3	m3			
〃	廃プラスチック	1.2	m3			
〃	アスベスト成形板	0.8	m3			
〃	金属類	664	kg			

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
(5)	内装工事						
	ビニル床シート	t2.0 防汚性	79.0	m ²			
	塩ビ製幅木	ステンレス箔仕上 H=60	116	m			
	不燃メラミン化粧板	t3.0 接着貼り 既存化粧板目 荒し・ジョイントシール共	312	m ²			
	同上出隅ジョイナー	アルミ製既製品	97.0	m			
	同上入隅ジョイナー	アルミ製既製品	130	m			
	天井化粧石膏ボード	t9.5	89.2	m ²			
	廻り縁	塩ビ 9mm 目透かし	125	m			
	面台前壁ケイカル板	t6.0	20.5	m ²			
	面台壁不燃メラミン化粧板	t3.0 接着貼り ケイカル板面シ ール・ジョイントシール共	20.5	m ²			
	軽鉄壁下地	90形	20.5	m ²			
	軽天下地	19形	59.4	m ²			
	トイレ天井点検口	アルミ製 450角	12	箇所			
	同上天井開口補強	450角	12	箇所			
	廊下天井点検口	共用部既設天井 アルミ製450角	6	箇所			
	同上天井開口補強	450角	6	箇所			
	同上天井ボード開口	既設天井	6	箇所			
	ピクトサイン	200x200 アルミ型材	6	箇所			
	ステンレス面台	W150×L900 多目的流し前	6	箇所			

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
(2)	解体工事						
	コンクリートスラブ・土間解体	ハンドブレーカー主体	4.5	m ³			
	トイレブース撤去		148	m ²			
	テラゾーブロックスクリーン解体	t40	24.0	m ²			
	欄間ステンレス枠撤去	W4000×H750	9.0	m ²			
	欄間ガラス撤去	型板ガラスt4.0	6.0	m ²			
	床タイル撤去	下地モルタル共	37.3	m ²			
	床塩ビシート撤去	t2.0	37.4	m ²			
	床フローリングボード撤去	t12.0	37.4	m ²			
	壁タイル撤去	劣化部分	10.1	m ²			
	壁ボード撤去	耐水石膏ボードt12.5	112	m ²			
	塩ビ製幅木撤去		40.2	m			
	廻り縁撤去		158	m			
	天井ボード撤去	石膏ボードt9.5	132	m ²			
	軽天下地撤去		85.0	m ²			
	面台撤去	テラゾーブロック W250×L5400	3	箇所			
	面台壁タイル撤去	下地モルタル共	18.6	m ²			
	面台壁CB積撤去	t100	18.6	m ²			
	発生材積込	コンクリートがら	4.5	m ³			

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
	発生材積込		木屑	6.5		m3							
	〃		ガラス陶器類	8.5		m3							
	〃		廃プラスチック	1.9		m3							
	〃		アスベスト成形板	0.8		m3							
	〃		金属類	1208		kg							
	〃		ボード類	2.7		m3							
	発生材運搬		コンクリートがら	4.5		m3							
	〃		木屑	6.5		m3							
	〃		ガラス陶器類	8.5		m3							
	〃		廃プラスチック	1.9		m3							
	〃		アスベスト成形板	0.8		m3							
	〃		金属類	1208		kg							
	〃		ボード類	2.7		m3							
	発生材処分		コンクリートがら	4.5		m3							
	〃		木屑	6.5		m3							
	〃		ガラス陶器類	8.5		m3							
	〃		廃プラスチック	1.9		m3							
	〃		アスベスト成形板	0.8		m3							
	〃		金属類	1208		kg							

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
(5)	内装工事						
	ビニル床シート	t2.0 防汚性	120	m ²			
	塩ビ製幅木	ステンレス箔仕上 H=60	124	m			
	メラミン不燃化粧板	t3.0 接着貼り 既設タイル面・ ジョイントシール共	203	m ²			
	〃	t3.0 接着貼り 既設ボード 面・ジョイントシール共	205	m ²			
	同上出隅ジョイナー	アルミ製既製品	73.0	m			
	同上入隅ジョイナー	アルミ製既製品	104	m			
	シーリング石膏ボード	t12.5	205	m ²			
	天井化粧石膏ボード	t9.5	132	m ²			
	廻り縁	塩ビ 9mm 目透かし	177	m			
	面台壁ケイカル板	t6.0	25.7	m ²			
	面台壁メラミン不燃化粧板	t3.0 接着貼り ケイカル板面シー ラー・ジョイントシール共	25.7	m ²			
	軽鉄壁下地	50形	75.3	m ²			
	軽鉄壁下地	90形	25.7	m ²			
	軽天下地	19形	85.0	m ²			
	トイレ天井点検口	アルミ製 450角	6	箇所			
	同上天井開口補強	450角	6	箇所			
	廊下天井点検口	共用部既設天井 アルミ製450角	9	箇所			
	同上天井開口補強	450角	9	箇所			

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
(1)	直接仮設工事						
	墨だし（仕上）		5.4	m ²			
	仕上養生		5.4	m ²			
	清掃、片付け		5.4	m ²			
	竣工時清掃		5.4	m ²			
	内部足場	脚立足場 並列	5.4	m ²			
	小計						
	改め計						

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
(2)	解体工事						
	床塩ビシート撤去	t2.0	5.4	m ²			
	天井ボード撤去	化粧石膏ボードt9.5	5.4	m ²			
	壁モルタル撤去		17.5	m ²			
	塩ビ製幅木撤去		8.6	m			
	廻り縁撤去		9.6	m			
	軽天下地撤去		5.4	m ²			
	発生材積込	ガラス陶器類	0.3	m ³			
	〃	廃プラスチック	0.1	m ³			
	〃	金属類	34.9	kg			
	〃	ボード類	0.1	m ³			
	発生材運搬	ガラス陶器類	0.3	m ³			
	〃	廃プラスチック	0.1	m ³			
	〃	金属類	34.9	kg			
	〃	ボード類	0.1	m ³			
	発生材処分	ガラス陶器類	0.3	m ³			
	〃	廃プラスチック	0.1	m ³			
	〃	金属類	34.9	m ³			
	〃	ボード類	0.1	m ³			

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
(4)	内装工事						
	ビニル床シート	t2.0 防汚性	4.8	m ²			
	塩ビ製幅木	ステンレス箔仕上 H=60	7.9	m			
	天井化粧石膏ボード	t9.5	4.8	m ²			
	廻り縁	塩ビ 9mm 目透かし	8.9	m			
	軽天下地	19形	4.8	m ²			
	天井点検口	アルミ製 450角	1	箇所			
	天井開口補強	450角	1	箇所			
	ピクトサイン	200x200 アルミ型材	1	箇所			
	壁モルタル面下地処理	RB種	15.7	m ²			
	壁EP-G塗替	モルタル面・フラスターボード面	20.2	m ²			
	既設鋼製軽量ドア清掃	室内外	4.0	m ²			
	壁フラスターボード		4.5	m ²			
	軽鉄壁下地 50形		4.5	m ²			
	小計						
	改め計						

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2)	電灯設備 分岐－電灯						
	アウトレットボックス	4角 中浅	4.0	個			
	1種金属線び	B形	1.0	m			
	1種金属線び 付属品	スイッチボックス 1個用 B形	2.0	個			
	ケーブル	EM-EEF 1.6 -3C 管内	3.0	m			
	ケーブル	EM-EEF 1.6 -2C 天井内	19.0	m			
	ケーブル	EM-EEF 1.6 -3C 天井内	37.0	m			
	ケーブル	EM-EEF 2.0 -3C 天井内	2.0	m			
	人感センサ	親機 広角検知	2.0	個			
	人感センサ	子機 広角検知	2.0	個			
	人感センサ	子機 広角検知 換気扇連動可能	2.0	個			
	人感センサ用操作スイッチ	2回路	2.0	個			
	コンセント（金属製プレート）	2P 15A x1 E付 抜け止め	2.0	個			
	カバープレート（金属製）	角形	2.0	枚			
	LED灯	A2 : LRS1 -08 LN	10.0	個			
	LED灯	A3 : LRS1 -13 LN	7.0	個			
	撤去工事		1	式			別紙明細－2
	小計						
	改め計						

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3)	電灯設備 分岐コンセント						
	電線管	PF 22 隠蔽	3.0	m			
	アウトレットボックス	4角 中浅	6.0	個			
	1種金属線び	A形	21.0	m			
	1種金属線び 付属品	スイッチボックス 1個用 A形	7.0	個			
	ケーブル	EM-EEF 2.0 -3C 管内	21.0	m			
	ケーブル	EM-EEF 2.0 -3C PF内	3.0	m			
	ケーブル	EM-EEF 2.0 -3C 天井内	25.0	m			
	コンセント (金属製プレート)	2P 15A x2 E、ET付	7.0	個			
	カバープレート (金属製)	丸形	2.0	枚			
	小計						
	改め計						

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1)	電灯設備 幹線						
	電線	EM-IE 5.5mm2 管内	1.0	m			
	ケーブル	EM-CE 5.5mm2 -4C 天井内	35.0	m			
	ケーブル	EM-CET 14mm2 天井内	1.0	m			
	開閉器盤	S - B 3P 30AT x2	1.0	面			
	分電盤	L - B2 主 : 30AT、分岐:20ATx8回路	1.0	面			
	はつり工事		1	式			別紙明細-3
	小計						
	改め計						

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2)	電灯設備 分岐-電灯						
	アウトレットボックス	4角 中浅	4.0	個			
	1種金属線び	B形	1.0	m			
	1種金属線び 付属品	スイッチボックス 1個用 B形	2.0	個			
	ケーブル	EM-EEF 1.6 -3C 管内	3.0	m			
	ケーブル	EM-EEF 1.6 -2C 天井内	19.0	m			
	ケーブル	EM-EEF 1.6 -3C 天井内	37.0	m			
	ケーブル	EM-EEF 2.0 -3C 天井内	2.0	m			
	人感センサ	親機 広角検知	2.0	個			
	人感センサ	子機 広角検知	2.0	個			
	人感センサ	子機 広角検知 換気扇連動可能	2.0	個			
	人感センサ用操作スイッチ	2回路	2.0	個			
	コンセント（金属製プレート）	2P 15A x1 E付 抜け止め	2.0	個			
	カバープレート（金属製）	角形	2.0	枚			
	LED灯	A2 : LRS1 -08 LN	10.0	個			
	LED灯	A3 : LRS1 -13 LN	7.0	個			
	撤去工事		1	式			別紙明細-4
	小計						
	改め計						

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3)	電灯設備 分岐コンセント						
	電線管	PF 22 隠蔽	3.0	m			
	アウトレットボックス	4角 中浅	6.0	個			
	1種金属線び	A形	21.0	m			
	1種金属線び 付属品	スイッチボックス 1個用 A形	7.0	個			
	ケーブル	EM-EEF 2.0 -3C 管内	21.0	m			
	ケーブル	EM-EEF 2.0 -3C PF内	3.0	m			
	ケーブル	EM-EEF 2.0 -3C 天井内	25.0	m			
	コンセント（金属製プレート）	2P 15A x2 E、ET付	7.0	個			
	カバープレート（金属製）	丸形	2.0	枚			
	小計						
	改め計						

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2)	電灯設備 分岐－電灯						
	アウトレットボックス	4角 中浅	4.0	個			
	1種金属線び	B形	1.0	m			
	1種金属線び 付属品	スイッチボックス 1個用 B形	2.0	個			
	ケーブル	EM-EEF 1.6 -3C 管内	3.0	m			
	ケーブル	EM-EEF 1.6 -2C 天井内	19.0	m			
	ケーブル	EM-EEF 1.6 -3C 天井内	37.0	m			
	ケーブル	EM-EEF 2.0 -3C 天井内	2.0	m			
	人感センサ	親機 広角検知	2.0	個			
	人感センサ	子機 広角検知	2.0	個			
	人感センサ	子機 広角検知 換気扇連動可能	2.0	個			
	人感センサ用操作スイッチ	2回路	2.0	個			
	コンセント（金属製プレート）	2P 15A x1 E付 抜け止め	2.0	個			
	カバープレート（金属製）	角形	2.0	枚			
	LED灯	A2 : LRS1 -08 LN	10.0	個			
	LED灯	A3 : LRS1 -13 LN	7.0	個			
	撤去工事		1	式			別紙明細－6
	小計						
	改め計						

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2)	電灯設備 分岐-電灯						
	アウトレットボックス	4角 中浅	3.0	個			
	1種金属線び	B形	1.0	m			
	1種金属線び 付属品	スイッチボックス 1個用 B形	2.0	個			
	ケーブル	EM-EEF 1.6 -3C 管内	3.0	m			
	ケーブル	EM-EEF 1.6 -2C 天井内	28.0	m			
	ケーブル	EM-EEF 1.6 -3C 天井内	60.0	m			
	ケーブル	EM-EEF 2.0 -3C 天井内	1.0	m			
	人感センサ	親機 広角検知	2.0	個			
	人感センサ	子機 広角検知	5.0	個			
	人感センサ	子機 広角検知 換気扇連動可能	2.0	個			
	人感センサ用操作スイッチ	2回路	2.0	個			
	コンセント（金属製プレート）	2P 15A x1 E付 抜け止め	1.0	個			
	カバープレート（金属製）	角形	3.0	枚			
	LED灯	A2 : LRS1 -08 LN	17.0	個			
	LED灯	A3 : LRS1 -13 LN	4.0	個			
	LED灯	A4 : LRS1 -17 LN	3.0	個			
	撤去工事		1	式			別紙明細-8

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3)	電灯設備 分岐コンセント						
	電線管	PF 22 隠蔽	4.0	m			
	アウトレットボックス	4角 中浅	9.0	個			
	1種金属線び	A形	32.0	m			
	1種金属線び 付属品	スイッチボックス 1個用 A形	11.0	個			
	ケーブル	EM-EEF 2.0 -3C 管内	32.0	m			
	ケーブル	EM-EEF 2.0 -3C PF内	4.0	m			
	ケーブル	EM-EEF 2.0 -3C 天井内	72.0	m			
	コンセント（金属製プレート）	2P 15A x2 E、ET付	12.0	個			
	カバープレート（金属製）	丸形	3.0	枚			
	小計						
	改め計						

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2)	電灯設備 分岐－電灯						
	アウトレットボックス	4角 中浅	1.0	個			
	1種金属線び	B形	1.0	m			
	1種金属線び 付属品	スイッチボックス 1個用 B形	2.0	個			
	ケーブル	EM-EEF 1.6 -3C 管内	3.0	m			
	ケーブル	EM-EEF 1.6 -2C 天井内	28.0	m			
	ケーブル	EM-EEF 1.6 -3C 天井内	61.0	m			
	ケーブル	EM-EEF 2.0 -3C 天井内	1.0	m			
	人感センサ	親機 広角検知	2.0	個			
	人感センサ	子機 広角検知	5.0	個			
	人感センサ	子機 広角検知 換気扇連動可能	2.0	個			
	人感センサ用操作スイッチ	2回路	2.0	個			
	コンセント（金属製プレート）	2P 15A x1 E付 抜け止め	1.0	個			
	カバープレート（金属製）	角形	2.0	枚			
	LED灯	A2 : LRS1 -08 LN	13.0	個			
	LED灯	A3 : LRS1 -13 LN	6.0	個			
	LED灯	A4 : LRS1 -17 LN	3.0	個			
	撤去工事		1	式			別紙明細－10

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3)	電灯設備 分岐コンセント						
	電線管	PF 22 隠蔽	4.0	m			
	アウトレットボックス	4角 中浅	9.0	個			
	1種金属線び	A形	32.0	m			
	1種金属線び 付属品	スイッチボックス 1個用 A形	11.0	個			
	ケーブル	EM-EEF 2.0 -3C 管内	32.0	m			
	ケーブル	EM-EEF 2.0 -3C PF内	4.0	m			
	ケーブル	EM-EEF 2.0 -3C 天井内	72.0	m			
	コンセント（金属製プレート）	2P 15A x2 E、ET付	12.0	個			
	カバープレート（金属製）	丸形	3.0	枚			
	小計						
	改め計						

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2)	電灯設備 分岐－電灯						
	アウトレットボックス	4角 中浅	3.0	個			
	1種金属線び	B形	1.0	m			
	1種金属線び 付属品	スイッチボックス 1個用 B形	2.0	個			
	ケーブル	EM-EEF 1.6 -3C 管内	3.0	m			
	ケーブル	EM-EEF 1.6 -2C 天井内	28.0	m			
	ケーブル	EM-EEF 1.6 -3C 天井内	60.0	m			
	ケーブル	EM-EEF 2.0 -3C 天井内	1.0	m			
	人感センサ	親機 広角検知	2.0	個			
	人感センサ	子機 広角検知	5.0	個			
	人感センサ	子機 広角検知 換気扇連動可能	2.0	個			
	人感センサ用操作スイッチ	2回路	2.0	個			
	コンセント（金属製プレート）	2P 15A x1 E付 抜け止め	1.0	個			
	カバープレート（金属製）	角形	3.0	枚			
	LED灯	A2 : LRS1 -08 LN	17.0	個			
	LED灯	A3 : LRS1 -13 LN	4.0	個			
	LED灯	A4 : LRS1 -17 LN	3.0	個			
	撤去工事		1	式			別紙明細－12

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3)	電灯設備 分岐コンセント						
	電線管	PF 22 隠蔽	4.0	m			
	アウトレットボックス	4角 中浅	9.0	個			
	1種金属線び	A形	32.0	m			
	1種金属線び 付属品	スイッチボックス 1個用 A形	11.0	個			
	ケーブル	EM-EEF 2.0 -3C 管内	32.0	m			
	ケーブル	EM-EEF 2.0 -3C PF内	4.0	m			
	ケーブル	EM-EEF 2.0 -3C 天井内	72.0	m			
	コンセント (金属製プレート)	2P 15A x2 E、ET付	12.0	個			
	カバープレート (金属製)	丸形	3.0	枚			
	小計						
	改め計						

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3	南舎東多目的トイレ						
(1)	南舎東多目的トイレ	2階 (b2F多)	1	式			
	計						

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1)	電灯設備 分岐-電灯						
	アウトレットボックス	4角 中浅	1.0	個			
	1種金属線び	B形	1.0	m			
	1種金属線び 付属品	スイッチボックス 1個用 B形	1.0	個			
	ケーブル	EM-EEF 1.6 -3C 管内	1.0	m			
	ケーブル	EM-EEF 1.6 -3C 天井内	6.0	m			
	ケーブル	EM-EEF 2.0 -3C 天井内	4.0	m			
	人感センサ	広角検知 照明制御、換気扇連動可能	1.0	個			
	人感センサ用操作スイッチ	2回路	1.0	個			
	LED灯	A1 : LRS1 -05 LN	1.0	個			
	LED灯	A3 : LRS1 -13 LN	2.0	個			
	撤去工事		1	式			別紙明細-13
	小計						
	改め計						

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4	発生材処分						
(1)	発生材処理		1	式			
	計						

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
(1)	発生材処理						
	発生材処分 南舎西	金属類	0.1	t			
	発生材処分 南舎西	廃プラスチック類	0.1	m ³			
	発生材処分 南舎東	金属類	0.1	t			
	発生材処分 南舎東	廃プラスチック類	0.1	m ³			
	発生材処分 南舎東多目的トイレ	金属類	0.1	t			
	発生材処分 南舎東多目的トイレ	廃プラスチック類	0.1	t			
	小計						
	改め計						

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
別紙明細-1						
はつり補修	50φ 機械	1.0	箇所			
小々計						

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
別紙明細-9						
はつり補修	50φ 機械	1.0	箇所			
小々計						

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
別紙明細-17						
機器等 取外し再取付	差動式ｽｯﾄ型 感知器	1.0	個			
小々計						

名 称		摘 要			数量	単位	単 価	金 額	備 考
(2)	給水設備								
	給水管 ステンレス鋼管	SUS	ピット内	20	9	m			
	給水管 ステンレス鋼管	SUS	ピット内	25	12	m			
	給水管 ステンレス鋼管	SUS	ピット内	30	3	m			
	給水管 ステンレス鋼管	SUS	ピット内	40	2	m			
	給水管 ステンレス鋼管	SUS	ピット内	50	1	m			
	給水管 ステンレス鋼管	SUS	ピット内	65	1	m			
	給水管 ステンレス鋼管	SUS	便所	20	36	m			
	給水管 ステンレス鋼管	SUS	便所	25	25	m			
	給水管 ステンレス鋼管	SUS	便所	30	5	m			
	給水管 ステンレス鋼管	SUS	便所	40	4	m			
	給水管 ステンレス鋼管	SUS	便所	50	2	m			
	給水管 ステンレス鋼管	SUS	便所	65	4	m			
	給水管 ステンレス鋼管	SUS	便所	100	2	m			
	既設給水管切断				1	式			別紙明細1-1
	機械研り	ダイヤモンド	カッター		1	式			別紙明細1-2
	保温	グラスウール	天井PS		1	式			別紙明細1-3
	小計								
	改め計								

名 称		摘 要			数量	単位	単 価	金 額	備 考
(3)	排水通気設備								
	排水・通気管 硬質塩化ビニル管	VP	ピット内	40	11	m			
	排水・通気管 硬質塩化ビニル管	VP	ピット内	50	17	m			
	排水・通気管 硬質塩化ビニル管	VP	ピット内	65	3	m			
	排水・通気管 硬質塩化ビニル管	VP	ピット内	75	12	m			
	排水・通気管 硬質塩化ビニル管	VP	ピット内	100	9	m			
	排水・通気管 硬質塩化ビニル管	VP	ピット内	125	6	m			
	排水管 耐火二層管		便所	40	18	m			
	排水管 耐火二層管		便所	50	41	m			
	排水管 耐火二層管		便所	65	2	m			
	排水管 耐火二層管		便所	75	23	m			
	排水管 耐火二層管		便所	100	14	m			
	通気管 硬質塩化ビニル管	VP	便所	50	8	m			
	通気管 硬質塩化ビニル管	VP	便所	65	7	m			
	既設管切断				1	式			別紙明細1-4
	機械研り				1	式			別紙明細1-5
	床上掃除口	長尺シート用 CIR50			7	個			
	床上掃除口	長尺シート用 CIR51			4	個			
	小計								
	改め計								

名 称		摘 要		数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	別紙明細1							
1-1	給水設備 既設管切断							
	既設管切断接続	鋼管 保温あり	65A	3	か所			
	既設管切断接続	鋼管 保温あり	100A	2	か所			
	小々計							
1-2	給水設備 機械研り							
	ダイヤモンドカッター	200t	75φ	33	か所			
	小々計							
1-3	給水設備 保温							
	ヒット内 ポリスチレンフォーム	着色アルミガラスクロス	15	9.0	m			
	ヒット内 ポリスチレンフォーム	着色アルミガラスクロス	20	12.1	m			
	ヒット内 ポリスチレンフォーム	着色アルミガラスクロス	25	2.7	m			
	ヒット内 ポリスチレンフォーム	着色アルミガラスクロス	30	1.6	m			
	ヒット内 ポリスチレンフォーム	着色アルミガラスクロス	40	1.3	m			

名 称		摘 要		数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	ピット内ホリスチレンフォーム	着色アルミガラスクロス	50	1.4	m			
	天井・PSガラスウール	アルミガラスクロス	15	35.9	m			
	天井・PSガラスウール	アルミガラスクロス	20	25.2	m			
	天井・PSガラスウール	アルミガラスクロス	25	5.2	m			
	天井・PSガラスウール	アルミガラスクロス	30	3.6	m			
	天井・PSガラスウール	アルミガラスクロス	40	2.2	m			
	天井・PSガラスウール	アルミガラスクロス	50	3.6	m			
	天井・PSガラスウール	アルミガラスクロス	75	2.2	m			
	小々計							
1-4	排水設備 既設管切断・接続							
	既設管切断	樹脂管 保温なし	65	3	カ所			
	既設管切断	樹脂管 保温なし	75	1	カ所			
	既設管切断	樹脂管 保温なし	100	1	カ所			
	既設管切断	樹脂管 保温なし	125	2	カ所			
	既設管切断	樹脂管 保温あり	100	4	カ所			
	小々計							

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1-8	給水管撤去						
	塩ビラインク`鋼管 SGP-VB	便所 20	43.5	m			
	塩ビラインク`鋼管 SGP-VB	便所 25	24.4	m			
	塩ビラインク`鋼管 SGP-VB	便所 32	3.0	m			
	塩ビラインク`鋼管 SGP-VB	便所 40	2.4	m			
	塩ビラインク`鋼管 SGP-VB	便所 50	2.0	m			
	塩ビラインク`鋼管 SGP-VB	便所 65	1.8	m			
	塩ビラインク`鋼管 SGP-VB	便所 100	2.2	m			
	塩ビラインク`鋼管 SGP-VB	ピット内 20	15.1	m			
	塩ビラインク`鋼管 SGP-VB	ピット内 25	9.5	m			
	塩ビラインク`鋼管 SGP-VB	ピット内 32	3.9	m			
	塩ビラインク`鋼管 SGP-VB	ピット内 50	1.6	m			
	塩ビラインク`鋼管 SGP-VB	ピット内 65	1.1	m			
	小々計						

名 称		摘 要		数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1-9	排水管撤去							
	硬質塩化ビニル管 VP	便所	40	16.8	m			
	硬質塩化ビニル管 VP	便所	50	37.6	m			
	硬質塩化ビニル管 VP	便所	65	7.4	m			
	硬質塩化ビニル管 VP	便所	75	18.2	m			
	硬質塩化ビニル管 VP	便所	100	25.8	m			
	硬質塩化ビニル管 VP	ピット内	40	9.2	m			
	硬質塩化ビニル管 VP	ピット内	50	13.6	m			
	硬質塩化ビニル管 VP	ピット内	65	2.5	m			
	硬質塩化ビニル管 VP	ピット内	75	19.2	m			
	硬質塩化ビニル管 VP	ピット内	100	7.5	m			
	硬質塩化ビニル管 VP	ピット内	125	7.1	m			
	小々計							

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1-10	保温撤去						
	ピット内	ホ°リスチレンフォーム 20	15.1	m			
	ピット内	ホ°リスチレンフォーム 25	9.5	m			
	ピット内	ホ°リスチレンフォーム 32	3.9	m			
	ピット内	ホ°リスチレンフォーム 50	1.6	m			
	ピット内	ホ°リスチレンフォーム 65	1.1	m			
	天井隠ぺい	グ°ラスウール 20	43.5	m			
	天井隠ぺい	グ°ラスウール 25	24.4	m			
	天井隠ぺい	グ°ラスウール 32	3.0	m			
	天井隠ぺい	グ°ラスウール 40	19.2	m			
	天井隠ぺい	グ°ラスウール 50	33.2	m			
	天井隠ぺい	グ°ラスウール 65	1.8	m			
	天井隠ぺい	グ°ラスウール 75	18.2	m			
	天井隠ぺい	グ°ラスウール 100	28.0	m			
	小々計						

名 称		摘 要			数量	単位	単 価	金 額	備 考
(2)	給水設備								
	給水管 ステンレス鋼管	SUS	便所	20	30	m			
	給水管 ステンレス鋼管	SUS	便所	25	52	m			
	給水管 ステンレス鋼管	SUS	便所	30	2	m			
	給水管 ステンレス鋼管	SUS	便所	40	7	m			
	給水管 ステンレス鋼管	SUS	便所	50	8	m			
	給水管 ステンレス鋼管	SUS	便所	65	17	m			
	給水管 ステンレス鋼管	SUS	便所	100	7	m			
	給水管 耐衝撃性塩ビ管	HIVP	便所	20	9	m			
	給水管 耐衝撃性塩ビ管	HIVP	便所	25	22	m			
	給水管 耐衝撃性塩ビ管	HIVP	便所	30	6	m			
	給水管 耐衝撃性塩ビ管	HIVP	便所	40	6	m			
	給水管 耐衝撃性塩ビ管	HIVP	便所	50	3	m			
	給水管 耐衝撃性塩ビ管	HIVP	便所	65	9	m			
	仕切弁 GV ナイロンコーティング	JIS10K		65	6	個			
	既設給水管切断				1	式			別紙明細2-1
	機械研り	ダイヤモンド	カッター		1	式			別紙明細2-2
	保温	グラスウール	天井PS		1	式			別紙明細2-3
	土工事				1	式			別紙明細2-4

名 称		摘 要			数量	単位	単 価	金 額	備 考
(3)	排水通気設備								
	排水・通気管 硬質塩化ビニル管	VP	便所	40	4	m			
	排水・通気管 硬質塩化ビニル管	VP	便所	50	32	m			
	排水・通気管 硬質塩化ビニル管	VP	便所	65	39	m			
	排水・通気管 硬質塩化ビニル管	VP	便所	75	20	m			
	排水・通気管 硬質塩化ビニル管	VP	便所	100	28	m			
	排水・通気管 硬質塩化ビニル管	VP	便所	125	4	m			
	排水管 耐火二層管		便所	40	13	m			
	排水管 耐火二層管		便所	50	44	m			
	排水管 耐火二層管		便所	65	22	m			
	排水管 耐火二層管		便所	75	28	m			
	排水管 耐火二層管		便所	100	34	m			
	排水管 耐火二層管		便所	125	6	m			
	既設管切断				1	式			別紙明細2-5
	機械研り				1	式			別紙明細2-6
	床上掃除口	長尺シート用 CIR50			7	個			
	床上掃除口	長尺シート用 CIR51			4	個			
	土工事				1	式			別紙明細2-7

名 称		摘 要	数量	単位	単 価	金 額	備 考
(4)	換気設備						
	VF-300 換気扇	格子グリル 電気式シャッター 羽根径300φ SUS製ウェザークラップ共(SUS防鳥網付き)	3	台			
	CF-1 天井換気扇	サニタリー用 低騒音型 400CMH×50Pa	6	台			
	取付		1	式			別紙明細2-8
	小計						
	改め計						

名 称		摘 要		数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	別紙明細2							
2-1	給水設備 既設管切断							
	既設管切断	樹脂管 保温なし	30A	1	か所			
	既設管切断	樹脂管 保温なし	65A	1	か所			
	〃	鋼管 保温あり	40A	1	か所			
	〃	鋼管 保温あり	100A	1	か所			
	小々計							
2-2	給水設備 機械研り							
	ダイヤモンドカッター	200t	75φ	30	か所			
	ダイヤモンドカッター	200t	100φ	4	か所			
	小々計							

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2-3	給水設備 保温						
	天井・PS クラスウール	アルミガラスクロス 15	30.0	m			
	天井・PS クラスウール	アルミガラスクロス 20	52.1	m			
	天井・PS クラスウール	アルミガラスクロス 25	1.8	m			
	天井・PS クラスウール	アルミガラスクロス 30	7.1	m			
	天井・PS クラスウール	アルミガラスクロス 40	7.7	m			
	天井・PS クラスウール	アルミガラスクロス 50	17.3	m			
	天井・PS クラスウール	アルミガラスクロス 75	7.2	m			
	室内露出 クラスウール	プラスチックカバー 15	9.4	m			
	小々計						
2-4	給水設備 土工事						
	根切り	人力	10.4	m3			
	山砂		4.3	m3			
	埋戻し	人力	6.1	m3			
	残土処分	場内	4.3	m3			
	小々計						

名 称		摘 要		数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2-5	排水設備 既設管切断							
	既設管切断	樹脂管 保温なし	100A	1	か所			
	既設管切断	樹脂管 保温なし	125A	2	か所			
	既設管切断	樹脂管 保温あり	100A	2	か所			
	小々計							
2-6	排水設備 機械研り							
	ダイヤモンドカッター	200t	100φ	28	か所			
	ダイヤモンドカッター	200t	125φ	26	か所			
	ダイヤモンドカッター	200t	150φ	1	か所			
	ダイヤモンドカッター	200t	175φ	1	か所			
	ダイヤモンドカッター	200t	200φ	1	か所			
	小々計							

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2-7	排水設備 土工事						
	根切り	人力	21.6	m3			
	山砂		7.2	m3			
	埋戻し	人力	14.4	m3			
	残土処分	場内	4.3	m3			
	小々計						
2-8	換気機器取付						
	VF-300 換気扇	羽根径300φ ウェザカハ共	3	台			
	CF-1 天井換気扇	サニタリ用 低騒音型 400CMH×50Pa	6	台			
	小々計						

名 称		摘 要		数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2-10	給水管撤去							
	塩ビライニング鋼管 SGP-VB	便所	20	31.9	m			
	塩ビライニング鋼管 SGP-VB	便所	25	29.7	m			
	塩ビライニング鋼管 SGP-VB	便所	32	10.4	m			
	塩ビライニング鋼管 SGP-VB	便所	40	5.5	m			
	塩ビライニング鋼管 SGP-VB	便所	50	13.7	m			
	塩ビライニング鋼管 SGP-VB	便所	65	12.2	m			
	塩ビライニング鋼管 SGP-VB	便所	100	9.3	m			
	耐衝撃性硬質塩ビ管 HIVP	便所	20	19.5	m			
	耐衝撃性硬質塩ビ管 HIVP	便所	25	19.3	m			
	耐衝撃性硬質塩ビ管 HIVP	便所	32	8.1	m			
	耐衝撃性硬質塩ビ管 HIVP	便所	40	1.3	m			
	耐衝撃性硬質塩ビ管 HIVP	便所	50	5.3	m			
	耐衝撃性硬質塩ビ管 HIVP	便所	65	10.3	m			
	小々計							

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2-12	保温撤去						
	天井隠ぺい	グラスウール	20	31.9	m		
	天井隠ぺい	グラスウール	25	29.7	m		
	天井隠ぺい	グラスウール	32	10.4	m		
	天井隠ぺい	グラスウール	40	21.9	m		
	天井隠ぺい	グラスウール	50	42.0	m		
	天井隠ぺい	グラスウール	65	17.5	m		
	天井隠ぺい	グラスウール	75	24.7	m		
	天井隠ぺい	グラスウール	100	62.2	m		
	天井隠ぺい	グラスウール	125	2.8	m		
	小々計						

名 称		摘 要	数量	単位	単 価	金 額	備 考
(3)	排水通気設備						
	排水管 耐火二層管	便所 40	2	m			
	排水管 耐火二層管	便所 50	2	m			
	排水管 耐火二層管	便所 75	2	m			
	排水管 耐火二層管	便所 100	1	m			
	床上掃除口	長尺シート用 CIR50	1	個			
	機械研り		1	式			別紙明細3-4
	小計						
	改め計						

名 称		摘 要		数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3-3	給水設備 保温							
	天井・PS グラスウール	アルミガラスクロス	15	1.7	m			
	天井・PS グラスウール	アルミガラスクロス	20	2.4	m			
	天井・PS グラスウール	アルミガラスクロス	25	2.0	m			
	天井・PS グラスウール	アルミガラスクロス	30	0.9	m			
	小々計							
3-4	排水設備 機械研り							
	ダイヤモンドカッター	200t 100φ		2	か所			
	ダイヤモンドカッター	200t 125φ		1	か所			
	小々計							
3-5	換気機器取付							
	CF-2 天井換気扇	サニタリー用 低騒音型 180CMH×50Pa		1	台			
	小々計							

名 称		摘 要		数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3-7	給水管撤去							
	塩ビライニング鋼管 SGP-VB	便所	20	3.7	m			
	塩ビライニング鋼管 SGP-VB	便所	32	2.0	m			
	塩ビライニング鋼管 SGP-VB	便所	40	0.4	m			
	塩ビライニング鋼管 SGP-VB	便所	50	1.0	m			
	小々計							
3-8	排水管撤去							
	硬質塩化ビニル管 VP	便所	40	2.9	m			
	硬質塩化ビニル管 VP	便所	75	1.2	m			
	硬質塩化ビニル管 VP	便所	100	2.0	m			
	小々計							

名 称		摘 要	数量	単位	単 価	金 額	備 考
4	発生材処分						
(1)	発生材処理		1	式			
	計						

名 称		摘 要	数量	単位	単 価	金 額	備 考
(1)	発生材処理						
	発生材処分 南舎西	ガラス・陶磁器くず	3.1	m3			
	発生材処分 南舎西	廃プラスチック類	2.3	m3			
	発生材処分 南舎西	金属くず	0.3	t			
	発生材処分 南舎東	ガラス・陶磁器くず	3.1	m3			
	発生材処分 南舎東	廃プラスチック類	2.3	m3			
	発生材処分 南舎東	金属くず	0.3	t			
	発生材処分 南舎東多目的トイレ	ガラス・陶磁器くず	0.5	m3			
	発生材処分 南舎東多目的トイレ	廃プラスチック類	0.3	m3			
	発生材処分 南舎東多目的トイレ	金属くず	0.1	t			
	小計						
	改め計						

可児市立西可児中学校トイレ大規模改造工事（Ⅱ期）

番号	図面名称	番号	図面名称	番号	図面名称
A 01	建築改修特記仕様書 1	E 01	電気設備工事仕様書	M 01	機械設備工事概要・工事仕様書 1
A 02	建築改修特記仕様書 2	E 02	分電盤結線図(1)	M 02	機械設備工事仕様書 2
A 03	建築改修特記仕様書 3	E 03	分電盤結線図(2)	M 03	機械設備 1階平面図
A 04	建築改修特記仕様書 4	E 04	凡例、照明器具姿図	M 04	機械設備 2階平面図
A 05	建築改修特記仕様書 5	E 05	電灯設備 1階平面図	M 05	機械設備 3階平面図
A 06	建築改修特記仕様書 6	E 06	電灯設備 2階平面図	M 06	南舎西普通特別教室棟 1階トイレ 平面詳細図・器具表
A 07	建築改修特記仕様書 7	E 07	電灯設備 3・4階平面図	M 07	南舎西普通特別教室棟 2階トイレ 平面詳細図・器具表
A 08	配置図・付近見取図	E 08	南舎西普通特別教室棟 1階トイレ 電灯設備 平面詳細図	M 08	南舎西普通特別教室棟 3階トイレ 平面詳細図・器具表
A 09	現況 1階平面図	E 09	南舎西普通特別教室棟 1階トイレ コンセント設備 平面詳細図	M 09	南舎東普通教室棟 1階トイレ 平面詳細図・器具表
A 10	現況 2階平面図	E 10	南舎西普通特別教室棟 2・3階トイレ 電灯設備 平面詳細図	M 10	南舎東普通教室棟 2階トイレ(男子・女子・多目的) 平面詳細図・器具表
A 11	現況 3・4階平面図	E 11	南舎西普通特別教室棟 2・3階トイレ コンセント設備 平面詳細図	M 11	南舎東普通教室棟 3階トイレ 平面詳細図・器具表
A 12	南舎西普通特別教室棟 1階トイレ平面詳細図・内部仕上表	E 12	南舎東普通教室棟 1階トイレ 電灯設備 平面詳細図	M 12	南舎西普通特別教室棟 1～3階トイレ 換気設備 機器表・平面図
A 13	南舎西普通特別教室棟 2・3階トイレ平面詳細図・内部仕上表	E 13	南舎東普通教室棟 1階トイレ コンセント設備 平面詳細図	M 13	南舎東普通教室棟 1～3階トイレ 換気設備 機器表・平面図
A 14	南舎東普通教室棟 1階トイレ平面詳細図・内部仕上表	E 14	南舎東普通教室棟 2階トイレ 電灯設備 平面詳細図		
A 15	南舎東普通教室棟 2階トイレ平面詳細図・内部仕上表	E 15	南舎東普通教室棟 2階トイレ コンセント設備 平面詳細図		
A 16	南舎東普通教室棟 3階トイレ平面詳細図・内部仕上表	E 16	南舎東普通教室棟 2階トイレ トイレ呼出設備 平面詳細図		
A 17	南舎西普通特別教室棟トイレ矩計図	E 17	南舎東普通教室棟 3階トイレ 電灯設備 平面詳細図		
A 18	南舎東普通教室棟トイレ矩計図	E 18	南舎東普通教室棟 3階トイレ コンセント設備 平面詳細図		
A 19	南舎西普通特別教室棟 1～3階トイレ改修前後展開図				
A 20	南舎東普通教室棟男子トイレ改修前後展開図				
A 21	南舎東普通特別教室棟 1・3階女子トイレ改修前後展開図				
A 22	南舎東普通教室棟 2階女子トイレ・多目的トイレ改修前後展開図				
A 23	天井伏図				
A 24	天井点検口位置図(全体 1階)				
A 25	天井点検口位置図(全体 2階)				
A 26	天井点検口位置図(全体 3階)				
A 27	建具表				
A 28	詳細図				
A 29	仮設計画図				

II 建築改修工事仕様		章 項目	特記事項	章 項目	特記事項	章 項目	特記事項
工事概要 工事名称 可児市立西可児中学校トイレ大規模改修工事（Ⅱ期） 主要用途 中学校 工事種別 改修 敷地 可児市若葉台地内 敷地面積 65,155.51㎡ 都市計画法等 都市計画区域（市街化区域・市街化調整区域○その他） 用途地域（第一種中高層住居専用地域・第一種低層住居専用地域） 防火地域（防火地域・準防火地域○指定なし） その他の指定 2.2条指定区域内 ○2.2条指定区域外（ ） 建築基準法 道路（国道・県道○市道・町道・村道・私道） 幅員 - m（2以上の道路に接する場合には、広い方の道路幅員を記入） 指定の建ぺい率 60.0・50.0％ 指定の容積率 200.0・80.0％ 工事建物の概要 〔南舎〕普通教室棟：RC造・3階建て、延べ床面積 3,189.33㎡ 工事の範囲 ○建築工事（トイレ改造に伴う内装、建具等） ○電気設備工事（トイレ改造に伴う幹線、電灯設備等） ○機械設備工事（トイレ改修に伴う換気、衛生、給排水設備等） ・外構工事一式 特記仕様書の範囲 特記仕様書は、本特記仕様書のほか以下の○印のもので構成する。 ・構造特記仕様書 ・外構工事特記仕様書 ・植栽工事特記仕様書 ○解体工事特記仕様書 ・電気設備工事特記仕様書 ・機械設備工事特記仕様書 ○可児市建設工事特記仕様書 別途工事 1. 共通仕様 (1) 図面及び本特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)(最新版)」（以下「改修標準仕様書」という。）による。 なお、改修標準仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)(最新版)」（以下「標準仕様書」という。）による。 (2) 電気設備改修工事及び機械設備改修工事を本工事に含む場合は、電気設備改修工事及び機械設備改修工事はそれぞれの工事特記仕様書を適用する。 (3) 受注者は建築基準法第7条の定めによる完了検査（同法第7条の3の定めによる中間検査を含む）時には、特定行政庁（建築主事等）が求める検査に必要な資料（報告書等）を用意すること。 2. 本特記仕様書の表記 (1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。 (2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。 ○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。 ○印と※印の付いた場合は、共に適用する。 (3) 特記事項に記載の（ ）内表示番号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。 特記事項に記載の〔 〕内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。 (4) 受注者は、南海トラフ地震防災対策強化地域における工事にあつては、南海トラフ地震に関連する情報（臨時）が気象庁から出された場合には、工事中断の措置をとるものとし、これに伴う必要な補強・落下防止等の保全処置を講じなければならない。 上記事項が発生した場合は、契約書第2.6条（臨時的措置）の規定による。 (5) 標準仕様書で「特記がなければ、」以降に具体的な材料・品質性能・工法・検査方法等を明示している場合において、それらが関係法令の改正等により（条例等を含む）に抵触する場合には、関係法令等の遵守（1.1.13）の規定を優先する。		⑧発生材の処理等 ※引渡しを要するもの（金属類 ※PCB含有物）(1.3.12) ・特別管理産業廃棄物（※廃石綿） ・現場において再利用を図るもの（ ） ・再生資材の活用を図るもの（ ） ・アスベスト成形板としての処理を要するもの ※改修標準仕様書の9章 環境配慮改修工事による ・PCB含有シーリング材の分析調査 ・第一次判定 現場にてサンプルを採取し、シーリング材種及び分析の要否の判定を行う 採取箇所数（計 箇所） 採取場所（※図示） ・第二次判定 専門分析機関にてPCB含有量の分析を行う 分析個数（計 個） ・除去処理工事 撤去工法 「標準施工要領書（日本シーリング工業会共同組合連合会/日本シーリング材工業会）」による 除去範囲（※図示） ※再生資源利用促進計画書及び再生資源利用計画書の提出 建設リサイクル法の実施に係る岐阜県指針に基づき、工事着手時に再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書を監督員に提出するものとする。 なお、計画書及び報告書は「建設副産物情報交換システム」（COBRIS）により作成したものとする。 種別 ・A種 ○B種 ・C種 ・D種 ・建設汚泥から再生した処理土⑩ [3.2.3][表3.2.1] ⑩砂利地盤 ※再生クラッシュラン ⑩ ・切込砂利又は切込砕石 [4.6.2] ⑪印は「国等による環境物品等の調達に関する法律（平成12年法律第100号）」（以下「グリーン購入法」という。）に基づく「環境物品等の調達の推進に関する基本方針の変更（平成13年2月8日閣議決定）」に定める特定調達物品等を示す。原則としてグリーン購入法における特定調達品目の使用に努める。 (1.4.1) 1) 建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次のi)からiv)を満たすものとする。 i) 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びブチレンを発生しない又は発生が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。 ii) 接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。 iii) 接着剤は、可塑性（フタル酸ジエーテル及びフタル酸ジエーテルヘキシル等を含む可塑性の可塑性剤を除く）が添加されていない材料を使用する。 iv) i)の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びブチレンを発生しないが、発生が極めて少ない材料を使用したものとする。 2) 設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分において、「規制対象外」とは次のi)又はii)に該当する材料を指し、同区分「第三種」とは次のiii)又はiv)に該当する材料を指す。 i) 建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド発散建築材料以外の材料 ii) 建築基準法施行令第20条の7第4項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料 iii) 建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第三種ホルムアルデヒド発散建築材料 iv) 建築基準法施行令第20条の7第3項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料 12) 材料の品質等 本工事に使用する材料等は、設計図書に定める品質及び性能を有するものとし、JIS又はJASマーク表示のない材料等は、次の1)から6)の事項を満たすものとする。 (1.4.2) 1) 品質及び性能に関する試験データが整備されていること。 2) 生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。 3) 安定的な供給が可能であること。 4) 法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。 5) 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 6) 販売、保守等の営業体制が整えられていること。 なお、これらの材料等を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料、又は外部機関が発行する資料等の写しを監督員に提出して承諾を受けるものとする。ただし、あらかじめ監督員の承諾を受けた場合はこの限りでない。 製材等、フローリング又は再生木質ボードを使用する場合は、グリーン購入法の基本方針の判断に基準に従い、あらかじめ、「木材・木材製品の合法性、持続可能性の証明のためのガイドライン」（林野庁 平成18年2月15日）に準拠した証明書を監督員へ提出する。 改修標準仕様書、標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法による。 14) 施工調査 ※施工計画調査 (1.5.1~3) 本工事該当部位及び関連部位について既存施設（埋設配管等を含む）について、施工計画作成のための事前調査、情報収集を行う。 報告書 監督員に2部提出 立面図、平面図等に記載、必要に応じ写真を添付 調査業者 外壁及び防水改修施工数量調査は、使用予定材料メーカーの指定する施工業者とする。 ・埋設配管の試験範囲、復旧方法 ※図示 ・施工数量調査（外壁改修）(1.5.2、3) 調査範囲 ※外壁改修範囲 ・図示 調査内容 ひび割れの幅及び長さ等を調査する。また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。 モルタル塗仕上げ及びタイル張り仕上げについては、浮き部分、欠損部の形状寸法等を調査する。 コンクリート表面のがれ及びひびはれ部を調査する。 塗り仕上げについては、コンクリートまたはモルタル表面のがれ及びひびはれ部を調査する。また、既存塗膜と新規上塗材との適合性を確認する。 既存部分の破壊を行った場合の補修方法 ・図示 ・既存塗膜の付着力試験 試験箇所及び箇所数については、監督員と協議の上決定する	① 共通事項 ⑮ 技能士 ⑯ 技能資格者 (1.6.3) ・溶接技能者（（一社）日本溶接協会が検定した技能資格を有する者） ・圧接技量資格者（JIS Z 3881（ガス圧接技術検定における試験方法及び判定基準）による技量を有する者） ⑰ 施工の検査等 ⑱ 施工の立会い ⑲ 化学物質の濃度測定 (1.6.9) 1) 着工前及び着工後に室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレンの濃度を測定し、測定結果を監督職員に報告する。 2) 測定対象室及び測定箇所数は次による。 測定対象室（ ） 測定箇所数（ ） ⑳ 初回打合せ時の設計図製本の提出 (1.8.1~3) (表1.8.1) ㉑ 完成時の提出書類 ㉒ 電子納品 測定方法 ※パッシブ採取による蒸気拡散式分析法 ・厚生労働省の標準法 測定物質 ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、スチレン、エチルベンゼン 換気 測定対象室のすべての窓及び扉（造り付け家具、押入れ等を含む。）を開放し30分換気する。 閉鎖 測定対象室のすべての窓及び扉を5時間閉鎖する。ただし、造り付け家具、押入れ等の扉は、開放したままとする。 測定 測定は、「閉鎖」の状態のまま行う。 測定時間は、原則として2.4時間とする。但し2.4時間測定が行えない場合は、8時間測定（10時30分～18時30分）とする。 測定位置は、室中央付近の床から1.2m～1.5mの高さとする。 ○設計図A3版二つ折り製本2部 (1.8.1~3) (表1.8.1) ○完成図（施工図、施工計画書を除く） ※新規に作成 ・既存完成図を修正 記載内容は監督職員と協議する。 可児市建設工事における取扱書類一覧により整理し提出する。 ※提出完成図（A3版二つ折り製本2部） ○保全に関する資料 提出 ※1部 ○施工図（・監督員の指示による） 提出 ※A3版二つ折り製本2部 ○施工計画書（・監督員の指示による） 提出 ※1部 本工事に係る施工図及び施工計画書の著作権者の権利は、当該建物における使用に限り、発注者に移譲するものとする。 製作図等で原因として提出が出来ないものは、原因に代わるものとしてよい。 設備機器の位置、取り合い等が検討できる施工図を提出し、監督職員との承諾を受ける。 完成図面電子データJWW形式又はDXF形式及びPDF形式又はTIFF形式(解像度300DPI程度)	① 共通事項 ㉒ 工事写真 23 設計G L ㉔ 建設機械 ㉕ 設備工事との取り合い ㉖ 事故報告 ㉗ 養生その他 ㉘ 完成写真 ㉙ 建設発生の処理 [3.2.5] 「建設発生情報交換システム」（一財）日本建設情報総合センター（JACIC）を活用し近隣の受入先を調査の上、搬出距離、受入条件等が確認できる資料を監督職員に提出し、協議により搬出先を決定する。搬出後、監督職員へ搬出先の受入を確認できる資料を提出する。 可児市建設発生土処理基準に基づき適正に処分すること。 ・場外指定場所へ搬出する。 ※搬出後、監督職員へ搬出先の受入を確認できる資料を提出する。 ・場内指定場所に敷き均し（ ） ・場内指定場所に堆積（ ） ・岐阜県建設発生土管理基準により土壌検査を行う。 ㉚ 書類の書式等 本工事に施工に関して提出する書類は、発注者が受注者に提示する「営繕工事の請負に係る書類」様式に基づき作成する。 ㉛ 概成工期 総合試験を行う上で、関連工事を含めた各工事が工期のおおむね10日前までに支障のない状況まで完了していること。 ㉜ 下請工業務 本工事に於いて、下請契約を締結する場合には、当該契約の相手方を岐阜県内に本店（建設業法（昭和24年法律第100号）に規定する主たる営業所含む。）を有する者の中から選定するよう努めること。 ㉝ 産業廃棄物の適正処理 産業廃棄物が搬出される工事にあつては、監督員の指示に従い、産業廃棄物の関連書類の提出及び確認並びに処理施設の現地確認並びに建設廃棄物処理状況の管理を行い、産業廃棄物の最終処分に至るまで適正に処理されていることを確認すること。 ㉞ 下請業者等 下請業者の選定に当たっては岐阜県入札参加資格停止の処置がなされていないこと。 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「営繕工事写真撮影要領（平成28年版）」による工事写真撮影ガイドブック（平成30年版）」及び国土交通省大臣官房官庁営繕部「デジタル工事写真の黒板情報電子化について」による他、監督員の指示により撮影し提出する。 ※設計G L = B M + mm（現状地盤高は図示） 1) 本工事においては「低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規程」（平成9年7月31日建設省告示第1536号、最終改正 平成13年4月9日国土交通省告示第487号）に基づき指定された建設機械を使用する。ただし、これにより難い場合は、監督職員と協議の上、必要書類を提出するものとする。 2) 本工事においては「第3次排出ガス対策型建設機械指定要領（平成18年3月17日国総施第215号、最終改定 平成23年7月13日国総環第1号）」に基づき指定された建設機械を使用する。排出ガス対策型建設機械を使用できない場合は、平成7年建設技術評価制公募課題「建設機械の排出ガス浄化装置の開発」、又はあるいはこれと同等の開発目標で実施された建設技術審査証明事業により評価された排出ガス浄化装置を装着することで、排出ガス対策機械と同等とみなす。ただし、これにより難い場合は、監督職員と協議するものとする。 排出ガス対策建設機械、又は排出ガス浄化装置を装着した建設機械を使用する場合、現場代理人は、施工現場において使用する建設機械の写真撮影を行い、監督員に提出するものとする。 本工事の施工範囲 ※図示した鉄筋コンクリート部の貫通孔、開口部の補強 ※図示した壁・天井の仕上材・下地材の切込み及び補強 ※自動閉鎖装置取付け箇所切込み及び補強 ※駆動装置が電動による建具等の2次側の配管・配線及び操作スイッチ 施工図 ※設備機器の位置、取合いなどの検討できる施工図を提出し、監督職員との承諾を受ける。 工事施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督職員に通知するとともに、事故発生報告書を監督職員に速やかに提出すること。 工事施工に際し、在来部分を汚損した場合又は損傷した場合は、構造・仕上げ共、在来にない補修すること。 ※粉じん対策 粉じんが発生する場合には、集塵機を設置すること。 工事車両の洗車及び道路の清掃すること。 搬出時等は、周辺道路への土砂等飛散防止に努めること。 工事車両の出入口及び出隅部分に透明板付の仮囲いや赤色灯を設置すること。 ・騒音対策 隣地境界点において騒音振動測定器を設置し、測定管理すること。 ・夜間照明 仮囲い上部に仮設夜間照明を設置すること。 撮影箇所数 ※（ ）箇所 ・航空写真（ ）箇所 ○監督員の指示による 本完成写真の著作権者の権利は、発注者に委譲するものとする。 提出内容 ※電子データ 1部 画素：長辺で2880PIX以上 記録方式：RGB（フルカラー）、JPEG最高画質 記録媒体：CD-R（ISO） ・カラープリント キヤベネ版（ ）部 アルバム（黒紙紙金文字300mm×300mm程度） ※無し ・有り ・四つ切（ ）枚 ※アルミ額縁 ・印刷用紙：A4縦 ・半切（ ）枚 ※アルミ額縁 ・撮影内容：監督員の指示による ・全紙（ ）枚 ※アルミ額縁 ・提出部数：監督員の指示による			
章 項目	特記事項	章 項目	特記事項	章 項目	特記事項	章 項目	特記事項
① 共通事項	① 適用基準等	① 共通事項	① 適用基準等	① 共通事項	① 適用基準等	① 共通事項	① 適用基準等
② 適用区分	② 適用区分	② 適用区分	② 適用区分	② 適用区分	② 適用区分	② 適用区分	② 適用区分
③ 工事実績情報サービス(CORINS)への登録	③ 工事実績情報サービス(CORINS)への登録	③ 工事実績情報サービス(CORINS)への登録	③ 工事実績情報サービス(CORINS)への登録	③ 工事実績情報サービス(CORINS)への登録	③ 工事実績情報サービス(CORINS)への登録	③ 工事実績情報サービス(CORINS)への登録	③ 工事実績情報サービス(CORINS)への登録
④ 施工計画書	④ 施工計画書	④ 施工計画書	④ 施工計画書	④ 施工計画書	④ 施工計画書	④ 施工計画書	④ 施工計画書
5 電気保安技術者	5 電気保安技術者	5 電気保安技術者	5 電気保安技術者	5 電気保安技術者	5 電気保安技術者	5 電気保安技術者	5 電気保安技術者
6 工用電力設備保安責任者	6 工用電力設備保安責任者	6 工用電力設備保安責任者	6 工用電力設備保安責任者	6 工用電力設備保安責任者	6 工用電力設備保安責任者	6 工用電力設備保安責任者	6 工用電力設備保安責任者
⑦ 施工条件	⑦ 施工条件	⑦ 施工条件	⑦ 施工条件	⑦ 施工条件	⑦ 施工条件	⑦ 施工条件	⑦ 施工条件

教育委員会事務局 教育総務課			
工事名	可児市立西可児中学校トイレ大規模改修工事（Ⅱ期）		
種別	建築改修特記仕様書 1	図面番号	A-01
縮尺	—	作成年月日	2024.10
設計者	株式会社 三宅設計		
氏名	一級建築士 大臣登録 第68278号	三宅晶信	

<p>① 共通事項</p> <p>③⑤ 軽微な変更等 現場の納まり、取り合い等の関係による協議の中で、形状寸法の軽微な変更は、監督員の指示による。なお、この場合請負金額の変更は行わない。</p> <p>③⑥ 事故防止策 安全施設の使用・設置 安全施設の使用・設置は関係法令等を遵守するほか次のとおり講じなければならない。 1) 原則、昇降用梯子で作業しないこと。ただし、やむを得ず作業する場合、本作業用、補助用の2丁掛としなければならない。 2) 墜落制止用具は一連の作業において観網の架け替え等が生じる場合、本作業用、補助用の2丁掛としなければならない。 定期安全訓練・研修等 受注者は、工事着手後、作業員全員の参加により月当たり、半日以上時間を割当て、次の各号から実施する内容を選択し、定期的に安全に関する研修・訓練等を実施しなければならない。 さらに、工事内容や現場状況に応じて、過去の事故事例集（下記URL参照）の活用により、工事現場で予想される事故防止対策を必ず実施すること。 1) 安全活動のビデオ等視覚資料による安全教育 2) 当該工事内容等の周知徹底 3) 工事安全に関する法令、通達、指針等の周知徹底 4) 当該工事における災害対策訓練 5) その他、安全・訓練等として必要な事項 https://www.pref.gifu.jp.ig.jp/shakai-kiban/kendo/gijutsu-kanri/11656/jikojireishuu.html</p> <p>③⑦ 工事着手前協議 受注者は工事請負契約後直ちに設計図書を確認し、受注者及び発注者側が現場状況を把握の上、設計と現場との整合性及び問題点を整理した後に、工事前協議を発注者側の発議により開催するものとする。なお、立会者は発注者側が指定する。</p> <p>38 県産材の利用 「公共施設県産材利用推進方針」（岐阜県）に基づいて県産材利用促進に取り組む。</p> <p>③⑨ 用語の読み替え 「日本工業規格」を「日本産業規格」に読み替える。 「改正工業標準化法（平成16年6月9日公布 法律第95号）」、「工業標準化法の一部を改正する法律（平成16年6月9日公布 法律95号）」、「改正工業標準化法（平成16年6月）をそれぞれ「産業標準化法」に読み替える。 適用日を令和元年7月1日とする。</p> <p>④⑩ その他 ディーゼルエンジン車両の適正燃料の使用について 1) ディーゼルエンジンを動力とする車両には、JIS規格の軽油を使用すること。 2) ディーゼルエンジンを動力とする車両の燃料検査があった場合には協力すること。</p>	<p>② 仮設工事</p> <p>⑥ 工事用水 構内既存の施設 ※利用できる（※有償・無償） ・利用できない</p> <p>⑦ 工事電力 構内既存の施設 ※利用できない ○利用できる（※有償・無償）</p> <p>8 確認済の表示 建築基準法第89条に基づく「確認があった旨」の表示をする。 ※適用する</p> <p>9 イメージアップ 工事概要及びイメージバースを印刷した看板を 箇所設置する。 なお、内容、設置位置については監督員と協議する。</p> <p>10 建設現場環境改善対象工事 ・担い手確保のための建設現場環境改善対象工事 「岐阜県都市建設部公共建築課発注の建設現場環境改善モデル工事実施要領」に基づき、「快適トイレ」を設置すること。</p>	<p>① 一般事項 防水工事は、専門業者の責任施工とする。 受注者は、防水材料製作所及び防水施工者と連名で年限保証する。 なお、防水の保証年限は、10年とする。</p> <p>2 既存防水の処理 既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去 (3.2.3~6) ・行う（・M4AS・M4AS1・M4C・M4D1・L4X）</p> <p>3 既存下地の処理 既存下地の補修箇所の形状、長さ、数量等 ※図示 (3.2.6)</p> <p>4 アスファルト防水 屋根保護防水 (3.1.4) (3.3.2~5) 防水層の種類 (表3.1.1) (表3.3.1~6)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>断熱材</th> <th>絶縁用シート</th> <th>立上り部の保護</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・P2A</td> <td>・A-1 ※A-2 ・A-3</td> <td>図示</td> <td></td> <td>※ポリエチレンフィルム 厚さ ・0.15mm以上</td> <td>※乾式保護 保護シート ・コンクリート 押入れが押え</td> </tr> <tr> <td>・P2AI</td> <td>・A1-1 ・A1-2 ・A1-3</td> <td></td> <td>(種類) JIS A 9521に基づく押出法 ポリスチレンフォーム断熱材 3種b A (スキン層付き) (厚さmm) ・25・50</td> <td>※フラットヤーンクロス 70g/m2程度</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・P1BI ・T1BI</td> <td>※B1-2 ・B1-3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>・乾式保護材 ・窯業系パネルⅠ類（寒冷地仕様）厚さ（ ）mm 幅（ ）mm ・窯業系パネルⅡ類（一般地仕様）厚さ（ ）mm 幅（ ）mm 窯業系パネル：無石綿の繊維質原料等を主原料として、板状に押出成形したオートクレープ養生したもの ・金属複合板 厚さ（ ）mm 幅（ ）mm 金属複合板：金属板と樹脂を積層一体化したものの</p> <p>屋根露出防水 (3.1.4) (3.3.2~5) 防水層の種類 (表3.1.1) (表3.3.7~9)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">工法</th> <th rowspan="2">種別</th> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th rowspan="2">断熱材</th> <th colspan="2">仕上塗料</th> <th rowspan="2">高日射反射率防水[S]</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>種類</th> <th>使用量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・M4C</td> <td>・C-1 ※C-2 ・C-3 ・C-4</td> <td>図示</td> <td></td> <td>・アスファルトルーフィング製の製造所の仕様による</td> <td>※アスファルトルーフィング製の製造所の仕様による</td> <td>・有 ※無</td> <td>脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない</td> </tr> <tr> <td>・M3D ・POD</td> <td>・D-1 ※D-2 ・D-3 ・D-4</td> <td></td> <td></td> <td>・アスファルトルーフィング製の製造所の仕様による</td> <td>※アスファルトルーフィング製の製造所の仕様による</td> <td>・有 ※無</td> <td>脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない</td> </tr> <tr> <td>・POD1 ・M3D1 ・M4D1</td> <td>・D1-1 ※D1-2</td> <td>改修標準仕様書 3.3.2(9) (種類)</td> <td></td> <td>・アスファルトルーフィング製の製造所の仕様による</td> <td>※アスファルトルーフィング製の製造所の仕様による</td> <td>・有 ※無</td> <td>脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない</td> </tr> </tbody> </table> <p>屋根露出防水絶縁工法及び屋根露出防水絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量 種類 ※アスファルトルーフィング製の製造所の指定 設置数量 個</p> <p>屋根露出防水絶縁断熱工法の場合、ルーフトレンドレン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置 ※図示</p> <p>☒：高日射反射率防水を示し、近赤外域における反射率が50.0%以上であること。日射反射率の求め方はJIS K 5602に準じる。☒</p> <p>屋内防水 (3.1.4) (3.3.2~5) (表3.1.1) (表3.3.10)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>保護層</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・P1E ・P2E</td> <td>・E-1 ・E-2</td> <td></td> <td>・設ける ・設けない</td> </tr> </tbody> </table> <p>・E-1の工程3を行う部位（※貯水槽、浴槽等常時水に接する部位） 押え金物の材質、形状及び寸法 ※アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度 屋根排水溝 ※図示</p>	工法	種別	施工箇所	断熱材	絶縁用シート	立上り部の保護	・P2A	・A-1 ※A-2 ・A-3	図示		※ポリエチレンフィルム 厚さ ・0.15mm以上	※乾式保護 保護シート ・コンクリート 押入れが押え	・P2AI	・A1-1 ・A1-2 ・A1-3		(種類) JIS A 9521に基づく押出法 ポリスチレンフォーム断熱材 3種b A (スキン層付き) (厚さmm) ・25・50	※フラットヤーンクロス 70g/m2程度		・P1BI ・T1BI	※B1-2 ・B1-3					工法	種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料		高日射反射率防水[S]	備考	種類	使用量	・M4C	・C-1 ※C-2 ・C-3 ・C-4	図示		・アスファルトルーフィング製の製造所の仕様による	※アスファルトルーフィング製の製造所の仕様による	・有 ※無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない	・M3D ・POD	・D-1 ※D-2 ・D-3 ・D-4			・アスファルトルーフィング製の製造所の仕様による	※アスファルトルーフィング製の製造所の仕様による	・有 ※無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない	・POD1 ・M3D1 ・M4D1	・D1-1 ※D1-2	改修標準仕様書 3.3.2(9) (種類)		・アスファルトルーフィング製の製造所の仕様による	※アスファルトルーフィング製の製造所の仕様による	・有 ※無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない	工法	種別	施工箇所	保護層	・P1E ・P2E	・E-1 ・E-2		・設ける ・設けない	<p>5 改質アスファルト防水 (3.1.4) (3.4.2~4)</p> <p>防水層の種類 (表3.1.1) (表3.4.1~3)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">工法</th> <th rowspan="2">種別</th> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th rowspan="2">断熱材</th> <th colspan="2">仕上塗料</th> <th rowspan="2">高日射反射率防水[S]</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>種類</th> <th>使用量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・M4AS</td> <td>・AS-T1 ・AS-T2 ・AS-J2</td> <td>図示</td> <td></td> <td>・改質アスファルトシートの製造所の仕様による</td> <td>※改質アスファルトシートの製造所の仕様による</td> <td>※有 ・無</td> <td>脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない</td> </tr> <tr> <td>・M3AS</td> <td>・AS-T3 ・AS-T4 ・AS-J1 ・AS-J3</td> <td></td> <td></td> <td>・改質アスファルトシートの製造所の仕様による</td> <td>※改質アスファルトシートの製造所の仕様による</td> <td>※有 ・無</td> <td>脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない</td> </tr> <tr> <td>・POAS</td> <td>・AS-T3 ・AS-T4 ・AS-J1 ・AS-J3</td> <td></td> <td></td> <td>・改質アスファルトシートの製造所の仕様による</td> <td>※改質アスファルトシートの製造所の仕様による</td> <td>※有 ・無</td> <td>脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない</td> </tr> <tr> <td>・M3AS1 ・M4AS1 ・POAS1</td> <td>・AS1-T1 ・AS1-J1</td> <td>改修標準仕様書 3.4.2(3) (種類)</td> <td></td> <td>・改質アスファルトシートの製造所の仕様による</td> <td>※改質アスファルトシートの製造所の仕様による</td> <td>※有 ・無</td> <td>脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない</td> </tr> </tbody> </table> <p>屋根露出防水絶縁工法及び屋根露出防水絶縁断熱工法の脱気装置の種類、設置数量 種類 ※改質アスファルトシートの製造所の指定 設置数量 ※改質アスファルトシートの製造所の指定 個 屋根露出防水絶縁断熱工法の防湿用シート（・設置する・設置しない） 押え金物の材質、形状及び寸法 ※アルミニウム製 L-30×15×2.0(mm)程度</p> <p>☒：高日射反射率防水を示し、近赤外域における反射率が50.0%以上であること。日射反射率の求め方はJIS K 5602に準じる。☒</p> <p>6 合成高分子ルーフィングシート防水 (3.1.4) (3.5.2~4)</p> <p>防水層の種類 (表3.1.1) (表3.5.1~2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">工法</th> <th rowspan="2">種別</th> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th rowspan="2">断熱材</th> <th colspan="2">仕上塗料</th> <th rowspan="2">高日射反射率防水[S]</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>種類</th> <th>使用量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・POS ・S4S</td> <td>・S-F1 ・S-F2 ・S-M1 ・S-M2 ・S-M3</td> <td>図示</td> <td></td> <td>・ルーフィングシートの製造所の仕様による</td> <td>※ルーフィングシートの製造所の仕様による</td> <td>※有 ・無</td> <td>脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない</td> </tr> <tr> <td>・S3S</td> <td>・S-F1 ・S-F2</td> <td></td> <td></td> <td>・ルーフィングシートの製造所の仕様による</td> <td>※ルーフィングシートの製造所の仕様による</td> <td>※有 ・無</td> <td>脱気装置 ・設ける ・設けない</td> </tr> <tr> <td>・M4S</td> <td>・S-M1 ・S-M2 ・S-M3</td> <td></td> <td></td> <td>・ルーフィングシートの製造所の仕様による</td> <td>※ルーフィングシートの製造所の仕様による</td> <td>※有 ・無</td> <td>脱気装置 ・設ける ・設けない</td> </tr> <tr> <td>・POS1 ・S3S1 ・S4S1 ・M4S1</td> <td>・SI-F1 ・SI-F2</td> <td>改修標準仕様書 3.5.2(3) (1) (a) (種類)</td> <td></td> <td>・ルーフィングシートの製造所の仕様による</td> <td>※ルーフィングシートの製造所の仕様による</td> <td>※有 ・無</td> <td>脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・SI-M1 ・SI-M2</td> <td>(厚さmm) ・25 ・50</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>分 類 ※非歩行・軽歩行 ☒：高日射反射率防水を示し、近赤外域における反射率が50.0%以上であること。日射反射率の求め方はJIS K 5602に準じる。☒</p> <p>建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を施工計画書として提出する。 機械的固定方法に使用するピン等の長さについては、監督職員立会いのもとピンの引き抜き試験（1箇所/200㎡）を行い、協議の上決定する。</p> <p>・S-M2の場合で立上りが接合工法の場合 立上り面のシート厚さ（※1.5mm） ・S1-M1及びS1-M2の場合における防湿用フィルム ・設置する・設置しない</p> <p>屋内防水 (表3.1.1) (表3.5.1~2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">種別</th> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th colspan="2">保護層</th> </tr> <tr> <th>平場のモルタル塗り</th> <th>立上り部の保護</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・S-C1</td> <td>図示</td> <td>塗厚さ ・床塗り工法 ・下地モルタル塗り</td> <td>保護モルタル塗厚 ※7mm以下</td> </tr> </tbody> </table> <p>床塗りの場合の床の目地 目地割り（※2㎡程度 最大目地間隔3m程度） 目地の種類（※押し目地）</p> <p>絶縁用シートの材質 ※発泡ポリエチレンシート 固定金具の材質及び寸法形状 ※厚さ0.4mm以上の防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板又はそれらの片面若しくは両面に樹脂を積層加工した鋼板</p> <p>脱気装置の種類及び設置数量 種類 ※ルーフィングシートの製造所の仕様 設置数量 ※ルーフィングシートの製造所の仕様 個</p> <p>接合工法の目地処理 プレキャストコンクリート下地（・） ・行う（・図示） ・行わない</p>	工法	種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料		高日射反射率防水[S]	備考	種類	使用量	・M4AS	・AS-T1 ・AS-T2 ・AS-J2	図示		・改質アスファルトシートの製造所の仕様による	※改質アスファルトシートの製造所の仕様による	※有 ・無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない	・M3AS	・AS-T3 ・AS-T4 ・AS-J1 ・AS-J3			・改質アスファルトシートの製造所の仕様による	※改質アスファルトシートの製造所の仕様による	※有 ・無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない	・POAS	・AS-T3 ・AS-T4 ・AS-J1 ・AS-J3			・改質アスファルトシートの製造所の仕様による	※改質アスファルトシートの製造所の仕様による	※有 ・無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない	・M3AS1 ・M4AS1 ・POAS1	・AS1-T1 ・AS1-J1	改修標準仕様書 3.4.2(3) (種類)		・改質アスファルトシートの製造所の仕様による	※改質アスファルトシートの製造所の仕様による	※有 ・無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない	工法	種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料		高日射反射率防水[S]	備考	種類	使用量	・POS ・S4S	・S-F1 ・S-F2 ・S-M1 ・S-M2 ・S-M3	図示		・ルーフィングシートの製造所の仕様による	※ルーフィングシートの製造所の仕様による	※有 ・無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない	・S3S	・S-F1 ・S-F2			・ルーフィングシートの製造所の仕様による	※ルーフィングシートの製造所の仕様による	※有 ・無	脱気装置 ・設ける ・設けない	・M4S	・S-M1 ・S-M2 ・S-M3			・ルーフィングシートの製造所の仕様による	※ルーフィングシートの製造所の仕様による	※有 ・無	脱気装置 ・設ける ・設けない	・POS1 ・S3S1 ・S4S1 ・M4S1	・SI-F1 ・SI-F2	改修標準仕様書 3.5.2(3) (1) (a) (種類)		・ルーフィングシートの製造所の仕様による	※ルーフィングシートの製造所の仕様による	※有 ・無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない		・SI-M1 ・SI-M2	(厚さmm) ・25 ・50						種別	施工箇所	保護層		平場のモルタル塗り	立上り部の保護	・S-C1	図示	塗厚さ ・床塗り工法 ・下地モルタル塗り	保護モルタル塗厚 ※7mm以下	<p>③ 防水改修工事</p> <p>7 塗膜防水 (3.1.4) (3.6.2~4) (表3.6.1)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">工法</th> <th rowspan="2">種別</th> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th colspan="2">仕上塗料</th> <th rowspan="2">高日射反射率防水[S]</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>種類</th> <th>使用量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・POX</td> <td>※X-1 ・X-2</td> <td>図示</td> <td>・製造所の仕様による</td> <td>※製造所の仕様による</td> <td>※有 ・無</td> <td>脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない</td> </tr> <tr> <td>・L4X</td> <td>・X-1 ※X-2</td> <td></td> <td>・製造所の仕様による</td> <td>※製造所の仕様による</td> <td>※有 ・無</td> <td>脱気装置 ・設ける ・設けない</td> </tr> </tbody> </table> <p>ウレタンゴム系塗膜防水X-1（絶縁工法）の脱気装置の種類及び設置数量 種類 ※主材料の製造所の仕様 設置数量 ※主材料の製造所の仕様 個 ☒：高日射反射率防水を示し、近赤外域における反射率が50.0%以上であること。日射反射率の求め方はJIS K 5602に準じる。☒</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">表3.6.2</th> </tr> <tr> <th>工法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>各工程数及び各工程の使用量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・PIY</td> <td>※Y-2</td> <td></td> <td>※主材料の製造所の仕様による</td> </tr> <tr> <td>・P2Y</td> <td>※Y-2</td> <td></td> <td>※主材料の製造所の仕様による</td> </tr> </tbody> </table> <p>⑧ シーリング (3.1.4) (3.7.2~8)</p> <p>① シーリング充填工法 ・シーリング再充填工法 ・拡幅シーリング再充填工法 ・ブリッジ工法 ポンドブローカー張り ・適用する ・適用しない エッジング材張り ・適用する ・適用しない</p> <p>シーリング材の種類、施工箇所 下表以外は、改修標準仕様書 表3.7.11による。 (表3.7.1)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>シーリング材の種類（記号）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>建具廻り</td> <td>○MS-2</td> </tr> <tr> <td>押出成型セメント板目地・廻り</td> <td>○PU-2</td> </tr> <tr> <td>面合・壁取合い</td> <td>○SR-1</td> </tr> </tbody> </table> <p>シーリング材の目地寸法 ※改修標準仕様書3.7.3(1) (7)~(9)による シーリング材の接着性試験 ※簡易接着性試験 引張接着性試験</p> <p>9 とい (3.8.2, 3)</p> <p>といその他の材種 ・配管用鋼管 ・硬質ポリ塩化ビニル管 ・ルーフトレンドレン ・ルーフトレンドレン材種その他 (表3.8.1)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 別</th> <th>材 種</th> <th>張掛け幅</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ろく屋根用（・縦型・横型）</td> <td></td> <td>・100mm以上 ・50mm以上</td> </tr> <tr> <td>・バルコニー用</td> <td></td> <td>・100mm以上 ・50mm以上</td> </tr> <tr> <td>・バルコニー中継用</td> <td></td> <td>・100mm以上 ・50mm以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>とい受金物及び足金物の材質、形状及び取付け間隔 ※標準仕様書 表3.8.2により溶融亜鉛メッキを行ったもの 多雪地域の軒どい取付間隔 ・適用する ロックウール保温筒及びビーズ法ポリエチレンフォーム保温筒のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 既存のといその他の撤去及び降雨等に対する養生方法 ※図示 鋼管製といの防露巻き ※改修標準仕様書 表3.8.4による</p> <p>10 アルミニウム製笠木 (表3.9.1) (3.9.2, 3)</p> <p>種類 ・オープン形式（・押出250形 ・押出300形 ・押出350形） ・押出175形 ・板材折曲げ形（・オープン形式 ・シール形式） 本体幅（ ）mm 板厚（※2.0mm mm） 表面処理 種別 ・A B-1種（※B B-1種 ・B B-2種 着色 ・ステンカラー ・ブロンズ ・ブラック系</p> <p>既存笠木等の撤去 ・行う（範囲 ・図示） ・行わない</p> <p>下地補修の工法 ※図示 板材折曲げ形の笠木の取付方法 ※図示 笠木の固定金具の工法等 建築基準法に基づき定まる風圧力（・1 ・1.15 ・1.3）倍の風圧力に対応した工法 [13.2.2, 3] [表13.2.1~3]</p> <p>11 長尺金属板葺 (表3.9.1) (3.9.2, 3)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>板及びコイルの種類</th> <th>塗膜の耐久性、めっき付着量等の種類及び記号</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>屋根葺形式</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>※JIS G 3322の屋根用コイル</td> <td></td> <td></td> <td>・心木なし瓦葺葺 ・立平葺 ・横掛葺 ・横葺</td> </tr> </tbody> </table> <p>下葺材料 ・アスファルトルーフィング 940 ・改質アスファルトルーフィング下葺材 ・一般タイプ ・複層タイプ ・粘着層付タイプ 工法 建築基準法に基づき定まる（・1 ・1.15 ・1.3）の風圧力に対応した工法 止め ・設置する（施工箇所 ・図示）</p>	工法	種別	施工箇所	仕上塗料		高日射反射率防水[S]	備考	種類	使用量	・POX	※X-1 ・X-2	図示	・製造所の仕様による	※製造所の仕様による	※有 ・無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない	・L4X	・X-1 ※X-2		・製造所の仕様による	※製造所の仕様による	※有 ・無	脱気装置 ・設ける ・設けない	表3.6.2				工法	種別	施工箇所	各工程数及び各工程の使用量	・PIY	※Y-2		※主材料の製造所の仕様による	・P2Y	※Y-2		※主材料の製造所の仕様による	施工箇所	シーリング材の種類（記号）	建具廻り	○MS-2	押出成型セメント板目地・廻り	○PU-2	面合・壁取合い	○SR-1	種 別	材 種	張掛け幅	・ろく屋根用（・縦型・横型）		・100mm以上 ・50mm以上	・バルコニー用		・100mm以上 ・50mm以上	・バルコニー中継用		・100mm以上 ・50mm以上	施工箇所	板及びコイルの種類	塗膜の耐久性、めっき付着量等の種類及び記号	厚さ (mm)	屋根葺形式		※JIS G 3322の屋根用コイル			・心木なし瓦葺葺 ・立平葺 ・横掛葺 ・横葺
工法	種別	施工箇所	断熱材	絶縁用シート	立上り部の保護																																																																																																																																																																																																																																												
・P2A	・A-1 ※A-2 ・A-3	図示		※ポリエチレンフィルム 厚さ ・0.15mm以上	※乾式保護 保護シート ・コンクリート 押入れが押え																																																																																																																																																																																																																																												
・P2AI	・A1-1 ・A1-2 ・A1-3		(種類) JIS A 9521に基づく押出法 ポリスチレンフォーム断熱材 3種b A (スキン層付き) (厚さmm) ・25・50	※フラットヤーンクロス 70g/m2程度																																																																																																																																																																																																																																													
・P1BI ・T1BI	※B1-2 ・B1-3																																																																																																																																																																																																																																																
工法	種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料		高日射反射率防水[S]	備考																																																																																																																																																																																																																																										
				種類	使用量																																																																																																																																																																																																																																												
・M4C	・C-1 ※C-2 ・C-3 ・C-4	図示		・アスファルトルーフィング製の製造所の仕様による	※アスファルトルーフィング製の製造所の仕様による	・有 ※無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない																																																																																																																																																																																																																																										
・M3D ・POD	・D-1 ※D-2 ・D-3 ・D-4			・アスファルトルーフィング製の製造所の仕様による	※アスファルトルーフィング製の製造所の仕様による	・有 ※無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない																																																																																																																																																																																																																																										
・POD1 ・M3D1 ・M4D1	・D1-1 ※D1-2	改修標準仕様書 3.3.2(9) (種類)		・アスファルトルーフィング製の製造所の仕様による	※アスファルトルーフィング製の製造所の仕様による	・有 ※無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない																																																																																																																																																																																																																																										
工法	種別	施工箇所	保護層																																																																																																																																																																																																																																														
・P1E ・P2E	・E-1 ・E-2		・設ける ・設けない																																																																																																																																																																																																																																														
工法	種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料		高日射反射率防水[S]	備考																																																																																																																																																																																																																																										
				種類	使用量																																																																																																																																																																																																																																												
・M4AS	・AS-T1 ・AS-T2 ・AS-J2	図示		・改質アスファルトシートの製造所の仕様による	※改質アスファルトシートの製造所の仕様による	※有 ・無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない																																																																																																																																																																																																																																										
・M3AS	・AS-T3 ・AS-T4 ・AS-J1 ・AS-J3			・改質アスファルトシートの製造所の仕様による	※改質アスファルトシートの製造所の仕様による	※有 ・無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない																																																																																																																																																																																																																																										
・POAS	・AS-T3 ・AS-T4 ・AS-J1 ・AS-J3			・改質アスファルトシートの製造所の仕様による	※改質アスファルトシートの製造所の仕様による	※有 ・無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない																																																																																																																																																																																																																																										
・M3AS1 ・M4AS1 ・POAS1	・AS1-T1 ・AS1-J1	改修標準仕様書 3.4.2(3) (種類)		・改質アスファルトシートの製造所の仕様による	※改質アスファルトシートの製造所の仕様による	※有 ・無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない																																																																																																																																																																																																																																										
工法	種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料		高日射反射率防水[S]	備考																																																																																																																																																																																																																																										
				種類	使用量																																																																																																																																																																																																																																												
・POS ・S4S	・S-F1 ・S-F2 ・S-M1 ・S-M2 ・S-M3	図示		・ルーフィングシートの製造所の仕様による	※ルーフィングシートの製造所の仕様による	※有 ・無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない																																																																																																																																																																																																																																										
・S3S	・S-F1 ・S-F2			・ルーフィングシートの製造所の仕様による	※ルーフィングシートの製造所の仕様による	※有 ・無	脱気装置 ・設ける ・設けない																																																																																																																																																																																																																																										
・M4S	・S-M1 ・S-M2 ・S-M3			・ルーフィングシートの製造所の仕様による	※ルーフィングシートの製造所の仕様による	※有 ・無	脱気装置 ・設ける ・設けない																																																																																																																																																																																																																																										
・POS1 ・S3S1 ・S4S1 ・M4S1	・SI-F1 ・SI-F2	改修標準仕様書 3.5.2(3) (1) (a) (種類)		・ルーフィングシートの製造所の仕様による	※ルーフィングシートの製造所の仕様による	※有 ・無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない																																																																																																																																																																																																																																										
	・SI-M1 ・SI-M2	(厚さmm) ・25 ・50																																																																																																																																																																																																																																															
種別	施工箇所	保護層																																																																																																																																																																																																																																															
		平場のモルタル塗り	立上り部の保護																																																																																																																																																																																																																																														
・S-C1	図示	塗厚さ ・床塗り工法 ・下地モルタル塗り	保護モルタル塗厚 ※7mm以下																																																																																																																																																																																																																																														
工法	種別	施工箇所	仕上塗料		高日射反射率防水[S]	備考																																																																																																																																																																																																																																											
			種類	使用量																																																																																																																																																																																																																																													
・POX	※X-1 ・X-2	図示	・製造所の仕様による	※製造所の仕様による	※有 ・無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない																																																																																																																																																																																																																																											
・L4X	・X-1 ※X-2		・製造所の仕様による	※製造所の仕様による	※有 ・無	脱気装置 ・設ける ・設けない																																																																																																																																																																																																																																											
表3.6.2																																																																																																																																																																																																																																																	
工法	種別	施工箇所	各工程数及び各工程の使用量																																																																																																																																																																																																																																														
・PIY	※Y-2		※主材料の製造所の仕様による																																																																																																																																																																																																																																														
・P2Y	※Y-2		※主材料の製造所の仕様による																																																																																																																																																																																																																																														
施工箇所	シーリング材の種類（記号）																																																																																																																																																																																																																																																
建具廻り	○MS-2																																																																																																																																																																																																																																																
押出成型セメント板目地・廻り	○PU-2																																																																																																																																																																																																																																																
面合・壁取合い	○SR-1																																																																																																																																																																																																																																																
種 別	材 種	張掛け幅																																																																																																																																																																																																																																															
・ろく屋根用（・縦型・横型）		・100mm以上 ・50mm以上																																																																																																																																																																																																																																															
・バルコニー用		・100mm以上 ・50mm以上																																																																																																																																																																																																																																															
・バルコニー中継用		・100mm以上 ・50mm以上																																																																																																																																																																																																																																															
施工箇所	板及びコイルの種類	塗膜の耐久性、めっき付着量等の種類及び記号	厚さ (mm)	屋根葺形式																																																																																																																																																																																																																																													
	※JIS G 3322の屋根用コイル			・心木なし瓦葺葺 ・立平葺 ・横掛葺 ・横葺																																																																																																																																																																																																																																													
教育委員会事務局 教育総務課																																																																																																																																																																																																																																																	
工事名	可見市立西可児中学校トイレ大規模改修工事（Ⅱ期）																																																																																																																																																																																																																																																
種 別	建築改修特記仕様書 2	図面番号	A-02																																																																																																																																																																																																																																														
縮 尺	—	作成年月日	2025.9																																																																																																																																																																																																																																														
設計者	株式会社 三宅設計																																																																																																																																																																																																																																																
氏名	一級建築士 大臣登録 第68278号 三宅晶信																																																																																																																																																																																																																																																

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
3	防水改修工事	<p>12 折板葺</p> <p>[13.2.2][13.3.2、3][表13.2.1]</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>形式</th> <th>山高、山ピッチによる区分</th> <th>耐力による区分</th> <th>材料による区分</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>軒先面戸板</th> <th>耐火性能</th> </tr> <tr> <td>・重ね形</td> <td>・はげ締め形</td> <td>・山高</td> <td>・山ピッチ</td> <td>・()種</td> <td>※鋼板製</td> <td>・有リ</td> <td>・30分</td> </tr> <tr> <td>・かみ合形</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・アルミニウム合金板製</td> <td>・無し</td> <td>・無し</td> </tr> </table> <p>材料 板及びコイルの種類 () 塗膜の耐久性、めっき付着量等の種類及び記号 () タイフレームにJIS G 3302以外の鋼材を直接外気の影響を受けない屋内で使用する場合の表面処理 標準仕様書表14.2.2による ・E種 ・F種 断熱材 ・有リ(種別:) 厚さ(mm): 防火性能: (時間) 無し 工法 建築基準法に基づき定まる (・1 ・1.15 ・1.3)の風圧力に対応した工法 折板のけらば納め ※けらば包みによる方法</p>	施工箇所	形式	山高、山ピッチによる区分	耐力による区分	材料による区分	厚さ(mm)	軒先面戸板	耐火性能	・重ね形	・はげ締め形	・山高	・山ピッチ	・()種	※鋼板製	・有リ	・30分	・かみ合形					・アルミニウム合金板製	・無し	・無し	4-2	3 浮き部改修工法	<p>(4.1.4)(4.2.2)(4.4.4)(4.4.4、10~15)</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">工法の種類</th> <th colspan="2">アンカーピンの本数 (本/m²)</th> <th colspan="2">注入口の箇所数 (箇所/m²)</th> <th rowspan="2">注入量 (ml/箇所)</th> </tr> <tr> <th>一般部</th> <th>指定部</th> <th>一般部</th> <th>指定部</th> </tr> <tr> <td>○アンカーピンニング</td> <td>※16</td> <td>※25</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>※25</td> </tr> <tr> <td>部分エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※13</td> <td>※20</td> <td>※12</td> <td>※20</td> <td>※25</td> </tr> <tr> <td>全面エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※13</td> <td>※20</td> <td>※12</td> <td>※20</td> <td>※50</td> </tr> <tr> <td>全面ポリマーセメントスラリー注入工法</td> <td>※13</td> <td>※20</td> <td>※12</td> <td>※20</td> <td>※50</td> </tr> <tr> <td>※注入口付アンカーピンニング</td> <td>※16</td> <td>※16</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>※25</td> </tr> <tr> <td>部分エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※25</td> </tr> <tr> <td>全面エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※50</td> </tr> <tr> <td>全面ポリマーセメントスラリー注入工法</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※50</td> </tr> <tr> <td>・充填工法</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>・モルタル塗替え工法</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table> <p>狭幅部のアンカーピン及び注入口は幅中央に各々5本/mとする</p> <p>※アンカーピンニング試験方法 引張試験: 1箇所/浮き部100㎡かつ4面行うこと 引張強度: 1.2N/mm²以上とする</p> <p>アンカーピンの材質 ※ステンレス鋼(SUS304)呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工をしたもの</p> <p>注入口付アンカーピンの材質 ※ステンレス鋼(SUS304)呼び径6mm程度</p> <p>充填工法 (4.4.8) ・エポキシ樹脂モルタル ・ポリマーセメントモルタル</p> <p>モルタル塗替え工法 (4.4.9)(表4.4.1、2) ・現場調査材料 ・既調査材料 仕上厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置 ※図示</p>	工法の種類	アンカーピンの本数 (本/m ²)		注入口の箇所数 (箇所/m ²)		注入量 (ml/箇所)	一般部	指定部	一般部	指定部	○アンカーピンニング	※16	※25	-	-	※25	部分エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※12	※20	※25	全面エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※12	※20	※50	全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※13	※20	※12	※20	※50	※注入口付アンカーピンニング	※16	※16	-	-	※25	部分エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※9	※16	※25	全面エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※9	※16	※50	全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※9	※16	※9	※16	※50	・充填工法	-	-	-	-	-	・モルタル塗替え工法	-	-	-	-	-	4-3	外壁改修(タイル張り仕上げ外壁改修)	<p>※アンカーピンニング試験方法 引張試験: 1箇所/浮き部100㎡かつ4面行うこと 引張強度: 1.2N/mm²以上とする</p> <p>アンカーピンの材質 ※ステンレス鋼(SUS304)呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工をしたもの</p> <p>注入口付アンカーピンの材質 ※ステンレス鋼(SUS304)呼び径6mm程度</p> <p>充填工法 (4.4.8) ・エポキシ樹脂モルタル ・ポリマーセメントモルタル</p> <p>モルタル塗替え工法 (4.4.9)(表4.4.1、2) ・現場調査材料 ・既調査材料 仕上厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置 ※図示</p> <p>伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地の位置 ※改修標準仕様書表4.5.11による 外装タイル張り下地等の下地モルタル及び下地調整材塗りの接着力試験(表4.5.2) ・行う ・行わない</p> <p>アンカーピンによるタイル(セラミックタイル)張り (表4.5.3、4) 下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理 ・目荒らし工法(改修標準仕様書4.4.9(3)による) ・ タイル張りの工法 ・外装タイル(・密着張り ・改良圧着張り ・改良積上げ張り) ・ 外装ユニットタイル(・マスク張り ・モザイクタイル張り) ・ シーリング 改修特記仕様書3章 防水改修工事による</p> <p>有機系接着剤によるタイル(セラミックタイル)張り (表4.5.5) 下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理 ・目荒らし工法(改修標準仕様書4.4.9(3)による) ・ シーリングの種類 打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地 ※ポリウレタン系 ・ 伸縮調整目地その他の目地 ※変成シリコン系 ・ シーリングのその他事項は、改修特記仕様書3章 防水改修工事による</p> <p>目地ひび割れ部改修工法 (4.1.4)(4.2.2)(4.5.16) ・伸縮調整目地改修工法 伸縮調整目地の位置及び寸法 ・図示 ・ シーリングは、改修特記仕様書3章 防水改修工事による</p> <p>5 タイルの形状、寸法等 (4.1.4)(4.2.2)(表4.2.3)</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th rowspan="2">形状寸法(mm)</th> <th rowspan="2">再生材の適用</th> <th colspan="3">吸水率による区分</th> <th rowspan="2">役割</th> <th rowspan="2">色</th> <th rowspan="2">耐凍害性</th> <th rowspan="2">耐滑り性</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>I</th> <th>II</th> <th>III</th> </tr> <tr> <td>・手動式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上~0.3未満</td> <td>50~100</td> <td>・40</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上~1.0以下</td> <td>200~300</td> <td>・120</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・手動式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上~0.3未満</td> <td>50~100</td> <td>・40</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上~1.0以下</td> <td>200~300</td> <td>・120</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・手動式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上~0.3未満</td> <td>50~100</td> <td>・40</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上~1.0以下</td> <td>200~300</td> <td>・120</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・手動式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上~0.3未満</td> <td>50~100</td> <td>・40</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上~1.0以下</td> <td>200~300</td> <td>・120</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>エポキシ樹脂 ※低粘度形(0.5mm未満) ※中粘度形(0.5mm以上) 注入状況の確認方法 ※目視により充填状況を確認する</p> <p>・ウカットシール材充填工法 (4.5.6) ・シーリング材 充填材料の種類 ※1成分形又は2成分形ポリウレタン系 ・ シーリング材のうえにポリマーセメントモルタルの充填 ・行う ・行わない</p> <p>・可とう性エポキシ樹脂</p> <p>2 欠損部改修工法 (4.1.4)(4.2.2)(4.5.3)(4.5.7)</p> <p>・タイル部分張替え工法 接着剤の種類 ・ポリマーセメントモルタル ・JIS A 5557に基づく一液反応硬化形成シリコン樹脂系</p> <p>・タイル張替え工法 (4.5.8) 張替え用材料 ・接着剤 JIS A 5557に基づく一液反応硬化形成シリコン樹脂系 ・張付けモルタル(・現場調査材料 ・既調査モルタル)</p> <p>伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地の位置 ※改修標準仕様書表4.5.11による 外装タイル張り下地等の下地モルタル及び下地調整材塗りの接着力試験(表4.5.2) ・行う ・行わない</p> <p>・セメントモルタルによるタイル(セラミックタイル)張り (表4.5.3、4) 下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理 ・目荒らし工法(改修標準仕様書4.4.9(3)による) ・ タイル張りの工法 ・外装タイル(・密着張り ・改良圧着張り ・改良積上げ張り) ・ 外装ユニットタイル(・マスク張り ・モザイクタイル張り) ・ シーリング 改修特記仕様書3章 防水改修工事による</p> <p>有機系接着剤によるタイル(セラミックタイル)張り (表4.5.5) 下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理 ・目荒らし工法(改修標準仕様書4.4.9(3)による) ・ シーリングの種類 打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地 ※ポリウレタン系 ・ 伸縮調整目地その他の目地 ※変成シリコン系 ・ シーリングのその他事項は、改修特記仕様書3章 防水改修工事による</p> <p>3 浮き部改修工法 (4.1.4)(4.2.2)(4.5.4)(4.5.9~15)</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">工法の種類</th> <th colspan="2">アンカーピンの本数 (本/m²)</th> <th colspan="2">注入口の箇所数 (箇所/m²)</th> <th rowspan="2">注入量 (ml/箇所)</th> </tr> <tr> <th>一般部</th> <th>指定部</th> <th>一般部</th> <th>指定部</th> </tr> <tr> <td>・アンカーピンニング</td> <td>※16</td> <td>※25</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>※25</td> </tr> <tr> <td>部分エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※13</td> <td>※20</td> <td>※12</td> <td>※20</td> <td>※25</td> </tr> <tr> <td>全面エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※13</td> <td>※20</td> <td>※12</td> <td>※20</td> <td>※50</td> </tr> <tr> <td>全面ポリマーセメントスラリー注入工法</td> <td>※13</td> <td>※20</td> <td>※12</td> <td>※20</td> <td>※50</td> </tr> <tr> <td>※注入口付アンカーピンニング</td> <td>※16</td> <td>※16</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>※25</td> </tr> <tr> <td>部分エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※25</td> </tr> <tr> <td>全面エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※50</td> </tr> <tr> <td>全面ポリマーセメントスラリー注入工法</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※50</td> </tr> <tr> <td>・充填工法</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>・モルタル塗替え工法</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table> <p>狭幅部のアンカーピン及び注入口は幅中央に各々5本/mとする</p>	施工箇所	形状寸法(mm)	再生材の適用	吸水率による区分			役割	色	耐凍害性	耐滑り性	備考	I	II	III	・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~0.3未満	50~100	・40	・	・	・	・	・	・	・	・自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~1.0以下	200~300	・120	・	・	・	・	・	・	・	・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~0.3未満	50~100	・40	・	・	・	・	・	・	・	・自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~1.0以下	200~300	・120	・	・	・	・	・	・	・	・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~0.3未満	50~100	・40	・	・	・	・	・	・	・	・自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~1.0以下	200~300	・120	・	・	・	・	・	・	・	・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~0.3未満	50~100	・40	・	・	・	・	・	・	・	・自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~1.0以下	200~300	・120	・	・	・	・	・	・	・	工法の種類	アンカーピンの本数 (本/m ²)		注入口の箇所数 (箇所/m ²)		注入量 (ml/箇所)	一般部	指定部	一般部	指定部	・アンカーピンニング	※16	※25	-	-	※25	部分エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※12	※20	※25	全面エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※12	※20	※50	全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※13	※20	※12	※20	※50	※注入口付アンカーピンニング	※16	※16	-	-	※25	部分エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※9	※16	※25	全面エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※9	※16	※50	全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※9	※16	※9	※16	※50	・充填工法	-	-	-	-	-	・モルタル塗替え工法	-	-	-	-	-	5	目地改修工法 (4.1.4)(4.2.2)(4.5.16) ・伸縮調整目地改修工法 伸縮調整目地の位置及び寸法 ・図示 ・ シーリングは、改修特記仕様書3章 防水改修工事による	5	4 マスチック塗材塗り (4.1.5)(4.7.2)(表4.7.1)	<p>4-1</p>	外壁改修(コンクリート打放し仕上げ外壁改修)	<p>1 ひび割れ部改修工法 (4.1.4)(4.2.2)(4.3.2)(4.3.3)(4.3.4)</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">工法の種類</th> <th colspan="2">ひび割れ幅(mm)</th> <th colspan="2">注入口間隔(mm)</th> <th rowspan="2">注入量 (ml/m)</th> </tr> <tr> <th>一般部</th> <th>指定部</th> <th>一般部</th> <th>指定部</th> </tr> <tr> <td>※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上~1.0以下</td> <td>※200~300</td> <td>※200~300</td> <td>※120</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・手動式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上~0.3未満</td> <td>50~100</td> <td>・40</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上~1.0以下</td> <td>200~300</td> <td>・120</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・手動式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上~0.3未満</td> <td>50~100</td> <td>・40</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上~1.0以下</td> <td>200~300</td> <td>・120</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・手動式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上~0.3未満</td> <td>50~100</td> <td>・40</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上~1.0以下</td> <td>200~300</td> <td>・120</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>エポキシ樹脂 ※低粘度形(0.5mm未満) ※中粘度形(0.5mm以上) 注入状況の確認方法 ※目視により充填状況を確認する</p> <p>・ウカットシール材充填工法 (4.3.5) ・シーリング材 充填材料の種類 ※1成分形又は2成分形ポリウレタン系 ・ シーリング材のうえにポリマーセメントモルタルの充填 ・行う ・行わない</p> <p>・可とう性エポキシ樹脂</p> <p>・シール工法 (4.3.6) ・パテ状エポキシ樹脂 ・可とう性エポキシ樹脂</p> <p>・充填工法 (4.3.7) ・エポキシ樹脂モルタル ・ポリマーセメントモルタル</p> <p>2 欠損部改修工法 (4.1.4)(4.2.2)(4.3.3)</p> <p>・充填工法 ・エポキシ樹脂モルタル ・ポリマーセメントモルタル</p>	工法の種類	ひび割れ幅(mm)		注入口間隔(mm)		注入量 (ml/m)	一般部	指定部	一般部	指定部	※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~1.0以下	※200~300	※200~300	※120	・	・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~0.3未満	50~100	・40	・	・	・自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~1.0以下	200~300	・120	・	・	・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~0.3未満	50~100	・40	・	・	・自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~1.0以下	200~300	・120	・	・	・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~0.3未満	50~100	・40	・	・	・自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~1.0以下	200~300	・120	・	・	4-2	外壁改修(モルタル塗り仕上げ外壁改修)	<p>1 ひび割れ部改修工法 (4.1.4)(4.2.2)(4.4.2)(4.4.5)</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">工法の種類</th> <th colspan="2">ひび割れ幅(mm)</th> <th colspan="2">注入口間隔(mm)</th> <th rowspan="2">注入量 (ml/m)</th> </tr> <tr> <th>一般部</th> <th>指定部</th> <th>一般部</th> <th>指定部</th> </tr> <tr> <td>※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上~1.0以下</td> <td>200~300</td> <td>200~300</td> <td>120</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・手動式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上~0.3未満</td> <td>50~100</td> <td>・40</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上~1.0以下</td> <td>200~300</td> <td>・120</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・手動式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上~0.3未満</td> <td>50~100</td> <td>・40</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上~1.0以下</td> <td>200~300</td> <td>・120</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・手動式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上~0.3未満</td> <td>50~100</td> <td>・40</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上~1.0以下</td> <td>200~300</td> <td>・120</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>エポキシ樹脂 ※低粘度形(0.5mm未満) ※中粘度形(0.5mm以上) 注入状況の確認方法 ※目視により充填状況を確認する</p> <p>・ウカットシール材充填工法 (4.4.6) ・シーリング材 充填材料の種類 ※1成分形又は2成分形ポリウレタン系 ・ シーリング材のうえにポリマーセメントモルタルの充填 ・行う ・行わない</p> <p>・可とう性エポキシ樹脂</p> <p>・シール工法 (4.4.7) ・パテ状エポキシ樹脂 ・可とう性エポキシ樹脂</p> <p>・充填工法 (4.4.8) ・エポキシ樹脂モルタル ・ポリマーセメントモルタル</p> <p>モルタル塗替え工法 (4.4.9)(表4.4.1、2) ・現場調査材料 ・既調査材料 仕上厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置 ※図示</p> <p>2 欠損部改修工法 (4.1.4)(4.2.2)(4.4.3)</p> <p>・充填工法 ・エポキシ樹脂モルタル ・ポリマーセメントモルタル</p>	工法の種類	ひび割れ幅(mm)		注入口間隔(mm)		注入量 (ml/m)	一般部	指定部	一般部	指定部	※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~1.0以下	200~300	200~300	120	・	・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~0.3未満	50~100	・40	・	・	・自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~1.0以下	200~300	・120	・	・	・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~0.3未満	50~100	・40	・	・	・自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~1.0以下	200~300	・120	・	・	・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~0.3未満	50~100	・40	・	・	・自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~1.0以下	200~300	・120	・	・	4-3	外壁改修(タイル張り仕上げ外壁改修)	<p>1 既存塗膜等の除去、下地処理及び下地調整 (表4.6.2~5)</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">工法</th> <th colspan="2">処理範囲</th> <th rowspan="2">下地面の補修</th> </tr> <tr> <th>サンダー工法</th> <th>※既存仕上げ面全体 ・図示</th> <th>※ひび割れ部改修工法</th> </tr> <tr> <td>・高圧水洗工法(30MPa程度以上)</td> <td>※既存仕上げ面全体 ・図示 <td>※浮き部改修工法</td> <td>※欠損部改修工法</td> </td></tr> <tr> <td>・塗膜はく離工法</td> <td>※既存仕上げ面全体 ・図示</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・水洗工法(15MPa程度)</td> <td>※サンダー工法、高圧水洗工法、塗膜はく離工法の処理範囲以外の既存仕上げ面全面 ・図示</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>標準的な曲がりの役物は一体成形とする 試験張り ・行う ・行わない 見本焼き ・行う ・行わない</p> <p>2 下地調整塗材 (4.6.3、4) ※下地調整塗材 ・ポリマーセメントモルタル</p> <p>3 仕上塗材仕上げ (4.1.5)(4.2.2)(4.6.5) ※規制対象外 新規仕上塗材の種類 (表4.2.4~6)</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">種類</th> <th rowspan="2">呼び名</th> <th rowspan="2">防火材料</th> <th colspan="2">仕上げの形状及び工法等</th> </tr> <tr> <th>薄付け仕上塗材</th> <th>厚付け仕上塗材</th> </tr> <tr> <td rowspan="4">・薄付け仕上塗材</td> <td>・外装薄塗材 S i</td> <td>・砂壁状 ・さざ波状 ・平たん状</td> <td>・吹出し ・凸部処理 ・平たん状</td> <td>・吹出し ・凸部処理 ・平たん状</td> </tr> <tr> <td>・可とう形外装薄塗材 S i</td> <td>・ゆず肌状(・吹付け・ローラー塗り)</td> <td>・凹凸状(・吹付け・こて塗り)</td> <td>・凹凸状(・吹付け・こて塗り)</td> </tr> <tr> <td>・外装薄塗材 E</td> <td>・可とう形外装薄塗材 E</td> <td>・防水形外装薄塗材 E</td> <td>・防水形外装薄塗材 E</td> </tr> <tr> <td>・防水形外装薄塗材 E</td> <td>・可とう形外装薄塗材 E</td> <td>・防水形外装薄塗材 E</td> <td>・防水形外装薄塗材 E</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">・厚付け仕上塗材</td> <td>・外装厚塗材 C</td> <td>・吹出し ・凸部処理 ・平たん状</td> <td>・凹凸状(・吹付け・こて塗り)</td> <td>・凹凸状(・吹付け・こて塗り)</td> </tr> <tr> <td>・外装厚塗材 S i</td> <td>・吹出し ・凸部処理 ・平たん状</td> <td>・凹凸状(・吹付け・こて塗り)</td> <td>・凹凸状(・吹付け・こて塗り)</td> </tr> <tr> <td>・外装厚塗材 E</td> <td>・吹出し ・凸部処理 ・平たん状</td> <td>・凹凸状(・吹付け・こて塗り)</td> <td>・凹凸状(・吹付け・こて塗り)</td> </tr> <tr> <td>・防水形外装厚塗材 E</td> <td>・吹出し ・凸部処理 ・平たん状</td> <td>・凹凸状(・吹付け・こて塗り)</td> <td>・凹凸状(・吹付け・こて塗り)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・複層仕上塗材</td> <td>・複層塗材 C E</td> <td>・吹出し ・凸部処理 ・平たん状</td> <td>・凹凸状(・吹付け・こて塗り)</td> <td>・凹凸状(・吹付け・こて塗り)</td> </tr> <tr> <td>・可とう形複層塗材 C E</td> <td>・吹出し ・凸部処理 ・平たん状</td> <td>・凹凸状(・吹付け・こて塗り)</td> <td>・凹凸状(・吹付け・こて塗り)</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">・可とう形改修用仕上塗材</td> <td>・複層塗材 S i</td> <td>・吹出し ・凸部処理 ・平たん状</td> <td>・凹凸状(・吹付け・こて塗り)</td> <td>・凹凸状(・吹付け・こて塗り)</td> </tr> <tr> <td>・複層塗材 E</td> <td>・吹出し ・凸部処理 ・平たん状</td> <td>・凹凸状(・吹付け・こて塗り)</td> <td>・凹凸状(・吹付け・こて塗り)</td> </tr> <tr> <td>・防水形複層塗材 C E</td> <td>・吹出し ・凸部処理 ・平たん状</td> <td>・凹凸状(・吹付け・こて塗り)</td> <td>・凹凸状(・吹付け・こて塗り)</td> </tr> <tr> <td>・防水形複層塗材 E</td> <td>・吹出し ・凸部処理 ・平たん状</td> <td>・凹凸状(・吹付け・こて塗り)</td> <td>・凹凸状(・吹付け・こて塗り)</td> </tr> <tr> <td>・防水形複層塗材 R E</td> <td>・吹出し ・凸部処理 ・平たん状</td> <td>・凹凸状(・吹付け・こて塗り)</td> <td>・凹凸状(・吹付け・こて塗り)</td> </tr> <tr> <td>・防水形複層塗材 R S</td> <td>・吹出し ・凸部処理 ・平たん状</td> <td>・凹凸状(・吹付け・こて塗り)</td> <td>・凹凸状(・吹付け・こて塗り)</td> </tr> </table> <p>4 マスチック塗材塗り (4.1.5)(4.7.2)(表4.7.1)</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">種類</th> <th colspan="2">呼び名</th> <th rowspan="2">防火材料</th> <th rowspan="2">仕上げの形状及び工法等</th> </tr> <tr> <th>A種</th> <th>B種</th> </tr> <tr> <td rowspan="6">・可とう形改修用仕上塗材</td> <td>・複層塗材 S i</td> <td>・吹出し ・凸部処理 ・平たん状</td> <td>・凹凸状(・吹付け・こて塗り)</td> <td>・凹凸状(・吹付け・こて塗り)</td> </tr> <tr> <td>・複層塗材 E</td> <td>・吹出し ・凸部処理 ・平たん状</td> <td>・凹凸状(・吹付け・こて塗り)</td> <td>・凹凸状(・吹付け・こて塗り)</td> </tr> <tr> <td>・防水形複層塗材 C E</td> <td>・吹出し ・凸部処理 ・平たん状</td> <td>・凹凸状(・吹付け・こて塗り)</td> <td>・凹凸状(・吹付け・こて塗り)</td> </tr> <tr> <td>・防水形複層塗材 E</td> <td>・吹出し ・凸部処理 ・平たん状</td> <td>・凹凸状(・吹付け・こて塗り)</td> <td>・凹凸状(・吹付け・こて塗り)</td> </tr> <tr> <td>・防水形複層塗材 R E</td> <td>・吹出し ・凸部処理 ・平たん状</td> <td>・凹凸状(・吹付け・こて塗り)</td> <td>・凹凸状(・吹付け・こて塗り)</td> </tr> <tr> <td>・防水形複層塗材 R S</td> <td>・吹出し ・凸部処理 ・平たん状</td> <td>・凹凸状(・吹付け・こて塗り)</td> <td>・凹凸状(・吹付け・こて塗り)</td> </tr> </table>	工法	処理範囲		下地面の補修	サンダー工法	※既存仕上げ面全体 ・図示	※ひび割れ部改修工法	・高圧水洗工法(30MPa程度以上)	※既存仕上げ面全体 ・図示 <td>※浮き部改修工法</td> <td>※欠損部改修工法</td>	※浮き部改修工法	※欠損部改修工法	・塗膜はく離工法	※既存仕上げ面全体 ・図示	・	・	・水洗工法(15MPa程度)	※サンダー工法、高圧水洗工法、塗膜はく離工法の処理範囲以外の既存仕上げ面全面 ・図示	・	・	種類	呼び名	防火材料	仕上げの形状及び工法等		薄付け仕上塗材	厚付け仕上塗材	・薄付け仕上塗材	・外装薄塗材 S i	・砂壁状 ・さざ波状 ・平たん状	・吹出し ・凸部処理 ・平たん状	・吹出し ・凸部処理 ・平たん状	・可とう形外装薄塗材 S i	・ゆず肌状(・吹付け・ローラー塗り)	・凹凸状(・吹付け・こて塗り)	・凹凸状(・吹付け・こて塗り)	・外装薄塗材 E	・可とう形外装薄塗材 E	・防水形外装薄塗材 E	・防水形外装薄塗材 E	・防水形外装薄塗材 E	・可とう形外装薄塗材 E	・防水形外装薄塗材 E	・防水形外装薄塗材 E	・厚付け仕上塗材	・外装厚塗材 C	・吹出し ・凸部処理 ・平たん状	・凹凸状(・吹付け・こて塗り)	・凹凸状(・吹付け・こて塗り)	・外装厚塗材 S i	・吹出し ・凸部処理 ・平たん状	・凹凸状(・吹付け・こて塗り)	・凹凸状(・吹付け・こて塗り)	・外装厚塗材 E	・吹出し ・凸部処理 ・平たん状	・凹凸状(・吹付け・こて塗り)	・凹凸状(・吹付け・こて塗り)	・防水形外装厚塗材 E	・吹出し ・凸部処理 ・平たん状	・凹凸状(・吹付け・こて塗り)	・凹凸状(・吹付け・こて塗り)	・複層仕上塗材	・複層塗材 C E	・吹出し ・凸部処理 ・平たん状	・凹凸状(・吹付け・こて塗り)	・凹凸状(・吹付け・こて塗り)	・可とう形複層塗材 C E	・吹出し ・凸部処理 ・平たん状	・凹凸状(・吹付け・こて塗り)	・凹凸状(・吹付け・こて塗り)	・可とう形改修用仕上塗材	・複層塗材 S i	・吹出し ・凸部処理 ・平たん状	・凹凸状(・吹付け・こて塗り)	・凹凸状(・吹付け・こて塗り)	・複層塗材 E	・吹出し ・凸部処理 ・平たん状	・凹凸状(・吹付け・こて塗り)	・凹凸状(・吹付け・こて塗り)	・防水形複層塗材 C E	・吹出し ・凸部処理 ・平たん状	・凹凸状(・吹付け・こて塗り)	・凹凸状(・吹付け・こて塗り)	・防水形複層塗材 E	・吹出し ・凸部処理 ・平たん状	・凹凸状(・吹付け・こて塗り)	・凹凸状(・吹付け・こて塗り)	・防水形複層塗材 R E	・吹出し ・凸部処理 ・平たん状	・凹凸状(・吹付け・こて塗り)	・凹凸状(・吹付け・こて塗り)	・防水形複層塗材 R S	・吹出し ・凸部処理 ・平たん状	・凹凸状(・吹付け・こて塗り)	・凹凸状(・吹付け・こて塗り)	種類	呼び名		防火材料	仕上げの形状及び工法等	A種	B種	・可とう形改修用仕上塗材	・複層塗材 S i	・吹出し ・凸部処理 ・平たん状	・凹凸状(・吹付け・こて塗り)	・凹凸状(・吹付け・こて塗り)	・複層塗材 E	・吹出し ・凸部処理 ・平たん状	・凹凸状(・吹付け・こて塗り)	・凹凸状(・吹付け・こて塗り)	・防水形複層塗材 C E	・吹出し ・凸部処理 ・平たん状	・凹凸状(・吹付け・こて塗り)	・凹凸状(・吹付け・こて塗り)	・防水形複層塗材 E	・吹出し ・凸部処理 ・平たん状	・凹凸状(・吹付け・こて塗り)	・凹凸状(・吹付け・こて塗り)	・防水形複層塗材 R E	・吹出し ・凸部処理 ・平たん状	・凹凸状(・吹付け・こて塗り)	・凹凸状(・吹付け・こて塗り)	・防水形複層塗材 R S	・吹出し ・凸部処理 ・平たん状	・凹凸状(・吹付け・こて塗り)	・凹凸状(・吹付け・こて塗り)	5	鋼製建具 (5.2.2)(5.4.2~6)(表5.4.2~5)	<p>1 改修工法 (5.1.3)</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">建具の種類</th> <th rowspan="2">かぶせ工法</th> <th rowspan="2">撤去工法</th> <th colspan="2">適用箇所</th> </tr> <tr> <th>・アルミニウム製建具</th> <th>※建具表による</th> </tr> <tr> <td>・樹脂製建具</td> <td></td> <td></td> <td>※建具表による</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・鋼製建具</td> <td rowspan="2">・外部</td> <td rowspan="2">・内部</td> <td>※建具表による</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>※建具表による</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・鋼製軽量建具</td> <td></td> <td></td> <td>※建具表による</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ステンレス製建具</td> <td></td> <td></td> <td>※建具表による</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>新規に建具を設ける場合 壁部分の開口の開け方 ※図示 ・ 新規建具周囲の補修工法及び範囲 ※図示 ・ 建具周囲のシーリングは、改修特記仕様書3章 防水改修工事による</p> <p>2 防火戸 (5.1.4) ※指定する 適用箇所(※建具表による) ・ 指定しない (5.1.4) ヒューズ装置、熱感知器又は煙感知器との連動 ※連動させる(※建具表による) ・ 連動させない</p> <p>3 見本の製作等 (5.1.5) 建具見本の製作 ・行う(建具符号:) 建具見本の程度 ・工事を使用するものとして、あらかじめ製作する 特殊な建具の仮組 ・行う(建具符号:) 納まり等がわかる程度のもの</p> <p>4 防犯建物部品 (5.1.7) ・適用する 適用箇所(※建具表による) ・</p> <p>5 アルミニウム製建具 (5.2.2~5)(表5.2.1、2) 性能値等 外部に面する建具の種類 ○A種(建具符号: ※建具表による) ・) ・B種(建具符号: ※建具表による) ・) ・C種(建具符号: ※建具表による) ・) 枠の見込み寸法 ※建具表による ・</p> <p>防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級(・) 断熱ドア・断熱サッシ 断熱性の等級(・) 耐震ドドア 面内変形追随性の等級(・)</p> <p>表面処理 外部に面する建具 ※B-B-1種 ・B-B-2種 ・ 着色 ・ステンカラー ・ブロンズ ・ブラック系 ・ 屋内の建具 ※B-C-1種 ・B-C-2種 ・ 着色 ・ステンカラー ・ブロンズ ・ブラック系 ・</p> <p>ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1 ・ 結露水の処理方法 ※図示 ・ 水切り板、ぜん板 ※図示 ・</p> <p>6 網戸等 (5.2.3)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>材質</th> <th>線径</th> <th>網目</th> </tr> <tr> <td>・防虫網</td> <td>※ステンレス(SUS316)製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・合成樹脂製</td> <td>※0.25mm以上</td> <td>※16~18メッシュ</td> </tr> <tr> <td>・防鳥網</td> <td>ステンレス(SUS304)線材</td> <td>1.5mm</td> <td>網目寸法15mm</td> </tr> </table> <p>外部に面する窓の建具(枠見込み70mmのみ)には、脱落防止装置付又は完全内はずし式とし、見本品(模型など)又は施工図を提出して監督員の承諾をうける。(5.2.2)(5.3.2~5)</p> <p>7 樹脂製建具 (5.2.2)(5.3.2~5) 性能値等 外部に面する建具の種類 ・A種(建具符号: ※建具表による) ・) ・B種(建具符号: ※建具表による) ・) ・C種(建具符号: ※建具表による) ・) 枠の見込み寸法 ・建具表による ・</p> <p>防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級(・ T-1 ・ T-2) 断熱ドア・断熱サッシ 断熱性の等級(・ H-4 ・ H-5 ・ H-6)</p> <p>表面色 ※標準色 ・特注色 水切り板、ぜん板 ※図示 ・ ガラス ※複層ガラス ・</p> <p>8 鋼製建具 (5.2.2)(5.4.2~6)(表5.4.2~5) 性能値級 簡易気密型ドアセット ・適用する(建具符号: ※建具表による) ・) ・適用しない 外部に面する建具の耐風圧性 ・S-4(建具符号: ※建具表による) ・) ・S-5(建具符号: ※建具表による) ・) ・S-6(建具符号: ※建具表による) ・)</p> <p>防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級(・) 断熱ドア・断熱サッシ 断熱性の等級(・) 耐震ドドア 面内変形追随性の等級(・)</p> <p>鋼板の厚さ ※改修標準仕様書表5.4.2による ・ mm ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1 ・</p> <p>9 鋼製軽量建具 (5.2.2)(5.5.2~6)(表5.5.1、2) 性能値級 簡易気密型ドアセット ・適用する(建具符号: ※建具表による) ・) 防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級(・) 断熱ドア・断熱サッシ 断熱性の等級(・) 耐震ドドア 面内変形追随性の等級(・)</p> <p>鋼板の種類 ○亜鉛めっき鋼板 ・ビニル被膜鋼板 ・カラー鋼板 ・ステンレス鋼板</p> <p>鋼板の厚さ ※改修標準仕様書表5.4.2による ・ mm ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1 ・ 召合せ、縦小口包み板の材質 ※鋼板 ・ステンレス鋼板 ・アルミニウム合金の押出成形材</p>	建具の種類	かぶせ工法	撤去工法	適用箇所		・アルミニウム製建具	※建具表による	・樹脂製建具			※建具表による	・	・鋼製建具	・外部	・内部	※建具表による	・	※建具表による	・	・鋼製軽量建具			※建具表による	・	・ステンレス製建具			※建具表による	・	種類	材質	線径	網目	・防虫網	※ステンレス(SUS316)製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・合成樹脂製	※0.25mm以上	※16~18メッシュ	・防鳥網	ステンレス(SUS304)線材	1.5mm	網目寸法15mm
施工箇所	形式	山高、山ピッチによる区分	耐力による区分	材料による区分	厚さ(mm)	軒先面戸板	耐火性能																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
・重ね形	・はげ締め形	・山高	・山ピッチ	・()種	※鋼板製	・有リ	・30分																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
・かみ合形					・アルミニウム合金板製	・無し	・無し																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
工法の種類	アンカーピンの本数 (本/m ²)		注入口の箇所数 (箇所/m ²)		注入量 (ml/箇所)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	一般部	指定部	一般部	指定部																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
○アンカーピンニング	※16	※25	-	-	※25																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
部分エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※12	※20	※25																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
全面エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※12	※20	※50																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※13	※20	※12	※20	※50																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
※注入口付アンカーピンニング	※16	※16	-	-	※25																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
部分エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※9	※16	※25																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
全面エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※9	※16	※50																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※9	※16	※9	※16	※50																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
・充填工法	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
・モルタル塗替え工法	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
施工箇所	形状寸法(mm)	再生材の適用	吸水率による区分			役割	色	耐凍害性	耐滑り性	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
			I	II	III																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~0.3未満	50~100	・40	・	・	・	・	・	・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
・自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~1.0以下	200~300	・120	・	・	・	・	・	・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~0.3未満	50~100	・40	・	・	・	・	・	・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
・自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~1.0以下	200~300	・120	・	・	・	・	・	・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~0.3未満	50~100	・40	・	・	・	・	・	・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
・自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~1.0以下	200~300	・120	・	・	・	・	・	・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~0.3未満	50~100	・40	・	・	・	・	・	・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
・自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~1.0以下	200~300	・120	・	・	・	・	・	・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
工法の種類	アンカーピンの本数 (本/m ²)		注入口の箇所数 (箇所/m ²)		注入量 (ml/箇所)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	一般部	指定部	一般部	指定部																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
・アンカーピンニング	※16	※25	-	-	※25																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
部分エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※12	※20	※25																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
全面エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※12	※20	※50																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※13	※20	※12	※20	※50																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
※注入口付アンカーピンニング	※16	※16	-	-	※25																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
部分エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※9	※16	※25																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
全面エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※9	※16	※50																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※9	※16	※9	※16	※50																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
・充填工法	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
・モルタル塗替え工法	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
工法の種類	ひび割れ幅(mm)		注入口間隔(mm)		注入量 (ml/m)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	一般部	指定部	一般部	指定部																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~1.0以下	※200~300	※200~300	※120	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~0.3未満	50~100	・40	・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
・自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~1.0以下	200~300	・120	・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~0.3未満	50~100	・40	・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
・自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~1.0以下	200~300	・120	・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~0.3未満	50~100	・40	・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
・自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~1.0以下	200~300	・120	・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
工法の種類	ひび割れ幅(mm)		注入口間隔(mm)		注入量 (ml/m)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	一般部	指定部	一般部	指定部																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~1.0以下	200~300	200~300	120	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~0.3未満	50~100	・40	・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
・自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~1.0以下	200~300	・120	・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~0.3未満	50~100	・40	・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
・自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~1.0以下	200~300	・120	・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~0.3未満	50~100	・40	・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
・自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~1.0以下	200~300	・120	・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
工法	処理範囲		下地面の補修																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	サンダー工法	※既存仕上げ面全体 ・図示		※ひび割れ部改修工法																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
・高圧水洗工法(30MPa程度以上)	※既存仕上げ面全体 ・図示 <td>※浮き部改修工法</td> <td>※欠損部改修工法</td>	※浮き部改修工法	※欠損部改修工法																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
・塗膜はく離工法	※既存仕上げ面全体 ・図示	・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
・水洗工法(15MPa程度)	※サンダー工法、高圧水洗工法、塗膜はく離工法の処理範囲以外の既存仕上げ面全面 ・図示	・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
種類	呼び名	防火材料	仕上げの形状及び工法等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
			薄付け仕上塗材	厚付け仕上塗材																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
・薄付け仕上塗材	・外装薄塗材 S i	・砂壁状 ・さざ波状 ・平たん状	・吹出し ・凸部処理 ・平たん状	・吹出し ・凸部処理 ・平たん状																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	・可とう形外装薄塗材 S i	・ゆず肌状(・吹付け・ローラー塗り)	・凹凸状(・吹付け・こて塗り)	・凹凸状(・吹付け・こて塗り)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	・外装薄塗材 E	・可とう形外装薄塗材 E	・防水形外装薄塗材 E	・防水形外装薄塗材 E																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	・防水形外装薄塗材 E	・可とう形外装薄塗材 E	・防水形外装薄塗材 E	・防水形外装薄塗材 E																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
・厚付け仕上塗材	・外装厚塗材 C	・吹出し ・凸部処理 ・平たん状	・凹凸状(・吹付け・こて塗り)	・凹凸状(・吹付け・こて塗り)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	・外装厚塗材 S i	・吹出し ・凸部処理 ・平たん状	・凹凸状(・吹付け・こて塗り)	・凹凸状(・吹付け・こて塗り)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	・外装厚塗材 E	・吹出し ・凸部処理 ・平たん状	・凹凸状(・吹付け・こて塗り)	・凹凸状(・吹付け・こて塗り)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	・防水形外装厚塗材 E	・吹出し ・凸部処理 ・平たん状	・凹凸状(・吹付け・こて塗り)	・凹凸状(・吹付け・こて塗り)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
・複層仕上塗材	・複層塗材 C E	・吹出し ・凸部処理 ・平たん状	・凹凸状(・吹付け・こて塗り)	・凹凸状(・吹付け・こて塗り)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	・可とう形複層塗材 C E	・吹出し ・凸部処理 ・平たん状	・凹凸状(・吹付け・こて塗り)	・凹凸状(・吹付け・こて塗り)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
・可とう形改修用仕上塗材	・複層塗材 S i	・吹出し ・凸部処理 ・平たん状	・凹凸状(・吹付け・こて塗り)	・凹凸状(・吹付け・こて塗り)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	・複層塗材 E	・吹出し ・凸部処理 ・平たん状	・凹凸状(・吹付け・こて塗り)	・凹凸状(・吹付け・こて塗り)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	・防水形複層塗材 C E	・吹出し ・凸部処理 ・平たん状	・凹凸状(・吹付け・こて塗り)	・凹凸状(・吹付け・こて塗り)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	・防水形複層塗材 E	・吹出し ・凸部処理 ・平たん状	・凹凸状(・吹付け・こて塗り)	・凹凸状(・吹付け・こて塗り)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	・防水形複層塗材 R E	・吹出し ・凸部処理 ・平たん状	・凹凸状(・吹付け・こて塗り)	・凹凸状(・吹付け・こて塗り)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	・防水形複層塗材 R S	・吹出し ・凸部処理 ・平たん状	・凹凸状(・吹付け・こて塗り)	・凹凸状(・吹付け・こて塗り)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
種類	呼び名		防火材料	仕上げの形状及び工法等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	A種	B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
・可とう形改修用仕上塗材	・複層塗材 S i	・吹出し ・凸部処理 ・平たん状	・凹凸状(・吹付け・こて塗り)	・凹凸状(・吹付け・こて塗り)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	・複層塗材 E	・吹出し ・凸部処理 ・平たん状	・凹凸状(・吹付け・こて塗り)	・凹凸状(・吹付け・こて塗り)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	・防水形複層塗材 C E	・吹出し ・凸部処理 ・平たん状	・凹凸状(・吹付け・こて塗り)	・凹凸状(・吹付け・こて塗り)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	・防水形複層塗材 E	・吹出し ・凸部処理 ・平たん状	・凹凸状(・吹付け・こて塗り)	・凹凸状(・吹付け・こて塗り)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	・防水形複層塗材 R E	・吹出し ・凸部処理 ・平たん状	・凹凸状(・吹付け・こて塗り)	・凹凸状(・吹付け・こて塗り)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	・防水形複層塗材 R S	・吹出し ・凸部処理 ・平たん状	・凹凸状(・吹付け・こて塗り)	・凹凸状(・吹付け・こて塗り)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
建具の種類	かぶせ工法	撤去工法	適用箇所																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
			・アルミニウム製建具	※建具表による																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
・樹脂製建具			※建具表による	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
・鋼製建具	・外部	・内部	※建具表による	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
			※建具表による	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
・鋼製軽量建具			※建具表による	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
・ステンレス製建具			※建具表による	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
種類	材質	線径	網目																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
・防虫網	※ステンレス(SUS316)製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・合成樹脂製	※0.25mm以上	※16~18メッシュ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
・防鳥網	ステンレス(SUS304)線材	1.5mm	網目寸法15mm																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
4	外壁改修工事	<p>1 可とう性エポキシ樹脂 (4.2.2) 建築補修用及び建築補強用エポキシ樹脂 (JIS A 6024)による</p> <p>2 パテ状エポキシ樹脂 (4.2.2) 建築補修用及び建築補強用エポキシ樹脂 (JIS A 6024)による</p> <p>3 エポキシ樹脂モルタル (4.2.2) 建築補修用及び建築補強用エポキシ樹脂 (JIS A 6024)による</p> <p>4 シーリング材 (4.2.2) 建築用シーリング材 (JIS A 5758)による</p> <p>5 ポリマーセメントモルタル (4.2.2) 建築材料・設備器材等品質性能評価事業(一般社団法人 公共建築協会)における「評価の内容」による</p> <p>6 ポリマーセメントスラリー (4.2.2) 試験方法、品質基準(独立行政法人 都市再生機構)による</p> <p>7 既調査モルタル (4.2.2) 建築材料・設備器材等品質性能評価事業(一般社団法人 公共建築協会)における「評価の内容」による</p>	4-2	内壁改修(タイル張り仕上げ内壁改修)	<p>1 ひび割れ部改修工法 (4.1.4)(4.2.2)(4.5.2)(4.5.5)</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">種類</th> <th colspan="2">ひび割れ幅(mm)</th> <th colspan="2">注入口間隔(mm)</th> <th rowspan="2">注入量 (ml/m)</th> </tr> <tr> <th>一般部</th> <th>指定部</th> <th>一般部</th> <th>指定部</th> </tr> <tr> <td>※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上~1.0以下</td> <td>200~300</td> <td>200~300</td> <td>120</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・手動式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上~0.3未満</td> <td>50~100</td> <td>・40</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上~1.0以下</td> <td>200~300</td> <td>・120</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・手動式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上~0.3未満</td> <td>50~100</td> <td>・40</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上~1.0以下</td> <td>200~300</td> <td>・120</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・手動式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上~0.3未満</td> <td>50~100</td> <td>・40</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上~1.0以下</td> <td>200~300</td> <td>・120</</td></tr></table>	種類	ひび割れ幅(mm)		注入口間隔(mm)		注入量 (ml/m)	一般部	指定部	一般部	指定部	※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~1.0以下	200~300	200~300	120	・	・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~0.3未満	50~100	・40	・	・	・自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~1.0以下	200~300	・120	・	・	・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~0.3未満	50~100	・40	・	・	・自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~1.0以下	200~300	・120	・	・	・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~0.3未満	50~100	・40	・	・	・自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~1.0以下	200~300	・120</																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
種類	ひび割れ幅(mm)		注入口間隔(mm)		注入量 (ml/m)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	一般部	指定部	一般部	指定部																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~1.0以下	200~300	200~300	120	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~0.3未満	50~100	・40	・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
・自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~1.0以下	200~300	・120	・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~0.3未満	50~100	・40	・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
・自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~1.0以下	200~300	・120	・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~0.3未満	50~100	・40	・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
・自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~1.0以下	200~300	・120</																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
⑥ 内装 改修 工事	10 防蟻・防蟻処理	<ul style="list-style-type: none"> 薬剤の加圧注入による防蟻・防蟻処理 <table border="1"> <tr> <th>適用部材</th> <th>保存処理性能区分</th> </tr> <tr> <td></td> <td>・K2・K3・K4</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> 薬剤の塗布等による防蟻・防蟻処理 <table border="1"> <tr> <th>適用部材</th> <th>処理の方法</th> <th>薬剤の種類</th> </tr> <tr> <td></td> <td>※改修標準仕様書6.5.5 (1)(b) 27~Iによる</td> <td>※JIS A 1571に適合又は同等品</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> 薬剤の接着剤への混入による防蟻・防蟻処理 <p>適用部位 ()</p> <p>野縁等の種類</p> <ul style="list-style-type: none"> 屋外 ※25形・19形 屋内 ※19形・25形 <p>○屋外の軒天井、ピロティ天井等</p> <p>工法</p> <p>建築基準法に基づき定まる(・1・1.15・1.3)の風圧力に対応した工法</p> <p>野縁受、吊りボルト及びびんサートの間隔 ・図示 ○900mm程度</p> <p>周辺部の端からの間隔 ・図示 ○150mm以下</p> <p>野縁の間隔 ・図示 ○300mm程度</p> <p>既存の埋込みインサート ※使用する ・使用しない</p> <p>あと施工アンカーの確認試験</p> <p>※行う ・行わない</p> <p>箇所数 ※屋内の場合、当該階において3箇所</p> <p>確認強度</p> <p>※吊りボルト受け等の間隔が900mm程度以下かつ天井面構成部材等の単位面積当たりの質量が20kg/m²以内の天井の場合、400N程度</p> <ul style="list-style-type: none"> 吊りボルトの間隔が900mmを超える場合の補強方法 ※図示 天井のふとところが1.5m以上3.0m以下の場合の補強方法 ※改修標準仕様書6.6.4(8)による 天井のふとところが3.0mを超える場合の補強方法 ※図示 天井の下地材における耐震性を考慮した補強 補強箇所 ※図示 補強方法 ※図示 	適用部材	保存処理性能区分		・K2・K3・K4	適用部材	処理の方法	薬剤の種類		※改修標準仕様書6.5.5 (1)(b) 27~Iによる	※JIS A 1571に適合又は同等品	⑥ 内装 改修 工事	19 合成樹脂塗床	<p>色柄 (・ ※模様のない無地)</p> <p>バイル系の種類等</p> <p>※無地の織りじゅうたんの種別 (・A種・B種・C種)</p> <p>帯電性 ・適用する ・適用しない</p> <p>織じゅうたんの接合法 ※ヒートボンド工法</p> <p>下敷き材 ※反毛フェルト (JIS L 3204) の第2種2号 呼び厚さ8mm</p> <ul style="list-style-type: none"> タフテッドカーベット <table border="1"> <tr> <th>バイル形状</th> <th>バイル長さ (mm)</th> <th>工法</th> <th>帯電性</th> </tr> <tr> <td>・カットバイル</td> <td>・5~7</td> <td>・全面接着工法</td> <td>・適用する</td> </tr> <tr> <td>・ループバイル</td> <td>・4~6</td> <td>・グリッパー工法</td> <td>・適用しない</td> </tr> <tr> <td>・カット、ループ併用</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>下敷き材 (グリッパー工法の場合)</p> <p>※反毛フェルト (JIS L 3204) の第2種2号 呼び厚さ8mm</p> <ul style="list-style-type: none"> ニードルパンチカーベット <p>厚さ (mm) ()</p> <p>帯電性 ・適用する ・適用しない</p> <ul style="list-style-type: none"> タイルカーベット <table border="1"> <tr> <th>バイルの形状</th> <th>種類</th> <th>施工箇所</th> <th>寸法</th> <th>総厚さ (mm)</th> </tr> <tr> <td>※ループバイル</td> <td>※第一種 第二種</td> <td></td> <td>※500×500</td> <td>※6.5</td> </tr> <tr> <td>・カットバイル</td> <td>・第一種 ・第二種</td> <td></td> <td>※500×500</td> <td>※6.5</td> </tr> <tr> <td>・カット・ループ併用</td> <td>・第一種 ・第二種</td> <td></td> <td>※500×500</td> <td>※6.5</td> </tr> </table> <p>タイルカーベットの敷き方</p> <p>平場 ※市松敷き ・模様流し</p> <p>階段部分 ※模様流し ・市松敷き</p> <p>見切り、押え金物 ()</p> <p>材質 ()</p> <p>種類 ()</p> <p>形状等 ※図示</p> <p>(6.10.2~4) (表6.10.1~8)</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>工法</th> <th>仕上げの種類</th> </tr> <tr> <td>・厚膜型塗床材</td> <td></td> <td></td> <td>※平滑仕上げ ※防汚仕上げ ・つや出し仕上げ</td> </tr> <tr> <td>・弾性ウレタン樹脂系塗床</td> <td></td> <td></td> <td>・平滑仕上げ</td> </tr> <tr> <td>・厚膜型塗床材</td> <td></td> <td>・薄膜流し層ベ工法 ・厚膜流し層ベ工法 ・樹脂珪砂工法</td> <td>・平滑仕上げ ・防汚仕上げ</td> </tr> <tr> <td>○薄膜型塗床材</td> <td></td> <td></td> <td>○平滑仕上げ ○防汚仕上げ</td> </tr> </table>	バイル形状	バイル長さ (mm)	工法	帯電性	・カットバイル	・5~7	・全面接着工法	・適用する	・ループバイル	・4~6	・グリッパー工法	・適用しない	・カット、ループ併用	・	・	・	バイルの形状	種類	施工箇所	寸法	総厚さ (mm)	※ループバイル	※第一種 第二種		※500×500	※6.5	・カットバイル	・第一種 ・第二種		※500×500	※6.5	・カット・ループ併用	・第一種 ・第二種		※500×500	※6.5	種別	施工箇所	工法	仕上げの種類	・厚膜型塗床材			※平滑仕上げ ※防汚仕上げ ・つや出し仕上げ	・弾性ウレタン樹脂系塗床			・平滑仕上げ	・厚膜型塗床材		・薄膜流し層ベ工法 ・厚膜流し層ベ工法 ・樹脂珪砂工法	・平滑仕上げ ・防汚仕上げ	○薄膜型塗床材			○平滑仕上げ ○防汚仕上げ	⑥ 内装 改修 工事	23 壁紙張り	<p>(6.14.2、3)</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th colspan="5">壁紙の種類</th> <th rowspan="2">防火性能</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>紙</th> <th>繊維</th> <th>フラス</th> <th>繊維</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・不燃・準不燃 ・不燃・準不燃 ・不燃・準不燃 ・不燃・準不燃</td> <td></td> </tr> </table> <p>モルタル・プaster一面の地下調整の種別 ※RB種</p> <p>コンクリート面の地下調整の種別 ※RB種</p> <p>せつこうボード面の地下調整の種別 ※RB種</p> <p>(6.15.2~6) (表6.15.1~3)</p> <p>モルタル ・現場調合材料 (セメントは改修特記仕様書8-2 コンクリート工事による)</p> <p>・既調合材料 ()</p> <p>既製目地材 ・設ける 施工箇所 () 形状 (※図示 ・)</p> <p>・設けない</p> <p>床の目地</p> <p>・設ける</p> <p>目地割り ※2m程度 (最大目地間隔3m程度 ・)</p> <p>種類 ※押し目地 ()</p> <p>・設けない</p> <p>・防水剤 (品質・性能、試験方法)</p> <p>建築材料・設備機材等品質性能評価事業 (一般社団法人 公共建築協会) における「評価の内容」による</p> <p>(6.16.2~4) (表6.16.1~6)</p> <p>伸縮調整目地の位置 床タイル (※縦、横とも4m以内ごと ・図示)</p> <p>床タイル以外 (・図示 ・)</p> <p>伸縮調整目地のシーリング材、目地寸法は改修特記仕様書第3章による</p> <p>・セメントモルタルによるタイル (セラミックタイル) 張り</p> <p>タイルの形状、寸法等</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th rowspan="2">形状寸法 (mm)</th> <th rowspan="2">再生材料の適用</th> <th colspan="3">吸水率による区分</th> <th rowspan="2">うわぐすり施す</th> <th rowspan="2">役物</th> <th rowspan="2">色</th> <th rowspan="2">耐凍害性</th> <th rowspan="2">耐滑り性</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>I</th> <th>II</th> <th>III</th> </tr> <tr> <td></td> </tr> </table> <p>標準的な曲がりの役物は一体成形とする</p> <p>試験張り ・行う ・行わない</p> <p>見本焼き ・行う ・行わない</p> <p>○既製調合モルタル</p> <p>モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、混和材等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。</p> <p>(品質・性能、試験方法)</p> <p>建築材料・設備機材等品質性能評価事業 (一般社団法人 公共建築協会) における「評価の内容」による</p> <p>○既製調合目地材 (品質・性能、試験方法)</p> <p>建築材料・設備機材等品質性能評価事業 (一般社団法人 公共建築協会) における「評価の内容」による</p> <p>・有機系接着剤による質タイル (セラミックタイル) 張り</p> <p>タイルの形状、寸法等</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th rowspan="2">形状寸法 (mm)</th> <th rowspan="2">再生材料の適用</th> <th colspan="3">吸水率による区分</th> <th rowspan="2">うわぐすり施す</th> <th rowspan="2">役物</th> <th rowspan="2">色</th> <th rowspan="2">耐凍害性</th> <th rowspan="2">耐滑り性</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>I</th> <th>II</th> <th>III</th> </tr> <tr> <td></td> </tr> </table> <p>標準的な曲がりの役物は一体成形とする</p> <p>試験張り ・行う ・行わない</p> <p>見本焼き ・行う ・行わない</p> <p>内装タイル接着剤張りに使用する有機質接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外</p> <p>(6.17.2~5) (表6.17.1)</p>	施工箇所	壁紙の種類					防火性能	備考	紙	繊維	フラス	繊維	その他							・不燃・準不燃 ・不燃・準不燃 ・不燃・準不燃 ・不燃・準不燃		施工箇所	形状寸法 (mm)	再生材料の適用	吸水率による区分			うわぐすり施す	役物	色	耐凍害性	耐滑り性	備考	I	II	III													施工箇所	形状寸法 (mm)	再生材料の適用	吸水率による区分			うわぐすり施す	役物	色	耐凍害性	耐滑り性	備考	I	II	III													⑦ 塗装 改修 工事	3 錆止め塗料塗り	<p>錆止め塗料塗りの種別 (7.3.2、3) (表7.3.1~7.3.4)</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">鉄鋼面</th> <th colspan="2">塗装面</th> <th colspan="2">塗料の種別</th> <th colspan="2">工程の種別</th> </tr> <tr> <th>EP-G以外</th> <th>塗替え</th> <th>A種</th> <th>※C種</th> <th>※A種</th> <th>・</th> </tr> <tr> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2">EP-G</td> <td>新規見え掛り</td> <td>A種</td> <td>※A種</td> <td>※B種</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>新規見え隠れ</td> <td>A種</td> <td>※B種</td> <td>※C種</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2">EP-G</td> <td>塗替え</td> <td>※B種・A種</td> <td>※A種</td> <td>※B種</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>新規見え掛り</td> <td>※B種</td> <td>※A種</td> <td>※A種</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2">EP-G</td> <td>塗替え</td> <td>※B種</td> <td>※A種</td> <td>※B種</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>新規見え隠れ</td> <td>※B種</td> <td>※A種</td> <td>※A種</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">垂鉛めつき鋼面</td> <td rowspan="2">EP-G以外</td> <td>塗替え</td> <td>※A種・B種</td> <td>※C種</td> <td>※C種</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>新規鋼製建具等</td> <td>※A種・B種</td> <td>※A種</td> <td>※A種</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2">EP-G</td> <td>塗替え</td> <td>C種</td> <td>※C種</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>新規鋼製建具等</td> <td>C種</td> <td>※A種</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>(7.4.2~7.14.2) (表7.2.1~7.14.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>塗装の種類</th> <th>塗装面</th> <th>塗替え</th> <th>新規</th> </tr> <tr> <td>○合成樹脂調合ペイント塗り (SOP)</td> <td>木部屋外</td> <td>※B種</td> <td>※A種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>木部屋内</td> <td>※B種</td> <td>※B種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>鉄鋼面</td> <td>※B種</td> <td>※B種・A種</td> </tr> <tr> <td>塗料の種類</td> <td>垂鉛めつき鋼面 (鋼製建具)</td> <td>※A種</td> <td>※B種</td> </tr> <tr> <td>※1種・2種</td> <td>垂鉛めつき鋼面 (鋼製建具以外)</td> <td>※B種</td> <td>※B種</td> </tr> <tr> <td>・クリヤラッカー塗り (CL)</td> <td></td> <td>※B種</td> <td>※A種・B種</td> </tr> <tr> <td>・フタル酸樹脂エナメル塗り (FE)</td> <td></td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>・アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り (NAD)</td> <td></td> <td>※B種</td> <td>※A種・B種</td> </tr> <tr> <td>・耐水性塗料塗り (DP)</td> <td>鉄鋼面 上塗り等級 (1) 級</td> <td>・</td> <td>A種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>垂鉛めつき鋼面</td> <td>・</td> <td>A種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>上塗り等級 () 級</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>コンクリート面及び押出成形セメント板面</td> <td></td> <td>・A-1種 ・B-1種 ・C-1種</td> </tr> <tr> <td>○つや有合成樹脂エマルジョンペイント (EP-G)</td> <td>コンクリート面等</td> <td>※B種</td> <td>・A種・B種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>屋内の木部</td> <td>※B種</td> <td>※A種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>屋内の鉄鋼面</td> <td>※B種</td> <td>・A種・B種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>屋内の垂鉛めつき鋼面</td> <td>※B種</td> <td>・A種・B種</td> </tr> <tr> <td>・合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP)</td> <td></td> <td>※B種</td> <td>・A種・B種</td> </tr> <tr> <td>・合成樹脂エマルジョン模様塗料塗り (EP-T)</td> <td></td> <td>※B種</td> <td>・A種・B種</td> </tr> <tr> <td>・ウレタン樹脂ワニス塗り (UC)</td> <td></td> <td>※B種</td> <td>※A種・B種</td> </tr> <tr> <td>・オイルステイン塗り (OS)</td> <td></td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>・木材保護塗料塗り (WP)</td> <td></td> <td>※B種</td> <td>※A種・B種</td> </tr> </table> <p>つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り (コンクリート面、モルタル面、プラスター面、せつこうボード面、その他ボード面) の塗替えの場合のしき止め ※改修標準仕様書 表7.9.1の工程1の下塗りをしき止めシーラーとする</p> <p>合成樹脂エマルジョンペイント塗りの塗替えの場合のしき止め ※改修標準仕様書 表7.10.1の工程1の下塗りをしき止めシーラーとする</p> <p>・高日射反射率塗料塗り (H)</p> <p>地下調整 (改修標準仕様書 表7.2.2) ・RA種 ・RB種 ・RC種</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">工程</th> <th colspan="3">塗料その他</th> <th rowspan="2">塗付量 (kg/m²)</th> </tr> <tr> <th>規格番号</th> <th>規格名称</th> <th>等級</th> </tr> <tr> <td>塗料塗り</td> <td>JIS K 5675</td> <td>屋根用高日射反射率塗料</td> <td>2種 ・1級 ・2級 ・3級</td> <td>塗料製造所の仕様による</td> </tr> </table>	鉄鋼面	塗装面		塗料の種別		工程の種別		EP-G以外	塗替え	A種	※C種	※A種	・		EP-G	新規見え掛り	A種	※A種	※B種	・	新規見え隠れ	A種	※B種	※C種	・		EP-G	塗替え	※B種・A種	※A種	※B種	・	新規見え掛り	※B種	※A種	※A種	・		EP-G	塗替え	※B種	※A種	※B種	・	新規見え隠れ	※B種	※A種	※A種	・	垂鉛めつき鋼面	EP-G以外	塗替え	※A種・B種	※C種	※C種	・	新規鋼製建具等	※A種・B種	※A種	※A種	・		EP-G	塗替え	C種	※C種	・	・	新規鋼製建具等	C種	※A種	・	・	塗装の種類	塗装面	塗替え	新規	○合成樹脂調合ペイント塗り (SOP)	木部屋外	※B種	※A種		木部屋内	※B種	※B種		鉄鋼面	※B種	※B種・A種	塗料の種類	垂鉛めつき鋼面 (鋼製建具)	※A種	※B種	※1種・2種	垂鉛めつき鋼面 (鋼製建具以外)	※B種	※B種	・クリヤラッカー塗り (CL)		※B種	※A種・B種	・フタル酸樹脂エナメル塗り (FE)		—	—	・アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り (NAD)		※B種	※A種・B種	・耐水性塗料塗り (DP)	鉄鋼面 上塗り等級 (1) 級	・	A種		垂鉛めつき鋼面	・	A種		上塗り等級 () 級				コンクリート面及び押出成形セメント板面		・A-1種 ・B-1種 ・C-1種	○つや有合成樹脂エマルジョンペイント (EP-G)	コンクリート面等	※B種	・A種・B種		屋内の木部	※B種	※A種		屋内の鉄鋼面	※B種	・A種・B種		屋内の垂鉛めつき鋼面	※B種	・A種・B種	・合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP)		※B種	・A種・B種	・合成樹脂エマルジョン模様塗料塗り (EP-T)		※B種	・A種・B種	・ウレタン樹脂ワニス塗り (UC)		※B種	※A種・B種	・オイルステイン塗り (OS)		—	—	・木材保護塗料塗り (WP)		※B種	※A種・B種	工程	塗料その他			塗付量 (kg/m ²)	規格番号	規格名称	等級	塗料塗り	JIS K 5675	屋根用高日射反射率塗料	2種 ・1級 ・2級 ・3級	塗料製造所の仕様による
	適用部材	保存処理性能区分																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
		・K2・K3・K4																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	適用部材	処理の方法	薬剤の種類																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
		※改修標準仕様書6.5.5 (1)(b) 27~Iによる	※JIS A 1571に適合又は同等品																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	バイル形状	バイル長さ (mm)	工法	帯電性																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	・カットバイル	・5~7	・全面接着工法	・適用する																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	・ループバイル	・4~6	・グリッパー工法	・適用しない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	・カット、ループ併用	・	・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	バイルの形状	種類	施工箇所	寸法	総厚さ (mm)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	※ループバイル	※第一種 第二種		※500×500	※6.5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	・カットバイル	・第一種 ・第二種		※500×500	※6.5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	・カット・ループ併用	・第一種 ・第二種		※500×500	※6.5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
種別	施工箇所	工法	仕上げの種類																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・厚膜型塗床材			※平滑仕上げ ※防汚仕上げ ・つや出し仕上げ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・弾性ウレタン樹脂系塗床			・平滑仕上げ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・厚膜型塗床材		・薄膜流し層ベ工法 ・厚膜流し層ベ工法 ・樹脂珪砂工法	・平滑仕上げ ・防汚仕上げ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
○薄膜型塗床材			○平滑仕上げ ○防汚仕上げ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
施工箇所	壁紙の種類					防火性能	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	紙	繊維	フラス	繊維	その他																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
						・不燃・準不燃 ・不燃・準不燃 ・不燃・準不燃 ・不燃・準不燃																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
施工箇所	形状寸法 (mm)	再生材料の適用	吸水率による区分			うわぐすり施す	役物	色	耐凍害性	耐滑り性	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
			I	II	III																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
施工箇所	形状寸法 (mm)	再生材料の適用	吸水率による区分			うわぐすり施す	役物	色	耐凍害性	耐滑り性	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
			I	II	III																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
鉄鋼面	塗装面		塗料の種別		工程の種別																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	EP-G以外	塗替え	A種	※C種	※A種	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	EP-G	新規見え掛り	A種	※A種	※B種	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
		新規見え隠れ	A種	※B種	※C種	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	EP-G	塗替え	※B種・A種	※A種	※B種	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
		新規見え掛り	※B種	※A種	※A種	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	EP-G	塗替え	※B種	※A種	※B種	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
		新規見え隠れ	※B種	※A種	※A種	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
垂鉛めつき鋼面	EP-G以外	塗替え	※A種・B種	※C種	※C種	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
		新規鋼製建具等	※A種・B種	※A種	※A種	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	EP-G	塗替え	C種	※C種	・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
		新規鋼製建具等	C種	※A種	・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
塗装の種類	塗装面	塗替え	新規																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
○合成樹脂調合ペイント塗り (SOP)	木部屋外	※B種	※A種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	木部屋内	※B種	※B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	鉄鋼面	※B種	※B種・A種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
塗料の種類	垂鉛めつき鋼面 (鋼製建具)	※A種	※B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
※1種・2種	垂鉛めつき鋼面 (鋼製建具以外)	※B種	※B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・クリヤラッカー塗り (CL)		※B種	※A種・B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・フタル酸樹脂エナメル塗り (FE)		—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り (NAD)		※B種	※A種・B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・耐水性塗料塗り (DP)	鉄鋼面 上塗り等級 (1) 級	・	A種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	垂鉛めつき鋼面	・	A種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	上塗り等級 () 級																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	コンクリート面及び押出成形セメント板面		・A-1種 ・B-1種 ・C-1種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
○つや有合成樹脂エマルジョンペイント (EP-G)	コンクリート面等	※B種	・A種・B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	屋内の木部	※B種	※A種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	屋内の鉄鋼面	※B種	・A種・B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	屋内の垂鉛めつき鋼面	※B種	・A種・B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP)		※B種	・A種・B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・合成樹脂エマルジョン模様塗料塗り (EP-T)		※B種	・A種・B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・ウレタン樹脂ワニス塗り (UC)		※B種	※A種・B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・オイルステイン塗り (OS)		—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・木材保護塗料塗り (WP)		※B種	※A種・B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
工程	塗料その他			塗付量 (kg/m ²)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	規格番号	規格名称	等級																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
塗料塗り	JIS K 5675	屋根用高日射反射率塗料	2種 ・1級 ・2級 ・3級	塗料製造所の仕様による																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
⑪ 軽量鉄骨天井下地	<p>(6.6.2~4) (表6.6.1、2)</p>	24 モルタル塗り	<p>(6.15.2~6) (表6.15.1~3)</p>	④ 塗装	<p>(7.4.2~7.14.2) (表7.2.1~7.14.1)</p>																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
⑫ 軽量鉄骨壁下地	<p>(6.7.3、4) (表6.7.1)</p>	25 タイル張り	<p>(6.16.2~4) (表6.16.1~6)</p>																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
13 ビニル床シート (G)	<p>(6.8.2、3) (表6.8.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類の記号</th> <th>色柄</th> <th>厚さ (mm)</th> </tr> <tr> <td>※FS</td> <td>・無地</td> <td>※2.0</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・マーブル柄</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・柄物</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>目地処理する場合の工法 ※熱溶接工法</p>	種類の記号	色柄	厚さ (mm)	※FS	・無地	※2.0	・	・マーブル柄	・	・	・柄物	・	28 セルフレベリング材塗り	<p>(6.17.2~5) (表6.17.1)</p>																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
種類の記号	色柄	厚さ (mm)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
※FS	・無地	※2.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
・	・マーブル柄	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
・	・柄物	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
14 ビニル床タイル (G)	<p>(6.8.2~4) (表6.8.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類の記号</th> <th>色柄</th> <th>寸法</th> <th>厚さ (mm)</th> </tr> <tr> <td>※KT</td> <td>・無地</td> <td>・300×300</td> <td>※2.0</td> </tr> <tr> <td>・TT</td> <td>・柄物</td> <td>・450×450</td> <td>・2.5</td> </tr> <tr> <td>・FT</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・3.0</td> </tr> <tr> <td>・FOA</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・FOB</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </table>	種類の記号	色柄	寸法	厚さ (mm)	※KT	・無地	・300×300	※2.0	・TT	・柄物	・450×450	・2.5	・FT	・	・	・3.0	・FOA	・	・	・	・FOB	・	・	・	29 せつこうボードその他のボード及び合板張り	<p>(6.13.2、3) (表6.13.1~5)</p>																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
種類の記号	色柄	寸法	厚さ (mm)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
※KT	・無地	・300×300	※2.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・TT	・柄物	・450×450	・2.5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・FT	・	・	・3.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・FOA	・	・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・FOB	・	・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
⑮ 特殊機能床	<p>(6.8.2~4) (表6.8.1)</p> <ul style="list-style-type: none"> 帯電防止床シート <p>種類 ()</p> <p>性能 ()</p> <p>厚さ () mm</p> <ul style="list-style-type: none"> 帯電防止床タイル <p>種類 ()</p> <p>性能 ()</p> <p>寸法 (×) mm 厚さ () mm</p> <ul style="list-style-type: none"> 視覚障害者用床タイル <p>視覚障害者誘導用ブロック等の突起の形状・寸法及びその配列はJIS T 9251による</p> <p>種類 ()</p> <p>形状 ()</p> <ul style="list-style-type: none"> 耐動荷重性床シート <p>種類 ()</p> <p>厚さ () mm</p> <ul style="list-style-type: none"> 防滑性床シート <p>種類 ()</p> <p>厚さ () mm</p> <p>○超防汚性ビニル床シート</p> <p>種類 (防汚性・消臭性有 ロンシール『サニタリウム』同等品)</p> <p>厚さ (2.0) mm</p>	29 せつこうボードその他のボード及び合板張り	<p>(6.13.2、3) (表6.13.1~5)</p> <p>合板類、MDF及びパーティクルボード、接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外</p> <ul style="list-style-type: none"> 木質系セメント板 (G) 種類・厚さ (※図示 ・) 繊維板 (G) 種類・厚さ (※図示 ・) パーティクルボード (G) 種類・厚さ (※図示 ・) 吸音材料 種類・厚さ (※図示 ・) ○せつこうボード 種類・厚さ (※図示 ・) ○繊維強化セメント板 (けい酸カルシウム板のタイプ2) 種類・厚さ (※図示 ・) 普通合板 (G) <p>表板の樹種名 ・ 板面の品質 ・ 厚さ ※図示 ・ 接着の程度 ・ 1類 ・ 2類</p> <p>防虫処理 ・行う ・行わない</p> <ul style="list-style-type: none"> 天然木化粧合板 (G) <p>化粧板の樹種名 ・ 厚さ ※図示 ・ 接着の程度 ・ 1類 ・ 2類 防虫処理 ・行う ・行わない</p> <ul style="list-style-type: none"> 特殊加工化粧合板 (G) <p>化粧加工の方法 (・オーバーレイ ・プリント ・塗装 ・)</p> <p>表面性能 ・ 厚さ ※図示</p> <p>接着の程度 ・ 1類 ・ 2類 防虫処理 ・行う ・行わない</p> <p>せつこうボード等の下地 ※図示</p> <p>遮音シール材 ・適用する (・シーリング材 ・ジョイントコンパウンド) ・適用しない</p> <p>合板類の張付け ※B種 ・A種</p> <p>せつこうボードの目地工法 ・継目処理工法 ○突付け工法 ・目透し工法</p> <p>○不燃メラミン化粧板 厚さ (※図示 ・)</p> <p>アキ工業株式会社 セラール又は同等品以上</p> <p>出隅、入隅、見切部はルミジョイナー (形状・色は監督員打合せ) 使用</p> <p>化粧板材間はシリコンシーリング (SR-1 色は監督員打合せ) 使用</p>	⑦ ① 材料	<p>(7.1.3)</p> <p>※規制対象外</p> <p>・防火材料 ※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする</p> <p>・次の箇所を除き防火材料とする (箇所:)</p>																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
15 ビニル床シート (G)	<p>(6.8.2、3) (表6.8.1)</p>	② 地下調整	<p>(7.2.1~7)</p>																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
16 ビニル幅木	<p>(6.8.2~4) (表6.8.1)</p>																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
17 ゴム床タイル	<p>(6.8.2~4) (表6.8.2)</p>																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
18 カーベット敷き (G)	<p>(6.9.2~3) (表6.9.1、2)</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">織り方</th> <th colspan="2">バイル形状</th> </tr> <tr> <td>・ウィルトンカーベット</td> <td></td> <td>・カットバイル</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ダブルフェースカーベット</td> <td></td> <td>・ループバイル</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・アキスミンスターカーベット</td> <td></td> <td>・カット/ループバイル</td> <td></td> </tr> </table>	織り方		バイル形状		・ウィルトンカーベット		・カットバイル		・ダブルフェースカーベット		・ループバイル		・アキスミンスターカーベット		・カット/ループバイル																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
織り方		バイル形状																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
・ウィルトンカーベット		・カットバイル																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
・ダブルフェースカーベット		・ループバイル																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
・アキスミンスターカーベット		・カット/ループバイル																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				

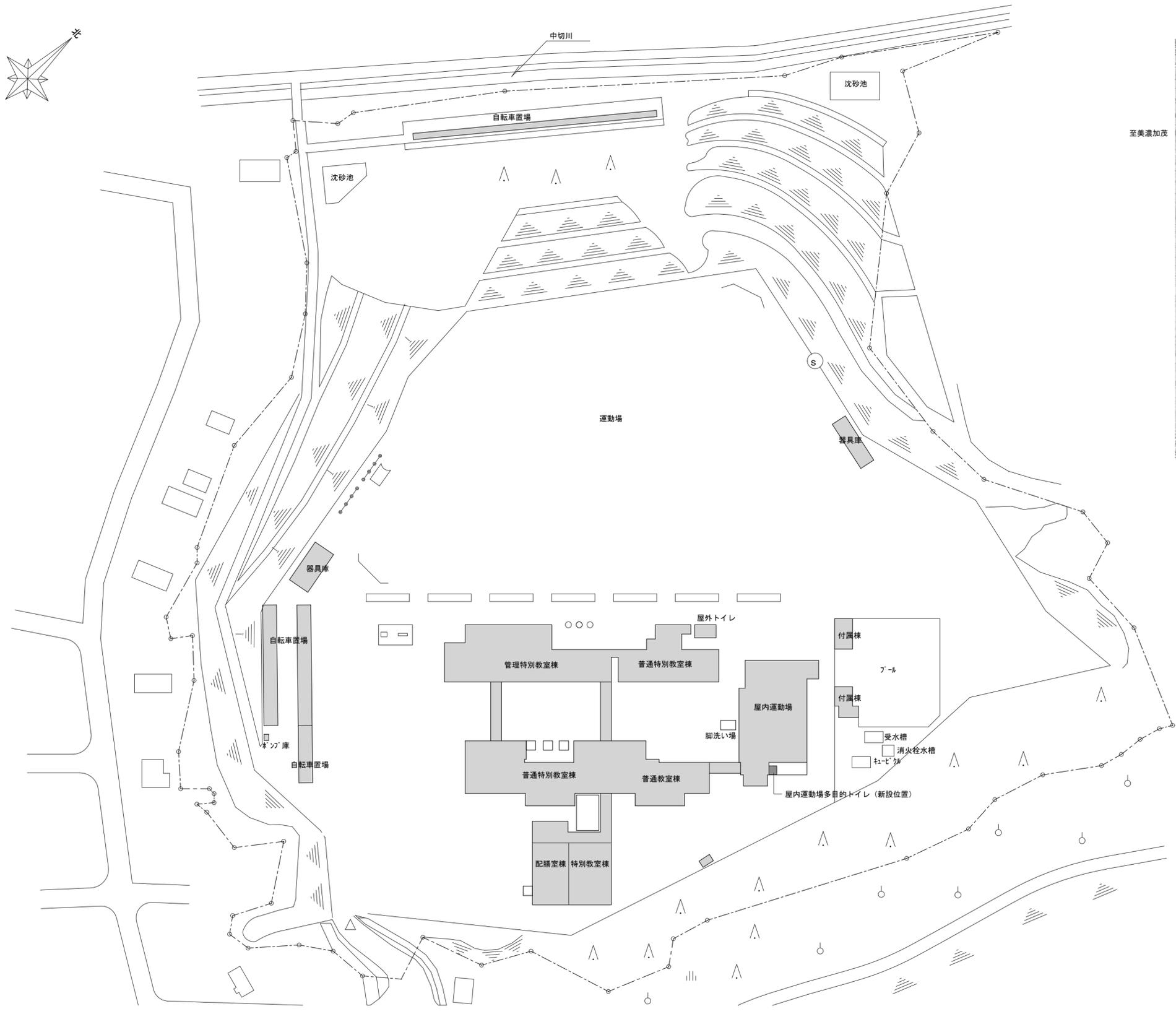
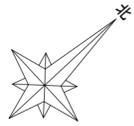
教育委員会事務局 教育総務課			
工事名	可児市立西可児中学校トイレ大規模改修工事 (Ⅱ期)		
種別	建築改修特記仕様書5	図面番号	A-05
縮尺	—	作成年月日	2024.10
設計者	株式会社 三宅設計		
氏名	一級建築士 大臣登録 第68278号 三宅晶信		

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項																																																																														
⑤ ユニット及びその他工事	1 フリーアクセスフロア [20. 2. 2]	<table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>構法</th> <th>寸法(mm)</th> <th>高さ(mm)</th> <th>耐震性能</th> <th>所定荷重</th> <th>表面仕上材</th> </tr> <tr> <td>・置敷式 ・支柱調整式</td> <td>・500×500</td> <td></td> <td>・1.0G ・0.6G</td> <td>・3000N ・5000N</td> <td>・帯電防止床タイル ・タイルカーペット</td> </tr> </table> <p>寸法精度 ※標準仕様書20. 2. 2(2) (a)～(c)による</p> <p>パネルの長さ ※各辺の長さが500mmを超える場合 ±0. 1%以内 500mm以下の場合 ±0. 5mm以内</p> <p>パネルの平面形状(角度) ※各辺の長さが500mmを超える場合 ±0. 1%以内 500mm以下の場合 ±0. 5mm以内</p> <p>フリーアクセスフロアの高さ ※±0. 5mm以内</p> <p>(品質・性能及び試験方法) 建築材料・設備機材等品質性能評価事業(一般社団法人 公共建築協会)における「評価の内容」による</p>	施工箇所	構法	寸法(mm)	高さ(mm)	耐震性能	所定荷重	表面仕上材	・置敷式 ・支柱調整式	・500×500		・1.0G ・0.6G	・3000N ・5000N	・帯電防止床タイル ・タイルカーペット	⑧表示 [20. 2. 10]	⑧表示 [20. 2. 10]	<p>・衝突防止表示 形状・寸法(φ300)</p> <p>材質(ステンレス製)</p> <p>案内用記号はJIS Z 8210による。 誘導標識、非常用進入口等の表示 ・適用する(※消防法に適合する市販品) ・適用しない</p> <p>色、書体、印刷等の種別、取付け形式等 ※図示 その他の表示 ※図示</p>	8 ユニット及びその他工事	17 止水板	<p>形状 ・差込式 ・据置式 ・壁張り式 施工箇所 ※図示</p> <table border="1"> <tr> <th>材種</th> <th>クリアランス(mm)</th> <th>耐火性能</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>○アルミニウム製</td> <td>○50・100</td> <td>・有り()</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ステンレス製</td> <td>・150</td> <td>・無し</td> <td></td> </tr> </table> <p>外部は防水型とする</p> <table border="1"> <tr> <th>材種</th> <th>受け枠</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・塩化ビニル又はゴム製</td> <td>・ステンレス鋼(SUS304)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・硬質アルミニウム合金製</td> <td>・硬質アルミニウム合金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ステンレス鋼(SUS304)製</td> <td>・</td> <td></td> </tr> </table>	材種	クリアランス(mm)	耐火性能	備考	○アルミニウム製	○50・100	・有り()		・ステンレス製	・150	・無し		材種	受け枠	備考	・塩化ビニル又はゴム製	・ステンレス鋼(SUS304)		・硬質アルミニウム合金製	・硬質アルミニウム合金		・ステンレス鋼(SUS304)製	・		9 排水工事	3 グレーチング [21. 2. 1]	<table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>形式</th> <th>用途</th> <th>適用荷重</th> <th>メインパッチ</th> <th>重鉛めつき(付着量)</th> <th>上面形状</th> </tr> <tr> <td>・鋼製</td> <td>・受枠付き、ボルト固定</td> <td>・溝ふた(横断用) ・溝ふた(側溝用) ・樹ふた用 ・U字溝用</td> <td>・歩行用</td> <td>・細目 ・普通目 ・細目</td> <td></td> <td>・凹凸形 ・平形</td> </tr> <tr> <td>・ステンレス製</td> <td>・受枠付き、ボルト固定</td> <td>・溝ふた(横断用) ・溝ふた(側溝用) ・樹ふた用 ・U字溝用</td> <td>・歩行用</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>・凹凸形 ・平形</td> </tr> </table> <p>(品質・性能及び荷重試験方法) 建築材料・設備機材等品質性能評価事業(一般社団法人 公共建築協会)における「評価の内容」による</p>	材質	形式	用途	適用荷重	メインパッチ	重鉛めつき(付着量)	上面形状	・鋼製	・受枠付き、ボルト固定	・溝ふた(横断用) ・溝ふた(側溝用) ・樹ふた用 ・U字溝用	・歩行用	・細目 ・普通目 ・細目		・凹凸形 ・平形	・ステンレス製	・受枠付き、ボルト固定	・溝ふた(横断用) ・溝ふた(側溝用) ・樹ふた用 ・U字溝用	・歩行用	—	—	・凹凸形 ・平形	9 排水工事	4 街きよ、緑石、及び側溝 [21. 3. 1、2][表21. 3. 1]	<p>街きよ、緑石、側溝</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>形状、寸法</th> </tr> <tr> <td>・緑石</td> <td>※図示</td> </tr> <tr> <td>・L形側溝</td> <td>※図示</td> </tr> <tr> <td>・U形側溝</td> <td>※図示</td> </tr> <tr> <td>・U形側溝ふた</td> <td>※図示</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>※図示</td> </tr> </table> <p>砂利地業に用いる材料 ・再生クラッシュラン[G] ・切込砂利又は切込砕石 砂利地業の厚さ ※100(mm) ※図示 ・現場打ちの場合のコンクリート材料 設計基準強度 ※18N/mm² 凍上抑制層に用いる材料 ・ 砂の粒度試験 ・行う ○行わない</p>	種類	形状、寸法	・緑石	※図示	・L形側溝	※図示	・U形側溝	※図示	・U形側溝ふた	※図示	・	※図示	5 埋戻し土 [21. 2. 1]	※B種
	施工箇所	構法	寸法(mm)	高さ(mm)	耐震性能	所定荷重	表面仕上材																																																																															
	・置敷式 ・支柱調整式	・500×500		・1.0G ・0.6G	・3000N ・5000N	・帯電防止床タイル ・タイルカーペット																																																																																
	材種	クリアランス(mm)	耐火性能	備考																																																																																		
	○アルミニウム製	○50・100	・有り()																																																																																			
	・ステンレス製	・150	・無し																																																																																			
	材種	受け枠	備考																																																																																			
・塩化ビニル又はゴム製	・ステンレス鋼(SUS304)																																																																																					
・硬質アルミニウム合金製	・硬質アルミニウム合金																																																																																					
・ステンレス鋼(SUS304)製	・																																																																																					
材質	形式	用途	適用荷重	メインパッチ	重鉛めつき(付着量)	上面形状																																																																																
・鋼製	・受枠付き、ボルト固定	・溝ふた(横断用) ・溝ふた(側溝用) ・樹ふた用 ・U字溝用	・歩行用	・細目 ・普通目 ・細目		・凹凸形 ・平形																																																																																
・ステンレス製	・受枠付き、ボルト固定	・溝ふた(横断用) ・溝ふた(側溝用) ・樹ふた用 ・U字溝用	・歩行用	—	—	・凹凸形 ・平形																																																																																
種類	形状、寸法																																																																																					
・緑石	※図示																																																																																					
・L形側溝	※図示																																																																																					
・U形側溝	※図示																																																																																					
・U形側溝ふた	※図示																																																																																					
・	※図示																																																																																					
2 可動間仕切 [20. 2. 3]	<table border="1"> <tr> <th>構造形式による種類</th> <th>構成基材の種類</th> <th>パネル表面仕上げ</th> <th>遮音性(α/500Hz)</th> <th>防火性能</th> </tr> <tr> <td>・スタッド式(内蔵) ・スタッド式(露出) ・スタッドパネル式 ・パネル式</td> <td>スタッド パネル</td> <td>・メラミン樹脂焼付 又はアクリル樹脂焼付 ・壁紙張り</td> <td>・0 ・12 ・20 ・28 ・36</td> <td>・0 ・不燃</td> </tr> </table> <p>パネル内に取付ける建具 ・あり(※図示) ・なし ドアクローザー、丁番、錠前、上げ落としは、標準仕様書16章8節の建具用金物に対応する材質とする。</p> <p>表面仕上材を壁紙張りとする場合の品質、性能は標準仕様書19章による パネル材料のホルムアルデヒド放散量 JIS A 6512によるF☆☆☆☆以上</p>	構造形式による種類	構成基材の種類	パネル表面仕上げ	遮音性(α/500Hz)	防火性能	・スタッド式(内蔵) ・スタッド式(露出) ・スタッドパネル式 ・パネル式	スタッド パネル	・メラミン樹脂焼付 又はアクリル樹脂焼付 ・壁紙張り	・0 ・12 ・20 ・28 ・36	・0 ・不燃	11 ロールスクリーン [20. 2. 13]	⑨ 排水工事	1 路床 [22. 2. 2、3、5][表22. 2. 1]	<p>路床の材料</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>材料</th> <th>厚さ(mm)</th> </tr> <tr> <td>・盛土</td> <td>・A種 ・B種 ・C種 ・D種</td> <td>※図示</td> </tr> <tr> <td>・凍上抑制層</td> <td>・再生クラッシュラン ・クラッシュラン ・切込み砂利 ・砂</td> <td>※図示</td> </tr> <tr> <td>・フィルター層</td> <td>・砂</td> <td>※図示</td> </tr> </table> <p>・路床安定処理 安定処理の方法 ・置換え工法 ・安定処理工法 路床安定化処理用添加材料 種類 ・普通ポルトランドセメント ・高炉セメントB種[G] ・フライアッシュセメントB種 ・生石灰() ・消石灰() 添加量 ・ kg/m³(目標CBR ・ 3以上) ・ジオテキスタイル 単位面積質量 ・ 60g/m²以上 厚さ(mm) ・ 0. 5～1. 0 引張強さ ・ 98N/5cm(10kgf/5cm)以上 透水係数 ・ 1. 5×10⁻⁶cm/sec以上</p> <p>試験 砂の粒度試験 ・行う ・行わない 路床土の支持力比(CBR)試験 ・行う ・行わない 路床締め度の試験 ・行う ・行わない 現場CBR試験 ・行う ・行わない</p>	種別	材料	厚さ(mm)	・盛土	・A種 ・B種 ・C種 ・D種	※図示	・凍上抑制層	・再生クラッシュラン ・クラッシュラン ・切込み砂利 ・砂	※図示	・フィルター層	・砂	※図示	2 路盤 [22. 2. 2、3、5][表22. 3. 1]	<p>路盤の厚さ ※図示</p> <p>路盤材料</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">砕石</th> <th colspan="2">種類</th> </tr> <tr> <td>・クラッシュラン</td> <td>・粒度調整砕石</td> </tr> <tr> <th rowspan="2">再生材</th> <td>○クラッシュラン[G]</td> <td>・粒度調整砕石[G]</td> </tr> <tr> <td>・クラッシュラン鉄鋼スラグ[G]</td> <td>・粒度調整鉄鋼スラグ[G]</td> </tr> <tr> <td>・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ[G]</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	砕石	種類		・クラッシュラン	・粒度調整砕石	再生材	○クラッシュラン[G]	・粒度調整砕石[G]	・クラッシュラン鉄鋼スラグ[G]	・粒度調整鉄鋼スラグ[G]	・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ[G]			3 路床 [22. 4. 2～6][表 22. 4. 4]	<p>アスファルト舗装の構成及び厚さ ※図示</p> <p>材料及び種類 アスファルト ○再生アスファルト[G](・ 60～80 ・ 80～100) ストレータアスファルト ○道路用砕石 ・アスファルトコンクリート再生骨材[G]</p> <p>加熱アスファルト混合物等の種類 ○密粒度アスファルト混合物(13) ・細粒度アスファルト混合物(13) ・密粒度アスファルト混合物(13F) シールコートの乳剤の種類 ・PK-1 ・PK-2 試験 アスファルト混合物等の抽出試験 ・行う ○行わない 舗装の平たん性 ※通行の支障となる水たまりを生じない程度</p>																																										
構造形式による種類	構成基材の種類	パネル表面仕上げ	遮音性(α/500Hz)	防火性能																																																																																		
・スタッド式(内蔵) ・スタッド式(露出) ・スタッドパネル式 ・パネル式	スタッド パネル	・メラミン樹脂焼付 又はアクリル樹脂焼付 ・壁紙張り	・0 ・12 ・20 ・28 ・36	・0 ・不燃																																																																																		
種別	材料	厚さ(mm)																																																																																				
・盛土	・A種 ・B種 ・C種 ・D種	※図示																																																																																				
・凍上抑制層	・再生クラッシュラン ・クラッシュラン ・切込み砂利 ・砂	※図示																																																																																				
・フィルター層	・砂	※図示																																																																																				
砕石	種類																																																																																					
	・クラッシュラン	・粒度調整砕石																																																																																				
再生材	○クラッシュラン[G]	・粒度調整砕石[G]																																																																																				
	・クラッシュラン鉄鋼スラグ[G]	・粒度調整鉄鋼スラグ[G]																																																																																				
・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ[G]																																																																																						
3 移動間仕切 [20. 2. 4]	<table border="1"> <tr> <th>走行方向</th> <th>操作方法による種類</th> <th>パネル圧接装置の操作方法</th> <th>総厚さ(mm)</th> <th>パネル表面材</th> <th>遮音性(α/500Hz)</th> </tr> <tr> <td>・平行方向 移動式 ・二方向 移動式</td> <td>・手動式 ・電動式 ・部分電動式</td> <td>・プッシュ式 ・ハンドル式</td> <td></td> <td>・鋼板 ・焼付塗装 ・壁紙張り</td> <td>・36未満 ・36以上</td> </tr> </table> <p>パネル表面仕上げの壁紙張りの品質、性能は標準仕様書19章による 遮音性能は、JIS A 6512に準拠し、中心周波数500Hzの音についての透過損失とする ハンガーレールの取付け下地の補強 ※取付け全重量の5倍以上の荷重に対して、使用上支障のない耐力及び変形量となるように補強する。</p> <p>ランナー ※パネル重量の5倍の荷重を、パネル1枚に使用するランナー数で除した値に対して、耐力及び変形量が使用上支障のないものとする。</p> <p>(品質・性能) 建築材料・設備機材等品質性能評価事業(一般社団法人 公共建築協会)における「評価の内容」による</p>	走行方向	操作方法による種類	パネル圧接装置の操作方法	総厚さ(mm)	パネル表面材	遮音性(α/500Hz)	・平行方向 移動式 ・二方向 移動式	・手動式 ・電動式 ・部分電動式	・プッシュ式 ・ハンドル式		・鋼板 ・焼付塗装 ・壁紙張り	・36未満 ・36以上	12 カーテン [20. 2. 14]	18 床点検口 [20. 2. 16]	2 鉄製ふた [21. 2. 1]	<p>材料</p> <table border="1"> <tr> <th>材種</th> <th>種類・記号</th> <th>形状</th> <th>呼び径</th> </tr> <tr> <td>・遠心力鉄筋コンクリート管</td> <td>外圧管(1種)</td> <td>・B形管</td> <td>・図示</td> </tr> <tr> <td>・硬質ポリ塩化ビニル管</td> <td>・VP ・VU ・RS-VU[G]</td> <td>・図示 ・図示 ・図示</td> <td></td> </tr> </table> <p>基礎の厚さ及び種類 ※図示 硬質ポリ塩化ビニル管の継手に用いる材料 ※接着剤 側塊の形状及び寸法 ※図示 排水溝の種類 ※図示 砂地業に用いる材料 ・シルト ・山砂 ・川砂 ・砕砂 砂利地業に用いる材料 ・再生クラッシュラン[G] ・切込砂利又は切込砕石 ・現場打ちの場合のコンクリート材料 設計基準強度 ※18N/mm² ・現場打ちの場合の鉄筋 種類の記号 ※SD295A ・現場打ちの場合の足掛け金物 ※標準仕様書21. 2. 2(6) (a) 材質 ・ステンレス製 ・鋼製 ・合成樹脂被覆加工されたもの 凍上抑制層に用いる材料 ・ 砂の粒度試験 ・行う ・行わない</p>	材種	種類・記号	形状	呼び径	・遠心力鉄筋コンクリート管	外圧管(1種)	・B形管	・図示	・硬質ポリ塩化ビニル管	・VP ・VU ・RS-VU[G]	・図示 ・図示 ・図示																																																										
走行方向	操作方法による種類	パネル圧接装置の操作方法	総厚さ(mm)	パネル表面材	遮音性(α/500Hz)																																																																																	
・平行方向 移動式 ・二方向 移動式	・手動式 ・電動式 ・部分電動式	・プッシュ式 ・ハンドル式		・鋼板 ・焼付塗装 ・壁紙張り	・36未満 ・36以上																																																																																	
材種	種類・記号	形状	呼び径																																																																																			
・遠心力鉄筋コンクリート管	外圧管(1種)	・B形管	・図示																																																																																			
・硬質ポリ塩化ビニル管	・VP ・VU ・RS-VU[G]	・図示 ・図示 ・図示																																																																																				
4 トイレブース [20. 2. 4]	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">表面材の材料</th> <th colspan="2">脚部</th> <th colspan="2">ドアエッジ</th> </tr> <tr> <td>○メラミン樹脂系化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板</td> <td>○福木タイプ ○アジャスター</td> <td>・標準 ※R</td> <td>○アルミニウム製 ・ステンレス製 ・表面材と同材</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>パネル材料のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 (品質・性能及び試験方法) 建築材料・設備機材等品質性能評価事業(一般社団法人 公共建築協会)における「評価の内容」による</p>	表面材の材料		脚部		ドアエッジ		○メラミン樹脂系化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板	○福木タイプ ○アジャスター	・標準 ※R	○アルミニウム製 ・ステンレス製 ・表面材と同材			13 カーテンレール [20. 2. 14]	16 床点検口 [20. 2. 16]	2 鉄製ふた [21. 2. 1]	<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>種類</th> <th>適用荷重</th> <th>鍵</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・水封形</td> <td>・T-2用</td> <td>・有り</td> <td>・無し</td> <td>左記以外の品質等は(公社)空気調和衛生工学会SHASE-S209による</td> </tr> <tr> <td>・簡易密閉形(バッキン式)</td> <td>・T-6用 ・T-20用</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・密閉形(テーパー・バッキン式)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・中ふた付き密閉形(テーパー・バッキン式)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	名称	種類	適用荷重	鍵	備考	・水封形	・T-2用	・有り	・無し	左記以外の品質等は(公社)空気調和衛生工学会SHASE-S209による	・簡易密閉形(バッキン式)	・T-6用 ・T-20用				・密閉形(テーパー・バッキン式)					・中ふた付き密閉形(テーパー・バッキン式)																																																
表面材の材料		脚部		ドアエッジ																																																																																		
○メラミン樹脂系化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板	○福木タイプ ○アジャスター	・標準 ※R	○アルミニウム製 ・ステンレス製 ・表面材と同材																																																																																			
名称	種類	適用荷重	鍵	備考																																																																																		
・水封形	・T-2用	・有り	・無し	左記以外の品質等は(公社)空気調和衛生工学会SHASE-S209による																																																																																		
・簡易密閉形(バッキン式)	・T-6用 ・T-20用																																																																																					
・密閉形(テーパー・バッキン式)																																																																																						
・中ふた付き密閉形(テーパー・バッキン式)																																																																																						
5 階段滑り止め [20. 2. 6]	<p>材質 ・ステンレス製 ・黄銅製押出型材 ・アルミニウム製押出型材 滑り止め材 形状 ・ひも型 ・タイヤ型 材質 ・ゴム又は合成樹脂 取付け工法 ※接着工法 ・埋め込み工法 幅()mm 端部フラットエンド(・あり ・なし)</p>	14 ブラインドボックス及びカーテンボックス [20. 2. 14]	16 床点検口 [20. 2. 16]	2 鉄製ふた [21. 2. 1]	<p>材料</p> <table border="1"> <tr> <th>材種</th> <th>寸法</th> <th>形式</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・アルミニウム製 ・ステンレス製 ・鋼製</td> <td>・450×450 ・600×600</td> <td>・一般形 ・密閉形</td> <td>・屋内外用 ・屋内用 ・鍵付き</td> </tr> </table> <p>密閉型とは、ボルト、ナット等メカニカル構造にパッキンを装着したものである (品質・性能及び試験方法) 建築材料・設備機材等品質性能評価事業(一般社団法人 公共建築協会)における「評価の内容」による</p>	材種	寸法	形式	備考	・アルミニウム製 ・ステンレス製 ・鋼製	・450×450 ・600×600	・一般形 ・密閉形	・屋内外用 ・屋内用 ・鍵付き																																																																									
材種	寸法	形式	備考																																																																																			
・アルミニウム製 ・ステンレス製 ・鋼製	・450×450 ・600×600	・一般形 ・密閉形	・屋内外用 ・屋内用 ・鍵付き																																																																																			
6 手すり [20. 2. 8]	<table border="1"> <tr> <th>材種</th> <th>表面仕上げ</th> <th>直径(mm)</th> <th>取付箇所</th> </tr> <tr> <td>・集成材 ・ステンレスパイプ ・鋼製パイプ ・ビニル製ハンドルレール ・木調樹脂成型品</td> <td>・カワカカ ・HL ・SOP・DP</td> <td>・35 ・図示</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・34</td> <td>・階段室</td> </tr> </table> <p>・黒板 区分 ※焼き付け 種類 ・鋼製黒板 ・ほうろう黒板 色 ※緑 ・ホワイトボード</p>	材種	表面仕上げ	直径(mm)	取付箇所	・集成材 ・ステンレスパイプ ・鋼製パイプ ・ビニル製ハンドルレール ・木調樹脂成型品	・カワカカ ・HL ・SOP・DP	・35 ・図示				・34	・階段室	15 天井点検口 [20. 2. 15]																																																																								
材種	表面仕上げ	直径(mm)	取付箇所																																																																																			
・集成材 ・ステンレスパイプ ・鋼製パイプ ・ビニル製ハンドルレール ・木調樹脂成型品	・カワカカ ・HL ・SOP・DP	・35 ・図示																																																																																				
		・34	・階段室																																																																																			

教育委員会事務局 教育総務課			
工事名	可児市立西可児中学校トイレ大規模改修工事(Ⅱ期)		
種別	建築改修特記仕様書6	図面番号	A-06
縮尺	—	作成年月日	2024. 10
設計者	株式会社 三宅設計		
氏名	一級建築士 大臣登録 第68278号 三宅晶信		

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項																																																																																																																																																							
12	1 石綿含有建材の除去工事	<p>(9.1.1, 3~5)</p> <p>施工調査 ※石綿含有建材の事前調査 工事着手に先立ち、目視及び貸与する設計図書等により石綿を含有している吹付け材、成形板、建築材料等の使用の有無について調査する 調査範囲 (内部改修範囲) 貸与資料 (なし) ・分析による石綿含有建材の調査 分析対象 アクチノライト、アモサイト、アンソフィライト、クリソタイル、クロンドライト、トレモライト 分析方法</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">材 料 名</th> <th colspan="2">定性分析方法</th> <th colspan="2">定量分析方法</th> </tr> <tr> <th>JIS A 1481-1 または JIS A 1481-2</th> <th>・箇所数 ()</th> <th>JIS A 1481-3 または JIS A 1481-4</th> <th>・箇所数 ()</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>サンプル数 1箇所あたり3サンプル 採取箇所 図示</p> <p>・石綿粉じん濃度測定 測定時期、場所及び測定点</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>適用</th> <th>測定名称</th> <th>測定時期</th> <th>測定場所</th> <th>測定箇所数 (各施工箇所ごと)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>測定 1</td> <td>処理作業前</td> <td>処理作業室内</td> <td>計 点</td> <td></td> </tr> <tr> <td>測定 2</td> <td rowspan="5">処理作業中</td> <td>調査対象室外部の付近</td> <td>計 点</td> <td></td> </tr> <tr> <td>測定 3</td> <td>処理作業室内</td> <td>計 点</td> <td></td> </tr> <tr> <td>測定 4</td> <td>セキュリティゾーン入口</td> <td>計 点</td> <td></td> </tr> <tr> <td>測定 5</td> <td>集じん・排気装置の排出口 (処理作業室外の場合)</td> <td>出口吹出し風速 1m/s以下の位置</td> <td>計 点</td> <td></td> </tr> <tr> <td>測定 6</td> <td>処理作業室外 ・施工区画周辺 ・敷地境界</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>測定 7</td> <td>処理作業後 (シート養生中)</td> <td>処理作業室内</td> <td>計 点</td> <td></td> </tr> <tr> <td>測定 8</td> <td>処理作業後 (シート撤去後)</td> <td>処理作業室内</td> <td>計 点</td> <td></td> </tr> <tr> <td>測定 9</td> <td>1週間以降</td> <td>調査対象室外部の付近</td> <td>計 点</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>測定方法 ・自動測定器による測定</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>測定名称</th> <th colspan="3">測定方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>測定 4</td> <td colspan="3">粉じん相対濃度計(デジタル粉じん計)、パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器(リアルタイムファイバーモニター)等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定</td> </tr> </tbody> </table> <p>・JIS K 3850-1に基づいた測定</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>測定名称</th> <th>メンブレンフィルタ直径(mm)</th> <th>試料の吸引流量(L/min)</th> <th>試料の吸引時間(min)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>測定 4</td> <td>25</td> <td>5</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>測定 5</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>47</td> <td>10</td> <td>120</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>47</td> <td>10</td> <td>240</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>石綿含有建材の処理 ・石綿含有吹付け材の除去 除去対象範囲 図示 除去工法 ※9.1.3 (2) (7)による</p> <p>除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止措置 ※湿潤化 ・固形化 除去した石綿含有吹付け材等の処分 ・埋立処分(管理型最終処分場) ・中間処理(溶融施設又は無害化処理施設)</p> <p>・石綿含有保温材等の除去 除去対象範囲 図示 除去工法 ・破碎して除去 ・手ばらし 除去した石綿含有保温材等の飛散防止 ※湿潤化 ・固形化 除去した石綿含有保温材等の処分 ・埋立処分(管理型最終処分場) ・中間処理(溶融施設又は無害化処理施設)</p> <p>石綿含有成型板の除去 除去対象範囲 図示 除去した石綿含有成型板の処分 ・石綿含有せっこうボード ※埋立処分(管理型最終処分場) ・石綿含有せっこうボードを除く石綿含有成型板 ・埋立処分(安定型最終処分場) ・中間処理(溶融施設又は無害化処理施設)</p> <p>石綿含有建材除去後の仕上げ工事 図示</p>	材 料 名	定性分析方法		定量分析方法		JIS A 1481-1 または JIS A 1481-2	・箇所数 ()	JIS A 1481-3 または JIS A 1481-4	・箇所数 ()																					適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定箇所数 (各施工箇所ごと)	測定 1	処理作業前	処理作業室内	計 点		測定 2	処理作業中	調査対象室外部の付近	計 点		測定 3	処理作業室内	計 点		測定 4	セキュリティゾーン入口	計 点		測定 5	集じん・排気装置の排出口 (処理作業室外の場合)	出口吹出し風速 1m/s以下の位置	計 点		測定 6	処理作業室外 ・施工区画周辺 ・敷地境界				測定 7	処理作業後 (シート養生中)	処理作業室内	計 点		測定 8	処理作業後 (シート撤去後)	処理作業室内	計 点		測定 9	1週間以降	調査対象室外部の付近	計 点		測定名称	測定方法			測定 4	粉じん相対濃度計(デジタル粉じん計)、パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器(リアルタイムファイバーモニター)等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定			測定名称	メンブレンフィルタ直径(mm)	試料の吸引流量(L/min)	試料の吸引時間(min)	測定 4	25	5	30	測定 5				・	47	10	120	・	47	10	240	・				12	2 断熱アスファルト防水改修工事	改修特記仕様書 3章による	(9.2.2~3)	2	6 透水性アスファルト舗装改修工事	<p>(9.7.2~5, 9)</p> <p>既存舗装の撤去及び再利用 ※図示</p> <p>路床</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>材 料</th> <th>厚さ(mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・盛土</td> <td>・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・建設汚泥から再生した処理土[G]</td> <td>・図示</td> </tr> <tr> <td>・凍上抑制層</td> <td>・再生クラッシュチャラン[G] ・クラッシュチャラン ・切込み砂利</td> <td>・図示</td> </tr> <tr> <td>・フィルター層</td> <td>・砂</td> <td>・図示</td> </tr> </tbody> </table> <p>路床安定処理 ・適用する ・適用しない 路床安定処理の方法 ・添加材料による安定処理 ・添加材料による安定処理 種類 ・普通ポルトランドセメント ・高炉セメントB種 ・フライアッシュセメントB種 ・生石灰(・特号 ・1号) ・消石灰(・特号 ・1号)</p> <p>添加量 kg(目標CBR ・3以上) 目標CBRを満足する添加量の確認方法 ・安定処理土のCBR試験</p> <p>・ジオテキスタイル 単位面積質量 ・60g/m2以上 厚さ(mm) ・0.5~1.0 引張強さ ・98N/5cm(10kgf/5cm)以上 透水係数 ・1.5×10⁻³cm/sec以上</p> <p>試験 砂の粒度試験 ・行う ・行わない 路床土の支持力比(CBR)試験 ・行う ・行わない 現場CBR試験 ・行う ・行わない 路床締固め度の試験 ・行う ・行わない</p> <p>路盤 路盤の厚さ 図示 路盤材料</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">種 類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>砕石</td> <td>・クラッシュチャラン ・粒度調整砕石</td> </tr> <tr> <td>再生材</td> <td>・クラッシュチャラン[G] ・粒度調整砕石[G]</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・クラッシュチャラン鉄鋼スラグ[G] ・粒度調整鉄鋼スラグ[G] ・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ[G]</td> </tr> </tbody> </table> <p>舗装の構成 図示 開粒度アスファルト混合物等の抽出試験 ・行う ・行わない 舗装の平坦性 ※著しい不陸がないもの</p>	種別	材 料	厚さ(mm)	・盛土	・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・建設汚泥から再生した処理土[G]	・図示	・凍上抑制層	・再生クラッシュチャラン[G] ・クラッシュチャラン ・切込み砂利	・図示	・フィルター層	・砂	・図示	種 類		砕石	・クラッシュチャラン ・粒度調整砕石	再生材	・クラッシュチャラン[G] ・粒度調整砕石[G]		・クラッシュチャラン鉄鋼スラグ[G] ・粒度調整鉄鋼スラグ[G] ・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ[G]	2	3 外断熱改修工事	<p>断熱材</p> <p>断熱材の種類 ・ 断熱材の厚さ(mm) ・ 施工箇所 図示 ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外</p> <p>外装材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 類</th> <th>防火性能</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>鋼材 改修特記仕様書 8章 8-3 鉄骨工事 ・鋼材による</p> <p>笠木 改修特記仕様書 3章 ・アルミニウム製笠木による</p> <p>既存外壁の処置 既存外壁仕上材の撤去 ・あり ・なし 下地面の清掃 ・行う ・行わない 欠損部の改修工法 ・改修特記仕様書 4章 外壁改修工事による</p> <p>工法 建築基準法に基づき定まる(・1 ・1.15 ・1.3)倍の風圧力に対応した工法 不陸等の下地調整 断熱材の施工 ・断熱材製造所の仕様による 外装材の施工 ・外装材製造所の仕様による 通気層の有無 ・あり(mm) ・なし 外装材の外壁への取付け 図示 笠木の施工 ・改修特記仕様書 3章 アルミニウム製笠木による</p>	種 類	防火性能	備考				(9.4.2, 3)	3	ガラス改修工事	<p>複層ガラス 材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに複層ガラスの厚さ ・建具表による 断熱性による区分 ・T1 ・T2 ・T3 ・T4 ・T5 ・T6 日射取得性、日射遮蔽性による区分 ・G ・S 乾燥気体の種類 ・空気 ・アルゴン</p> <p>上記以外は、改修特記仕様書 5章 建具改修工事による</p>	(9.5.2~4)	4	断熱・防露改修工事	<p>フェノールフォーム断熱材又は保温材、接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・断熱材打込み工法 断熱材 JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材 種類 ・ 厚さ(mm) ・ 施工箇所 ・ ・断熱材現場発泡工法 断熱材の種類 ・A種1 ・A種1H 吹き付け厚さ(mm) ・25 ・30 施工箇所 図示 (品質・性能及び試験方法) 建築材料・設備機材等品質性能評価事業(一般社団法人 公共建築協会)における「評価の内容」による</p>	(9.6.2, 3)	5	屋上緑化改修工事	<p>植栽基盤及び材料 屋上緑化軽量システム ・適用する ・適用しない 芝及び地被類の種類等 ※図示 見切り材、舗装材、排水孔、マルチング材等 ※図示 (品質・性能及び試験方法) 建築材料・設備機材等品質性能評価事業(一般社団法人 公共建築協会)における「評価の内容」による</p> <p>工法 建築基準法に基づき定まる(・1 ・1.15 ・1.3)倍の風圧力に対応した工法 かん水装置 ・設置する(種類 ・) 既存保護層の撤去 ・行う ・行わない 新植した芝及び地被類の枯補償の期間 ※引き渡しの日から1年</p>
材 料 名	定性分析方法			定量分析方法																																																																																																																																																											
	JIS A 1481-1 または JIS A 1481-2	・箇所数 ()	JIS A 1481-3 または JIS A 1481-4	・箇所数 ()																																																																																																																																																											
適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定箇所数 (各施工箇所ごと)																																																																																																																																																											
測定 1	処理作業前	処理作業室内	計 点																																																																																																																																																												
測定 2	処理作業中	調査対象室外部の付近	計 点																																																																																																																																																												
測定 3		処理作業室内	計 点																																																																																																																																																												
測定 4		セキュリティゾーン入口	計 点																																																																																																																																																												
測定 5		集じん・排気装置の排出口 (処理作業室外の場合)	出口吹出し風速 1m/s以下の位置	計 点																																																																																																																																																											
測定 6		処理作業室外 ・施工区画周辺 ・敷地境界																																																																																																																																																													
測定 7	処理作業後 (シート養生中)	処理作業室内	計 点																																																																																																																																																												
測定 8	処理作業後 (シート撤去後)	処理作業室内	計 点																																																																																																																																																												
測定 9	1週間以降	調査対象室外部の付近	計 点																																																																																																																																																												
測定名称	測定方法																																																																																																																																																														
測定 4	粉じん相対濃度計(デジタル粉じん計)、パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器(リアルタイムファイバーモニター)等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定																																																																																																																																																														
測定名称	メンブレンフィルタ直径(mm)	試料の吸引流量(L/min)	試料の吸引時間(min)																																																																																																																																																												
測定 4	25	5	30																																																																																																																																																												
測定 5																																																																																																																																																															
・	47	10	120																																																																																																																																																												
・	47	10	240																																																																																																																																																												
・																																																																																																																																																															
種別	材 料	厚さ(mm)																																																																																																																																																													
・盛土	・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・建設汚泥から再生した処理土[G]	・図示																																																																																																																																																													
・凍上抑制層	・再生クラッシュチャラン[G] ・クラッシュチャラン ・切込み砂利	・図示																																																																																																																																																													
・フィルター層	・砂	・図示																																																																																																																																																													
種 類																																																																																																																																																															
砕石	・クラッシュチャラン ・粒度調整砕石																																																																																																																																																														
再生材	・クラッシュチャラン[G] ・粒度調整砕石[G]																																																																																																																																																														
	・クラッシュチャラン鉄鋼スラグ[G] ・粒度調整鉄鋼スラグ[G] ・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ[G]																																																																																																																																																														
種 類	防火性能	備考																																																																																																																																																													

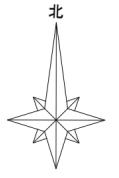
教育委員会事務局 教育総務課			
工事名	可児市立西可児中学校トイレ大規模改修工事(Ⅱ期)		
種 別	建築改修特記仕様書 7	図面番号	A-07
縮 尺	—	作成年月日	2024.10
設計者	株式会社 三宅設計		
氏名	一級建築士 大臣登録 第68278号 三宅晶信		



配置図 1/1000



付近見取図

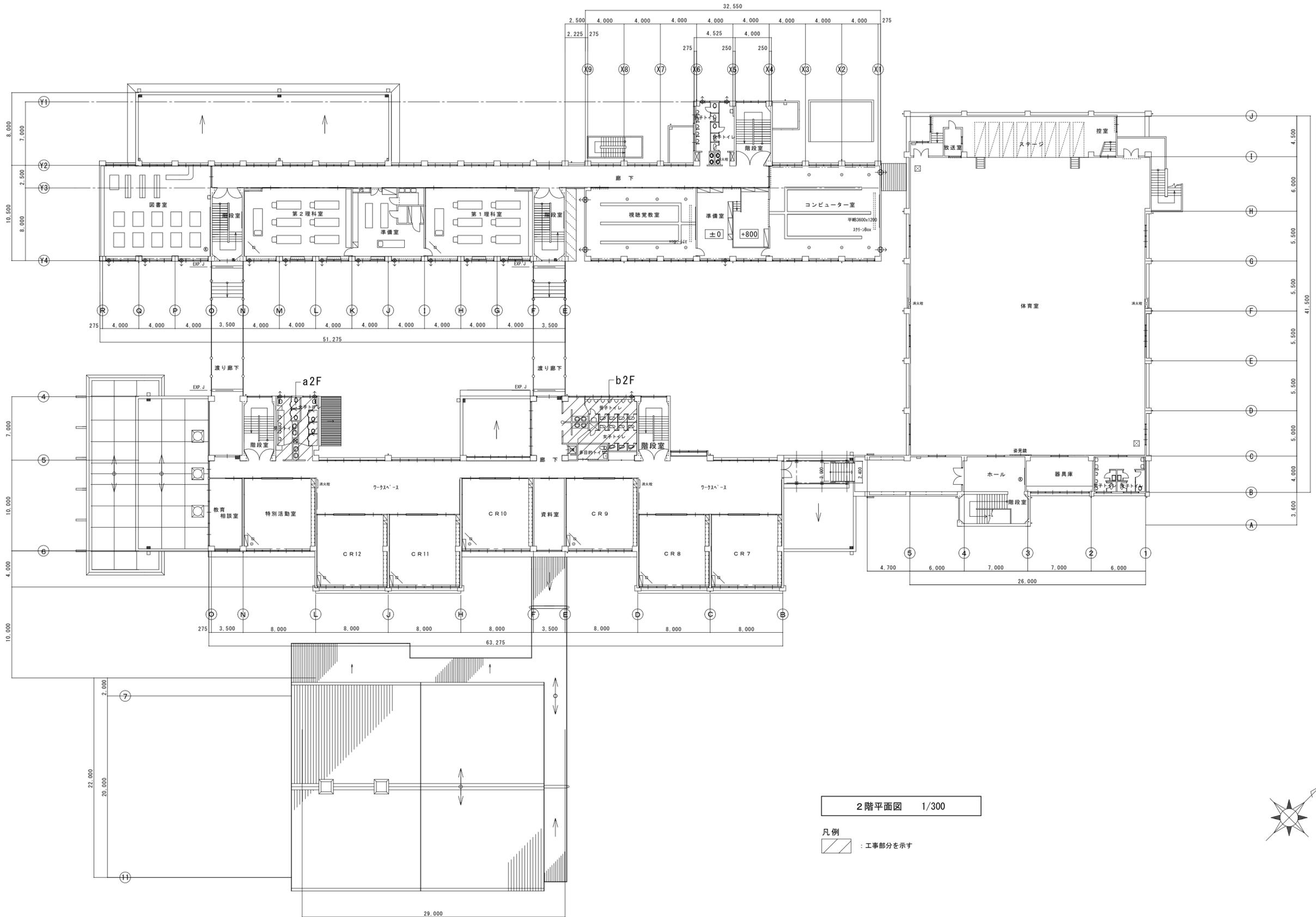


備考

株式会社 三宅設計
 TEL 0574 (62) 1881
 FAX 0574 (62) 5432
 1級建築士 三宅 晶信 第68278号

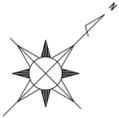
承認 設計
 設計年月日 2024.10

NO. A-08
 工事名 可児市立西可児中学校トイレ大規模改造工事(Ⅱ期) 工事設計図
 図面名 配置図・付近見取図 scale 1/1000



2階平面図 1/300

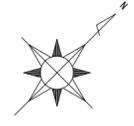
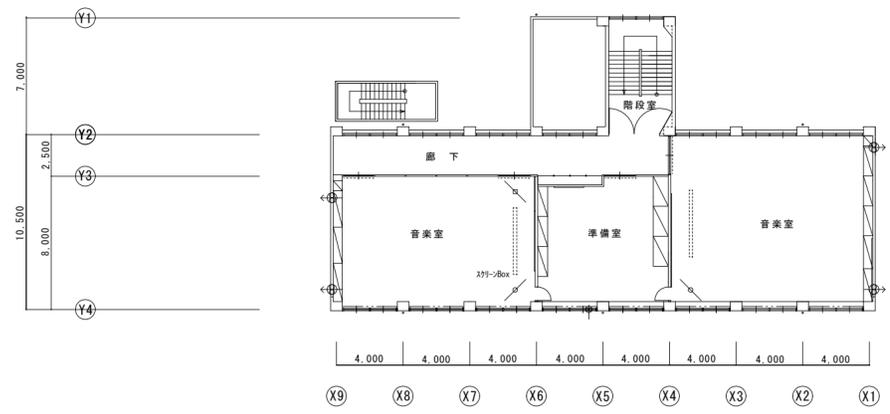
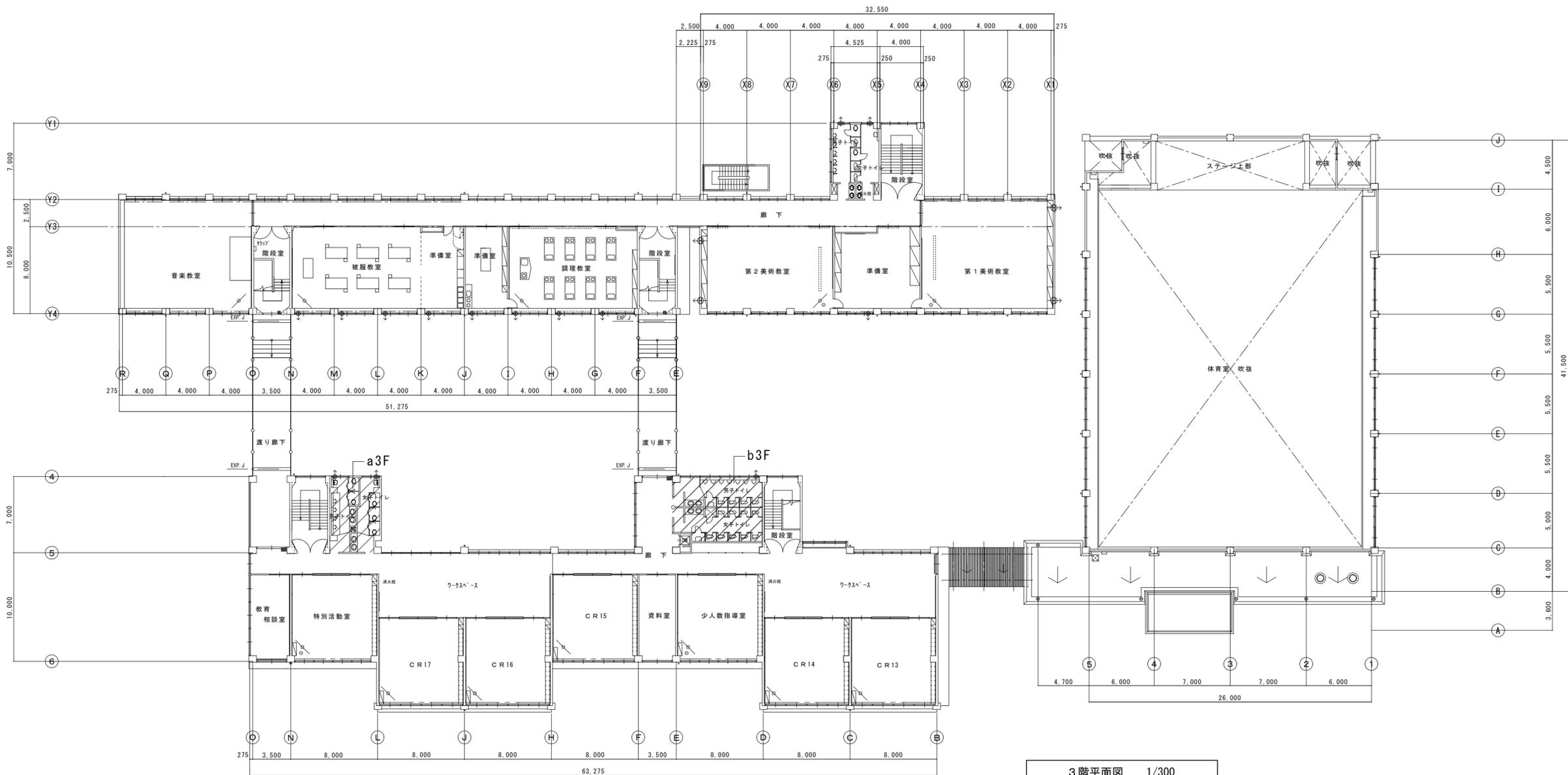
凡例
 : 工事部分を示す



備考

株式会社 三宅設計
 TEL 0574 (62) 1881
 FAX 0574 (62) 5432
 1級建築士 三宅晶信 第68278号

承認	設計	設計年月日	N0.	工事名	工事設計図
		2024.10	A-10	可児市立西可児中学校トイレ大規模改造工事(Ⅱ期)	
				図面名	現況2階平面図
				scale 1/300	



備考

株式会社 三宅設計
 TEL 0574 (62) 1881
 FAX 0574 (62) 5432
 1級建築士 三宅 晶信 第68278号

承認

設計

設計年月日

2024.10

NO.

A-11

工事名 可児市立西可児中学校トイレ大規模改造工事(Ⅱ期)

工事設計図

図面名 現況3階・4階平面図

scale 1/300

内部仕上表

階	室名	区分	床	幅木	壁	天井	天井高	備考
南舎西普通特別教室棟 2・3階	男子トイレ	現況	モルタル下地存置、ビニル床シート撤去	ソフト幅木H75撤去	既存仕上面接着工法部分：不燃化粧板貼厚3存置 LGS65部分：ケイカル板t6下地不燃化粧板厚3貼存置	ケイカル板t6(★) EP塗装 撤去 (LGS下地：2階撤去、3階存置)	2.700	トイレブース撤去 小便器及びSK面台 (LGSt100ケイカル板t6下地不燃化粧板貼t3、天端SUS) 撤去
		改修後	ビニル床シート t 2.0貼	塩ビ製(スチルス箔仕上仕様)H60	既存不燃化粧板厚3表面目荒しのうえ不燃メラミン化粧板t3接着張り LGS65部分：不燃化粧板厚3表面目荒しのうえ不燃メラミン化粧板t3接着張り	塩ビ撤去	2.700	トイレブース新設、防汚陶板新設 小便器及びSK面台 (LGSt90ケイカル板t6下地プライマー処理のうえ不燃化粧板貼t3、天端SUS、巾木：トイレ巾木と同仕様) 新設
	同上手洗い	現況	ビニル床シート撤去(フローリングボードt15下地共)	ソフト幅木H75撤去	既存仕上面接着工法部分：不燃化粧板貼厚3存置 LGS65部分：ケイカル板t6下地不燃化粧板厚3貼存置	ケイカル板t6(★) EP塗装 撤去 (LGS下地：2階撤去、3階存置)	2.700	洗面台マーブライトカウンター撤去、洗面台全面鏡撤去
		改修後	モルタル下地ビニル床シート t 2.0貼	塩ビ製(スチルス箔仕上仕様)H60	既存不燃化粧板厚3表面目荒しのうえ不燃メラミン化粧板t3接着張り LGS65部分：不燃化粧板厚3表面目荒しのうえ不燃メラミン化粧板t3接着張り	塩ビ撤去	2.700	洗面台マーブライトカウンター新設
	女子トイレ	現況	モルタル下地存置、ビニル床シート撤去	ソフト幅木H75撤去	既存仕上面接着工法部分：不燃化粧板貼厚3存置 LGS65部分：ケイカル板t6下地不燃化粧板厚3貼存置	ケイカル板t6(★) EP塗装 撤去 (LGS下地：2階撤去、3階存置)	2.700	トイレブース撤去 SK面台 (LGSt100ケイカル板t6下地不燃化粧板貼t3、天端SUS) 撤去
		改修後	ビニル床シート t 2.0貼	塩ビ製(スチルス箔仕上仕様)H60	既存不燃化粧板厚3表面目荒しのうえ不燃メラミン化粧板t3接着張り LGS65部分：不燃化粧板厚3表面目荒しのうえ不燃メラミン化粧板t3接着張り	塩ビ撤去	2.700	トイレブース新設 小便器及びSK面台 (LGSt90ケイカル板t6下地プライマー処理のうえ不燃化粧板貼t3、天端SUS、巾木：トイレ巾木と同仕様) 新設
同上手洗い	現況	ビニル床シート撤去(フローリングボードt15下地共)	ソフト幅木H75撤去	既存仕上面接着工法部分：不燃化粧板貼厚3存置 LGS65部分：ケイカル板t6下地不燃化粧板厚3貼存置	ケイカル板t6(★) EP塗装 撤去 (LGS下地：2階撤去、3階存置)	2.700	洗面台マーブライトカウンター撤去	
	改修後	ビニル床シート t 2.0貼	塩ビ製(スチルス箔仕上仕様)H60	既存仕上面接着工法部分：不燃化粧板貼厚3存置 LGS65部分：ケイカル板t6下地不燃化粧板厚3貼存置	塩ビ撤去	2.700	洗面台マーブライトカウンター新設	

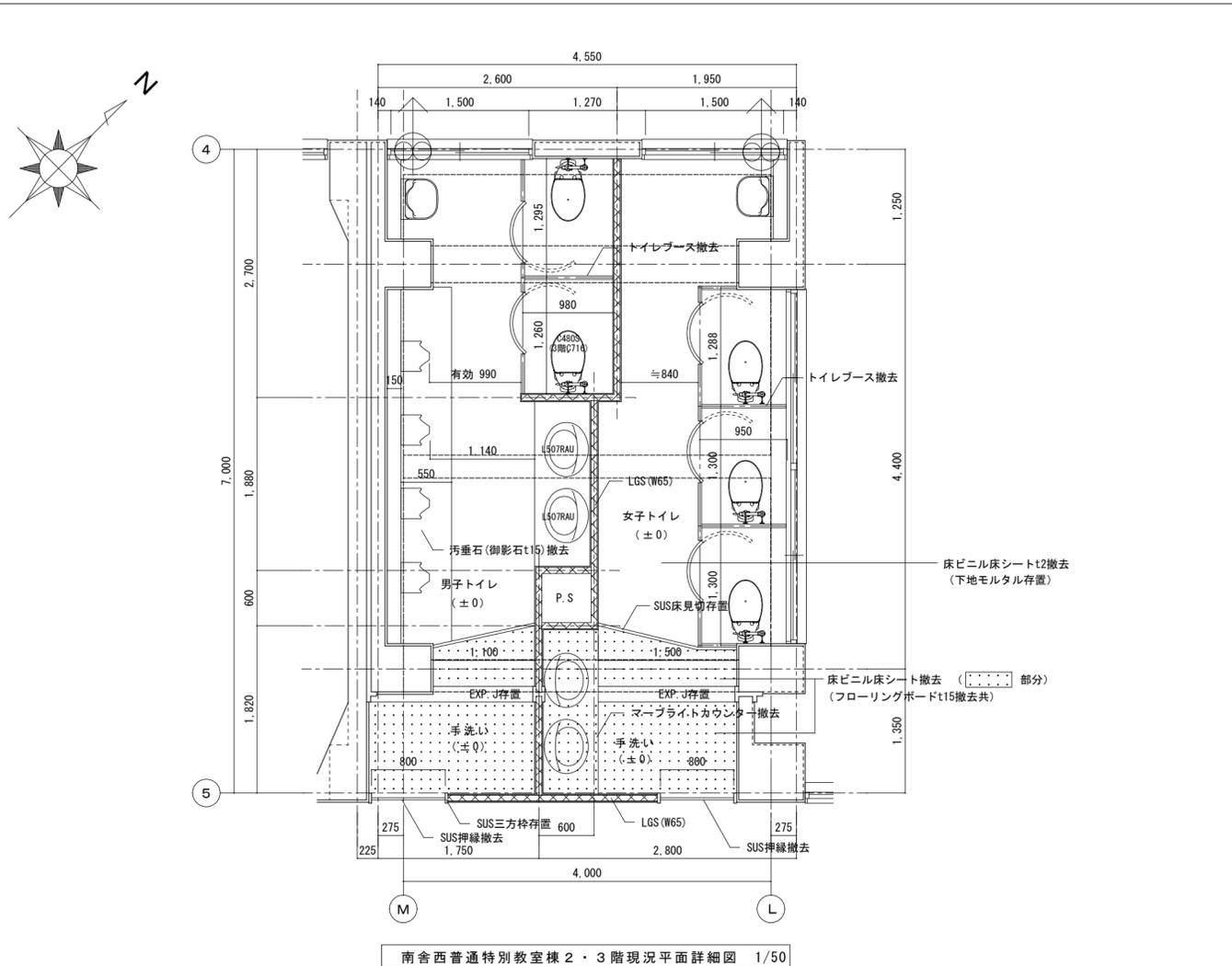
★：アスベスト含有建材 (みなし)

設計要件 (平成19年度以前に工事を実施したため全面改修対象)

建築	室名	内装(床・壁・天井)	乾式化 ※プール棟・屋外トイレ除く	床段差解消	トイレブースの取替	手摺の設置 ※大小に各1箇所	その他備考	
男子・女子トイレ	要	要	要	要	要	要		
機械	室名	便器(大小)の取替 ※和便器は全て様式化	暖房便座 ※校舎及び屋内運動場のみ	ウォシュレット ※屋内運動場のみ	自動水栓化	洗面器又は手洗器 掃除用の取替	換気扇の取替	・節水型器具の採用
男子・女子トイレ	要	要	要	要	要	要	要	
電気	室名	照明器具の取替 (LED化) ※人感センサースイッチを採用	コンセント (暖房便座・ウォシュレット用)	コンセント (自動水栓用)				
男子・女子トイレ	要	要	要	要				

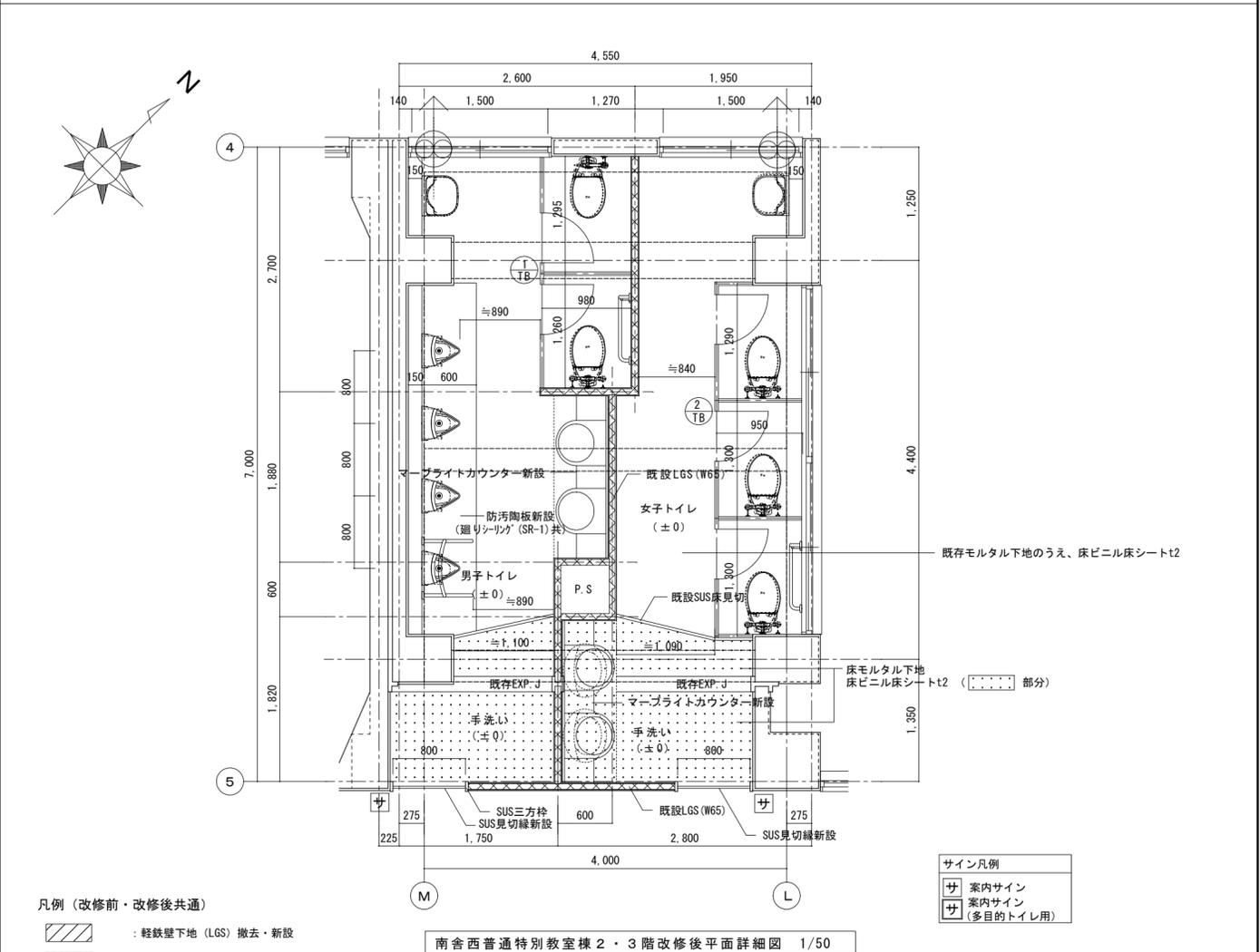
改修前 (現況) 南舎西普通特別教室棟 2・3階トイレ (a2F・a3F) 平面詳細図

1/50



改修後 南舎西普通特別教室棟 2・3階トイレ (a2F・a3F) 平面詳細図

1/50



備考

株式会社 三宅設計
TEL 0574 (62) 1881
FAX 0574 (62) 5432
1級建築士 三宅 晶 信 第68278号

承認 設計 設計年月日 2024.10 No. A-13
工事名 可児市立西可児中学校トイレ大規模改修工事(Ⅱ期) 工事設計図
図面名 南舎西普通特別教室棟 2・3階トイレ 平面詳細図・内部仕上表 scale 1/50

内部仕上表

階	室名	区分	床	幅木	壁	廻縁	天井	天井高	備考
南舎東普通教室棟	男子トイレ	現況	土間コン・モルタル下地・モザイクタイル張り撤去	-	テラゾーブロックスクリーン(欄間型板ガラス)撤去 モルタル下地100角タイル張り存置	塩ビ製撤去	石膏ボードt9.5 EP塗装 撤去 (軽天下地共)	2.750	テラゾーブロックスクリーン(欄間型板ガラス)撤去、トイレブース撤去 小便器面台(GB積・モルタル下地100角タイル貼、天端TB)撤去
		改修後	土間コン・モルタル下地・ビニル床シートt2.0	塩ビ製(ステンレス箔仕上げ仕様)H60	LGSW50・GB-St12.5下地不燃メラミン化粧板t3 既存100角タイル張り面メラミン化粧板t3接着直張り	塩ビ製	LGS下地 GB-D(化粧石膏ボード)t9.5	2.700	トイレブース新設、防汚陶板新設 小便器及びSK面台(LGSt90ケイカル板t6下地プライマー処理のうえ不燃化粧板貼t3、天端SUS、巾木:トイレ巾木と同仕様)新設
同上手洗い	同上手洗い	現況	土間コン・床モルタル・70-リングボードt15・ビニル床シート撤去一部(前室部分)70-リングボードt15・ビニル床シートt2.0撤去	ソフト幅木H75撤去	LGS下地存置、耐水石膏ボードt12.5 EP塗装 撤去 モルタル下地100角タイル張り存置	塩ビ製撤去	石膏ボードt9.5 EP塗装 撤去 (軽天下地共)	2.700	洗面台マーブライトカウンター撤去、洗面台前大型鏡撤去
		改修後	土間コン・モルタル下地・ビニル床シートt2.0 一部(前室部分)モルタル下地ビニル床シートt2.0	塩ビ製(ステンレス箔仕上げ仕様)H60	既存LGS下地のうえ、GB-St12.5下地メラミン化粧板t3 一部(洗100角タイル張り面メラミン化粧板t3接着直張り)	塩ビ製	LGS下地 GB-D(化粧石膏ボード)t9.5	2.700	洗面台マーブライトカウンター新設
1階	女子トイレ	現況	土間コン・モルタル下地・モザイクタイル張り撤去	-	テラゾーブロックスクリーン(欄間型板ガラス)撤去 モルタル下地100角タイル張り存置	塩ビ製撤去	石膏ボードt9.5 EP塗装 撤去 (軽天下地共)	2.750	テラゾーブロックスクリーン(欄間型板ガラス)撤去、トイレブース撤去
		改修後	土間コン・モルタル下地・ビニル床シートt2.0	塩ビ製(ステンレス箔仕上げ仕様)H60	LGSW50・GB-St12.5下地不燃メラミン化粧板t3 既存100角タイル張り面メラミン化粧板t3接着直張り	塩ビ製	LGS下地 GB-D(化粧石膏ボード)t9.5	2.700	トイレブース新設 SK面台(LGSt90ケイカル板t6下地プライマー処理のうえ不燃化粧板貼t3、天端SUS、巾木:トイレ巾木と同仕様)新設
同上手洗い	同上手洗い	現況	土間コン・床モルタル・70-リングボードt15・ビニル床シート撤去一部(前室部分)70-リングボードt15・ビニル床シートt2.0撤去	ソフト幅木H75撤去	LGS下地存置、耐水石膏ボードt12.5 EP塗装 撤去 (洗面東面)モルタル下地100角タイル張り存置	塩ビ製撤去	石膏ボードt9.5 EP塗装 撤去 (軽天下地共)	2.700	洗面台マーブライトカウンター撤去、洗面台前大型鏡撤去
		改修後	土間コン・モルタル下地・ビニル床シートt2.0 一部(前室部分)モルタル下地ビニル床シートt2.0	塩ビ製(ステンレス箔仕上げ仕様)H60	既存LGS下地のうえ、GB-St12.5下地メラミン化粧板t3 (洗面東面)100角タイル張り面メラミン化粧板t3接着直張り	塩ビ製	LGS下地 GB-D(化粧石膏ボード)t9.5	2.700	洗面台マーブライトカウンター新設

特記事項(不燃メラミン化粧板張り関係)
 ・壁タイル及びモルタル浮部のうち化粧板の下地とする箇所は、撤去の上モルタル塗りとして下地調整する。
 ・タイル欠損部はモルタル塗りとして下地調整する。
 ・壁タイル及びモルタルひび割れか所は、浮きが生じていない場合ははじけない場合は残置とする。

設計要件(平成19年度以前に工事を実施したため全面改修対象)

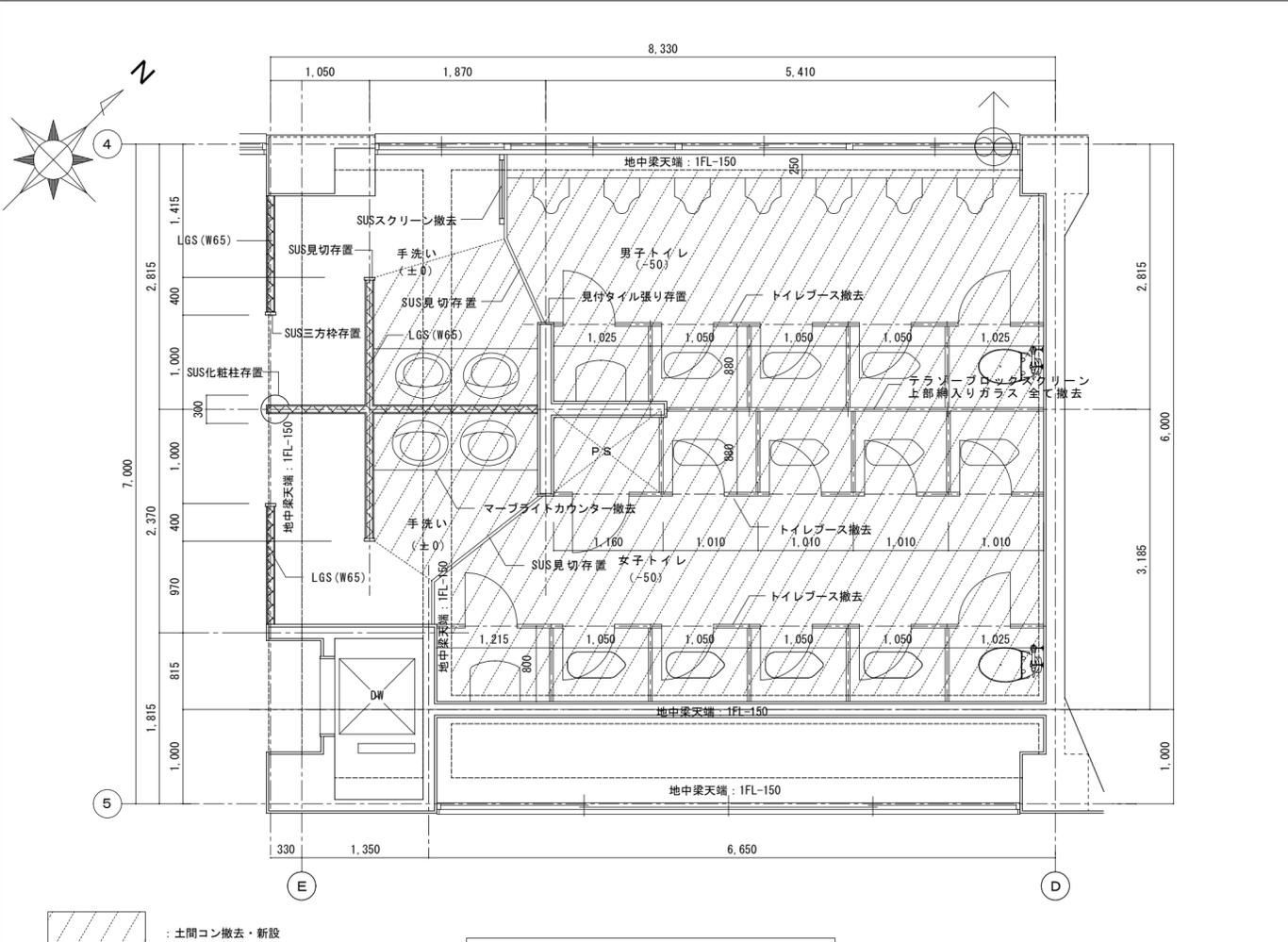
建築	室名	内装(床・壁・天井)	乾式化 ※プール棟・屋外トイレ除く	床段差解消	トイレブースの取替	手摺の設置 ※大小に各1箇所	その他備考
男子・女子トイレ	要	要	要	要	要	要	
機械	室名	便器(大小)の取替 ※和便器は全て様式化	暖房便座 ※校舎及び屋内運動場のみ	ウォシュレット ※屋内運動場のみ	自動水栓化	洗面器又は手洗器 掃除流しの取替	換気扇の取替 ・節水型器具の採用
男子・女子トイレ	要	要	要	要	要	要	
電気	室名	照明器具の取替(LED化) ※人感センサースイッチを採用	コンセント (暖房便座・ウォシュレット用)	コンセント (自動水栓用)			
男子・女子トイレ	要	要	要	要			

改修前(現況)南舎東普通教室棟1階トイレ(b1F)平面詳細図

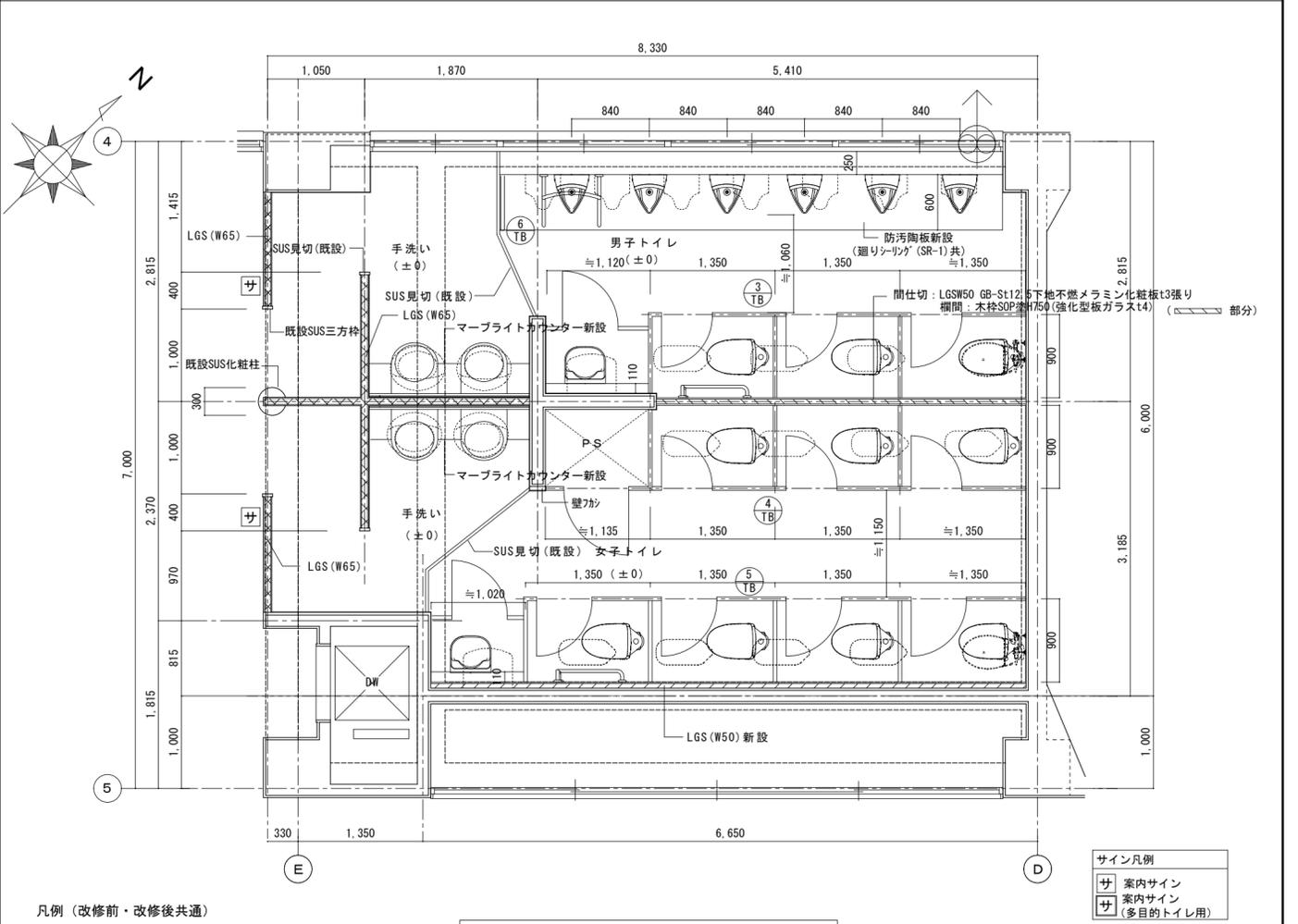
1/50

改修後 南舎東普通教室棟1階トイレ(b1F)平面詳細図

1/50



南舎東普通教室棟1階現況平面詳細図 1/50



凡例(改修前・改修後共通)

- : 軽鉄壁下地(LGS)撤去・新設
- : 軽鉄壁下地(LGS)存置
(※軽天下地撤去の際、軽天下地新設(復旧)までの間、軽鉄壁下地の転倒・ずれ防止対策実施)

南舎東普通教室棟1階改修後平面詳細図 1/50

備考

株式会社 三宅設計
 TEL 0574 (62) 1881
 FAX 0574 (62) 5432
 1級建築士 三宅 晶 信 第68278号

承認

設計

設計年月日

2024.10

No.

A-14

工事名

可児市立西可児中学校トイレ大規模改造工事(Ⅱ期)

工事設計図

図面名

南舎東普通教室棟1階トイレ(男子・女子トイレ)
 平面詳細図・内部仕上表

scale 1/50

内部仕上表		階	室名	区分	床	幅木	壁	廻縁	天井	天井高	備考
南舎東普通教室棟	男子トイレ	現況	モルタル下地・モザイクタイル張り撤去				テラゾーブロック(欄間型板ガラス)撤去 モルタル下地100角タイル張り存置	塩ビ製撤去	石膏ボードt9.5 EP塗装 撤去 (軽天下地共)	2.750	テラゾーブロックスクリーン(欄間型板ガラス)撤去、トイレブース撤去 小便器面台(CB種・モルタル下地 100角タイル貼、天端TB)撤去
		改修後	嵩上げモルタル下地・ビニル床シートt2.0		塩ビ製(スチルス箔仕上げ仕様)H60		LGSW50・GB-St12.5下地不燃メラミン化粧板t3 既存100角タイル張り面メラミン化粧板t3接着直張り	塩ビ製	LGS下地 GB-D(化粧石膏ボード)t9.5	2.700	トイレブース新設、防汚陶板新設 小便器及びSK面台(LGS190ケイカル板t6下地プライマー処理のうえ不燃化粧板貼t3、天端SUS、巾木:トイレ巾木と同仕様)新設
	同上手洗い	現況	70-リッパボードt15・ビニル床シート撤去		ソフト幅木H75撤去		LGS下地存置、耐水石膏ボードt12.5 EP塗装 撤去 (洗面東面)モルタル下地100角タイル張り存置	塩ビ製撤去	石膏ボードt9.5 EP塗装 撤去 (軽天下地共)	2.700	洗面台マーブライトカウンター撤去、洗面台前大型鏡撤去
		改修後	モルタル下地・ビニル床シートt2.0		塩ビ製(スチルス箔仕上げ仕様)H60		既存LGS下地のうえ、GB-St12.5下地不燃メラミン化粧板t3 (洗面東面)100角タイル張り面メラミン化粧板t3接着直張り	塩ビ製	LGS下地 GB-D(化粧石膏ボード)t9.5	2.700	洗面台マーブライトカウンター新設
2階	女子トイレ	現況	モルタル下地・モザイクタイル張り撤去				テラゾーブロック(欄間型板ガラス)撤去 モルタル下地100角タイル張り存置	塩ビ製撤去	石膏ボードt9.5 EP塗装 撤去 (軽天下地共)	2.750	テラゾーブロックスクリーン(欄間型板ガラス)撤去、トイレブース撤去
		改修後	嵩上げモルタル下地・ビニル床シートt2.0		塩ビ製(スチルス箔仕上げ仕様)H60		LGSW50・GB-St12.5下地不燃メラミン化粧板t3 既存100角タイル張り面メラミン化粧板t3接着直張り	塩ビ製	LGS下地 GB-D(化粧石膏ボード)t9.5	2.700	トイレブース新設 SK面台(LGS190ケイカル板t6下地プライマー処理のうえ不燃化粧板貼t3、天端SUS、巾木:トイレ壁と同仕様)新設
	同上手洗い	現況	70-リッパボードt15・ビニル床シート撤去		ソフト幅木H75撤去		LGS下地存置、耐水石膏ボードt12.5 EP塗装 撤去 (洗面東面)モルタル下地100角タイル張り存置	塩ビ製撤去	石膏ボードt9.5 EP塗装 撤去 (軽天下地共)	2.700	洗面台マーブライトカウンター撤去、洗面台前大型鏡撤去
		改修後	モルタル下地・ビニル床シートt2.0		塩ビ製(スチルス箔仕上げ仕様)H60		既存LGS下地のうえ、GB-St12.5下地不燃メラミン化粧板t3 (洗面東面)100角タイル張り面メラミン化粧板t3接着直張り	塩ビ製	LGS下地 GB-D(化粧石膏ボード)t9.5	2.700	洗面台マーブライトカウンター新設
多目的トイレ	現況	ビニル床シートt2.0(撤去)		ソフト幅木H60撤去		(西・北・南面)モルタル金ゴテ浮き箇所撤去・健全部分小祈り目荒し(全面) (RC躯体・CB壁下地存置)	塩ビ製撤去	GB-D(化粧石膏ボード)t9.5撤去 (軽天下地共)	2.500		
	改修後	ビニル床シートt2.0貼(新設)		塩ビ製H60		(東面)既存モルタル金ゴテEP塗 (西・北・南面)樹脂モルタル金ゴテEP塗 (東面)LGSW50・GB-St12.5EP塗	塩ビ製	LGS下地 GB-D(化粧石膏ボード)t9.5	2.500		

設計要件(平成19年度以前に工事を実施したため全面改修対象)

建築	室名	内装(床・壁・天井)	乾式化 ※プール棟・屋外トイレ除く	床段差解消	トイレブースの取替	手摺の設置 ※大小に各1箇所	その他備考
男子・女子トイレ	要	要	要	要	要	要	
機械	室名	便器(大小)の取替 ※和便器は全て様式化	暖房便座 ※校舎及び屋内運動場のみ	ウォシュレット ※屋内運動場のみ	自動水栓化	洗面器又は手洗器 掃除流しの取替	換気扇の取替 ・節水型器具の採用
男子・女子トイレ	要	要	要	不用	要	要	
電気	室名	照明器具の取替(LED化) ※人感センサースイッチを採用	コンセント (暖房便座・ウォシュレット用)	コンセント (自動水栓用)			
男子・女子トイレ	要	要	要	要			

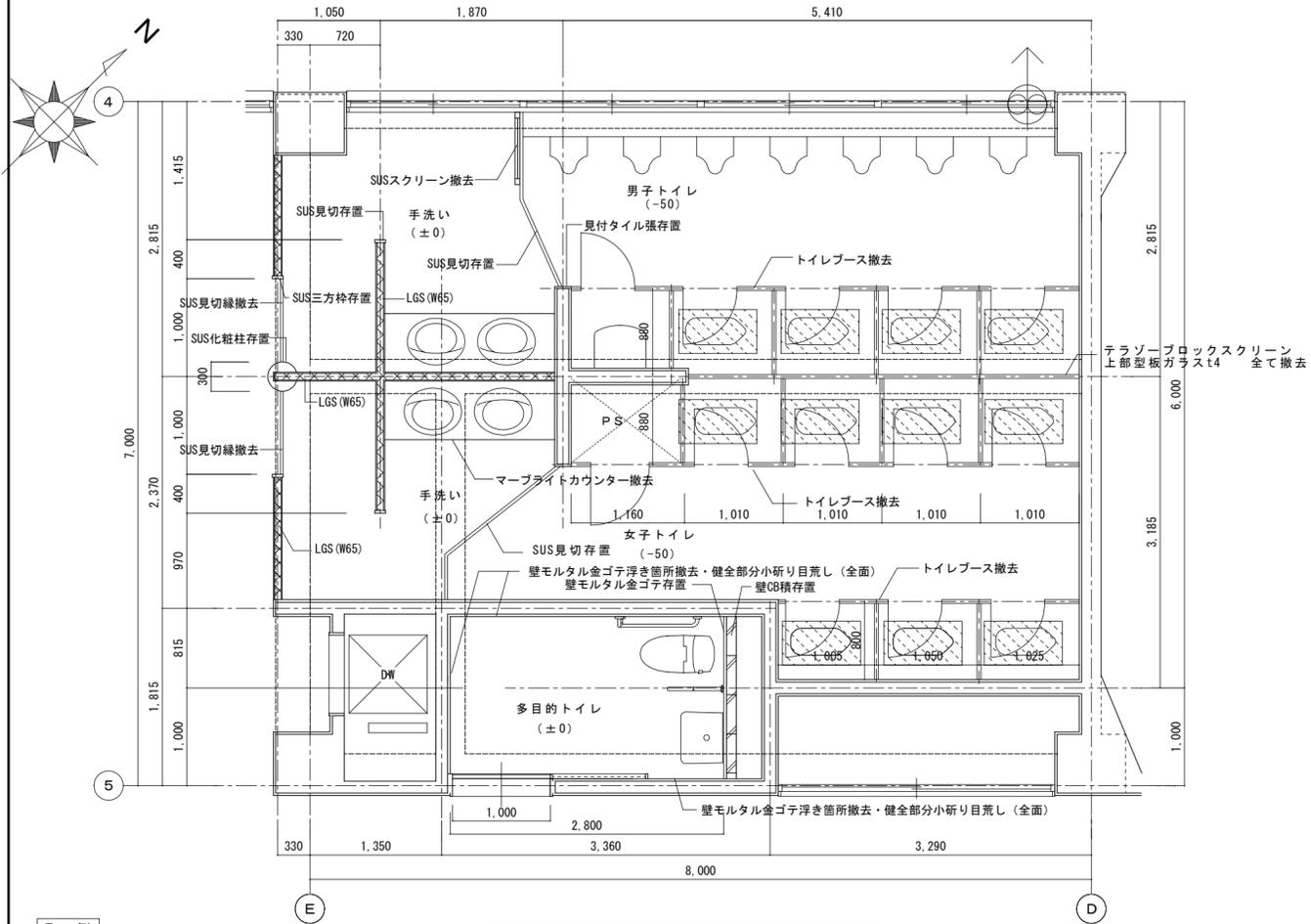
特記事項(不燃メラミン化粧板張り関係)
 ・壁タイル及びモルタル浮部のうち化粧板の下地とする箇所は、撤去の上モルタル塗りとして下地調整する。
 ・タイル欠損部はモルタル塗りとして下地調整する。
 ・壁タイル及びモルタルひび割れ箇所は、浮きが生じてない場合ははじけない場合は残置とする。

改修前(現況)南舎東普通教室棟2階トイレ(b2F)平面詳細図

1/50

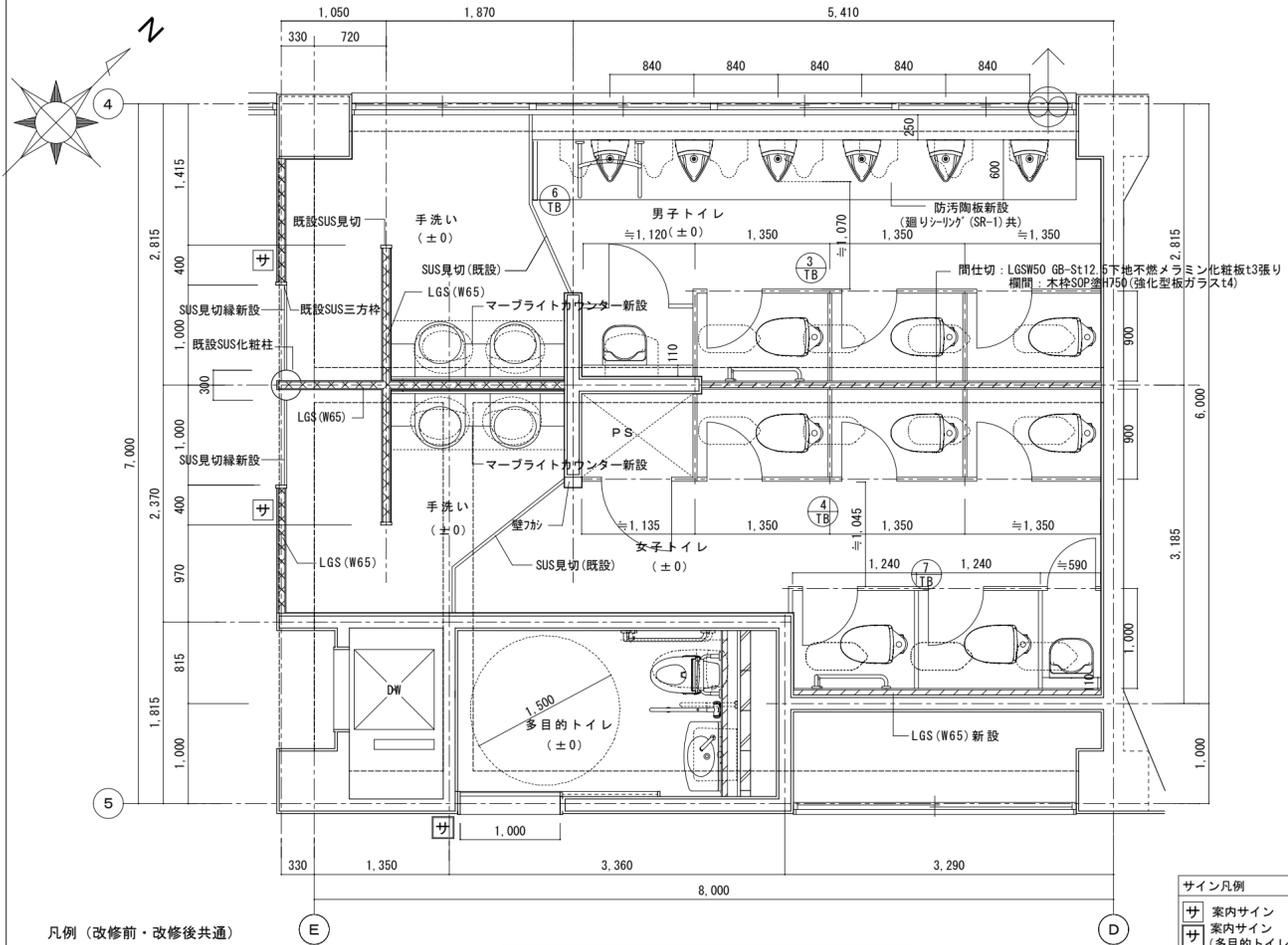
改修後 南舎東普通教室棟2階トイレ(b2F)平面詳細図

1/50



南舎東普通教室棟2階現況平面詳細図 1/50

凡例
 : 鉄筋コンクリートスラブt120・軽量コンクリートt65撤去・タイル及び下地モルタル撤去(カッター入れ共)を示す



南舎東普通教室棟2階改修後平面詳細図 1/50

凡例(改修前・改修後共通)
 : 軽鉄壁下地(LGS)撤去・新設
 : 軽鉄壁下地(LGS)存置
 (※軽天下地撤去の際、軽天下地新設(復旧)までの間、軽鉄壁下地の転倒・ずれ防止対策実施)

サイン凡例
 : 案内サイン
 : 案内サイン(多目的トイレ用)

内部仕上表

階	室名	区分	床	幅木	壁	廻縁	天井	天井高	備考
南舎東普通教室棟	男子トイレ	現況	モルタル下地・モザイクタイル張り撤去	-	テラゾーブロックスクリーン(欄間型板ガラス)撤去 モルタル下地100角タイル張り存置	塩ビ製撤去	石膏ボードt9.5 EP塗装 撤去 (軽天地下存置)	2.750	テラゾーブロックスクリーン(欄間型板ガラス)撤去、トイレブース撤去 小便器面台(CB積・モルタル下地 100角タイル貼、天端TB)撤去
		改修後	嵩上げモルタル下地・ビニル床シート t2.0	塩ビ製(ステンレス箔仕上げ仕様)H60	LGSW50・GB-St12.5下地不燃メラミン化粧板t3 既存100角タイル張り面メラミン化粧板t3接着直張り	塩ビ製	GB-D(化粧石膏ボード)t9.5	2.700	トイレブース新設、防汚陶板新設 小便器及びSK面台(LGS190ケイカル板t6下地プライマー処理のうえ不燃化粧板貼t3、天端SUS、巾木:トイレ巾木と同仕様)新設
同上手洗い	同上手洗い	現況	70-リッパボードt15・ビニル床シート撤去	ソフト幅木H75撤去	LGS下地存置、耐水石膏ボードt12.5 EP塗装 撤去 (洗面東面)モルタル下地100角タイル張り存置	塩ビ製撤去	石膏ボードt9.5 EP塗装 撤去 (軽天地下存置)	2.700	洗面台マーブライトカウンター撤去、洗面台大型鏡撤去
		改修後	モルタル下地・ビニル床シートt2.0	塩ビ製(ステンレス箔仕上げ仕様)H60	既存LGSのうえ、GB-St12.5下地不燃メラミン化粧板t3 (洗面東面)100角タイル張り面メラミン化粧板t3接着直張り	塩ビ製	GB-D(化粧石膏ボード)t9.5	2.700	洗面台マーブライトカウンター新設
3階	女子トイレ	現況	モルタル下地・モザイクタイル張り撤去	-	テラゾーブロックスクリーン(欄間型板ガラス)撤去 モルタル下地100角タイル張り存置	塩ビ製撤去	石膏ボードt9.5 EP塗装 撤去 (軽天地下存置)	2.750	テラゾーブロックスクリーン(欄間型板ガラス)撤去、トイレブース撤去
		改修後	嵩上げモルタル下地・ビニル床シート t2.0	塩ビ製(ステンレス箔仕上げ仕様)H60	LGSW50・GB-St12.5下地不燃メラミン化粧板t3 既存100角タイル張り面メラミン化粧板t3接着直張り	塩ビ製	GB-D(化粧石膏ボード)t9.5	2.700	トイレブース新設 SK面台(LGS190ケイカル板t6下地プライマー処理のうえ不燃化粧板貼t3、天端SUS、巾木:トイレ巾木と同仕様)新設
同上手洗い	同上手洗い	現況	70-リッパボードt15・ビニル床シート撤去	ソフト幅木H75撤去	LGS下地存置、耐水石膏ボードt12.5 EP塗装 撤去 (洗面東面)モルタル下地100角タイル張り存置	塩ビ製撤去	石膏ボードt9.5 EP塗装 撤去 (軽天地下存置)	2.700	洗面台マーブライトカウンター撤去、洗面台大型鏡撤去
		改修後	モルタル下地・ビニル床シートt2.0	塩ビ製(ステンレス箔仕上げ仕様)H60	既存LGSのうえ、GB-St12.5下地不燃メラミン化粧板t3 (洗面東面)100角タイル張り面メラミン化粧板t3接着直張り	塩ビ製	GB-D(化粧石膏ボード)t9.5	2.700	洗面台マーブライトカウンター新設

特記事項(不燃メラミン化粧板張り関係)

- ・壁タイル及びモルタル浮部のうち化粧板の下地とする箇所は、撤去の上モルタル塗りとして下地調整する。
- ・タイル欠損部はモルタル塗りとして下地調整する。
- ・壁タイル及びモルタルひび割れカ所は、浮きが生じてない場合は残置とする。

設計要件(平成19年度以前に工事を実施したため全面改修対象)

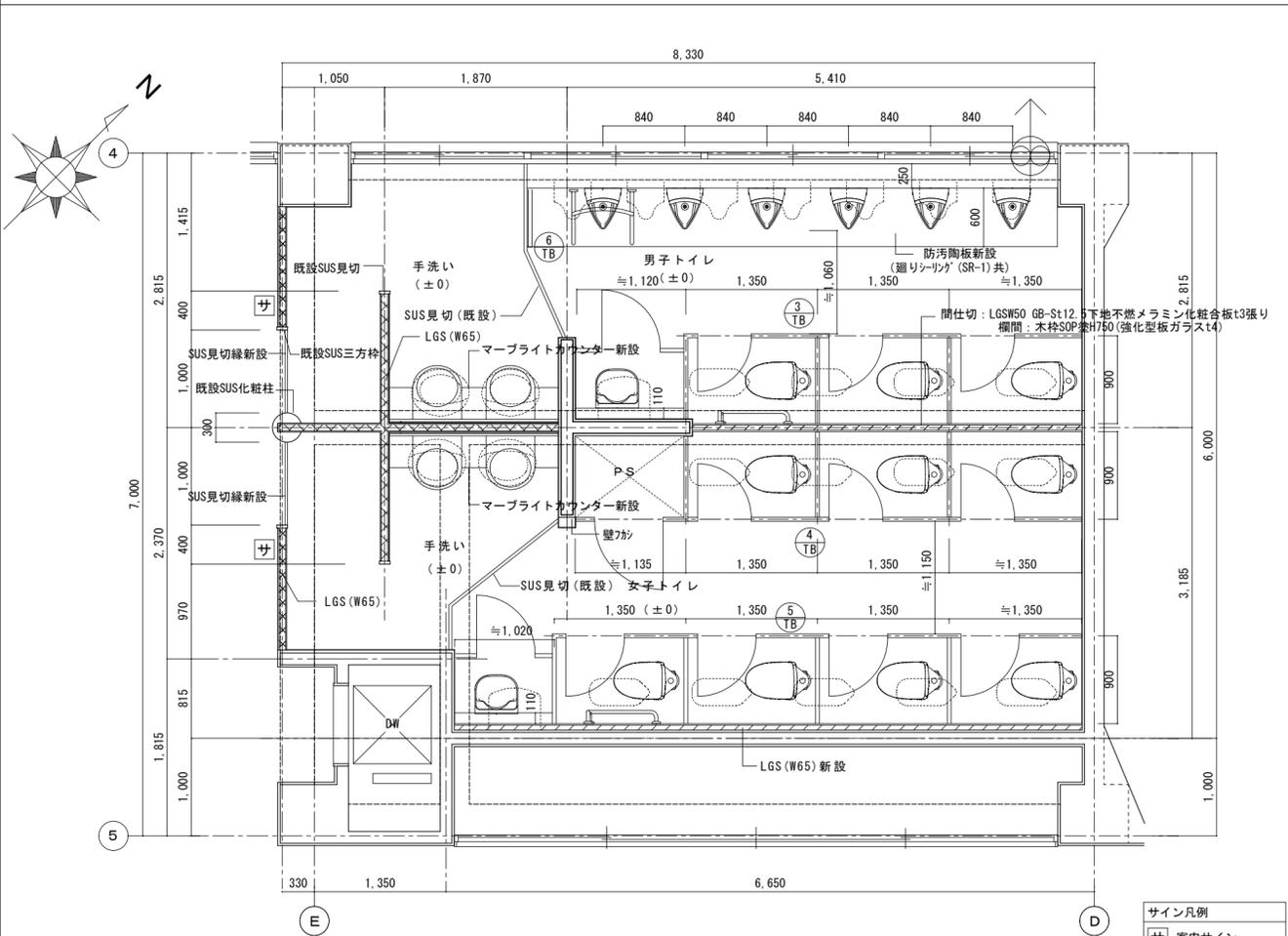
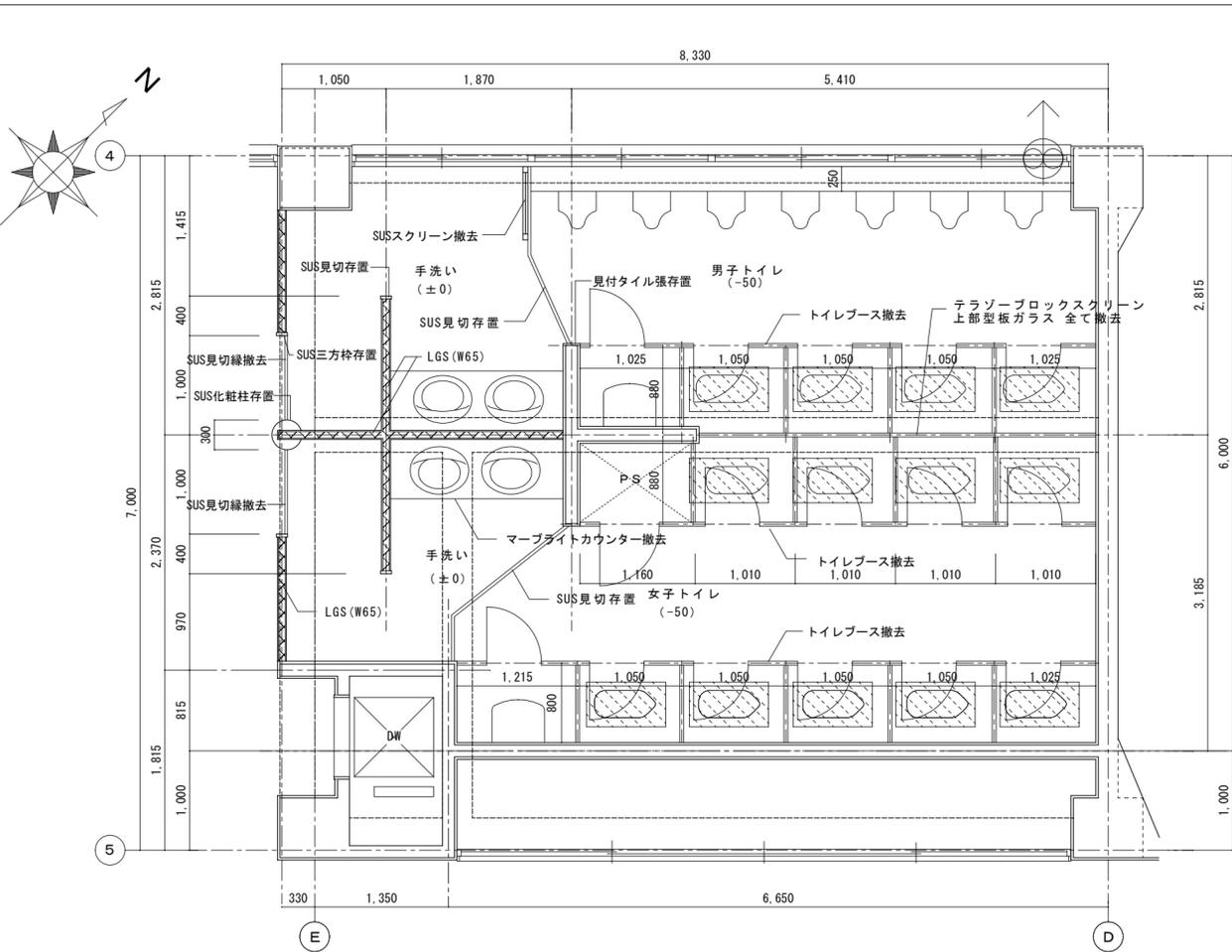
建築	室名	内装(床・壁・天井)	乾式化 ※プール棟・屋外トイレ除く	床段差解消	トイレブースの取替	手摺の設置 ※大小に各1箇所	その他備考
男子・女子トイレ	要	要	要	要	要	要	
機械	室名	便器(大小)の取替 ※和便器は全て様式化	暖房便座 ※校舎及び屋内運動場のみ	ウォシュレット ※屋内運動場のみ	自動水栓化	洗面器又は手洗器 掃除流しの取替	換気扇の取替 ・節水型器具の採用
男子・女子トイレ	要	要	要	要	要	要	
電気	室名	照明器具の取替(LED化) ※人感センサースイッチを採用	コンセント (暖房便座・ウォシュレット用)	コンセント (自動水栓用)			
男子・女子トイレ	要	要	要	要			

改修前(現況)南舎東普通教室棟3階トイレ(b3F)平面詳細図

1/50

改修後 南舎東普通教室棟3階トイレ(b3F)平面詳細図

1/50



凡例

鉄筋コンクリートスラブt120・軽量コンクリートt65撤去・タイル及び下地モルタル撤去(カッター入れ共)を示す

凡例(改修前・改修後共通)

- 斜線: 軽鉄壁下地(LGS)撤去・新設
- 点線: 軽鉄壁下地(LGS)存置

サイン凡例

- サ: 案内サイン
- サ: 案内サイン
- サ: 案内サイン(多目的トイレ用)

備考

株式会社 三宅設計
TEL 0574 (62) 1881
FAX 0574 (62) 5432
1級建築士 三宅 晶 信 第68278号

承認

設計

設計年月日

2024.10

No.

A-16

工事名

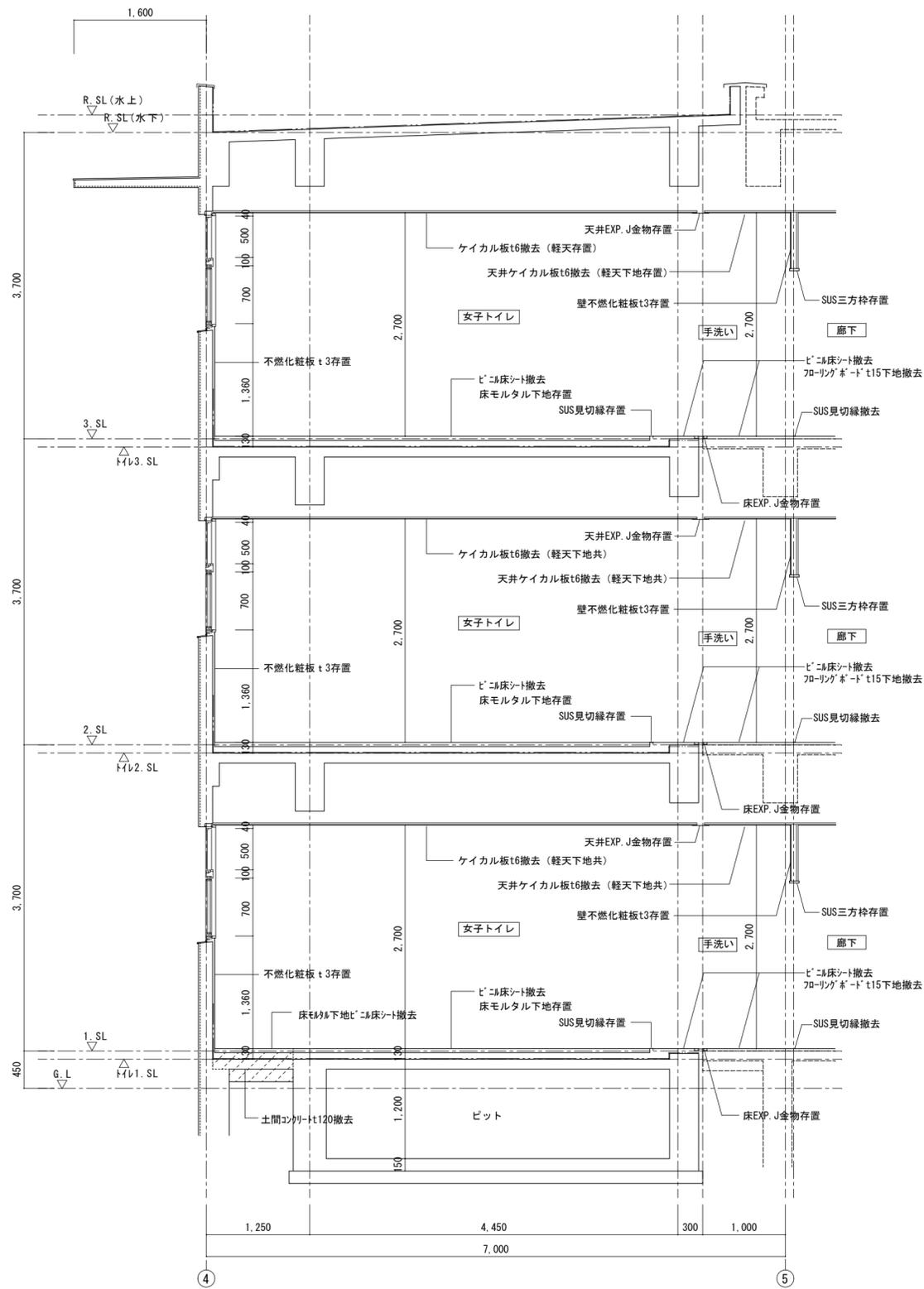
可児市立西可児中学校トイレ大規模改修工事(Ⅱ期)

図面名

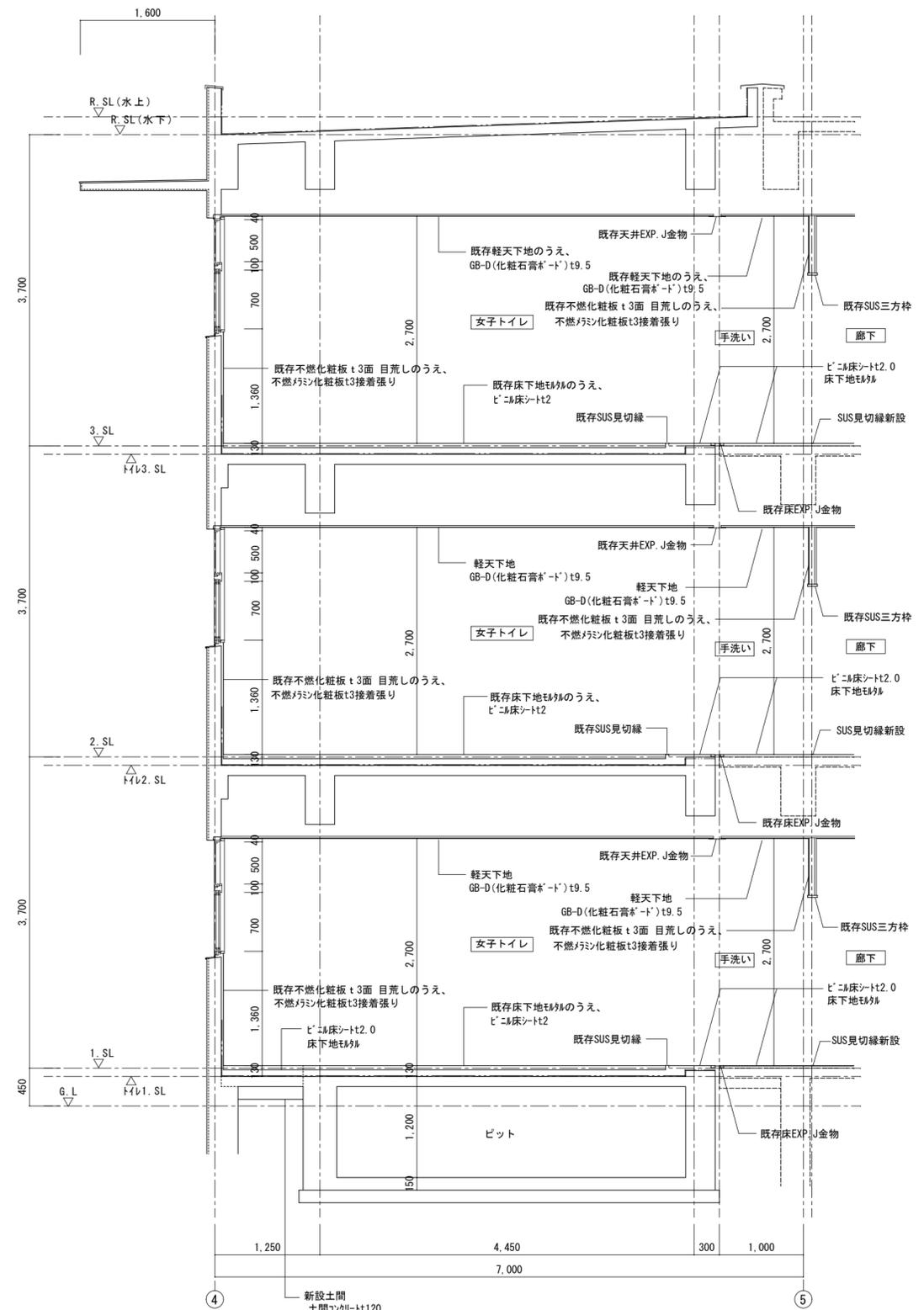
南舎東普通教室棟3階トイレ(男子・女子トイレ)平面詳細図・内部仕上表

工事設計図

scale 1/50



改修前 矩計図 1/50
(南舎西)



新設土間
土間コンクリートt120
土間鉄筋D10@200(方向共)
(差し筋アンカー@200と結束)
* リゾソフ/AA10.15
土間砕石@150

改修後 矩計図 1/50
(南舎西)

備考

承認

設計

設計年月日

2024.10

NO.

A-17

工事名

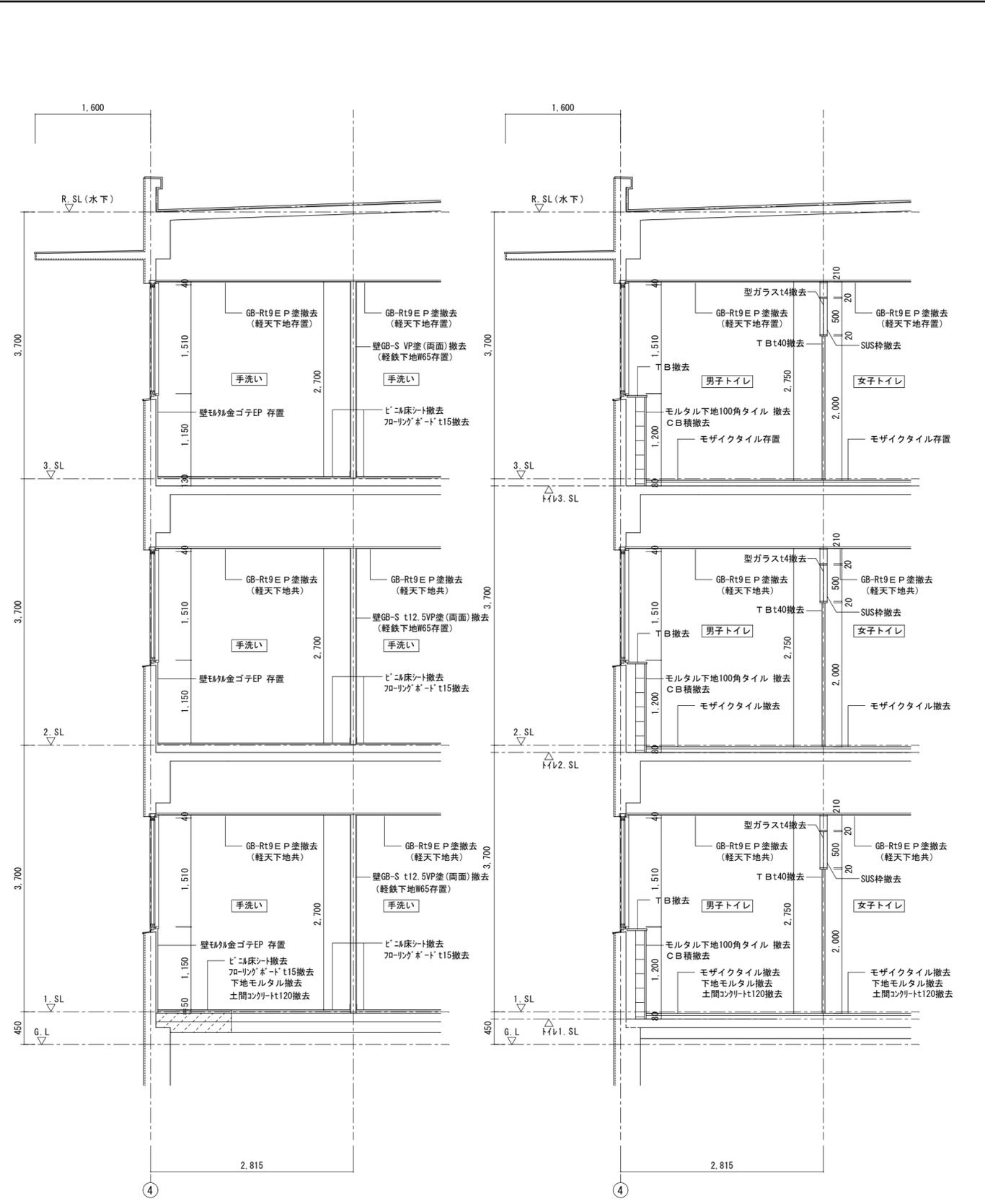
可児市立西可児中学校トイレ大規模改修工事(Ⅱ期)

工事設計図

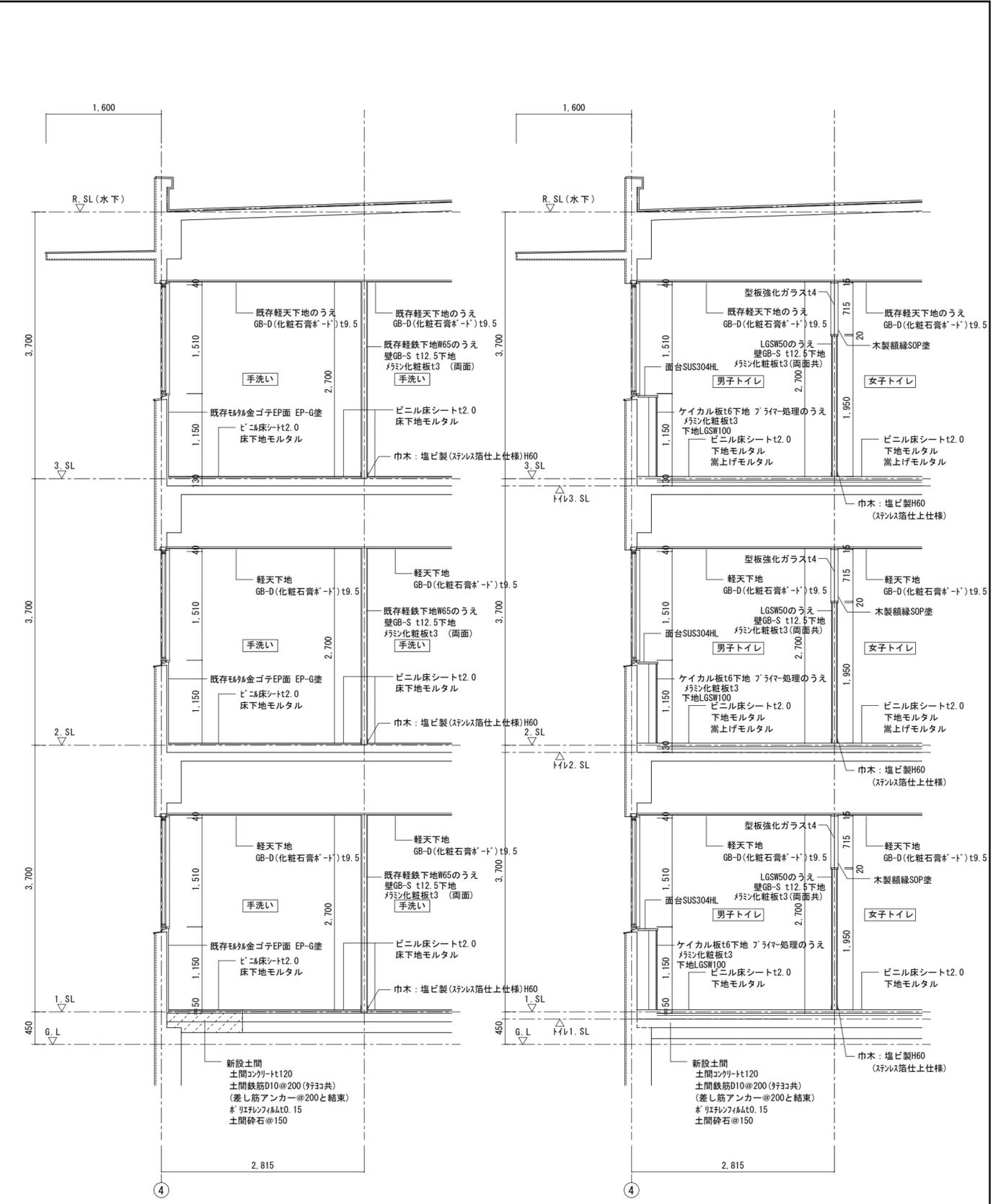
図面名

南舎西普通特別教室棟トイレ
矩計図

scale 1/50



改修前 矩計図 1/50
(南舎東)



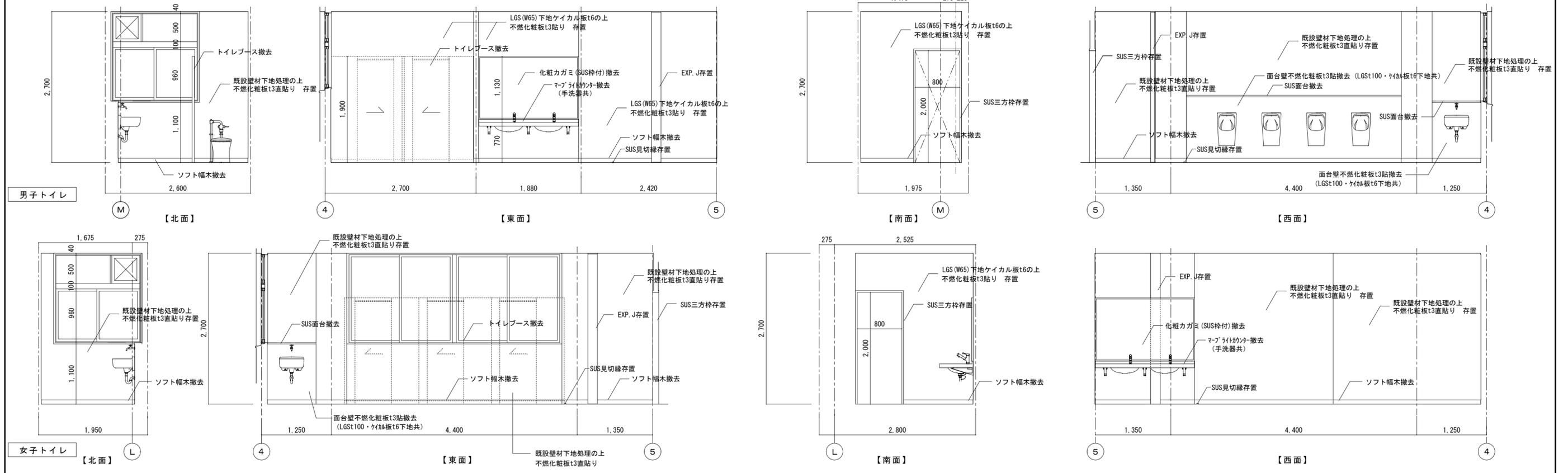
改修後 矩計図 1/50
(南舎東)

備考

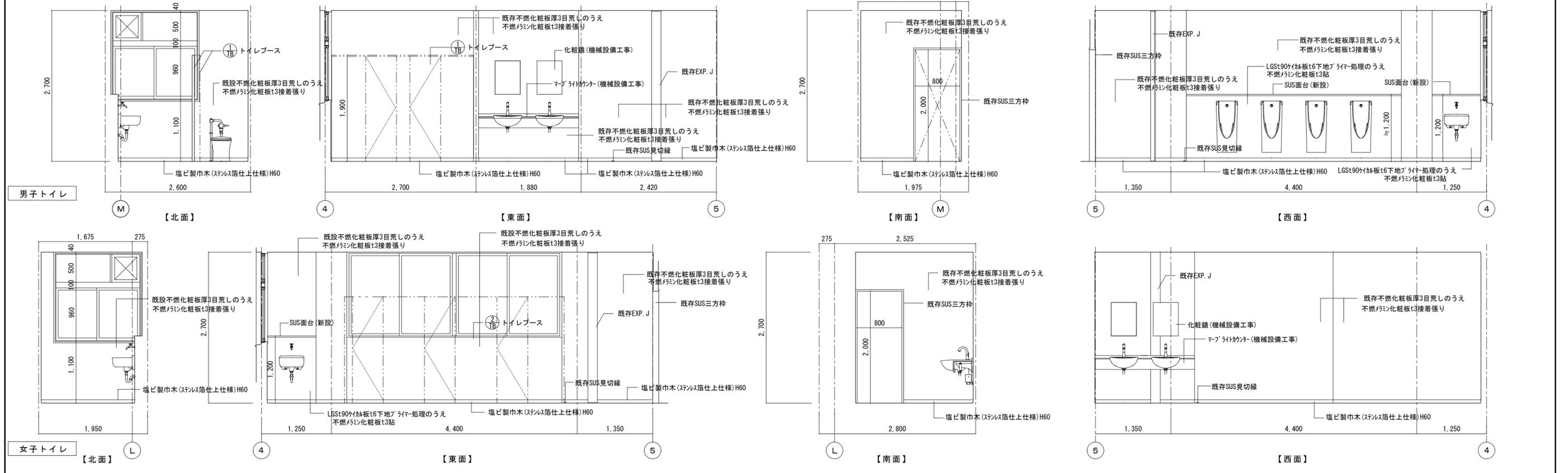
株式会社 三宅設計
TEL 0574 (62) 1881
FAX 0574 (62) 5432
1級建築士 三宅 晶 信 第68278号

承認	設計	設計年月日	No.	工事名	可児市立西可児中学校トイレ大規模改造工事 (Ⅱ期)	工事設計図
		2024.10	A-18	図面名	南舎東普通教室棟トイレ 矩計図	scale 1/50

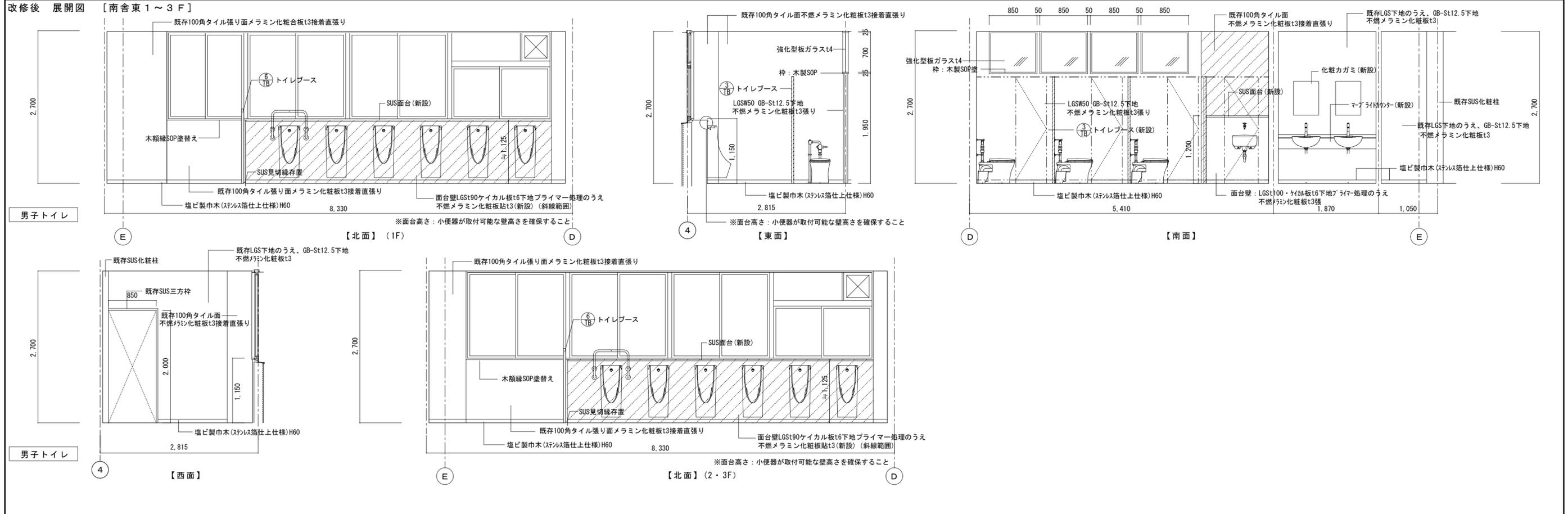
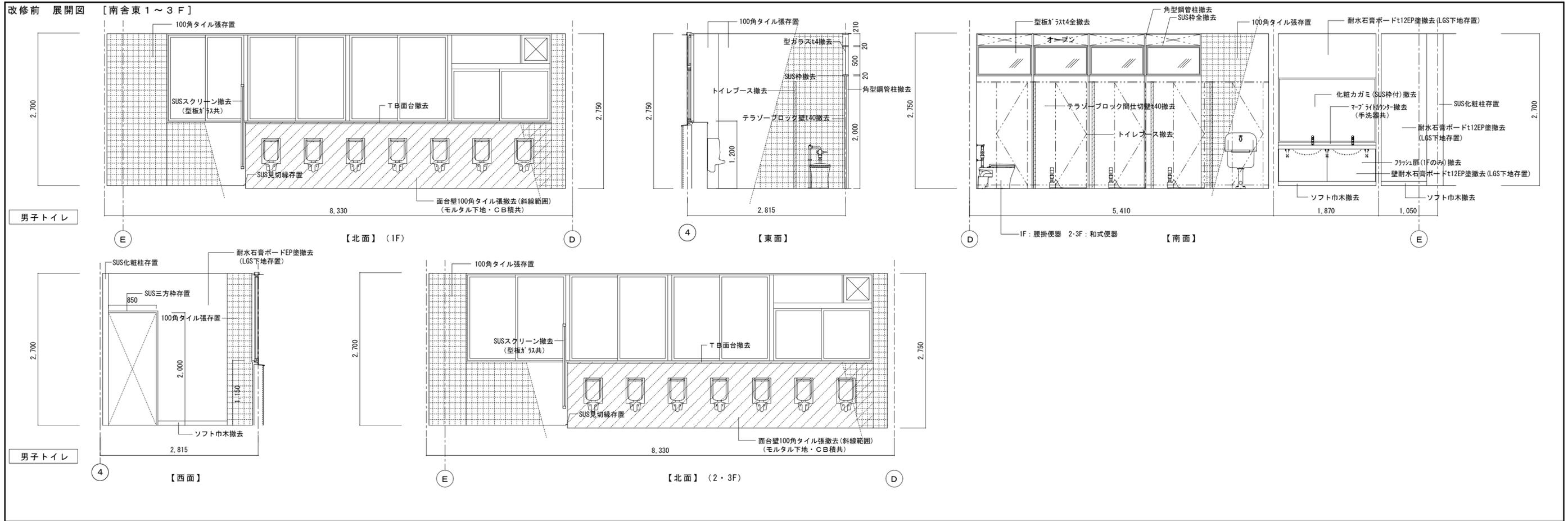
改修前 展開図 [南舎西1~3F]



改修後 展開図 [南舎西1~3F]

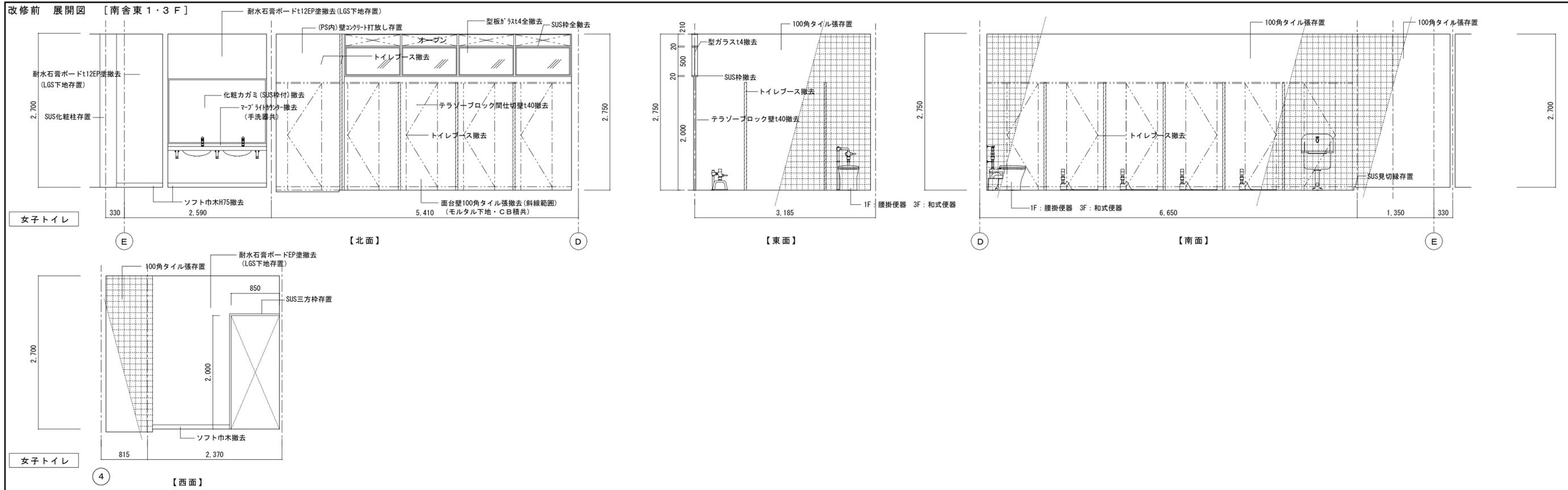


備考	株式会社 三宅設計 TEL 0574 (62) 1881 FAX 0574 (62) 5432 1級建築士 三宅 晶 信 第68278号	承認	設計	設計年月日 2024.10	No. A-19	工事名	可児市立西可児中学校トイレ大規模改修工事(Ⅱ期)	工事設計図
						図面名	南舎西普通特別教室棟1~3Fトイレ 改修前後展開図	scale 1/50

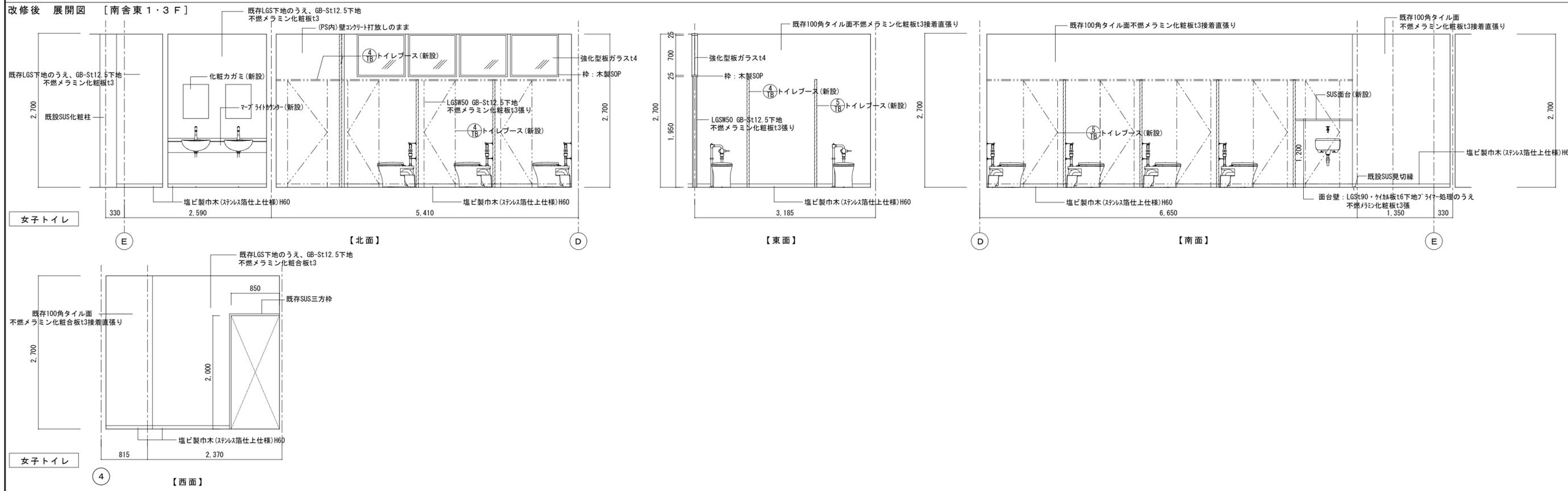


備 考	 株式会社 三宅設計 TEL 0574 (62) 1881 FAX 0574 (62) 5432 1級建築士 三宅 晶 信 第68278号	承認	設計	設計年月日 2024.10	No. A-20	工事名	可児市立西可児中学校トイレ大規模改修工事 (Ⅱ期)	工事設計図
						図面名	南舎東普通教室棟男子トイレ 改修前後展開図	scale 1/50

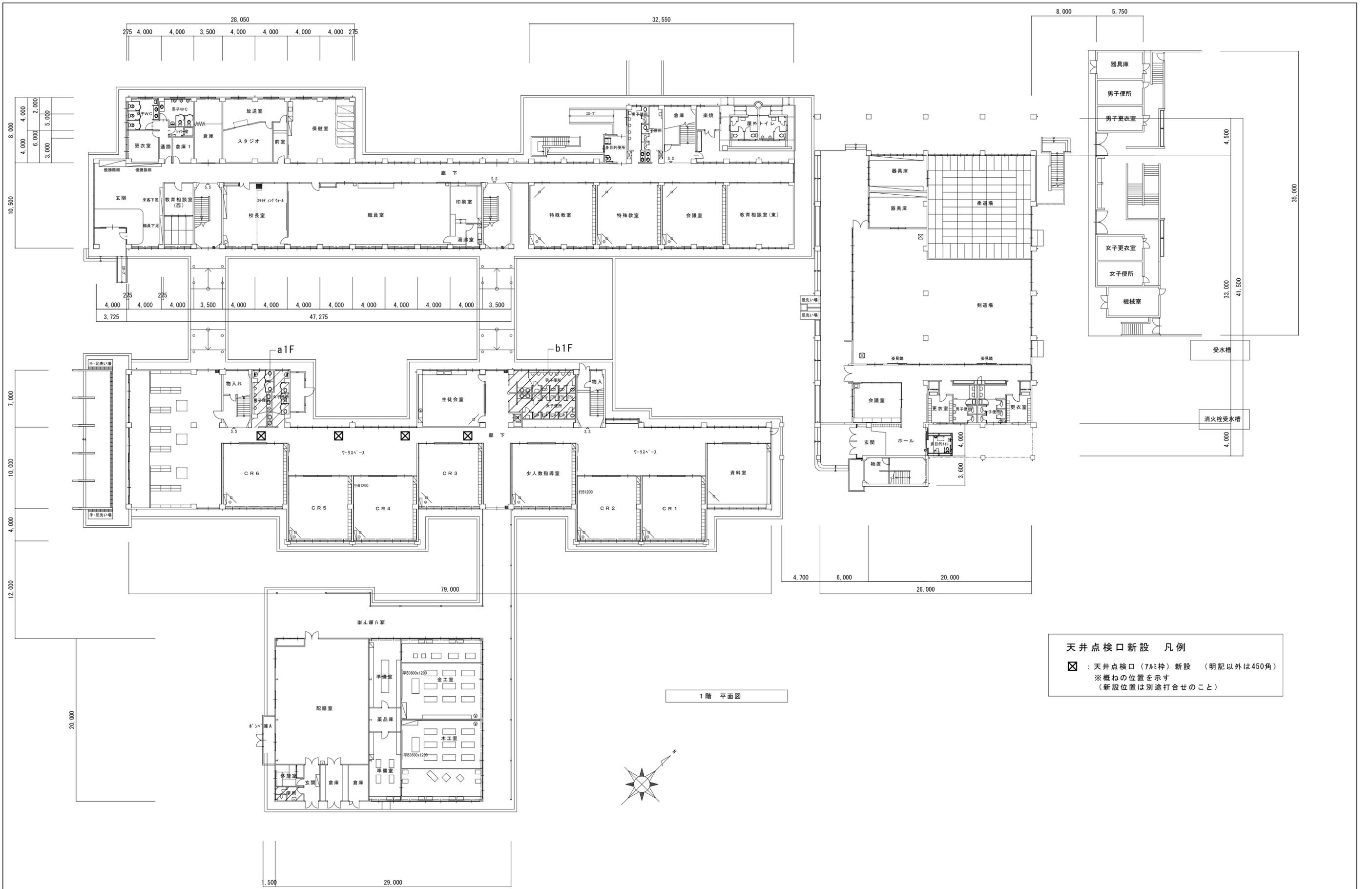
改修前 展開図 [南舎東1・3F]



改修後 展開図 [南舎東1・3F]



備考	株式会社 三宅設計 TEL 0574 (62) 1881 FAX 0574 (62) 5432 1級建築士 三宅晶信 第68278号	承認	設計	設計年月日 2024.10	No. A-21	工事名	可児市立西可児中学校トイレ大規模改修工事(Ⅱ期)	工事設計図
						図面名	南舎東普通教室棟1階・3階女子トイレ 改修前後展開図	scale 1/50

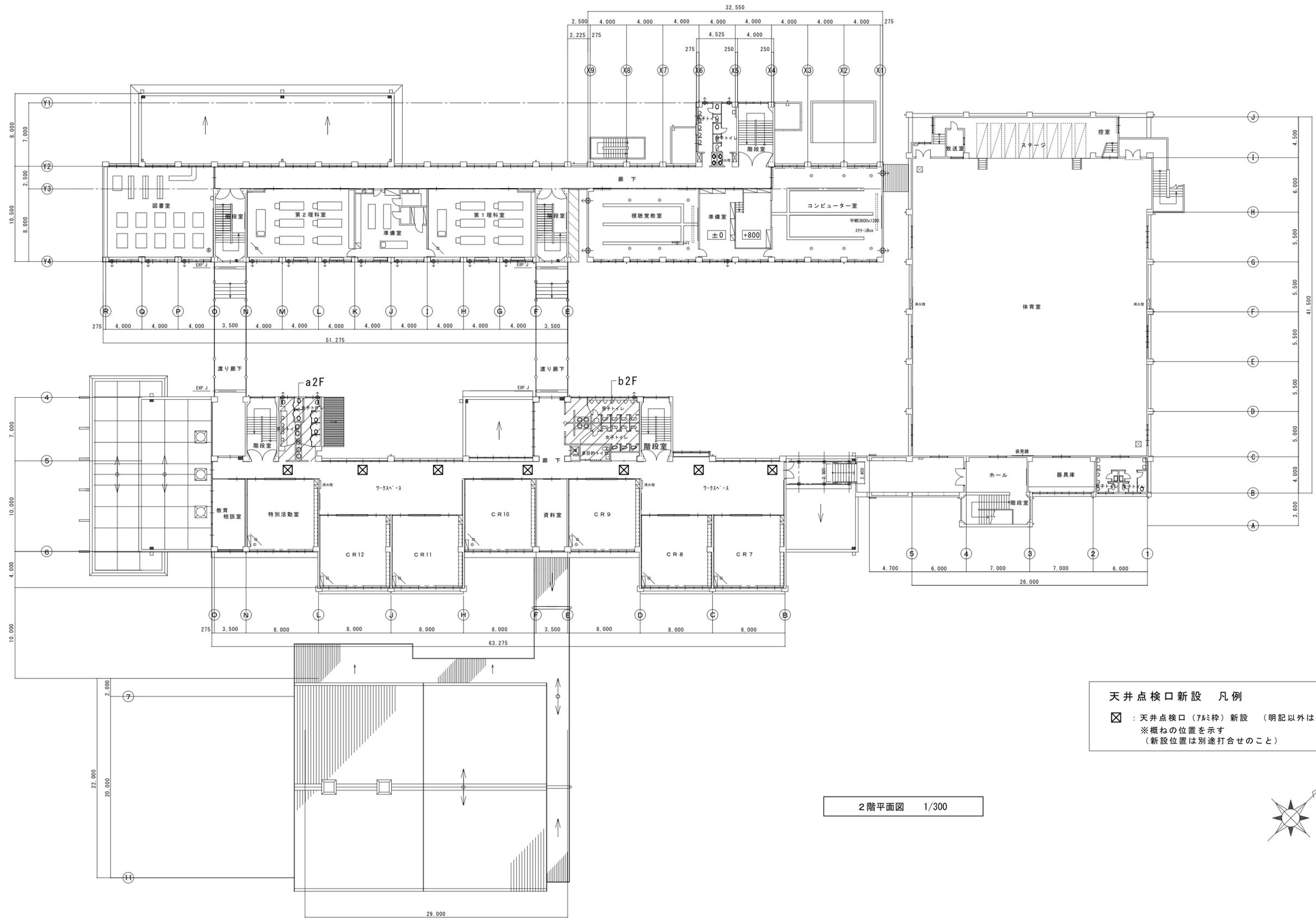


天井点検口新設 凡例

☒ : 天井点検口 (782枠) 新設 (明記以外は450角)

※概ねの位置を示す
(新設位置は別途打合せのこと)

備考	 株式会社 三宅設計 TEL 0574 (62) 1881 FAX 0574 (62) 5432 1級建築士 三宅晶信 第68278号	承認	設計	設計年月日	No.	工事名	工事設計図
				2024.10	A-24	可児市立西可児中学校トイレ大規模改造工事 (II期) 図面名 天井点検口位置図 (全体1階)	scale 1/300

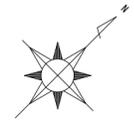


天井点検口新設 凡例

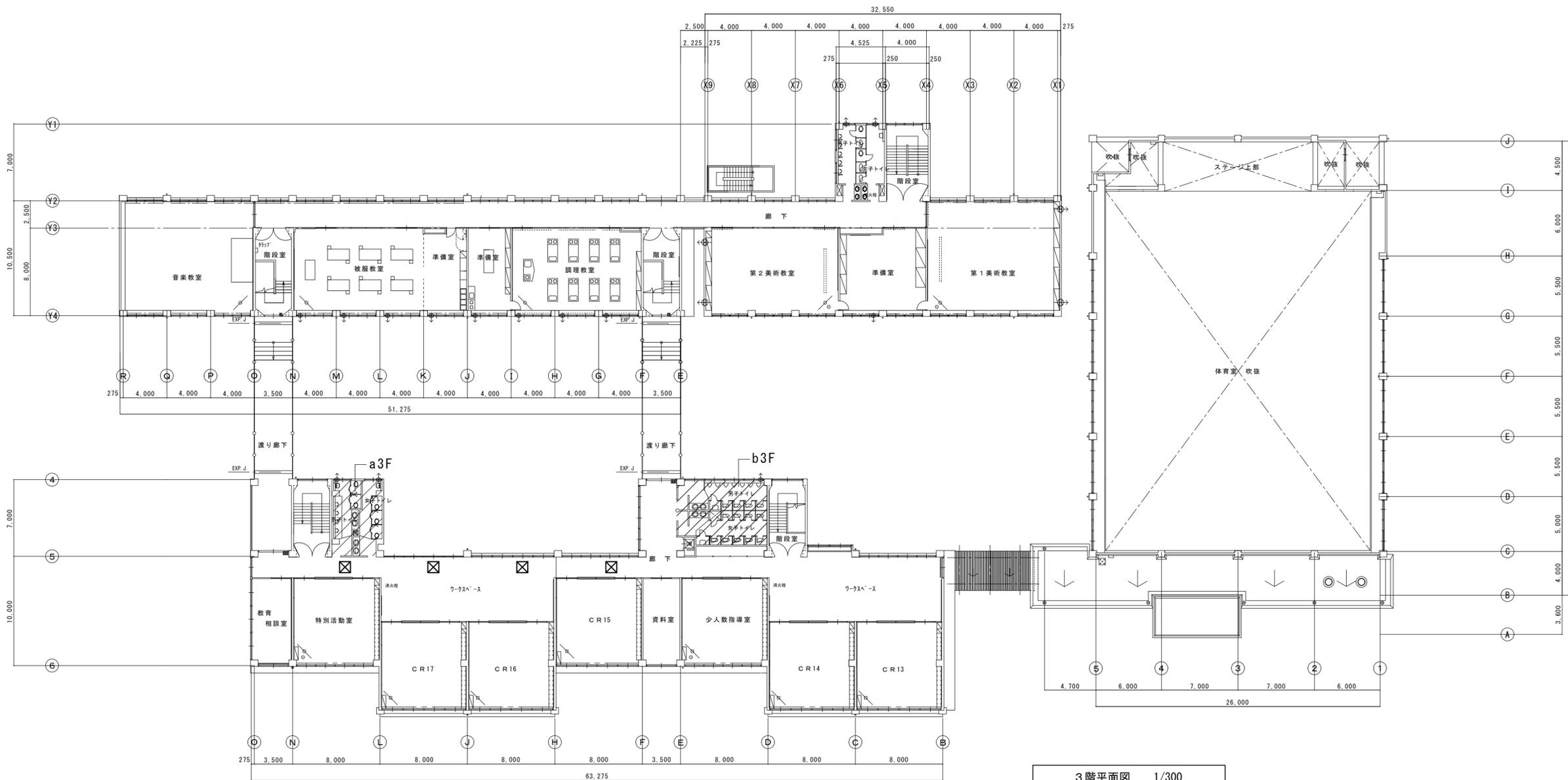
☒ : 天井点検口 (782枠) 新設 (明記以外は450角)

※概ねの位置を示す
(新設位置は別途打合せのこと)

2階平面図 1/300

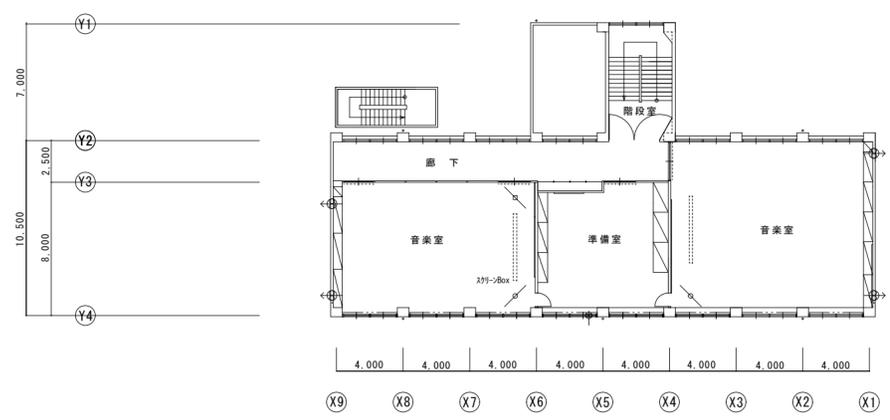


備考	 株式会社 三宅設計 TEL 0574 (62) 1881 FAX 0574 (62) 5432 1級建築士 三宅晶信 第68278号	承認	設計	設計年月日	N0.	工事名	可児市立西可児中学校トイレ大規模改造工事(Ⅱ期)	工事設計図
				2024.10	A-25	図面名	天井点検口位置図(全体2階)	scale 1/300

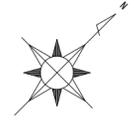


3階平面図 1/300

天井点検口新設 凡例
 ☒ : 天井点検口 (7尺枠) 新設 (明記以外は450角)
 ※概ねの位置を示す
 (新設位置は別途打合せのこと)



4階平面図 1/300

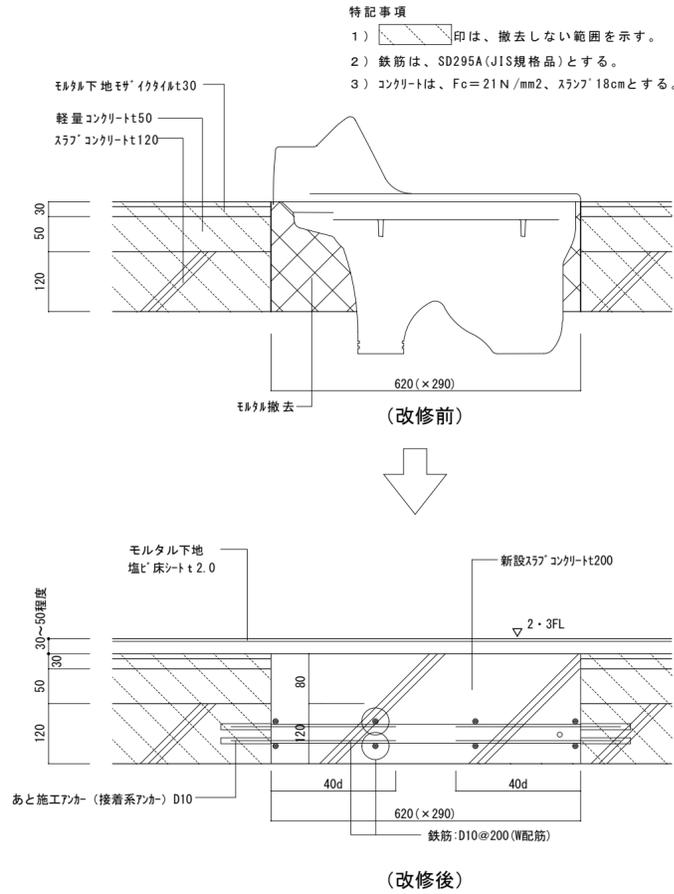


備考	 株式会社 三宅設計 TEL 0574 (62) 1881 FAX 0574 (62) 5432 1級建築士 三宅 晶信 第68278号	承認	設計	設計年月日 2024.10	No. A-26	工事名 可児市立西可児中学校トイレ大規模改造工事(Ⅱ期) 図面名 天井点検口位置図(全体3階)	工事設計図 scale 1/300

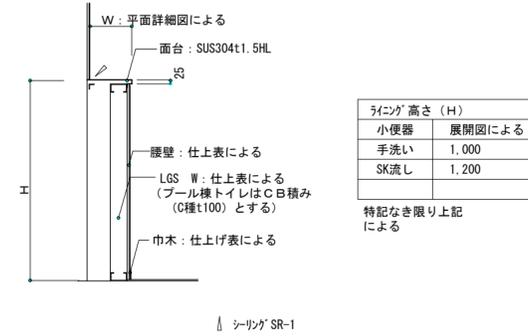
建具表

符号・型式	1 TB	南舎西1~3F男子トイレ トイレブース	数量 3	符号・型式	2 TB	南舎西1~3F女子トイレ トイレブース	数量 3	符号・型式	3 TB	南舎東1~3F男子トイレ トイレブース	数量 3	符号・型式	4 TB	南舎東1~3F女子トイレ トイレブース	数量 3	符号・型式	5 TB	南舎東1・3F女子トイレ トイレブース	数量 2								
仕上	メラミン化粧合板 アルミ曲面エッジ			仕上	メラミン化粧合板 アルミ曲面エッジ																						
金物	中心吊ケレベティンツ'アルミ製笠木、ステンレス製幅木、表示錠、帽子掛け戸当り、その他必要金物一式			金物	中心吊ケレベティンツ'アルミ製笠木、ステンレス製幅木、表示錠、帽子掛け戸当り、その他必要金物一式			金物	中心吊ケレベティンツ'アルミ製笠木、ステンレス製幅木、表示錠、帽子掛け戸当り、その他必要金物一式			金物	中心吊ケレベティンツ'アルミ製笠木、ステンレス製幅木、表示錠、帽子掛け戸当り、その他必要金物一式			金物	中心吊ケレベティンツ'アルミ製笠木、ステンレス製幅木、表示錠、帽子掛け戸当り、その他必要金物一式			金物	中心吊ケレベティンツ'アルミ製笠木、ステンレス製幅木、表示錠、帽子掛け戸当り、その他必要金物一式						
ガラス	見込 40			ガラス	見込 40			ガラス	見込 40			ガラス	見込 40			ガラス	見込 40			ガラス	見込 40						
符号・型式	6 TB	南舎東1~3F男子トイレ 仕切りブース	数量 3	符号・型式	7 TB	南舎東2F女子トイレ トイレブース	数量 1	符号・型式	26 TB	プール棟男子トイレ トイレブース	数量 1	符号・型式	27 TB	プール棟男子トイレ 仕切りブース	数量 1	符号・型式	28 TB	プール棟女子トイレ トイレブース	数量 1	符号・型式	29 TB	プール棟女子トイレ トイレブース	数量 1				
仕上	メラミン化粧合板			仕上	メラミン化粧合板 アルミ曲面エッジ			仕上	メラミン化粧合板			仕上	メラミン化粧合板			仕上	メラミン化粧合板 アルミ曲面エッジ			仕上	メラミン化粧合板 アルミ曲面エッジ			仕上	メラミン化粧合板 アルミ曲面エッジ		
金物	7mm製笠木、ステンレス製幅木			金物	中心吊ケレベティンツ'アルミ製笠木、ステンレス製幅木、表示錠、帽子掛け戸当り、その他必要金物一式			金物	中心吊ケレベティンツ'アルミ製笠木、表示錠、帽子掛け戸当り、その他必要金物一式			金物	7mm製笠木			金物	中心吊ケレベティンツ'アルミ製笠木、ステンレス製幅木、表示錠、帽子掛け戸当り、その他必要金物一式			金物	中心吊ケレベティンツ'アルミ製笠木、表示錠、帽子掛け戸当り、その他必要金物一式			金物	中心吊ケレベティンツ'アルミ製笠木、表示錠、帽子掛け戸当り、その他必要金物一式		
ガラス	見込 40			ガラス	見込 40			ガラス	見込 40			ガラス	見込 40			ガラス	見込 40			ガラス	見込 40			ガラス	見込 40		
符号・型式				符号・型式				符号・型式				符号・型式				符号・型式				符号・型式				符号・型式			
仕上				仕上				仕上				仕上				仕上				仕上				仕上			
金物				金物				金物				金物				金物				金物				金物			
ガラス				ガラス				ガラス				ガラス				ガラス				ガラス				ガラス			

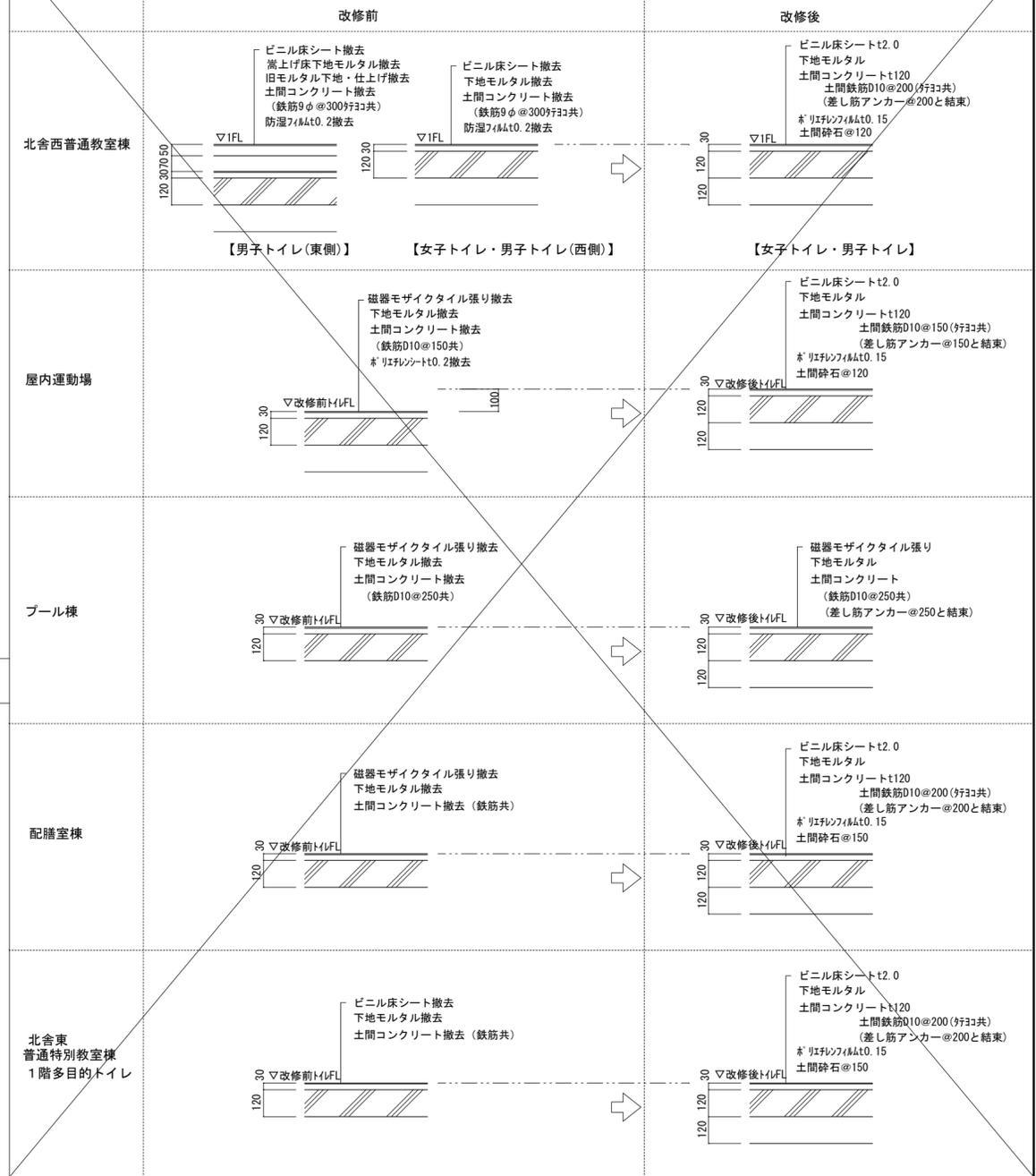
和風便器撤去跡床補修 断面詳細図 1/10 ※工事中ピット内資材搬入出口床復旧もこれに倣う



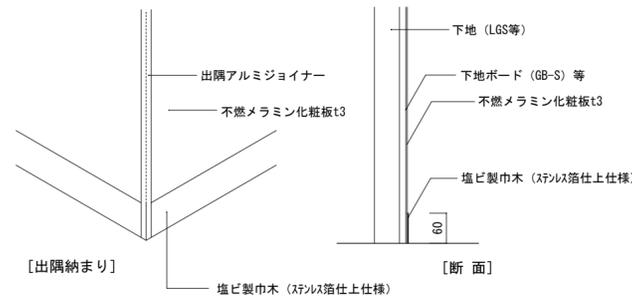
面台 (ライニング) 詳細図 1/30



1階床 改修前後断面図 1/10

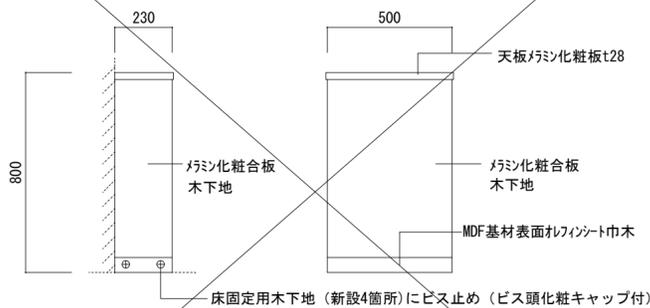


壁不燃メラミン化粧板と巾木との納まり詳細図 1/10

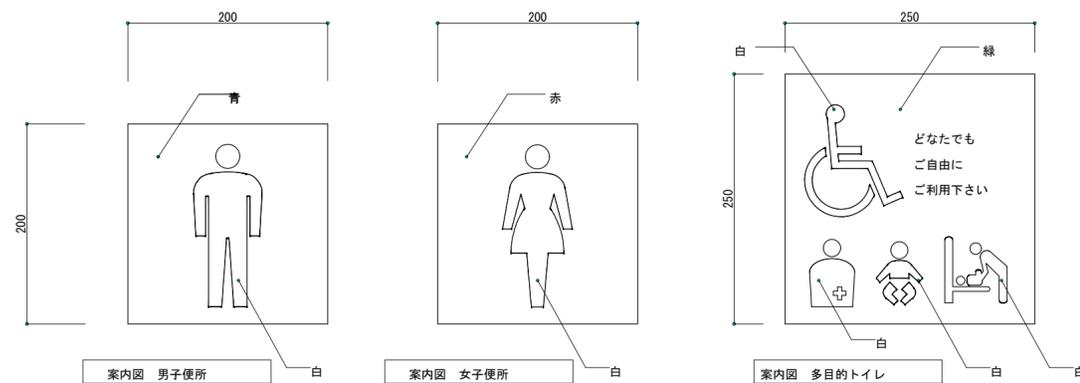


※上図は参考とし、出隅アルミジョイナー形状を含め詳細は監督員と別途打合せのこと。
入隅納まりについても同様とする。

(多目的トイレ内) 仮設面台詳細図 1/20

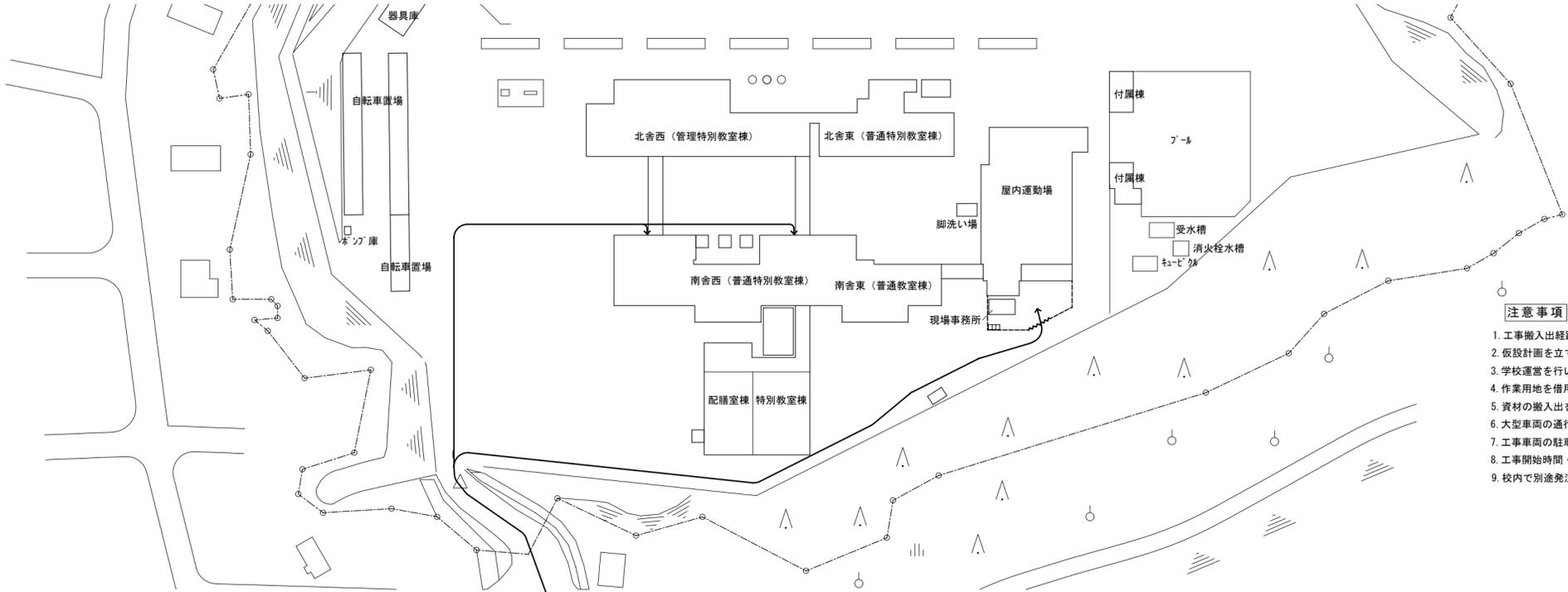
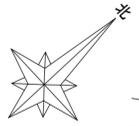


サイン姿図 1/5



室名札仕様
本 体: 7mm厚 5.0 つや消し
表 示: インクジェット印刷
枠 材: アルミ型材 (シルバー)
※表示する案内用図記号はJIS Z 8210による。
※案内用図記号の色彩はJIS Z 9101-1995による。
※多目的トイレ用の表示マークは設置する設備による。

備考

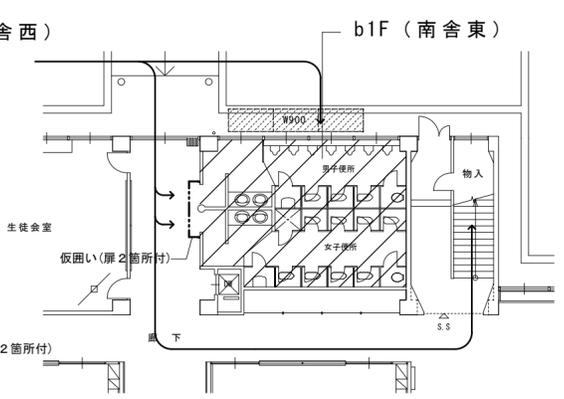
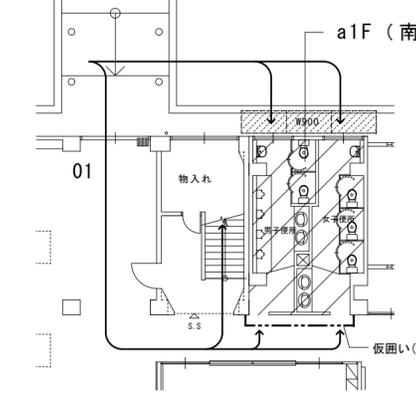
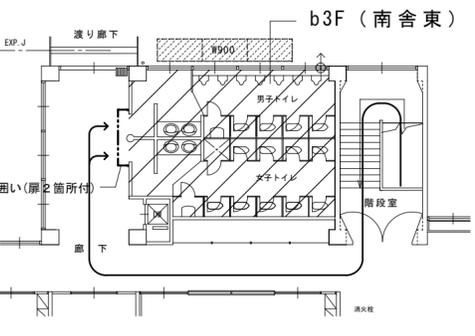
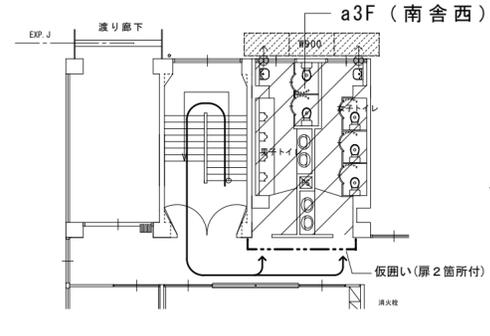
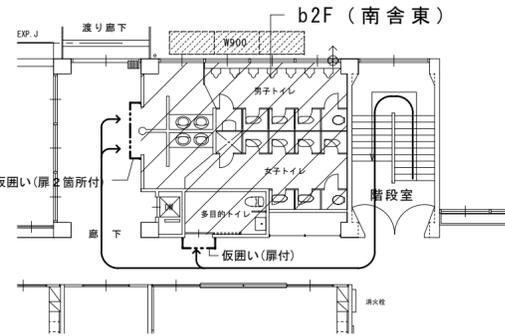
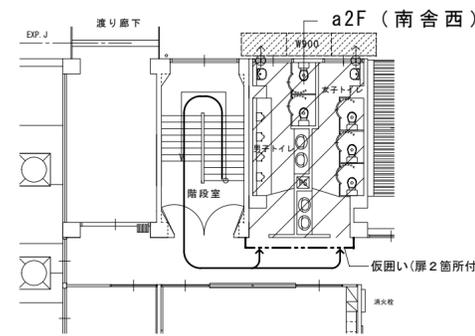


凡例	
	外部足場：くさび緊結式足場 (W900) メッシュシート共
	鋼製鉄板柵 (H2000)
	クロスゲート H1,800 W6,000
	工事車両進入経路・工事用通路
	安全係員 必要に応じて工事車両出入口等に安全係員を配備する。
	仮囲い (軽鉄壁下地・PB12.5) 木製扉付

注意事項

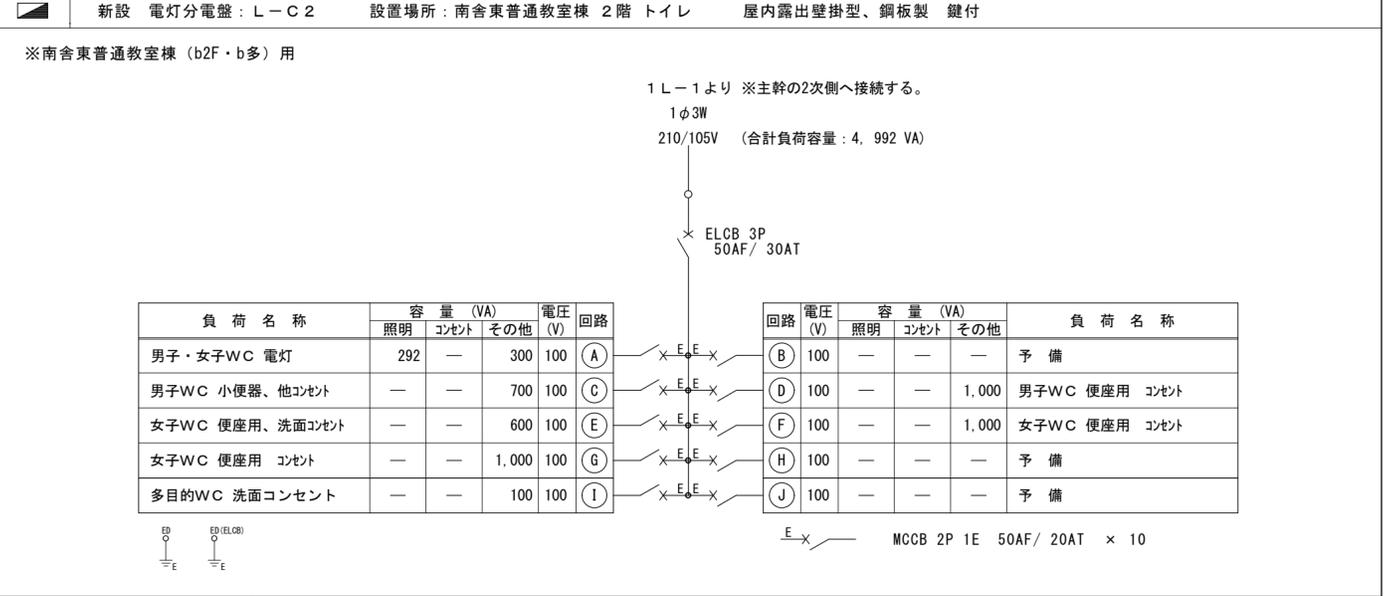
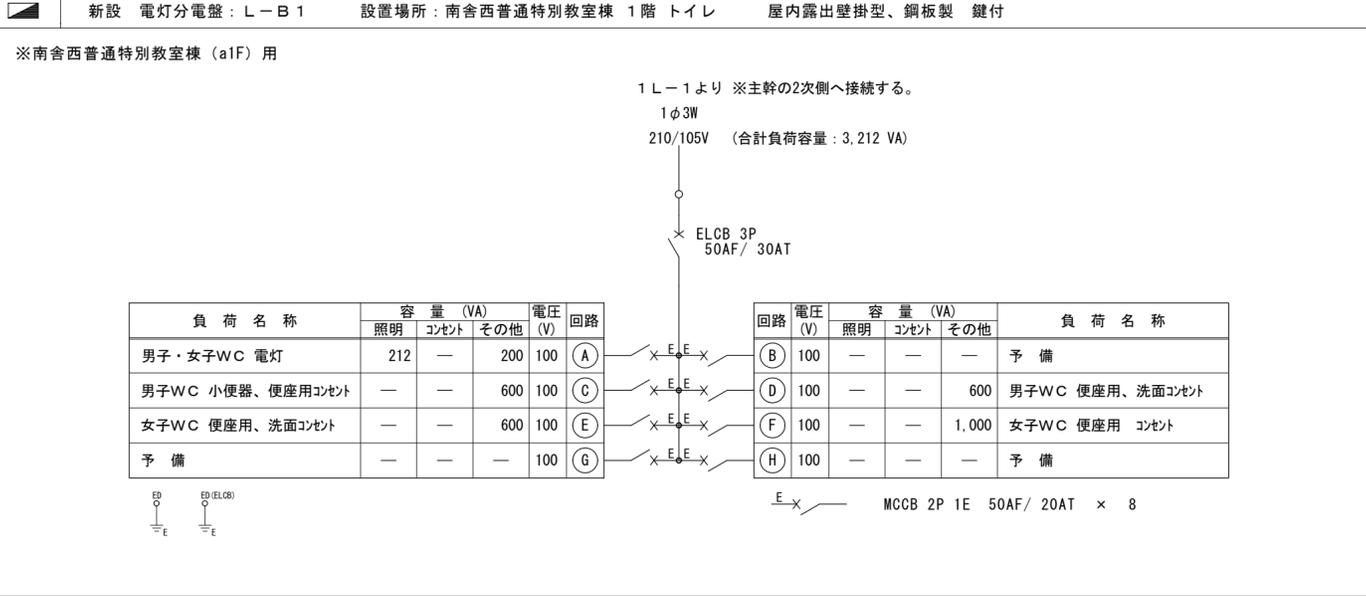
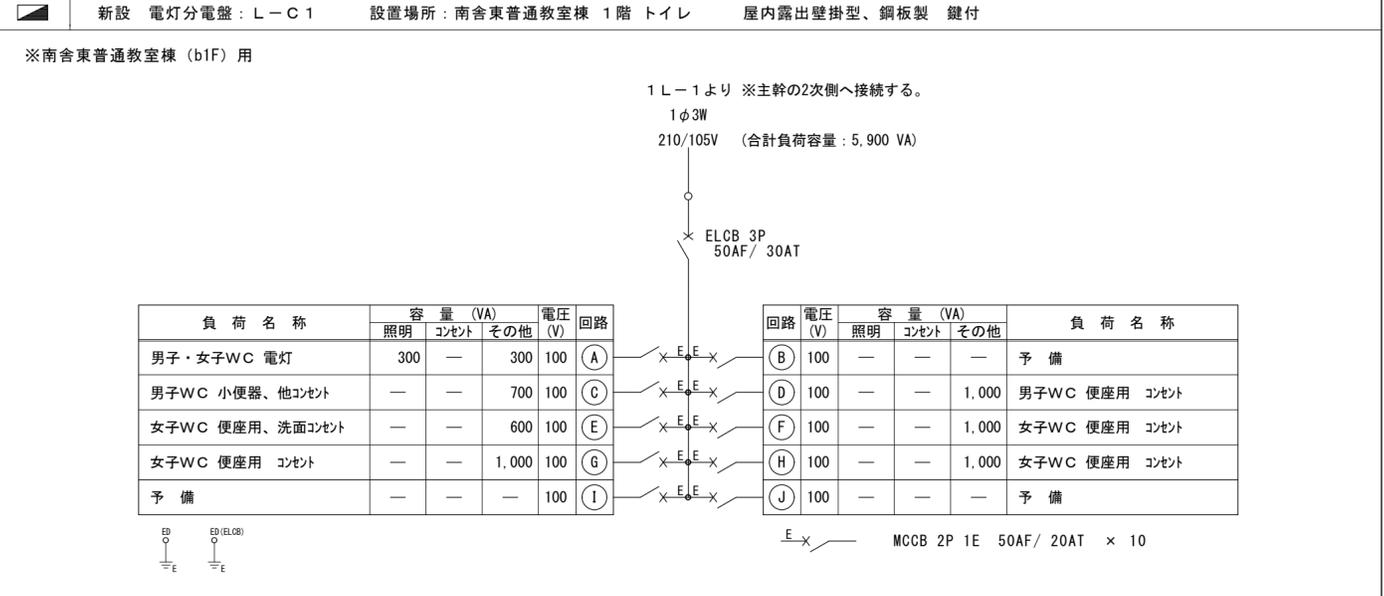
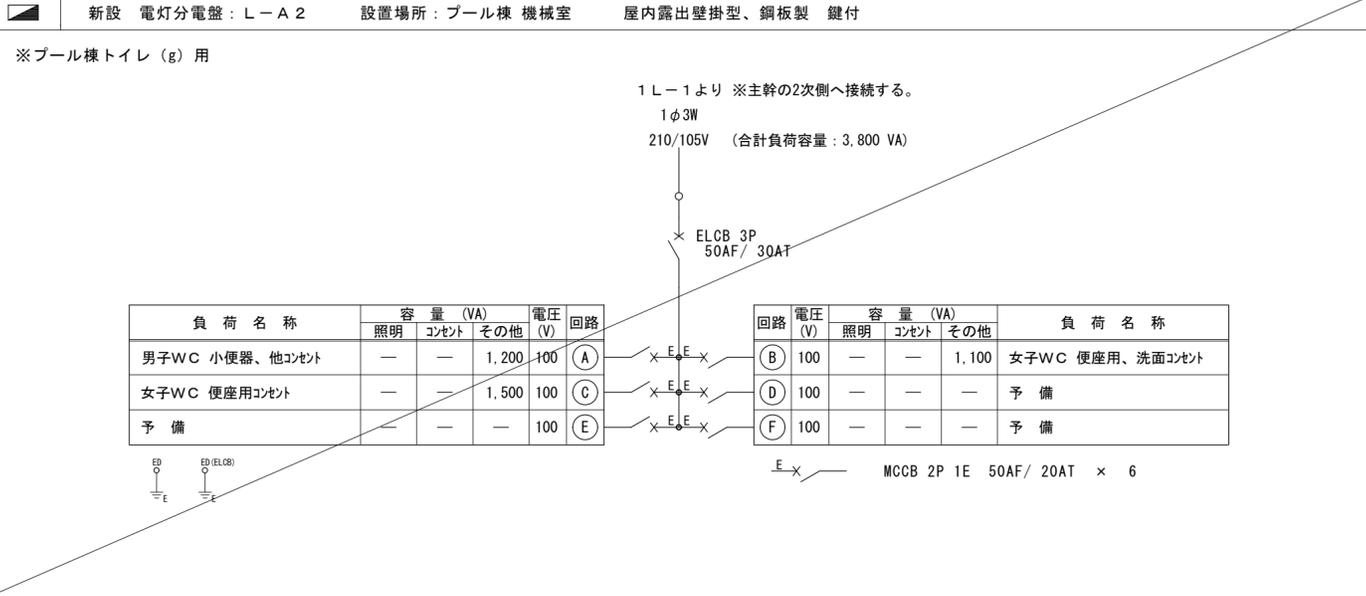
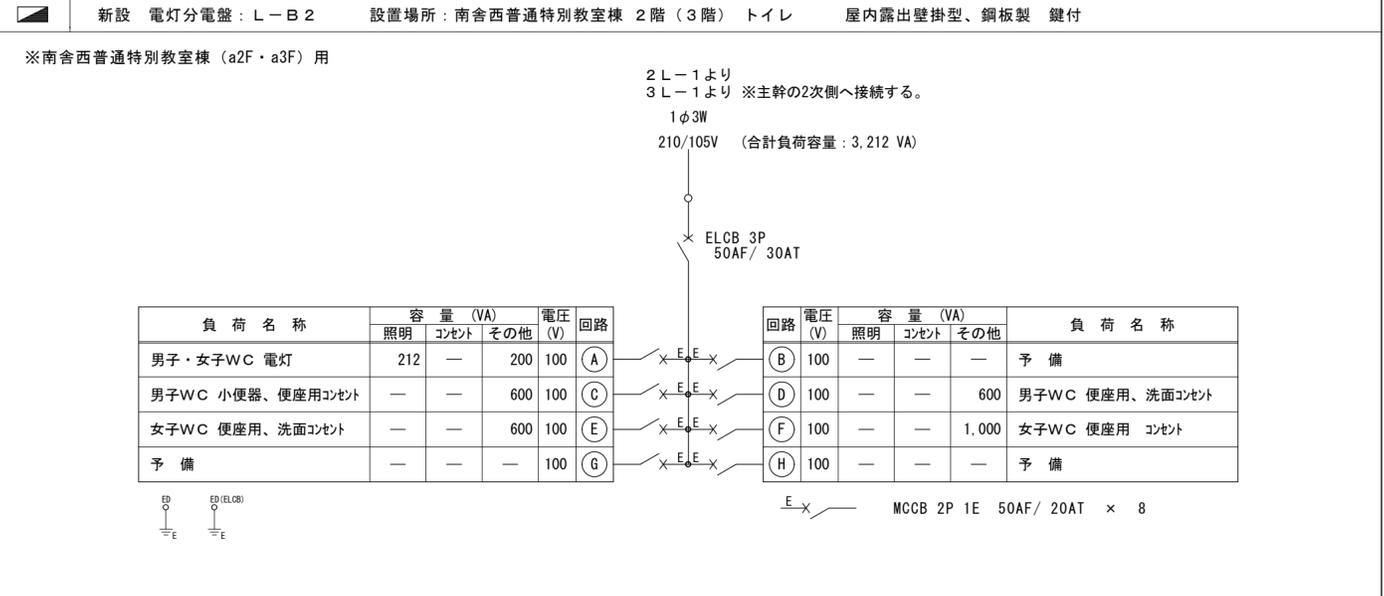
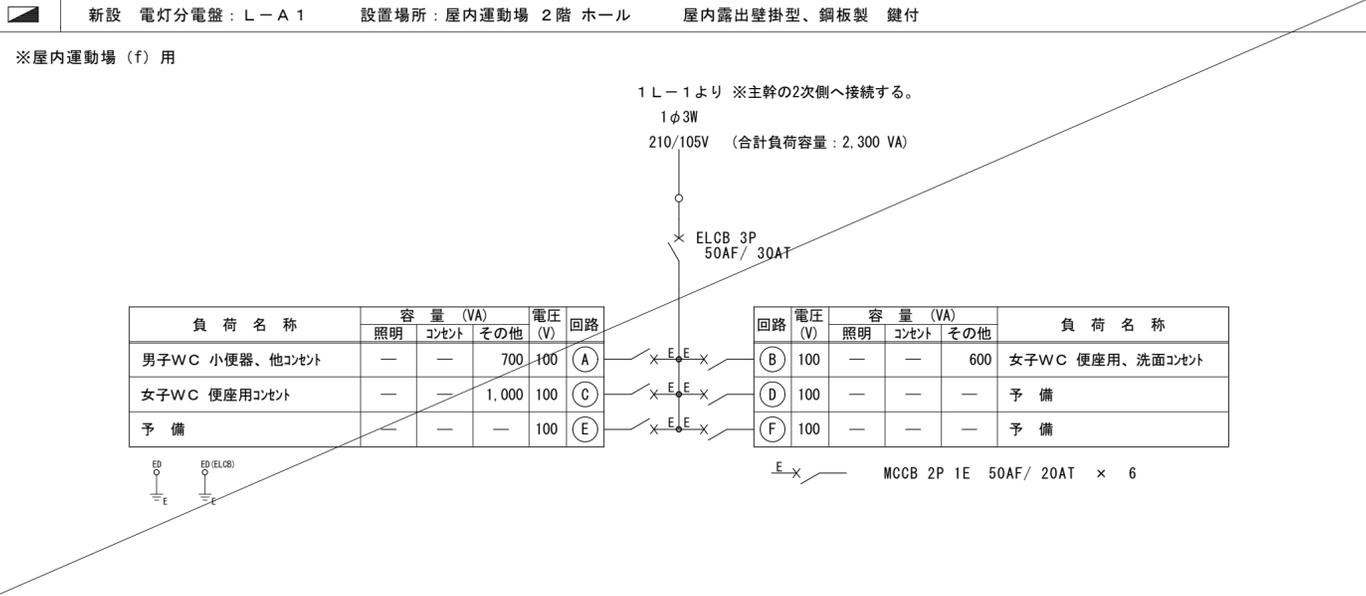
1. 工事搬入出経路は、児童及び学校職員の動線と重複する為、通行の際は十分に注意すること。(生徒・学校職員を優先すること。)
2. 仮設計画を立てる際に監督員及び学校側と十分に協議を行い、決定すること。
3. 学校運営を行いながらの工事の為、騒音・振動・臭気を伴う工事は夏休み期間中、及び休校日に行うこと。
4. 作業用地を借用する場合、監督員の指定する場所に仮囲いを設置して外部からの侵入を防ぐこと。
5. 資材の搬入出を行う際、学校側に危険が伴うと判断した場合、必要に応じて安全誘導員等を配置すること。
6. 大型車両の通行時は、安全誘導員等を配置すること。
7. 工事車両の駐車場は、学校側の指定する場所とする。
8. 工事開始時間・終了時間について、学校側に配慮すること。
9. 校内で別途発注の工事が行われる為、施工者間で連絡を取り合い、事故等が起こらない様配慮すること。

配置図 1/1000

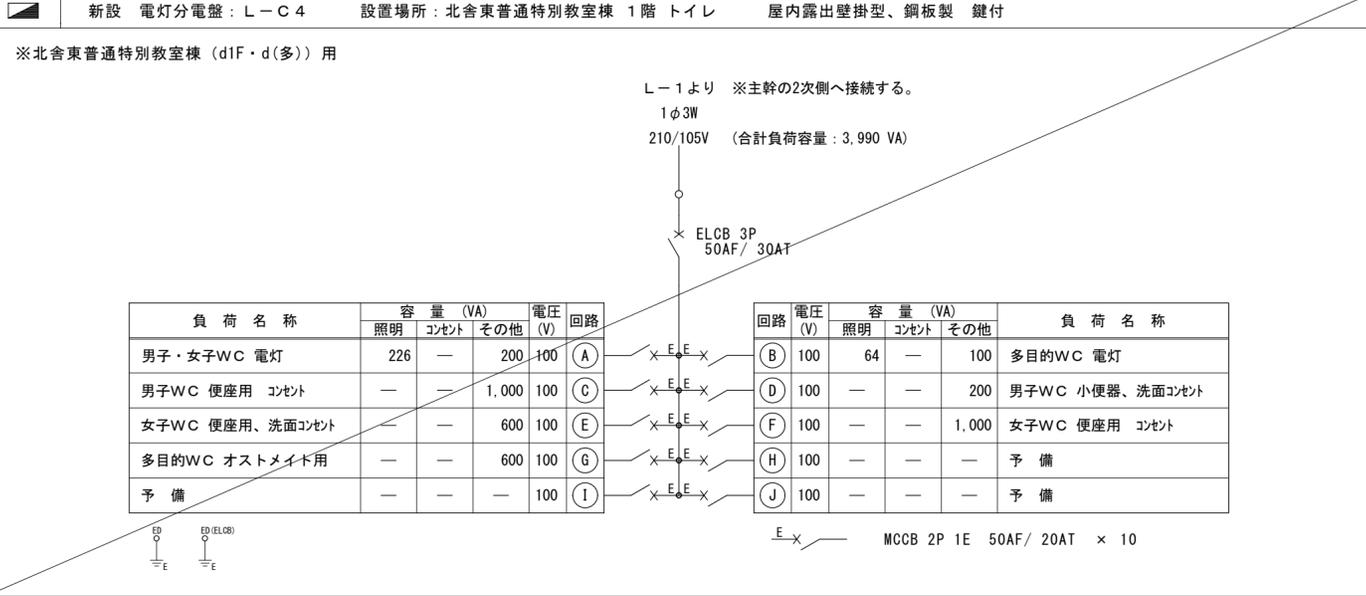
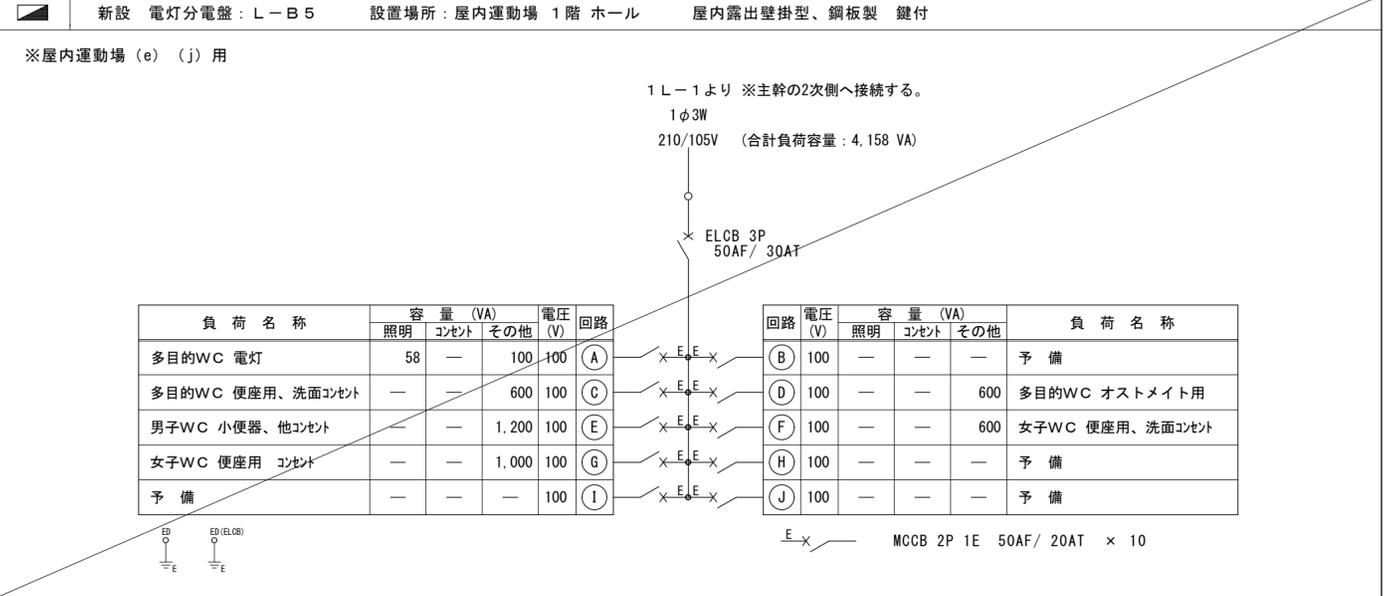
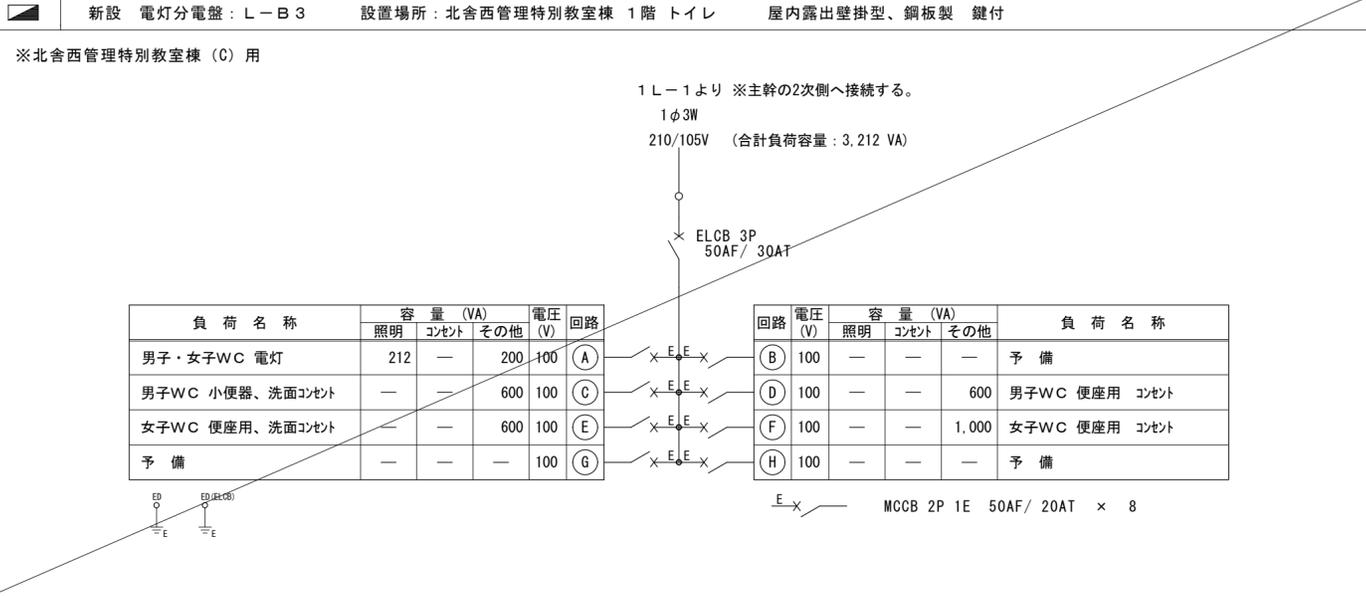
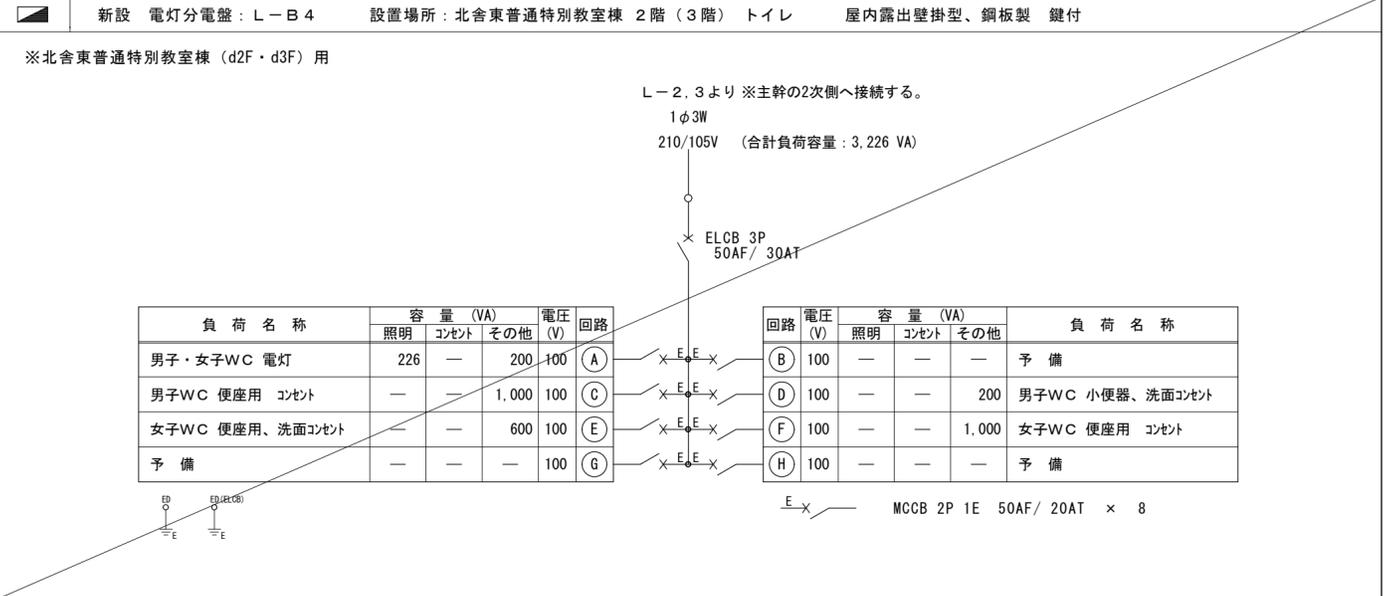
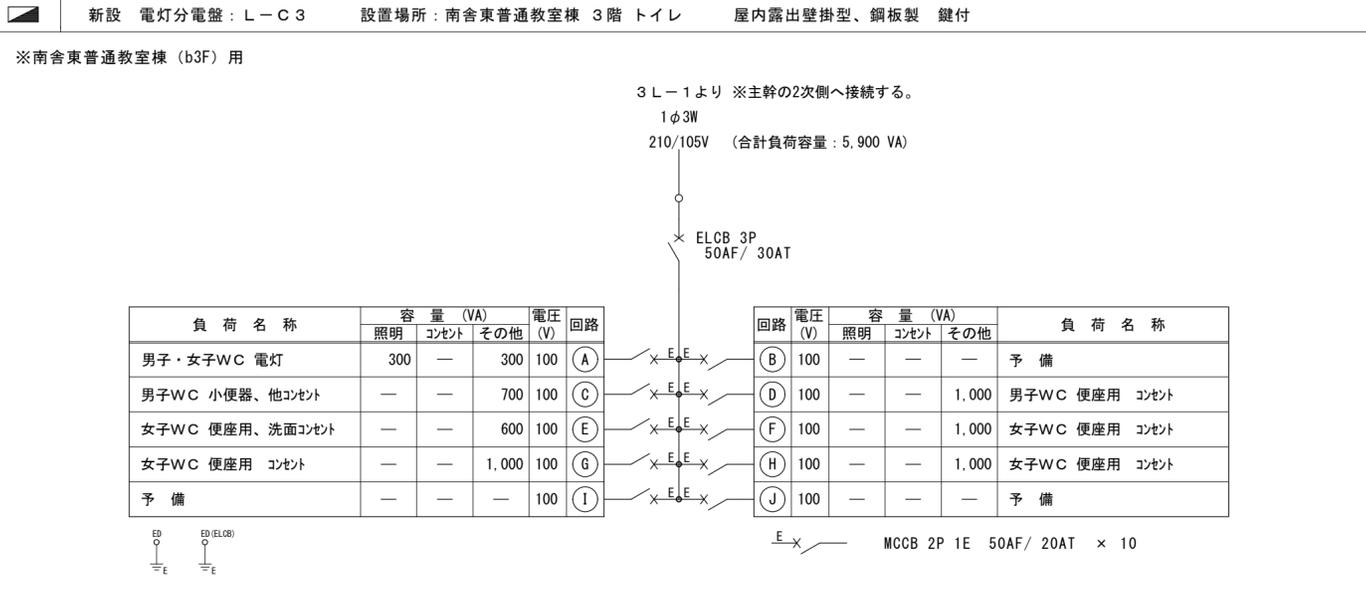


仮設平面拡大図 1/200

分電盤結線図 (1)



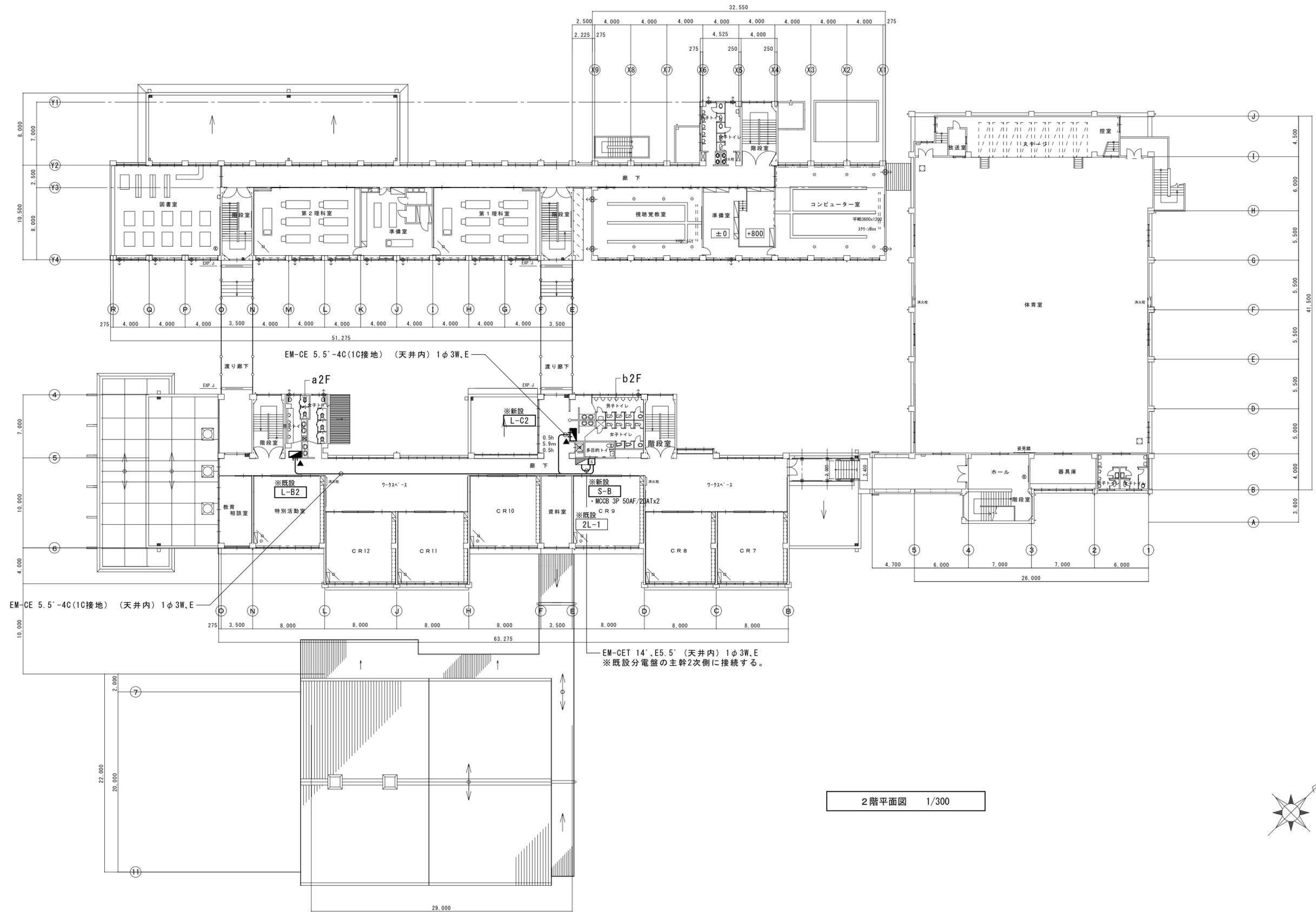
分電盤結線図 (2)



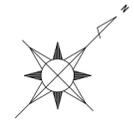
備考

凡 例				記 号				記 号			
記 号	名 称	仕 様	備 考	記 号	名 称	仕 様	備 考	記 号	名 称	仕 様	備 考
	電灯分電盤	既設及び、分電盤結線図参照			トイレ呼出表示装置	トイレ呼出設備 機器姿図参照	nLは窓数を示す。				
					呼出ボタン (引きひも付)	"	壁付、埋込形				
					復旧ボタン	"	壁付、埋込形				
	照明器具	平面図及び、照明器具姿図参照			ブザー付廊下灯	"	壁付、埋込形				
	"	"			廊下灯	既設	壁付、埋込形				
	照明器具 (壁付け)	"									
	照明器具 (ダウライト)	"			差動式ｽｯﾄ形感知器	既設 (露出形)					
	タンプスイッチ	1P15Ax1	埋込形、金属製プレート		換気扇	壁付	機械設備工事				
	タンプスイッチ	1P15Ax1 + 1P4Ax1 (確認表示灯)	埋込形、金属製プレート		換気扇	天井付	機械設備工事				
	タンプスイッチ	3W15Ax1	埋込形、金属製プレート								
	パイロットランプ	既設	天井形								
					中継ボックス						
	人感センサー親機	AC100V 8A、広角検知形	天井埋込形		中継ボックス						
	人感センサー子機	広角検知形	天井埋込形		ブルボックス	平面図注記を参照					
	人感センサー子機	換気扇連動可能 (動作時間10秒～30分可変形)	天井埋込形								
	人感センサー	照明制御及び、換気扇連動可能	天井埋込形		配管配線・ケーブル配線	天井内いんべい					
	人感センサー親機	AC100V 8A、広角検知形、屋外用	天井埋込形		ケーブル配線	鉄骨部露出配線					
	人感センサー親機	AC100V 8A、広角検知形	天井露出形		配管配線・ケーブル配線	床いんべい					
	人感センサー子機	広角検知形	天井露出形		配管配線・ケーブル配線	露出					
	人感センサー子機	換気扇連動可能 (動作時間10秒～30分可変形)	天井露出形		配管配線・ケーブル配線	地中埋設					
	センサ用操作スイッチ	1回路 (自動、切、手動切替)	壁付、埋込形								
	センサ用操作スイッチ	2回路 (自動、切、手動切替)	壁付、埋込形		配管配線	立上げ 素通し 引下げ					
	壁付コンセント	125V、2P15Ax1	埋込形、金属製プレート		回路番号	1φ2W 100V					
	壁付コンセント	125V、2P15Ax1、接地端子付	埋込形、金属製プレート		回路番号	1φ2W 200V					
	壁付コンセント	125V、2P15Ax1、接地極、接地端子付	埋込形、金属製プレート		回路番号	3φ3W 200V					
	壁付コンセント	125V、2P15Ax2、接地極、接地端子付	埋込形、金属製プレート								
	天井付コンセント	125V、2P15Ax1 (抜止形)	埋込形、金属製プレート								

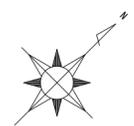
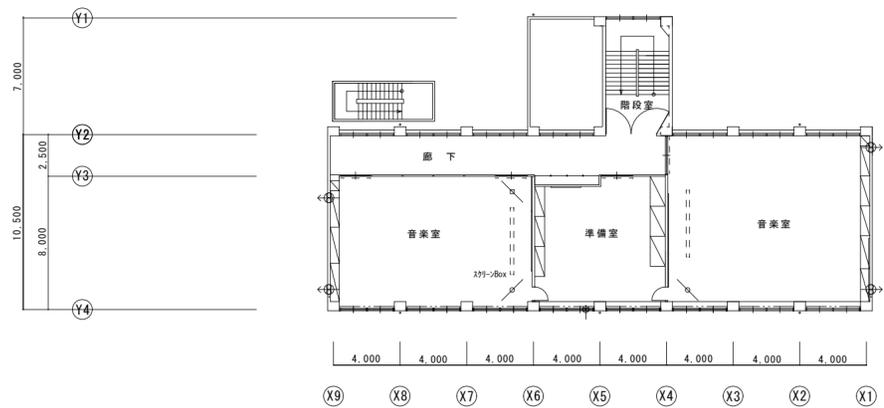
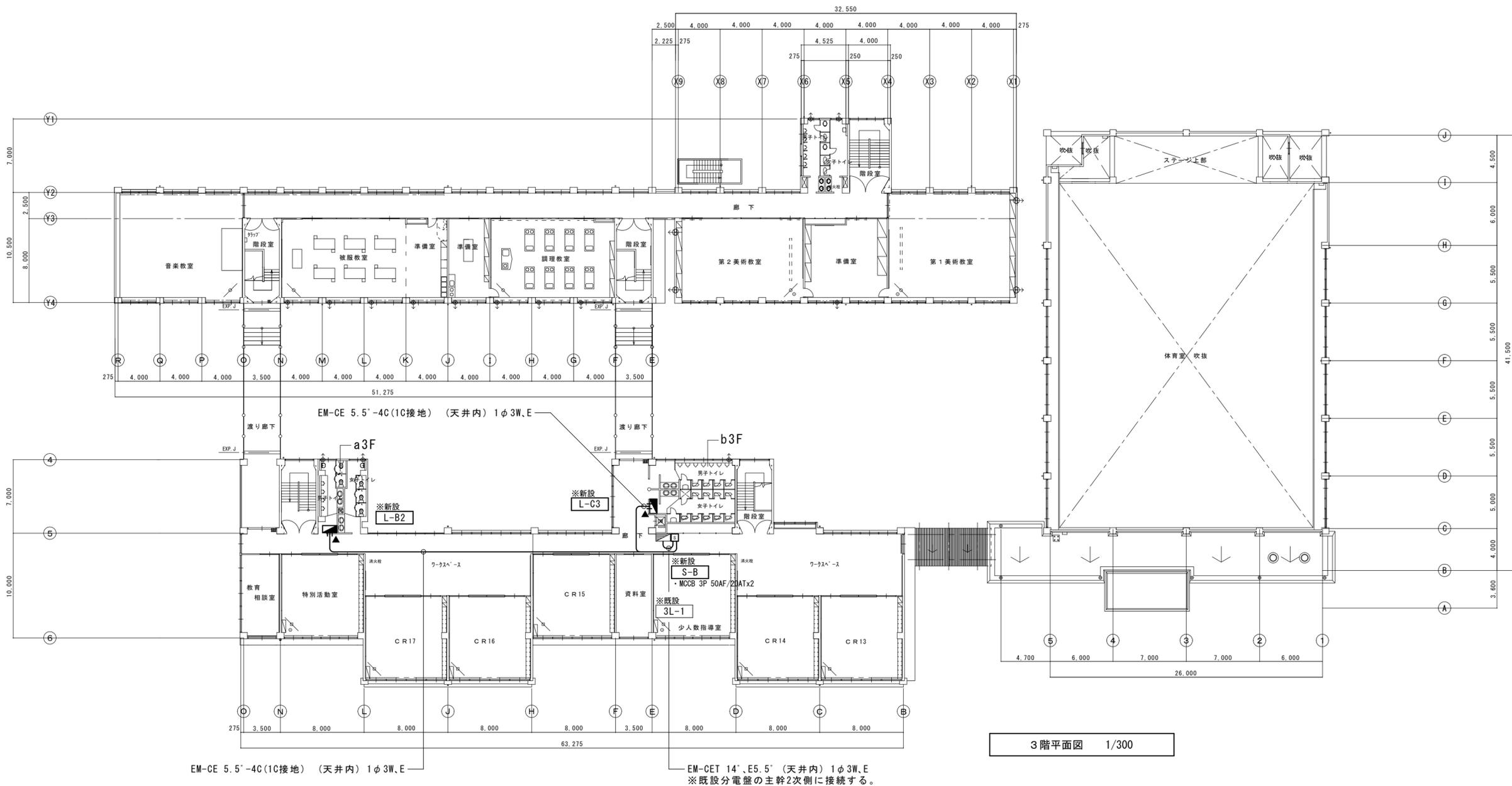
照 明 器 具 姿 図 (参 考 図)				照 明 器 具 姿 図 (参 考 図)				照 明 器 具 姿 図 (参 考 図)			
A 1	LRS1 - 05 LN	B	LRS1 RP - 05 LN	C 1	LSS9 - 4 - 30 LN						
A 2	LRS1 - 08 LN			C 2	LSS9 - 4 - 48 LN						
A 3	LRS1 - 13 LN										
A 4	LRS1 - 17 LN										
A 5	LRS1 - 22 LN										



2階平面図 1/300



備考	 株式会社 三宅設計 TEL 0574 (62) 1881 FAX 0574 (62) 5432 1級建築士 三宅晶信 第68278号	承認	設計	設計年月日	N0.	工事名	可児市立西可児中学校トイレ大規模改造工事(Ⅱ期)	工事設計図
				2024.10	E-06	図面名	電灯設備 2階平面図	scale 1/300



備考

株式会社 三宅設計
TEL 0574 (62) 1881
FAX 0574 (62) 5432
1級建築士 三宅 晶信 第68278号

承認

設計

設計年月日

2024.10

NO.

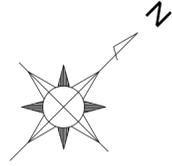
E-07

工事名 可児市立西可児中学校トイレ大規模改造工事(Ⅱ期)

工事設計図

図面名 電灯設備 3階・4階平面図

scale 1/300



※照明器具 撤去

男子便所	
埋込形 FHF 322	2
露出形 FL 401 (壁付)	1

※照明器具 撤去

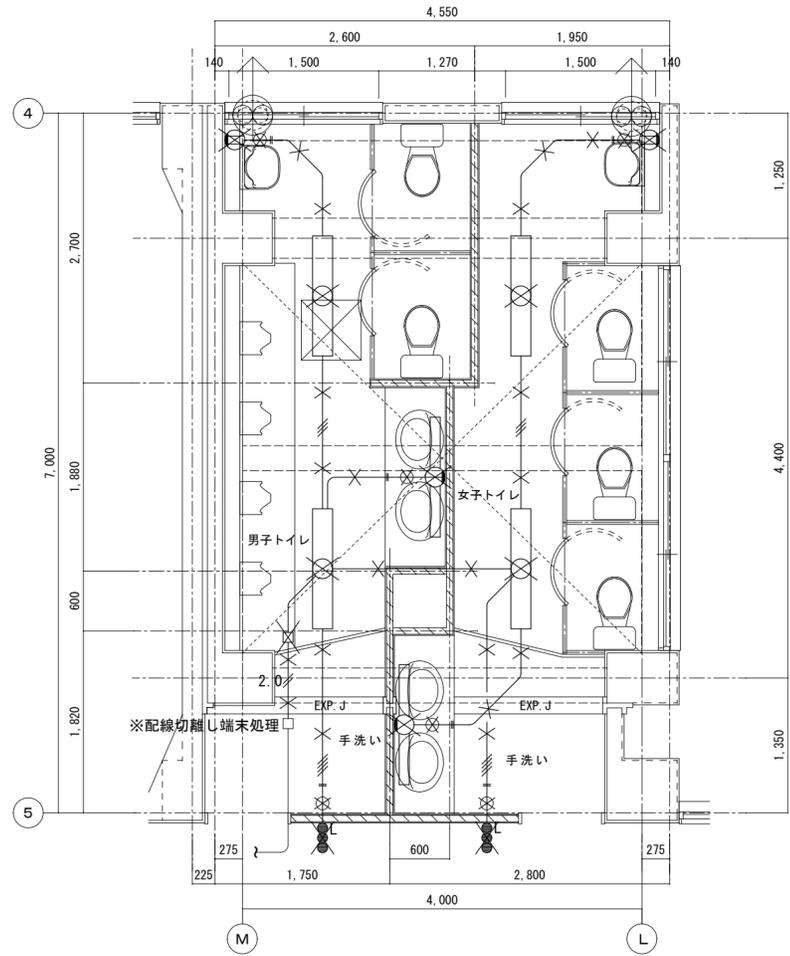
女子便所	
埋込形 FHF 322	2

※照明器具 撤去

男子便所手洗	
-	-

※照明器具 撤去

女子便所手洗	
露出形 FL 401 (壁付)	1



南舎普通特別教室棟 1階現況平面詳細図 1/50

注記 1. 特記なき配管配線は下記による。

- EM-IE 1.6 x2 (19)
- EM-IE 1.6 x3 (19)
- EM-IE 1.6 x4 (25)
- EM-IE 2.0 x2 (19)

- 2. X 撤去を示す。
- 3. X 配管配線共撤去を示す。
- 4. X 配管配線の内配線のみ撤去を示す。
- 5. X 配管配線の切断を示す。

備考

承認

設計

設計年月日

2024.10

No.

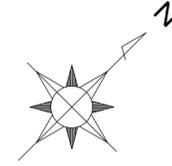
E-08

工事名 可児市立西可児中学校トイレ大規模改修工事（Ⅱ期）

工事設計図

図面名 南舎西普通特別教室棟 1階トイレ
電灯設備 平面詳細図

scale 1/50



※照明器具 新設

男子便所	
A3 : LRS1 - 13 LN	3
A2 : LRS1 - 08 LN	4

※照明器具 新設

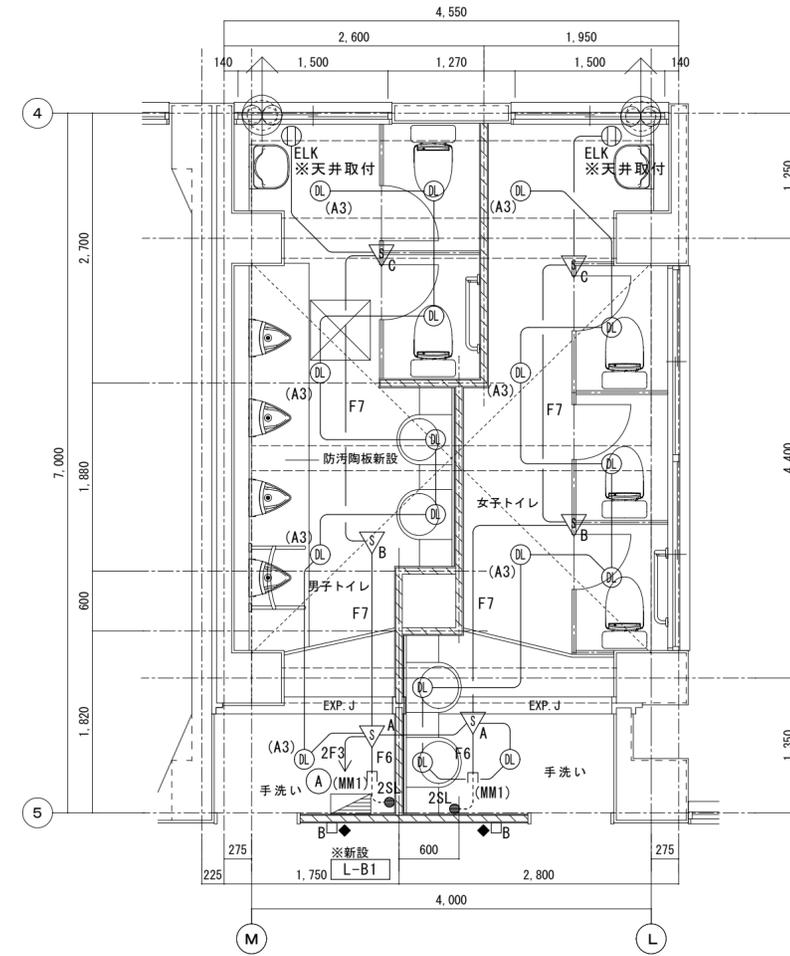
女子便所	
A3 : LRS1 - 13 LN	3
A2 : LRS1 - 08 LN	3

※照明器具 新設

男子便所手洗	
A3 : LRS1 - 13 LN	1

※照明器具 新設

女子便所手洗	
A2 : LRS1 - 08 LN	3



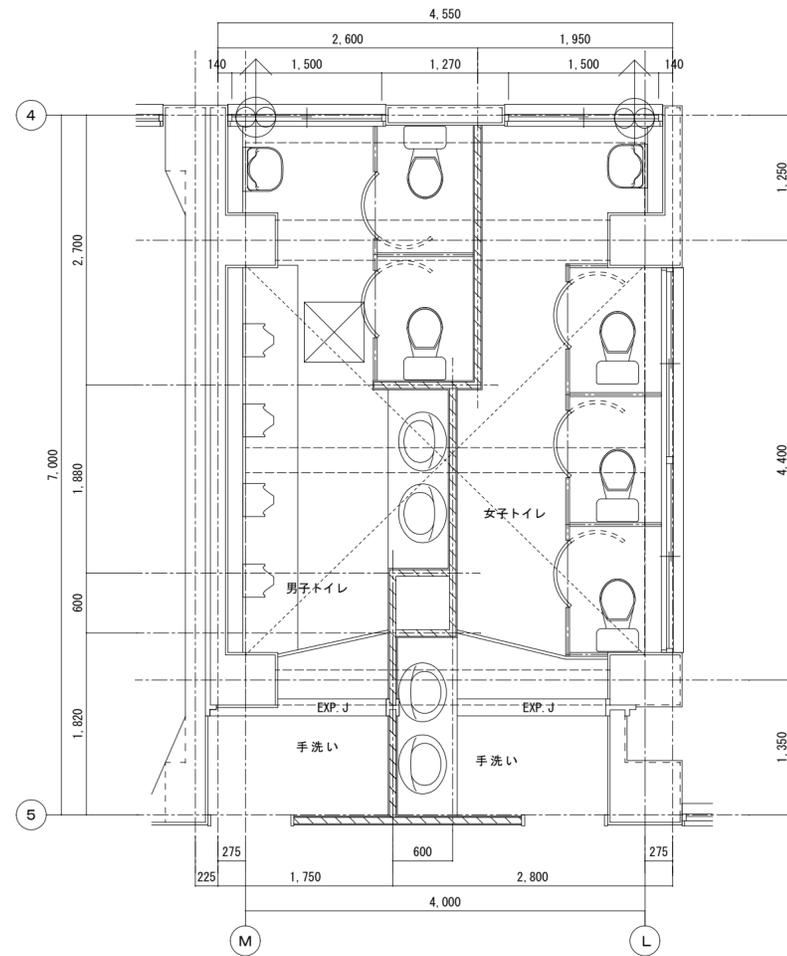
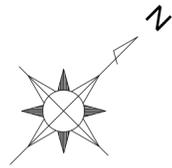
南舎普通特別教室棟 1階改修後平面詳細図 1/50

注記 1. 特記なき配管配線は下記による。

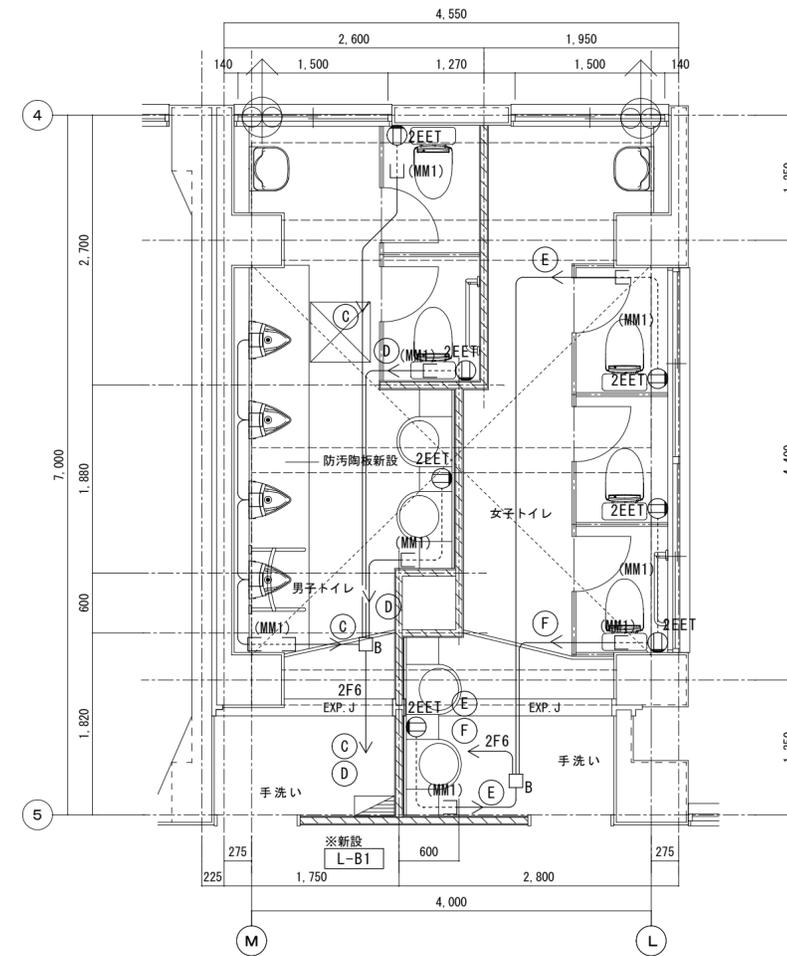
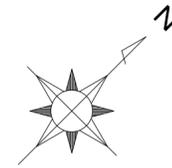
- F5 EM-EEF 1.6-3C (天井内) (保護管:PF22)
- F5 EM-EEF 1.6-2C + 3C (天井内) (保護管:PF16)
- F6 EM-EEF 1.6-3C x2 (天井内) (保護管:PF22)
- F7 EM-EEF 1.6-2Cx2 + 3C (天井内) (保護管:PF22)
- 2F3 EM-EEF 2.0-3C (天井内) (保護管:PF22)
- F6 (MM1) EM-EEF 1.6-3C x2 (MM1-B)

※天井内配線において、壁内立上げ部分はPF管保護とする。

- 2. ◆ 既設位置ボックスの再利用を示す。
- 3. ▲ 既設コンクリート壁はつり（穴あけ）補修を示す。
- 4. B□ 中継ボックスに、カバープレート取付を示す。



南舎普通特別教室棟1階現況平面詳細図 1/50
※既設コンセント設備無し



南舎普通特別教室棟1階改修後平面詳細図 1/50

注記1. 特記なき配管配線は下記による。
—— EM-EEF 2.0-3C (天井内) (保護管:PF22)
.....(MM1) EM-EEF 2.0-3C (MM1-A)
2F6 ——— EM-EEF 2.0-3C x2 (天井内) (保護管:PF28)
※天井内配線において、壁内立上げ部分はPF管保護とする。

- 2. ◆ 既設位置ボックスの再使用を示す。
- 3. B□ 中継ボックスに、カバープレート取付を示す。

備考

株式会社 三宅設計
TEL 0574 (62) 1881
FAX 0574 (62) 5432
1級建築士 三宅 晶信 第68278号

承認

設計

設計年月日

2024.10

NO.

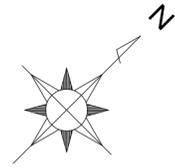
E-09

工事名 可児市立西可児中学校トイレ大規模改造工事（Ⅱ期）

工事設計図

図面名 南舎西普通特別教室棟 1階トイレ
コンセント設備 平面詳細図

scale 1/50



※照明器具 撤去

男子便所	
埋込形 FHF 322	2
露出形 FL 401 (壁付)	1

※照明器具 撤去

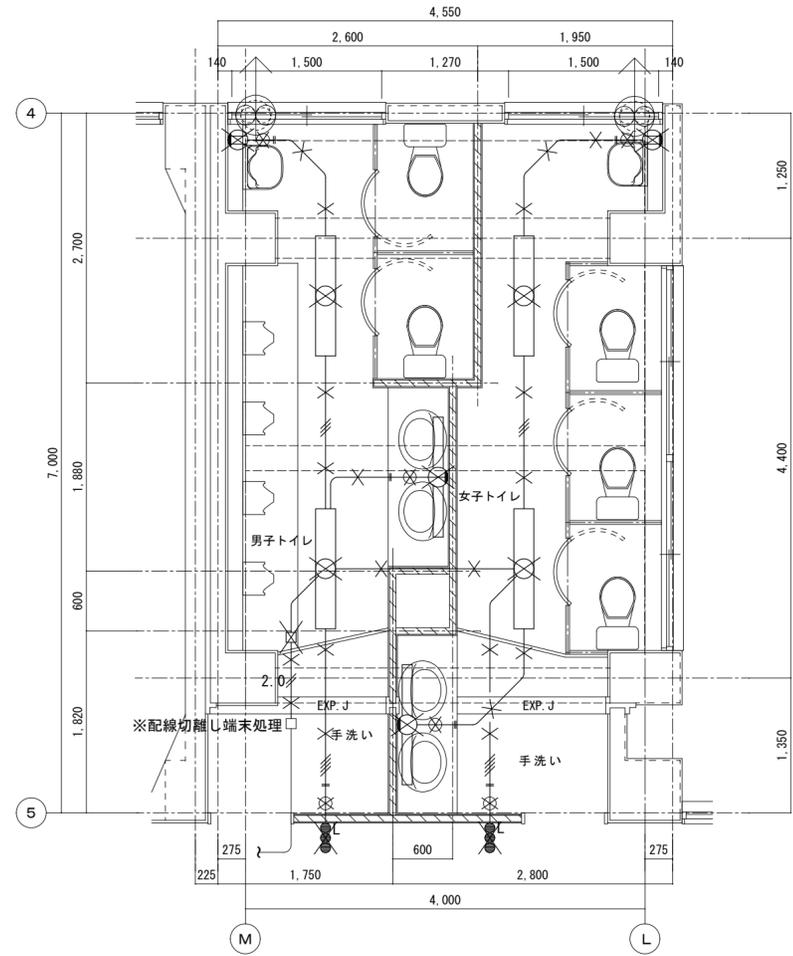
女子便所	
埋込形 FHF 322	2

※照明器具 撤去

男子便所手洗	
—	—

※照明器具 撤去

女子便所手洗	
露出形 FL 401 (壁付)	1



南舎普通特別教室棟 2・3階現況平面詳細図 1/50

- 注記 1. 特記なき配管配線は下記による。
- EM-IE 1.6 x2 (19)
 - EM-IE 1.6 x3 (19)
 - EM-IE 1.6 x4 (25)
 - 2.0 — EM-IE 2.0 x2 (19)

- 2. X …… 撤去を示す。
- 3. —X— …… 配管配線共撤去を示す。
- 4. —X— …… 配管配線の内配線のみ撤去を示す。
- 5. —+— …… 配管配線の切断を示す。

備考

承認

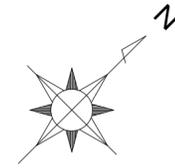
設計

設計年月日

2024.10

No.

E-10



※照明器具 新設

男子便所	
A3 : LRS1 - 13 LN	3
A2 : LRS1 - 08 LN	4

※照明器具 新設

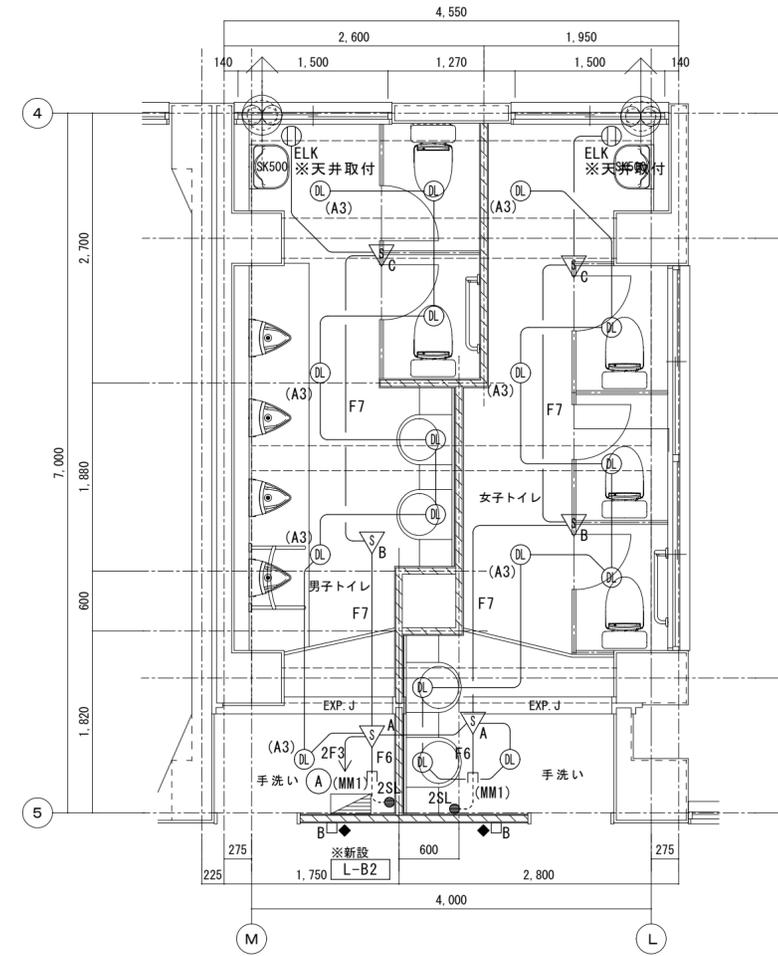
女子便所	
A3 : LRS1 - 13 LN	3
A2 : LRS1 - 08 LN	3

※照明器具 新設

男子便所手洗	
A3 : LRS1 - 13 LN	1

※照明器具 新設

女子便所手洗	
A2 : LRS1 - 08 LN	3



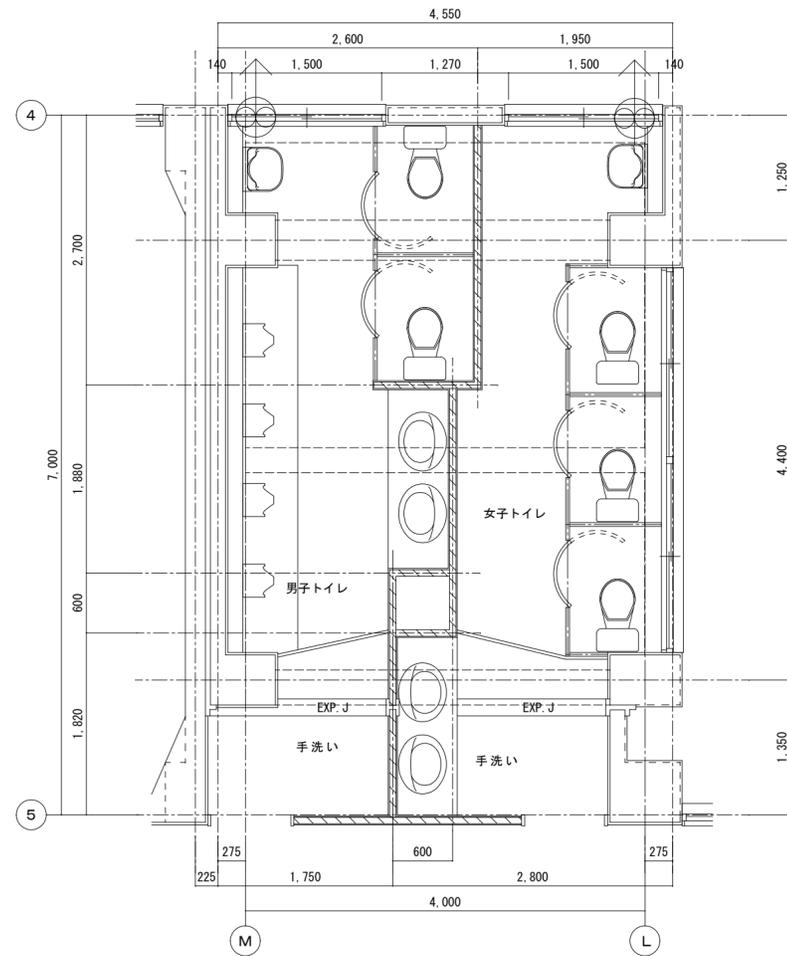
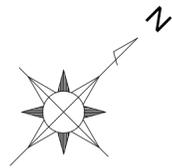
南舎普通特別教室棟 2・3階改修後平面詳細図 1/50

注記 1. 特記なき配管配線は下記による。

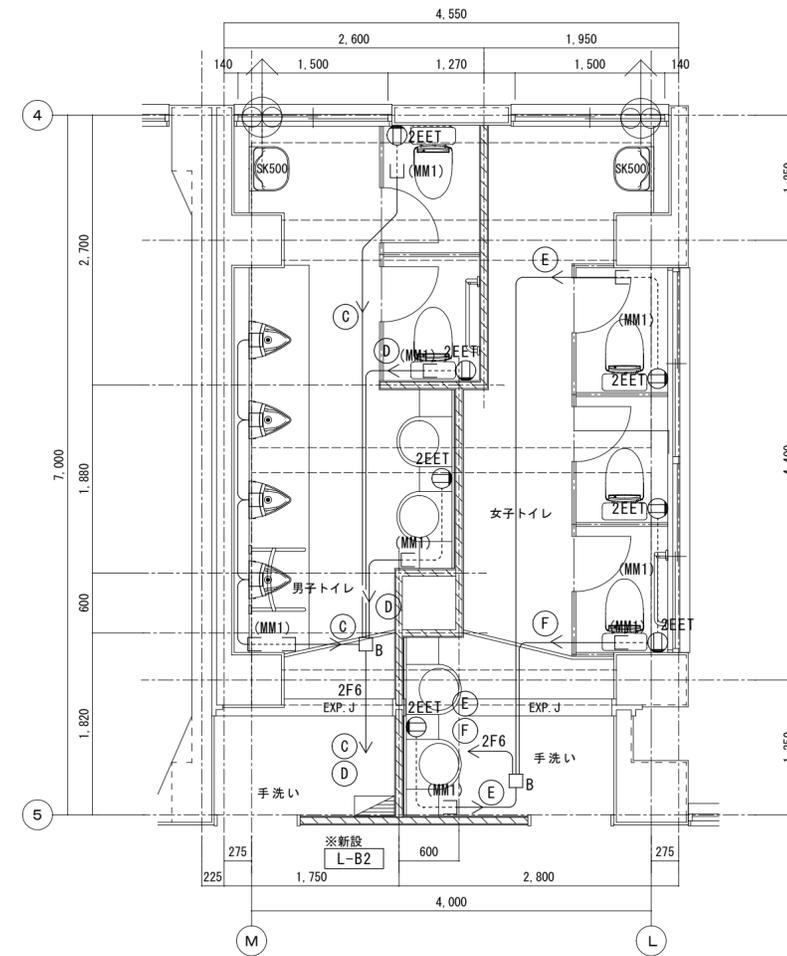
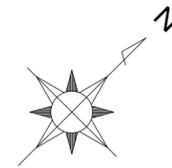
- EM-EEF 1.6-3C (天井内) (保護管:PF22)
- F5 EM-EEF 1.6-2C + 3C (天井内) (保護管:PF16)
- F6 EM-EEF 1.6-3C x2 (天井内) (保護管:PF22)
- F7 EM-EEF 1.6-2Cx2 + 3C (天井内) (保護管:PF22)
- 2F3 EM-EEF 2.0-3C (天井内) (保護管:PF22)
- F6 (MM1) EM-EEF 1.6-3C x2 (MM1-B)

※天井内配線において、壁内立上げ部分はPF管保護とする。

- 2. ◆ …… 既設位置ボックスの再利用を示す。
- 3. —▲— …… 既設コンクリート壁はつり（穴あけ）補修を示す。
- 4. B□ …… 中継ボックスに、カバープレート取付を示す。



南舎普通特別教室棟 2・3階現況平面詳細図 1/50
※既設コンセント設備無し



南舎普通特別教室棟 2・3階改修後平面詳細図 1/50

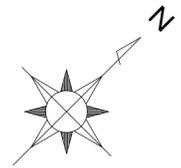
注記 1. 特記なき配管配線は下記による。
 — EM-EEF 2.0-3C (天井内) (保護管:PF22)
(MM1) EM-EEF 2.0-3C (MM1-A)
 2F6 — EM-EEF 2.0-3C x2 (天井内) (保護管:PF28)
 ※天井内配線において、壁内立上げ部分はPF管保護とする。

- 2. ◆ 既設位置ボックスの再使用を示す。
- 3. B□ 中継ボックスに、カバープレート取付を示す。

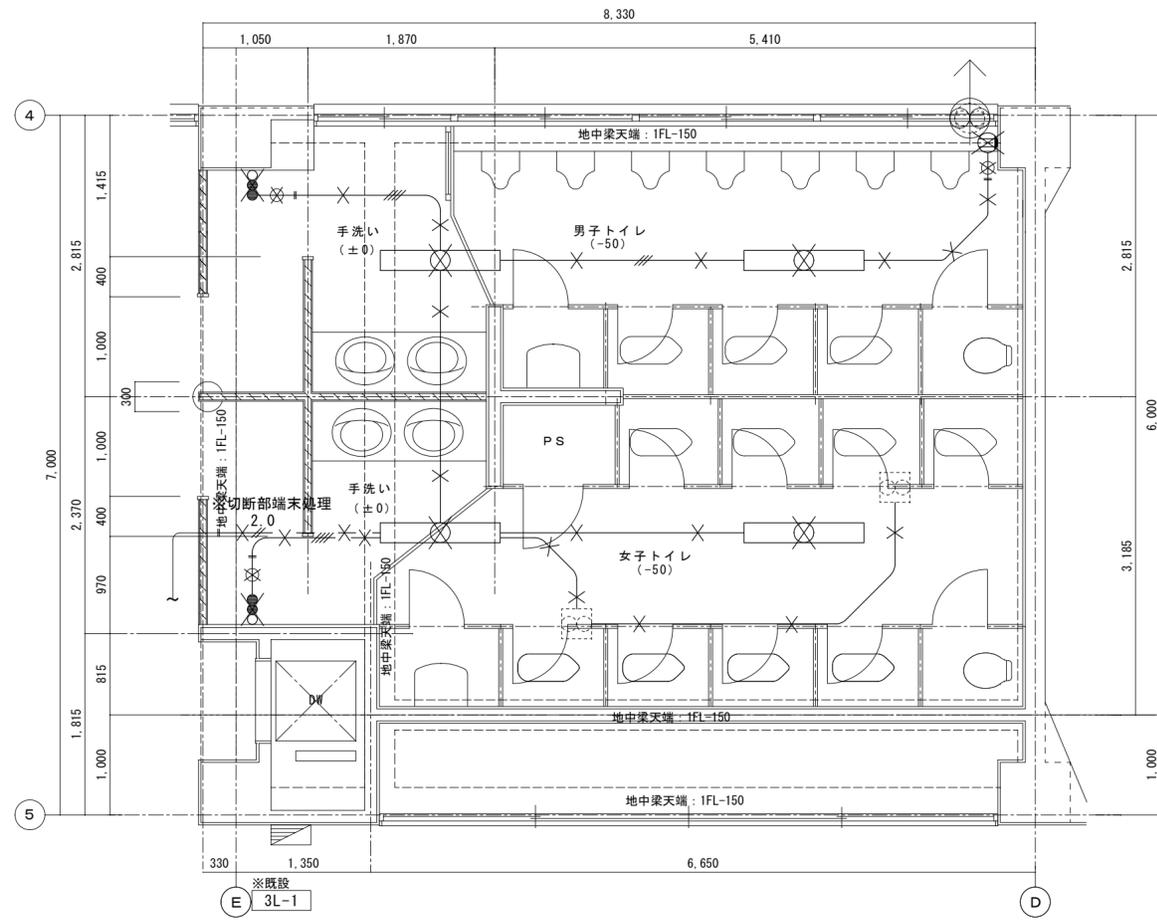
備考

株式会社 三宅設計
 TEL 0574 (62) 1881
 FAX 0574 (62) 5432
 1級建築士 三宅 晶信 第68278号

承認	設計	設計年月日	No.	工事名	工事設計図
		2024.10	E-11	可児市立西可児中学校トイレ大規模改造工事(Ⅱ期)	
				図面名	scale 1/50
				南舎西普通特別教室棟 2・3階トイレ コンセント設備 平面詳細図	

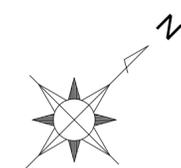


※照明器具 撤去		※照明器具 撤去	
男子トイレ		女子トイレ	
露出形 FL 402	1	露出形 FL 402	1
※照明器具 撤去		※照明器具 撤去	
男子トイレ手洗		女子トイレ手洗	
露出形 FL 402	1	露出形 FL 402	1
※照明器具 撤去		※照明器具 撤去	
踏込		踏込	
-	-	-	-

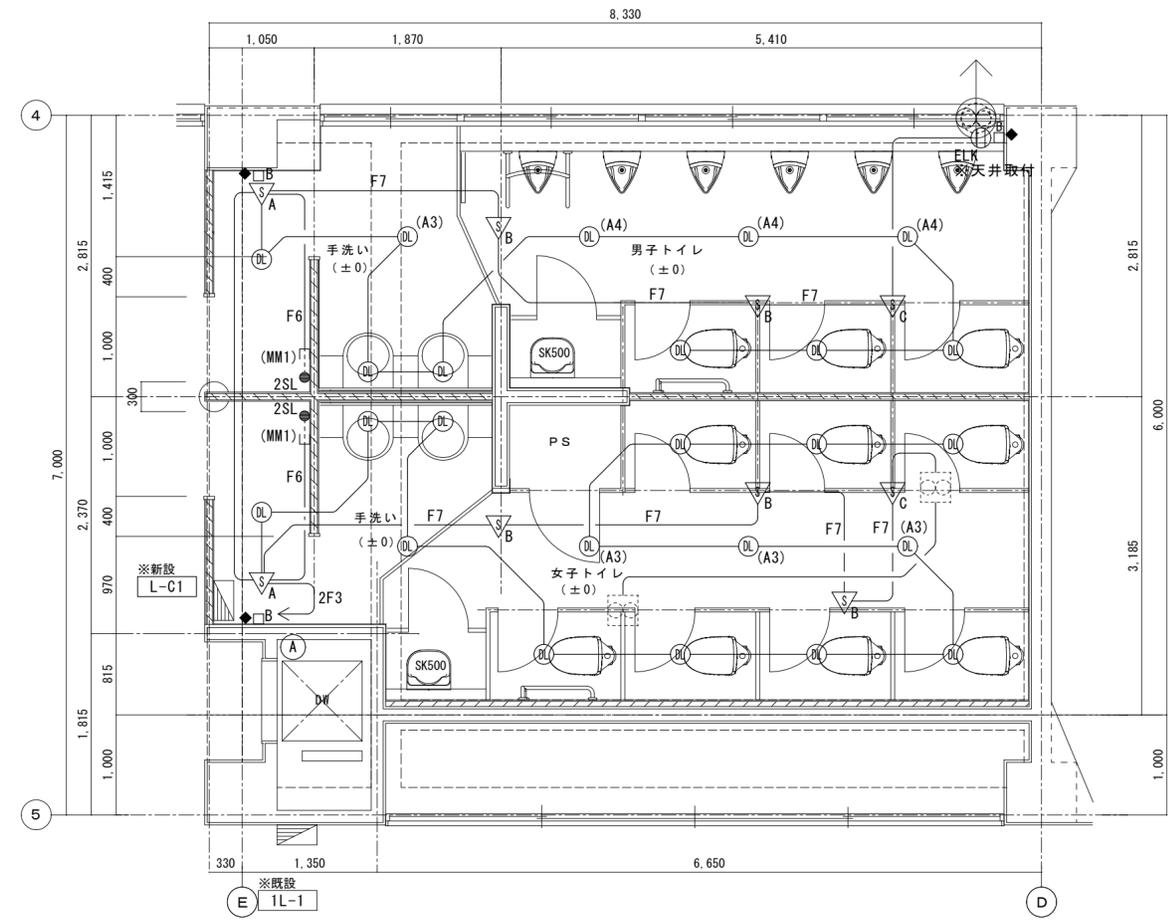


南舎普通教室棟1階現況平面詳細図 1/50

- 注記 1. 特記なき配管配線は下記による。
- EM-IE 1.6 x2 (19)
 - EM-IE 1.6 x3 (19)
 - EM-IE 1.6 x4 (25)
 - 2.0 — EM-IE 2.0 x2 (19)
2. X …… 撤去を示す。
3. —X— …… 配管配線共撤去を示す。
4. —X— …… 配管配線の内配線のみ撤去を示す。
5. —+— …… 配管配線の切断を示す。



※照明器具 新設		※照明器具 新設	
男子トイレ		女子トイレ	
A4 : LRS1 - 17 LN	3	A3 : LRS1 - 13 LN	3
A2 : LRS1 - 08 LN	3	A2 : LRS1 - 08 LN	7
※照明器具 新設		※照明器具 新設	
男子トイレ手洗		女子トイレ手洗	
A3 : LRS1 - 13 LN	1	A2 : LRS1 - 08 LN	3
A2 : LRS1 - 08 LN	2		
※照明器具 新設		※照明器具 新設	
踏込		踏込	
A2 : LRS1 - 08 LN	1	A2 : LRS1 - 08 LN	1



南舎普通教室棟1階改修後平面詳細図 1/50

- 注記 1. 特記なき配管配線は下記による。
- EM-EEF 1.6-3C (天井内) (保護管:PF22)
 - F5 — EM-EEF 1.6-2C + 3C (天井内) (保護管:PF16)
 - F6 — EM-EEF 1.6-3C x2 (天井内) (保護管:PF22)
 - 2F3 — EM-EEF 2.0-3C (天井内) (保護管:PF22)
 - F6 (MM1) — EM-EEF 1.6-3C x2 (MM1-B)
- ※天井内配線において、壁内立上げ部分はPF管保護とする。
2. ◆ …… 既設位置ボックスの再利用を示す。
3. B□ …… 中継ボックスに、カバープレート取付を示す。

備考

株式会社 三宅設計
 TEL 0574 (62) 1881
 FAX 0574 (62) 5432
 1級建築士 三宅 晶信 第68278号

承認

設計

設計年月日

2024.10

No.

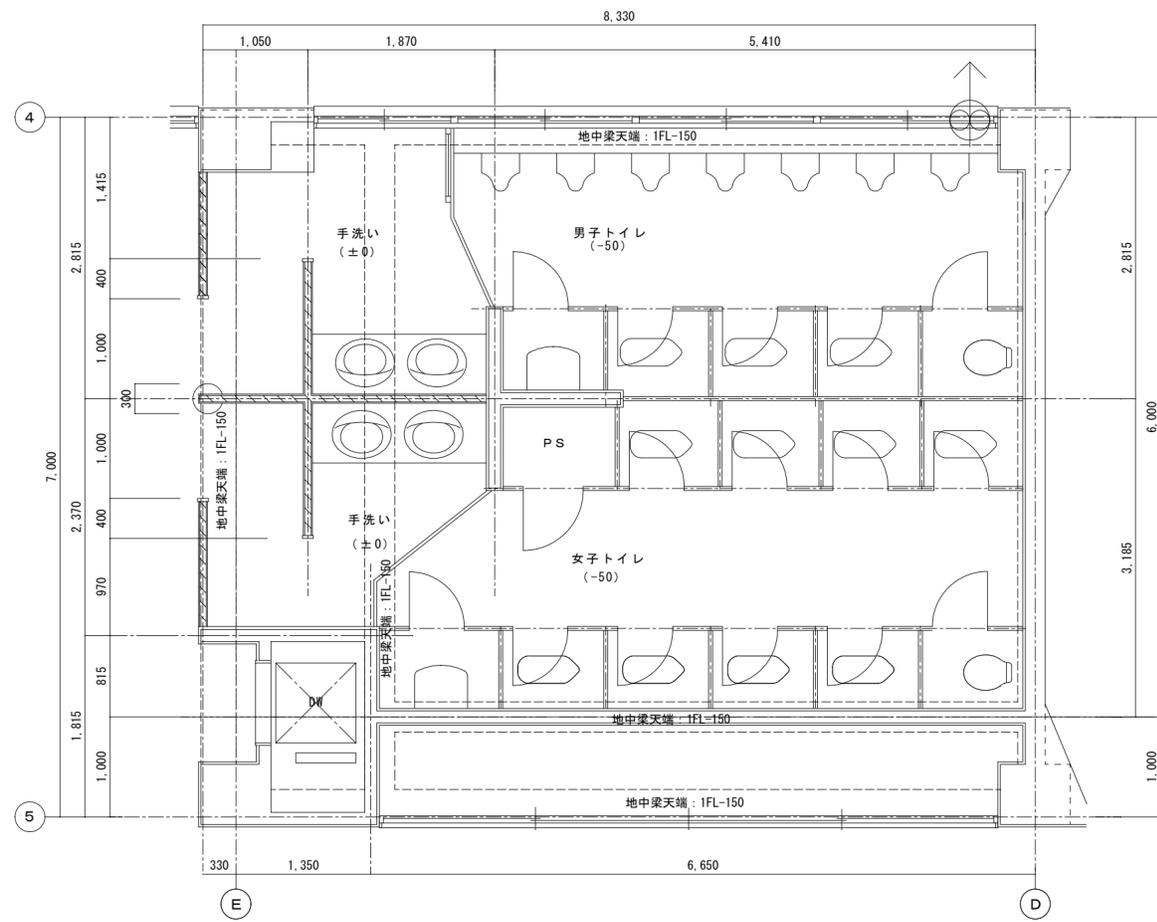
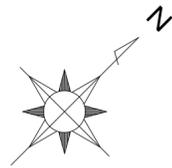
E-12

工事名 可児市立西可児中学校トイレ大規模改修工事（Ⅱ期）

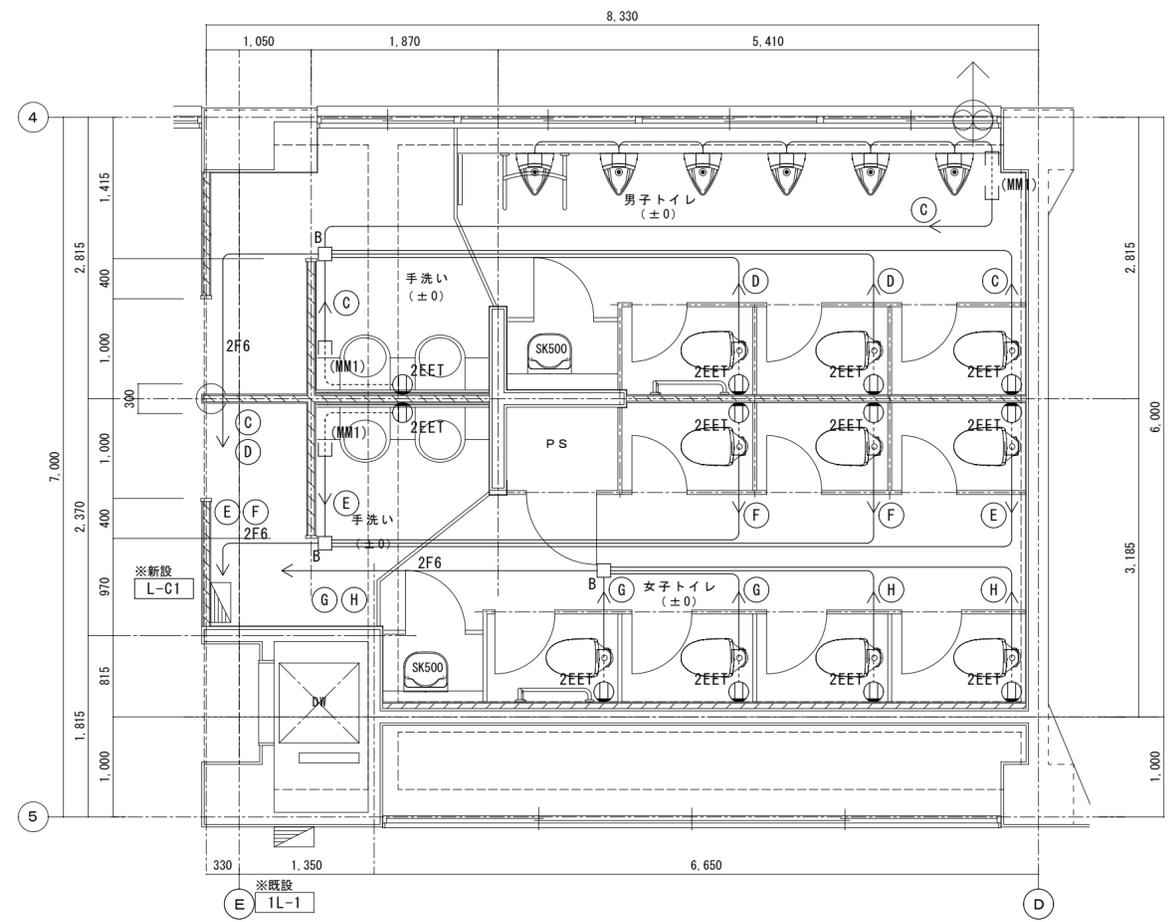
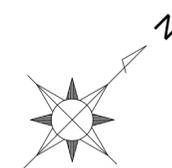
工事設計図

図面名 南舎東普通教室棟 1階トイレ
 電灯設備 平面詳細図

scale 1/50



南舎普通教室棟 1階現況平面詳細図 1/50
※既設コンセント設備無し



南舎普通教室棟 1階改修後平面詳細図 1/50

- 注記 1. 特記なき配管配線は下記による。
- EM-EEF 2.0-3C (天井内) (保護管:PF22)
 - 2F6 EM-EEF 2.0-3C x2 (天井内) (保護管:PF28)
 - (MM1) EM-EEF 2.0-3C (MM1-A)
- ※天井内配線において、壁内立上げ部分はPF管保護とする。
2. ◆ 既設位置*ツカスの再使用を示す。
3. B□ 中継*ツカスに、カバー*プレート取付を示す。

備考

株式会社 三宅設計

TEL 0574 (62) 1881
FAX 0574 (62) 5432

1級建築士 三宅 晶 信 第68278号

承認

設計

設計年月日

2024.10

NO.

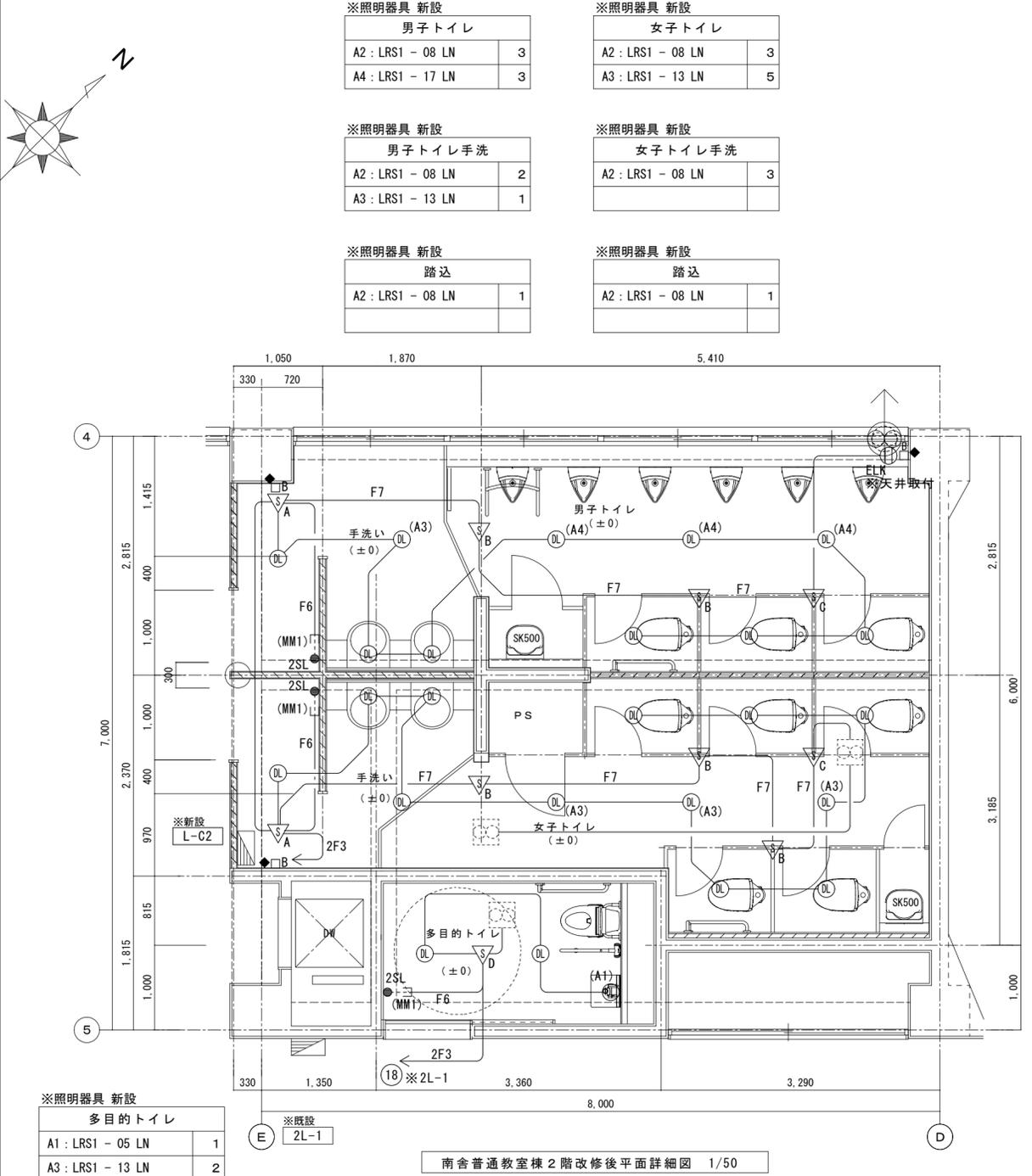
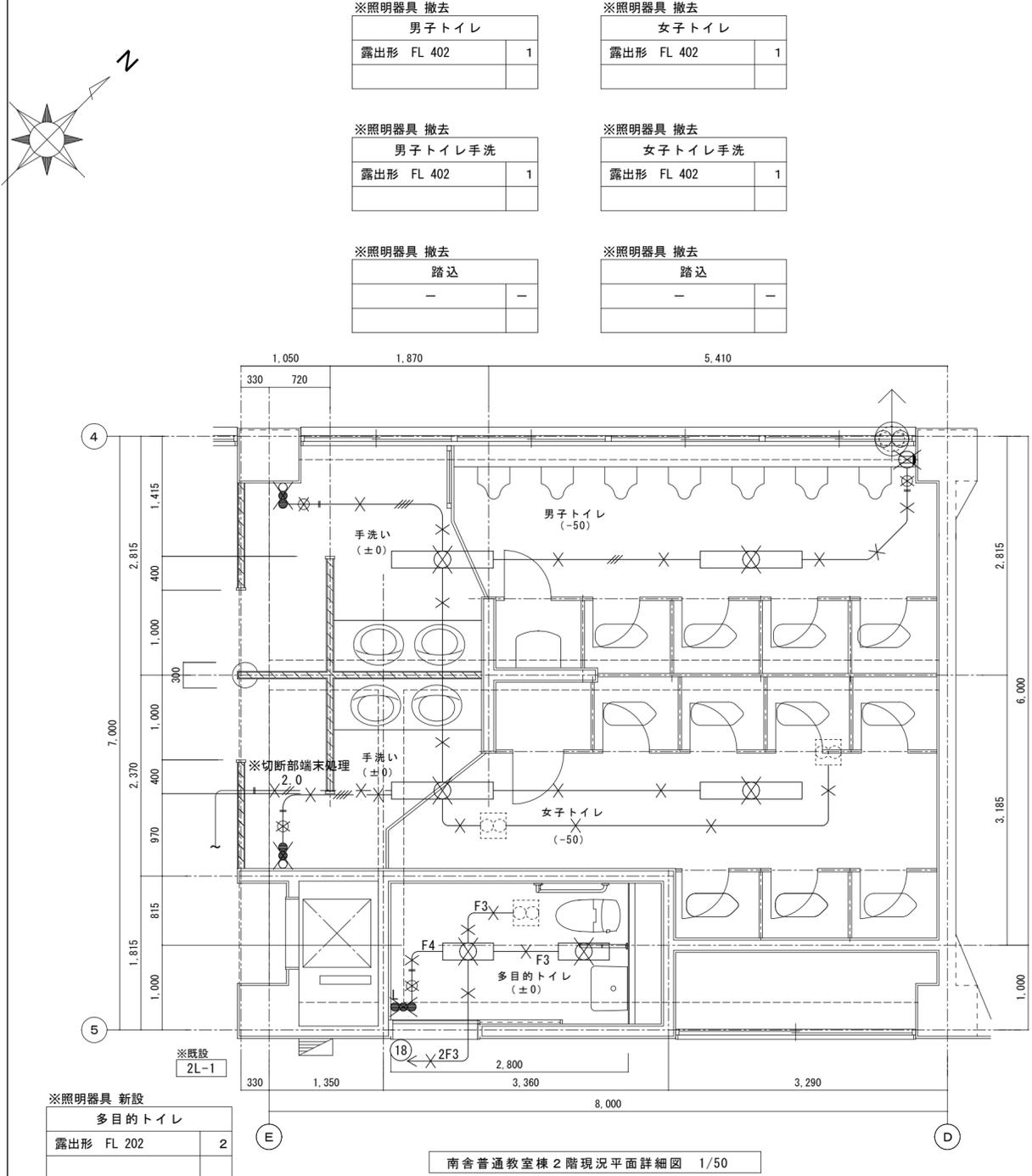
E-13

工事名 可児市立西可児中学校トイレ大規模改造工事 (Ⅱ期)

工事設計図

図面名 南舎東普通教室棟 1階トイレ
コンセント設備 平面詳細図

scale 1/50



注記 1. 特記なき配管配線は下記による。

- EM-1E 1.6 x2 (19)
- EM-1E 1.6 x3 (19)
- EM-1E 1.6 x4 (25)
- EM-1E 2.0 x2 (19)
- VVF 1.6 -3C (天井内)
- VVF 1.6 -2C x2 (天井内)
- VVF 2.0 -3C (天井内)

※天井内配線において、壁内立上げ部分はPF管保護とする。

- 2. X 撤去を示す。
- 3. -X- 配管配線共撤去を示す。
- 4. -X- 配管配線の内配線のみ撤去を示す。
- 5. -+ 配管配線の切断を示す。

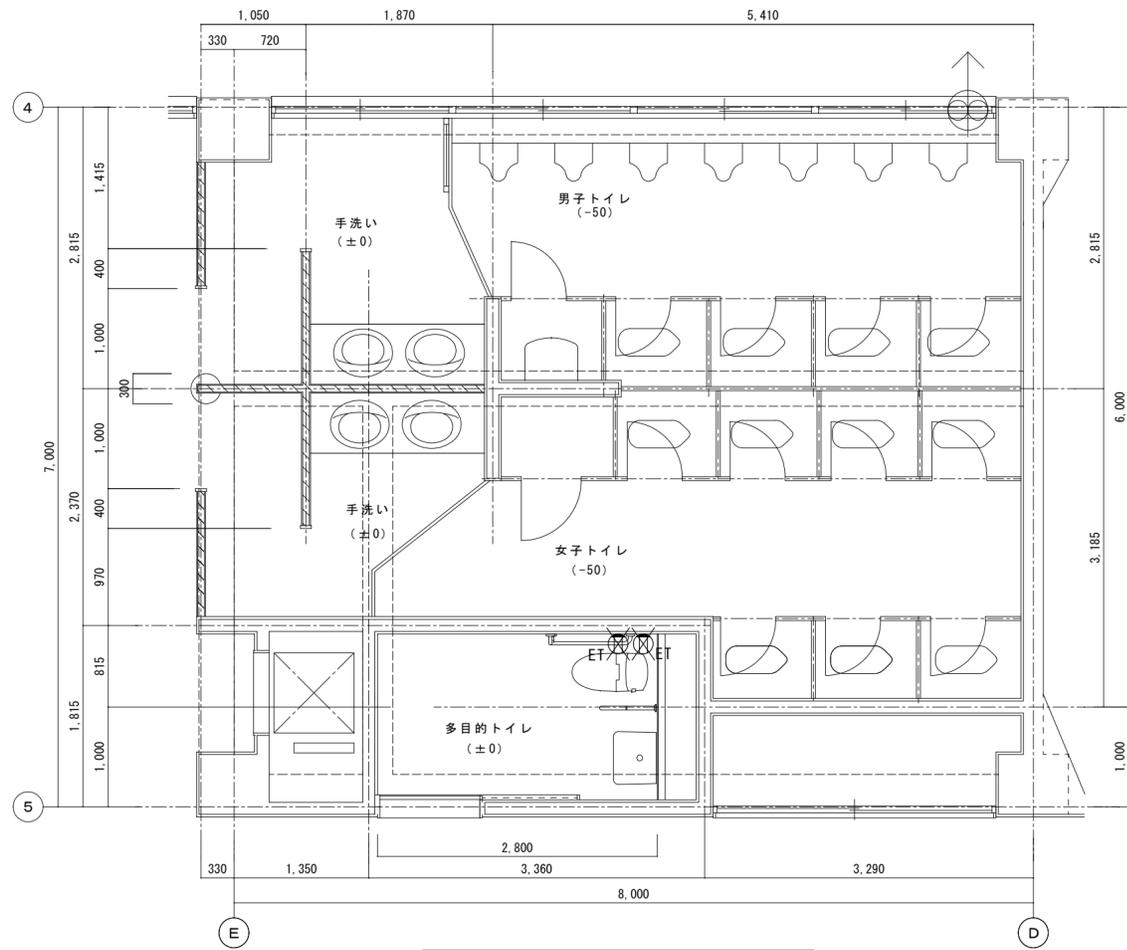
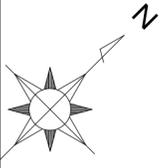
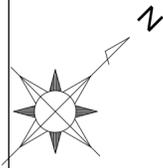
注記 1. 特記なき配管配線は下記による。

- EM-EEF 1.6-3C (天井内) (保護管:PF22)
- F5 EM-EEF 1.6-2C + 3C (天井内) (保護管:PF16)
- F6 EM-EEF 1.6-3C x2 (天井内) (保護管:PF22)
- 2F3 EM-EEF 2.0-3C (天井内) (保護管:PF22)
- F6 (MM1) EM-EEF 1.6-3C x2 (MM1-B)

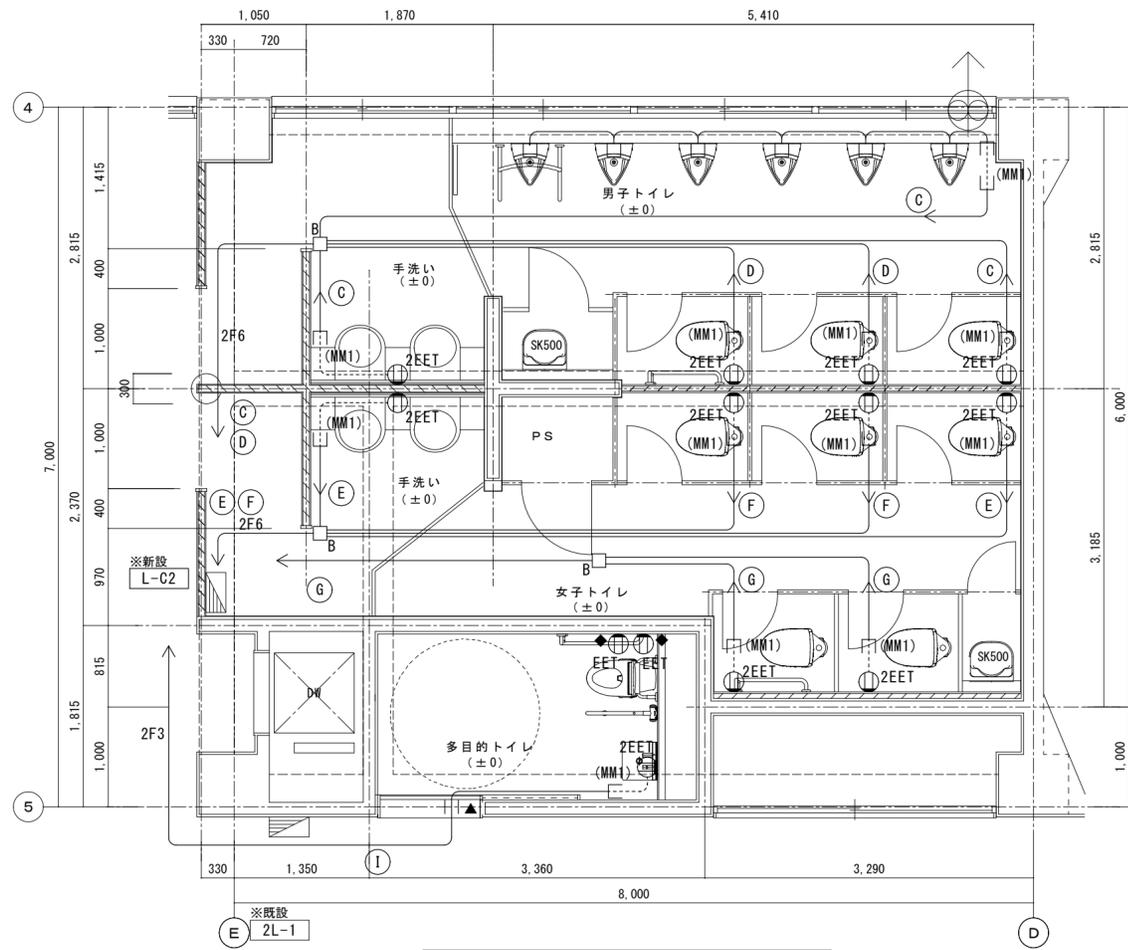
※天井内配線において、壁内立上げ部分はPF管保護とする。

- 2. ◆ 既設位置ホックの再利用を示す。
- 3. B□ 中継ホックに、カバープレート取付を示す。

備考



南舎普通教室棟2階現況平面詳細図 1/50



南舎普通教室棟2階改修後平面詳細図 1/50

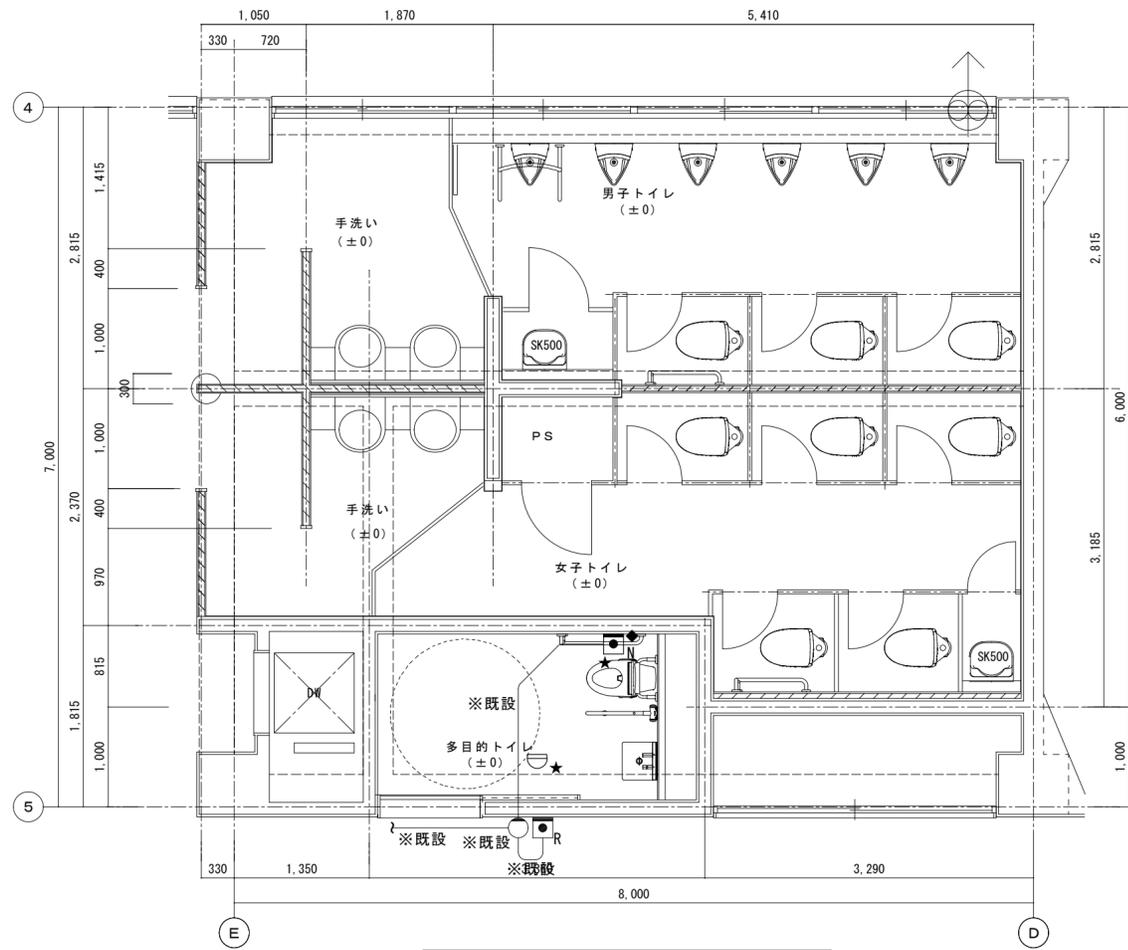
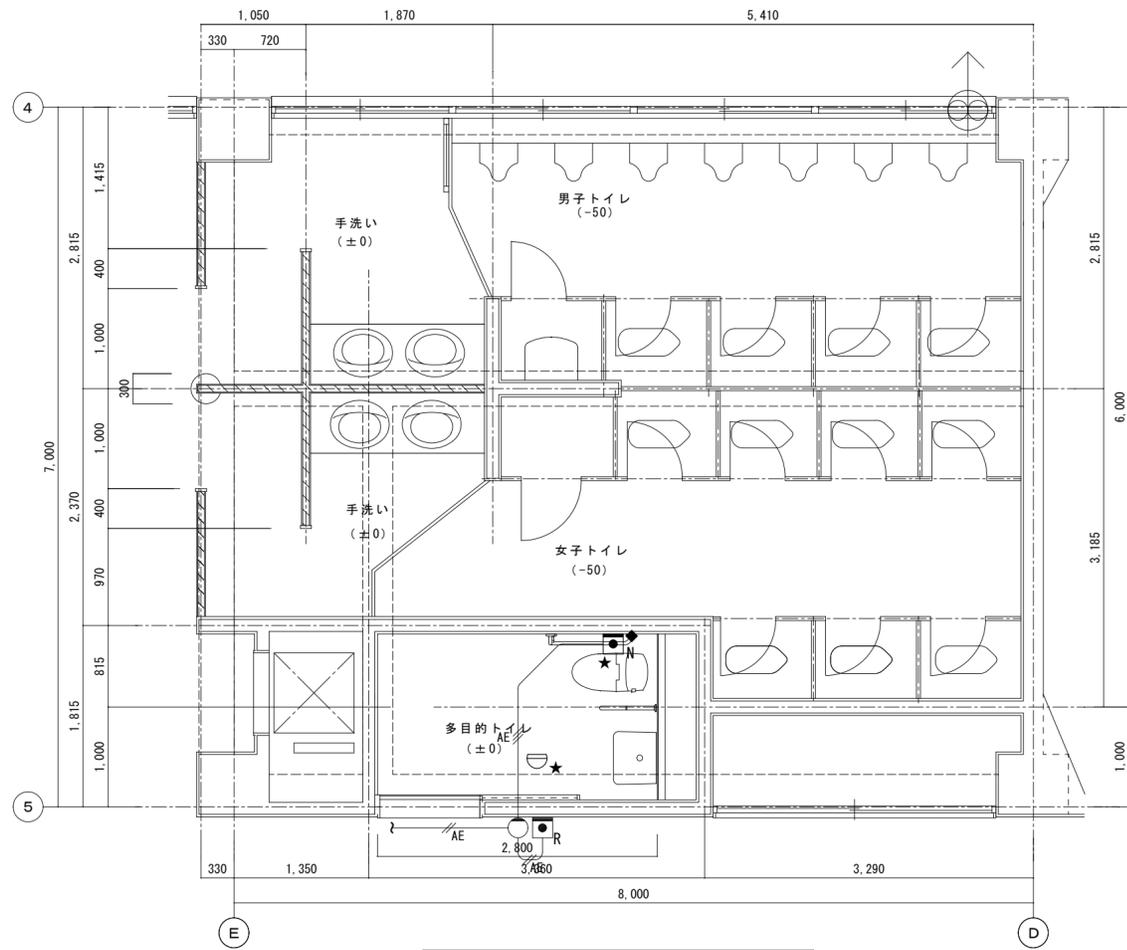
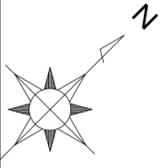
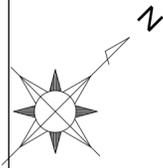
注記 1. X 撤去を示す。

- 注記 1. 特記なき配管配線は下記による。
- EM-EEF 2.0-3C (天井内) (保護管:PF22)
 - 2F6 —— EM-EEF 2.0-3C x2 (天井内) (保護管:PF28)
 - (MM1) EM-EEF 2.0-3C (MM1-A)
- ※天井内配線において、壁内立上げ部分はPF管保護とする。
2. ◆ 既設位置ホックの再利用を示す。
 3. —▲— 既設コンクリート壁はつり（穴あけ）補修を示す。
 4. B□ 中継ホックに、カバープレート取付を示す。

備考

株式会社 三宅設計
 TEL 0574 (62) 1881
 FAX 0574 (62) 5432
 1級建築士 三宅 晶信 第68278号

承認	設計	設計年月日	No.	工事名	工事設計図
		2024.10	E-15	可児市立西可児中学校トイレ大規模改修工事（Ⅱ期）	
				南舎東普通教室棟 2階トイレ	scale 1/50
				コンセント設備 平面詳細図	

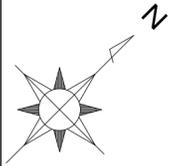


南舎普通教室棟2階現況平面詳細図 1/50
※既設コンセント設備無し

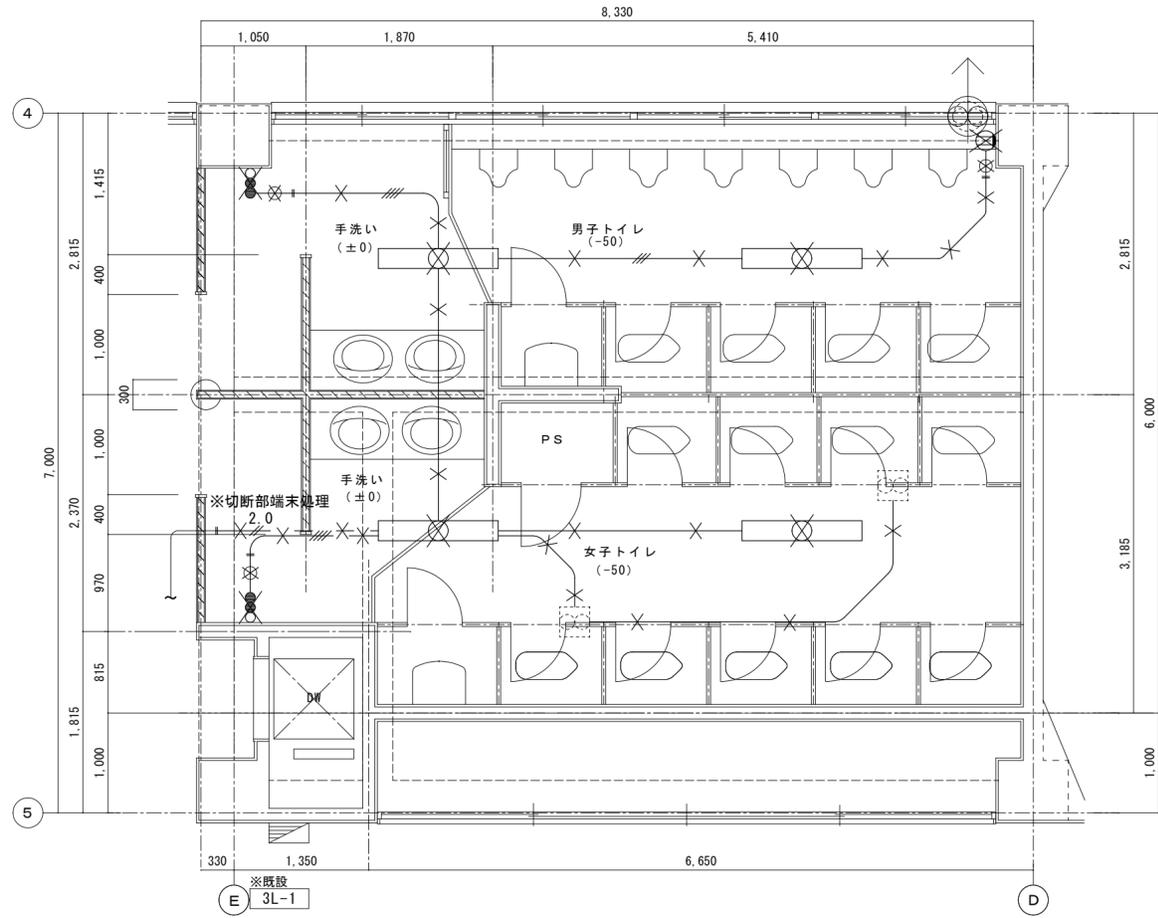
南舎普通教室棟2階改修後平面詳細図 1/50

注記 1. 特記なき配管配線は下記による。
AE // AE 1.2-2C (PF16)
AE // AE 1.2-3C (PF16)
2. ★ 機器等の取外し（再使用する）を示す。

注記 1. ◆ 既設位置ホックの再使用を示す。
2. ★ 機器等々の再取付（既設品）を示す。



※照明器具 撤去	
男子トイレ	
露出形 FL 402	1
※照明器具 撤去	
女子トイレ	
露出形 FL 402	1
※照明器具 撤去	
男子トイレ手洗	
露出形 FL 402	1
※照明器具 撤去	
女子トイレ手洗	
露出形 FL 402	1
※照明器具 撤去	
踏込	
-	-

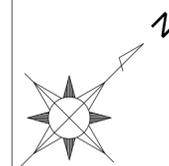


南舎普通教室棟3階現況平面詳細図 1/50

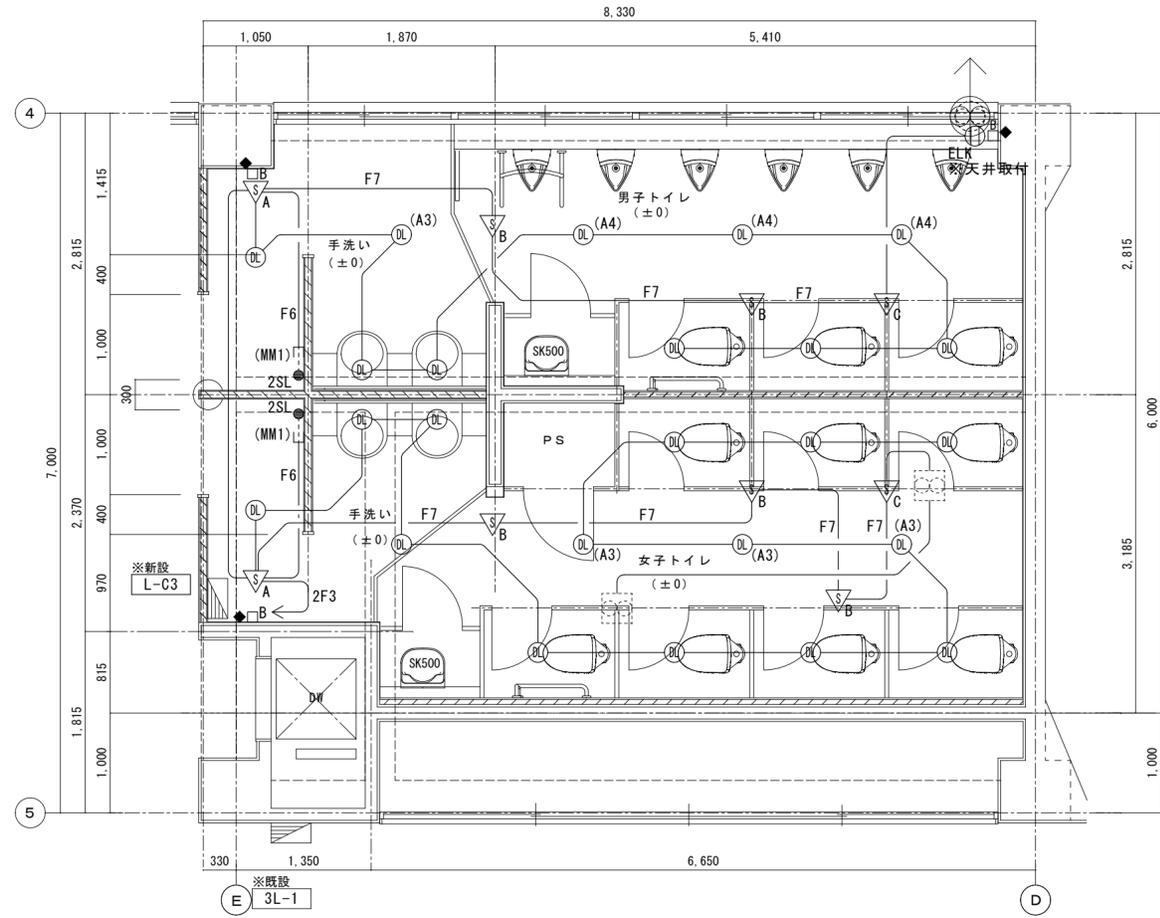
注記 1. 特記なき配管配線は下記による。

- EM-IE 1.6 x2 (19)
- EM-IE 1.6 x3 (19)
- EM-IE 1.6 x4 (25)
- EM-IE 2.0 x2 (19)

- 2. X 撤去を示す。
- 3. X 配管配線共撤去を示す。
- 4. X 配管配線の内配線のみ撤去を示す。
- 5. X 配管配線の切断を示す。



※照明器具 新設	
男子トイレ	
A4 : LRS1 - 17 LN	3
A2 : LRS1 - 08 LN	3
※照明器具 新設	
男子トイレ手洗	
A3 : LRS1 - 13 LN	1
A2 : LRS1 - 08 LN	2
※照明器具 新設	
踏込	
A2 : LRS1 - 08 LN	1
※照明器具 新設	
女子トイレ	
A3 : LRS1 - 13 LN	3
A2 : LRS1 - 08 LN	7
※照明器具 新設	
女子トイレ手洗	
A2 : LRS1 - 08 LN	3
※照明器具 新設	
踏込	
A2 : LRS1 - 08 LN	1



南舎普通教室棟3階改修後平面詳細図 1/50

注記 1. 特記なき配管配線は下記による。

- EM-EEF 1.6-3C (天井内) (保護管:PF22)
- F5 EM-EEF 1.6-2C + 3C (天井内) (保護管:PF16)
- F6 EM-EEF 1.6-3C x2 (天井内) (保護管:PF22)
- 2F3 EM-EEF 2.0-3C (天井内) (保護管:PF22)
- F6 (MM1) EM-EEF 1.6-3C x2 (MM1-B)

※天井内配線において、壁内立上げ部分はPF管保護とする。

- 2. ◆ 既設位置ボックスの再利用を示す。
- 3. B□ 中継ボックスに、カバープレート取付を示す。

備考

株式会社 三宅設計
 TEL 0574 (62) 1881
 FAX 0574 (62) 5432
 1級建築士 三宅 晶 信 第68278号

承認

設計

設計年月日

2024.10

No.

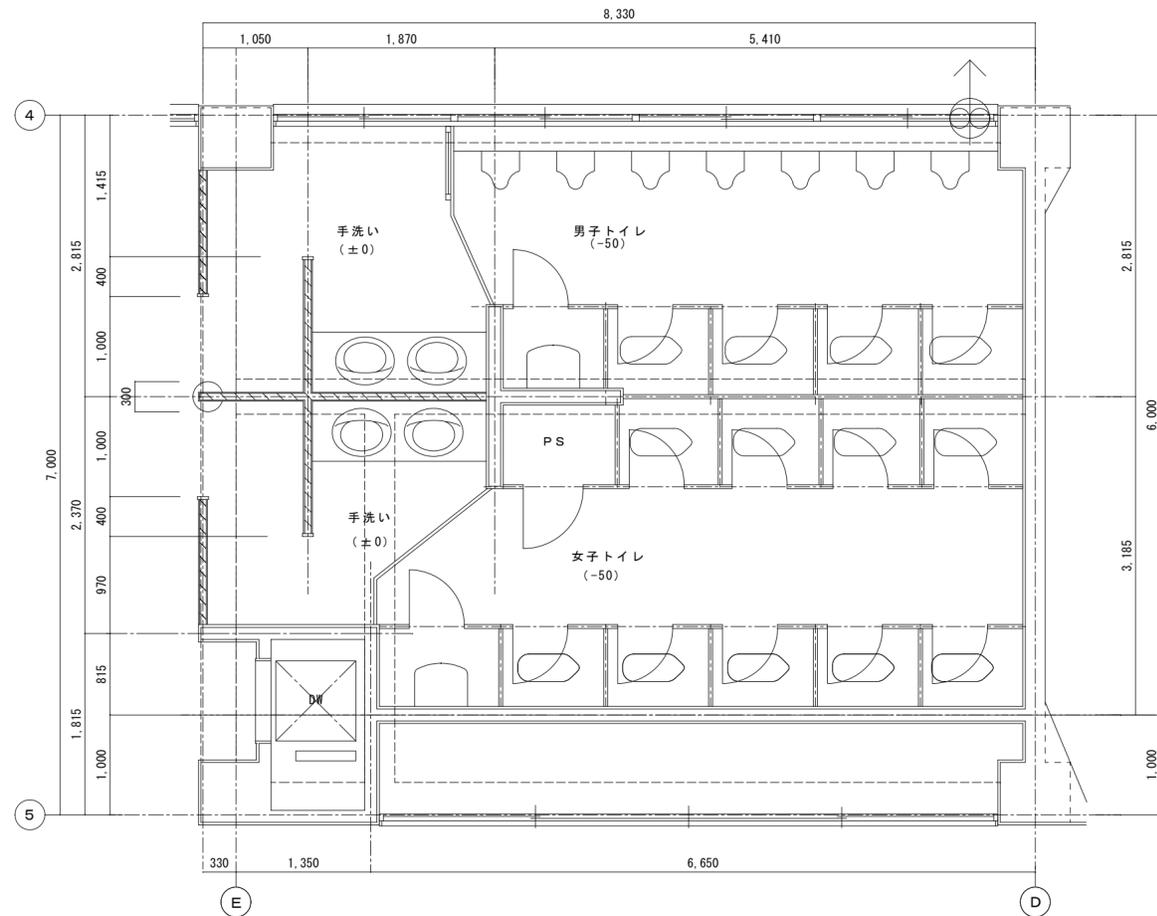
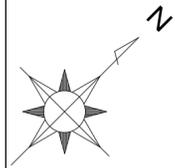
E-17

工事名 可児市立西可児中学校トイレ大規模改修工事（Ⅱ期）

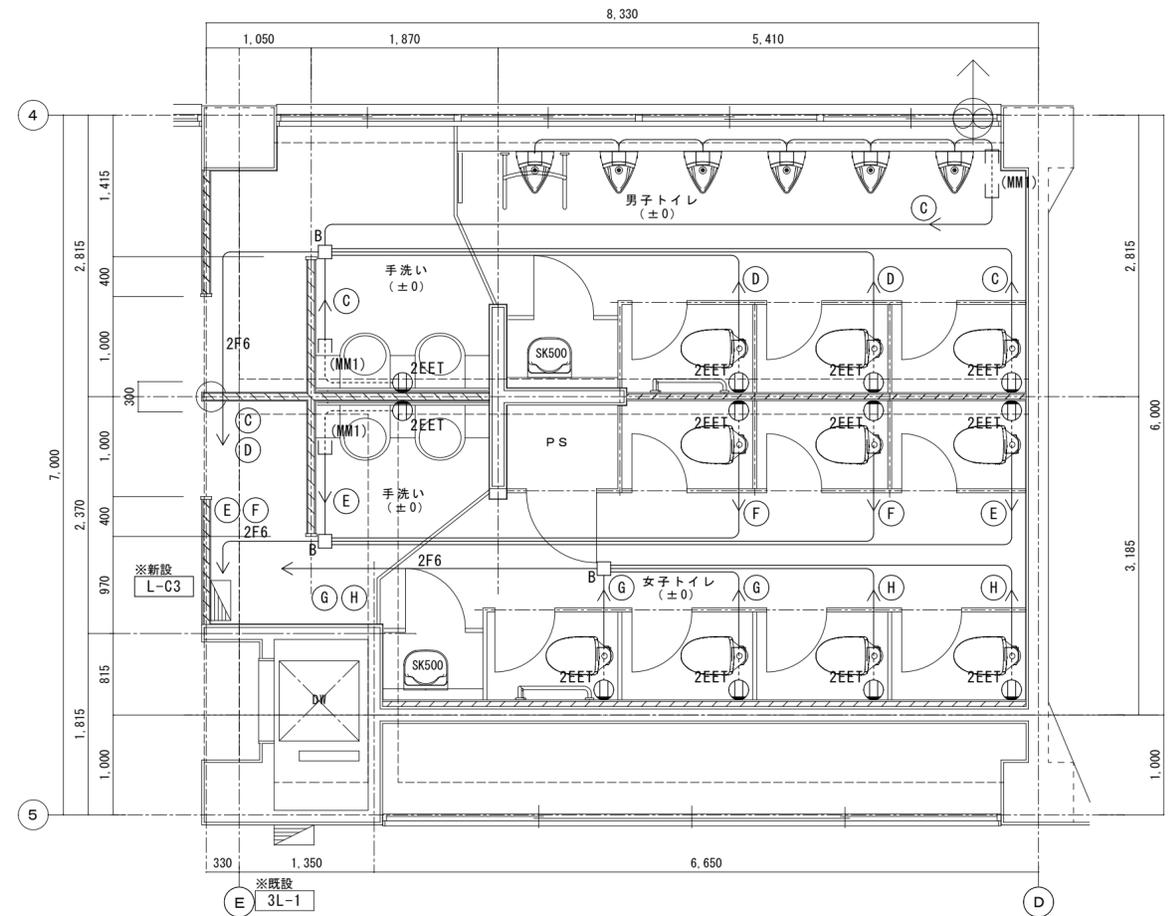
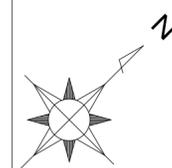
工事設計図

図面名 南舎東普通教室棟 3階トイレ
電灯設備 平面詳細図

scale 1/50



南舎普通教室棟3階現況平面詳細図 1/50
 ※既設コンセント設備無し



南舎普通教室棟3階改修後平面詳細図 1/50

- 注記 1. 特記なき配管配線は下記による。
- EM-EEF 2.0-3C (天井内) (保護管:PF22)
 - 2F6 EM-EEF 2.0-3C x2 (天井内) (保護管:PF28)
 - (MM1) EM-EEF 2.0-3C (MM1-A)
- ※天井内配線において、壁内立上げ部分はPF管保護とする。
2. ◆ 既設位置キツクの再利用を示す。
3. B□ 中継キツクに、カバープレート取付を示す。

備考

株式会社 三宅設計
 TEL 0574 (62) 1881
 FAX 0574 (62) 5432
 1級建築士 三宅 晶 信 第68278号

承認

設計

設計年月日

2024.10

NO.

E-18

工事名 可児市立西可児中学校トイレ大規模改造工事（Ⅱ期）

工事設計図

図面名 南舎東普通教室棟 3階トイレ
 コンセント設備 平面詳細図

scale 1/50

A. 工事概要

1 工事種目	● 印の付いたものが対象工事	建物別及び屋外					
		工事種別					
		南舎					
	● 空調設備						
	● 換気設備	改修1式					
	● 排煙設備						
	● 自動制御設備						
	● その他設備						
	●						
	● 衛生器具設備	改修1式					
	● 給水設備	改修1式					
	● 排水通気設備	改修1式					
	● 給湯設備						
	● 消火設備						
	● LPガス設備						
	● 厨房器具設備						
	● さく井工事						
	● 仮設配管設備						
	● 撤去工事	改修1式					
	●						
	●						
	●						
	●						
	●						
	●						

B. 工事仕様書

1 一般仕様	1) 新設工事共通仕様書 (A. 1 工事種目において新設・増設一式とあるもの) (1) 特記仕様、図面及び現場説明書 (現場説明に対する質問回答書を含む)に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の公共建築工事標準仕様書 (機械設備工事編) (令和4年版)及び公共建築設備工事標準図 (機械設備工事編) (令和4年版)による。 (2) 電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、電気設備工事及び建築工事はそれぞれの工事の仕様書を適用する。 2) 改修工事共通仕様書 (A. 1 工事種目において改修・撤去一式とあるもの) (1) 特記仕様書、図面及び現場説明書 (現場説明に対する質問回答書を含む)に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の公共建築改修工事標準仕様書 (機械設備工事編) (令和4年版)及び公共建築設備工事標準図 (機械設備工事編) (令和4年版)による。 (2) 電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、電気設備工事及び建築工事はそれぞれの工事の仕様書を適用する。
2 特記仕様	1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。 2) 特記事項のうち選択する事項は、●印の付いたものを適用する。 3) 受注者は、南海トラフ地震防災対策推進地域における工事にあつては、南海トラフ地震に関連する情報 (臨時)が気象庁から出された場合には、工事中断の措置をとるものとし、これに伴う必要な補強・落下防止等の保全処置を講じなければならない。 上記事実が発生した場合は、契約書第27条 (臨機の措置)の規定による。

章	項目	特記事項
1 一 般 共 通 事 項	1 機器姿図	姿図の形状及び寸法は、概略を示す。
	2 技能士	1) 技能士の適用は、次の職種による。 ○ 配管 (建築配管作業) ○ 熱絶縁施工 (保温保冷工作業) ・ 建築板金 (ダクト板金作業) ・ 冷凍空調和機器施工 (冷凍空調和機器施工作業) ・ 空気圧縮装置組立て (空気圧縮装置組立て作業) ・ 塗装 ・ さく井 (・ パーカッション式さく井工作業 ・ ロータリー式さく井工作業) ・ 鉄工 (・ 製作作業 ・ 構造物鉄工作業) 2) 本工事は前項で指定する職種別に1名以上の一級技能士又は単一等級の資格を有する技能士が作業をするとともに、他の技能者に対して、施工品質の向上を図るための作業指導を行うこと。
	3 工事写真	本工事においては、「営繕工事写真撮影要領 (令和5年改訂)」及び「デジタル工事写真の黒板情報電子化について」による他、監督員の指示により撮影し提出する。
	4 施工計画書	工種別施工計画書 該当する工種別に作成し、監督員に提出する。
	5 総合調整	本工事として下記の測定表を提出する。 総合調整の項目 ・ 風量調整 ○ 水量調整 ・ 室内外空気の温湿度測定 ○ 飲料水の水質の測定 (26項目) ・ 初期運転状態の記録 ・ 騒音の測定 ・ 振動調整 ・ 室内空気流じんあいの測定 ・ 雑用水の水質の測定 (項目)
	6 地中埋設工事等	(1) 地中埋設配管 (排水管を除く) 1) 地中埋設標 ○ 要 (図示の箇所) (・ コンクリート製 ○ 鉄製 ・ アルミ製) ・ 不要 2) 埋設表示テープ ○ 要 (排水管を除く) ・ 不要 3) 埋戻土及び盛土 ・ 根切土中の良質土 ・ 場外搬入土 ・ 山砂の類 地中埋設する管及び被覆樹脂に損傷を与えないよう山砂の類で周囲を埋め戻し保護すること。 ※【標準仕様書】第2編第7節2.7.1共通事項及び監理指針第1章第7節2.7.1(a)地中埋設配管に準じて施工すること。 4) 地中埋設の鋼管類 (排水配管の鋼管類及び合成樹脂等で外面を被覆された部分は除く)の防食処理 ・ ペトラタム系 ・ ブチルゴム系 ・ プラスチックテープ
	7 貫通部の処理	不燃材料以外の配管が防火区画を貫通する場合は、建築基準法令に適合する工法、又は、(財)日本建築センター防災評定委員会の評定済工法とする。さらに、消防法令による防火区画を貫通する場合は、消防法令に適合する工法、又は、(財)日本消防設備安全センター評定済工法による。
	8 発生材の処理等	・ 引き渡しを要するもの () ・ 特別管理産業廃棄物 () ・ 再生資源化を図るもの () ・ 石綿含有品 (・ 配管用成形保温材 ・ フランジ用ガスケット (・ 配管 ・ ダクト ・ ボイラー本体)) ・ 上記以外の発生材の処分地 () ○ 撤去する配管、ダクト等の保温は分離する ○ 配管、ダクト等の支持金物、吊りボルト等は本工事にて撤去する
	9 容量等の表示	(1) 機器類の能力、容量等は表示された数値以上とする。 (2) 電動機出力、燃料消費量、圧力損失等は、原則として表示された数値以下とする。
	11 配管	(1) ステンレス鋼管の接合は、下記による。 ○ 呼び径60Su以下 (○ SAS322を満足した接手 ・) (2) 建物導入部配管の変位吸収方法は標準図施工4.5 (建築物導入部の変位吸収配管要領)による。 ・ (a) ・ (b) ・ (c) (3) 溶接部の非破壊検査 ・ 不要 ・ 要 () (4) 給水に使用するポリエチレン管は、呼び径50以下は (・ 1種 (軟質) ・ 2種 (硬質))の2層管とし75以上の管は、JWWA K 145 による。 (5) 呼び径50以下のポリエチレン管の継手は下記による。 ・ 金属継手 (JWWA B 116)
	12 管の接合	(1) 鋼管 80A以下 ○ ネジ ・ フランジ ○ 溶接 100A ・ ネジ ・ フランジ ・ 溶接 125A以上 ・ ネジ ・ フランジ ・ 溶接 ※排水、通気管の場合は、ねじ接合とする。 (2) 外面被覆鋼管 80A以下 ・ ネジ ・ フランジ ・ 溶接 100A ・ ネジ ・ フランジ ・ 溶接 125A以上 ・ フランジ ・ 溶接
	13 弁類	特記のない弁は、JIS又はJV 10Kとする。 油系に使用する弁は、10K (マレアップル弁等)とする。 水道直結給水配管系に使用する弁は、JIS又はJV 10Kとする。 ステンレス鋼管に取付ける呼び径65以上の弁は、ステンレス製とする。 ○ 弁名札及び開閉状況札を取り付ける。

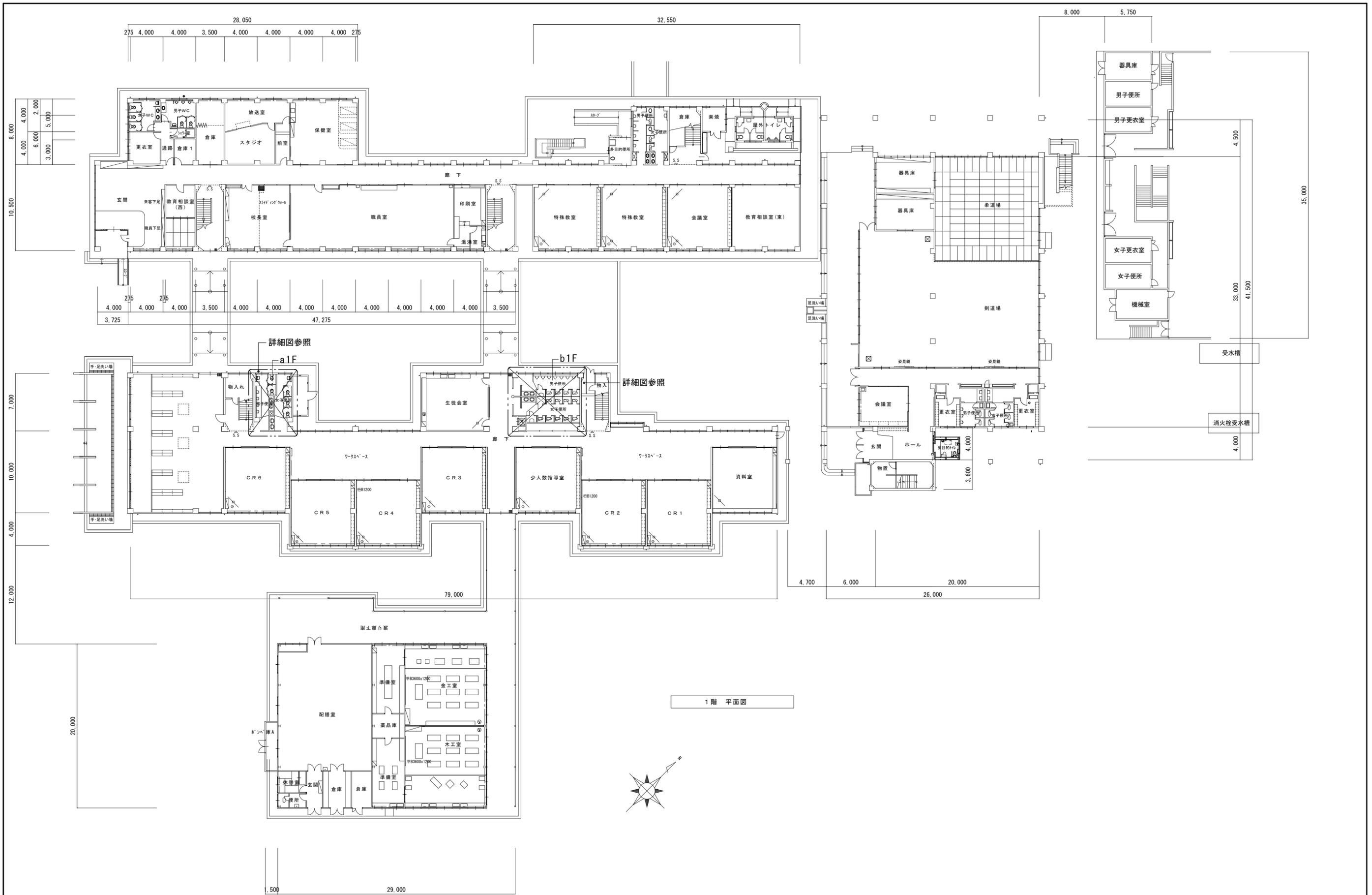
備考

1 一 般 共 通 事 項	⑭ 保温及び塗装	<p>1) 保温材の種類 (・ (イ) ロックウール保温材 ⊙ (ロ) グラスウール保温材 ⊙ (ハ) ポリスチレンフォーム保温材)</p> <p>2) 保温の種類別 (下記表の他は標準仕様書による) * 仕上げ記号は、標準仕様書による。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">仕様区分</th> <th colspan="4">衛生設備</th> <th colspan="4">空調設備</th> <th colspan="4">換気設備</th> </tr> <tr> <th>給水管</th> <th>排水管</th> <th></th> <th></th> <th>冷温水管</th> <th>冷媒管</th> <th>排水管</th> <th>空調ダクト</th> <th>外気ダクト</th> <th>長方形ダクト</th> <th>スライダダクト</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>屋内露出部</td> <td>a1・(D)・Ⅶ</td> <td>a1・(D)・Ⅶ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>機械室倉庫等</td> <td>b・(D)・Ⅶ</td> <td>b・(D)・Ⅶ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>天井内等</td> <td>c・(D)・Ⅶ</td> <td>c・(D)・Ⅶ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ビット内</td> <td>d・(A)・Ⅶ</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>3) 次の金属電線管は塗装を行う。(・ 屋外露出 ・)</p> <p>既存のコンクリート床、壁などの配管貫通部の穴開けは、図面に特記のない場合はダイヤモンドカッターによる。穴開けを行う際は、超音波探査等の機器で鉄筋、電線管等の探査を行う。 (・) 書き又は△を頭に付した室名は直天井を示し、その他は二重天井を示す。 図面に特記なき場合は、別表-1「他工事との取合い区分表」による。ただし、これにより難しい場合は監督員と協議する。 電線及びケーブルの規格は標準仕様書第4編1.5.1表4.1.11による。 電線類は、EMケーブルを使用する。(機器、盤類を除いてもよい。)</p> <ol style="list-style-type: none"> 屋外・ビット内で使用する鋼材等は、(・ 溶融亜鉛めっき仕上げ ⊙ステンレス鋼材)とする。 ディーゼルエンジン車両の適正燃料の使用について。 (1) ディーゼルエンジンを動力とする車両にはJIS規格の軽油を使用すること。 (2) ディーゼルエンジンを動力とする車両の燃料検査があった場合には協力すること。 屋外設置のマンホール類には用途名を入れる。 現場内の資材の保管に当たっては直射日光、風雨に曝されないよう十分な対策を講じること。(屋根下での保管、棚での保管等) 	仕様区分	衛生設備				空調設備				換気設備				給水管	排水管			冷温水管	冷媒管	排水管	空調ダクト	外気ダクト	長方形ダクト	スライダダクト	屋内露出部	a1・(D)・Ⅶ	a1・(D)・Ⅶ										機械室倉庫等	b・(D)・Ⅶ	b・(D)・Ⅶ										天井内等	c・(D)・Ⅶ	c・(D)・Ⅶ										ビット内	d・(A)・Ⅶ										
	仕様区分	衛生設備				空調設備				換気設備																																																																
給水管		排水管			冷温水管	冷媒管	排水管	空調ダクト	外気ダクト	長方形ダクト	スライダダクト																																																															
屋内露出部	a1・(D)・Ⅶ	a1・(D)・Ⅶ																																																																								
機械室倉庫等	b・(D)・Ⅶ	b・(D)・Ⅶ																																																																								
天井内等	c・(D)・Ⅶ	c・(D)・Ⅶ																																																																								
ビット内	d・(A)・Ⅶ																																																																									
⑮ は つ り	16 天井上区分																																																																									
⑯ 電 線 類	17 他工事との工事区分																																																																									
⑰ その他																																																																										
改 修 関 係 事 項	① 改修共通仕様書	国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編)(令和4年度版)を使用する。(以下改修仕様という)																																																																								
	2 再使用機器	取外し再使用機器は、清掃のうえ取付ける。また、電気使用機器は絶縁抵抗を測定を行う。 ただし、絶縁劣化等使用に耐えない場合は、監督員に報告する。																																																																								
	③ 既設との取合い	本工事施工に伴う既設設備の軽微な加工改造は、本工事とする。																																																																								
	④ 施工調査	下記によるほか、「改修仕様」第1編1.5.1及び1.5.2による。 施工計画調査 調査項目 調査範囲 方法 ・ 図示 事前調査 調査項目 調査範囲 方法 ・ 図示																																																																								
	⑤ 養生	既存部分の養生は、下記によるほか「改修仕様」第1編3章による。 養生範囲 (・ 図示 ・) 養生方法 (⊙ビニルシート)																																																																								
	6 既設ダクトの再利用	「改修仕様」第3編2.2.7「既設ダクトの再利用」による。 「改修仕様」第3編2.2.8「ダクト清掃」を ・ 行う ・ 行わない																																																																								
	⑦ 非破壊検査等	超音波探査等による埋設物の調査を行う。範囲は監督職員の指示による。 ・ 既設図面による対象の有無を確認(鉄筋、電線管等) ・ 断線時の影響範囲の確認(停電・断線等)及び施設管理者への周知 ・ 断線時の復旧に関する計画の作成及び資材等の準備																																																																								
	⑧ 試 験	(1)各種配管の試験は、新設配管に適用する。 (2)新設配管は、既設配管との接続前に試験を行う。																																																																								
	⑨ 撤去工事	撤去する配管、ダクト等の保温は分離する。 撤去する配管、ダクト等の支持金物、吊りボルト等は本工事にて撤去する。 石綿含有分析調査 ・ 本工事 ・ 別途工事 石綿撤去方法 ・ 図示による。																																																																								
	⑩ 仮 設 備	仮設備項目 (・ 空調設備 ・) 仮設備期間 (・ 外壁、屋外階段工事期間 ・)																																																																								
換 気 設 備	1 ダ ク ト	・ 低圧ダクト ・ コーナーボルト工法 (長辺の長さが1,500mm以下の部分) (・ 共板フランジ工法 ・ スライドオンフランジ工法) ・ アングルフランジ工法 ・ スパイラルダクト ・ 高圧1ダクト (適用範囲は図示による) ・ ステンレスダクト及び塩化ビニルダクト (適用範囲及び仕様は図示による) ・ 厨房系統の排気ダクトは標準仕様書第3編1.14.3.5のダクトの板厚の項より一番手厚いものを使用する。 図示の位置に取り付ける。																																																																								
	2 風量測定口	図示の位置に取り付ける。																																																																								
	3 ダンパー	空気調和設備の当該項目による。																																																																								
	4 シールする排気ダクトの系統	・ 厨房系統 ・ 浴室(シャワー室、脱衣室を含む)系統																																																																								
	5 チャンバー	・ 空気調和設備の当該項目による。																																																																								
	6 保 温	・ 全熱交換器用のダクト (保温の厚さ 25mm、範囲は図示による) ・ 外気取入れ用のダクト (保温の厚さ 25mm、範囲は図示による) ・ 排気用ダクト (保温の厚さ 25mm、範囲は図示による) ・ 多湿箇所のダクト (保温の厚さ 50mm、範囲は図示による) ・ 厨房及び湯沸し室の排気ダクト (保温の厚さ 50mm (RW)、範囲は図示による) ・ 亜鉛鉄板 ・ 普通鋼板(厚1.6mm)																																																																								

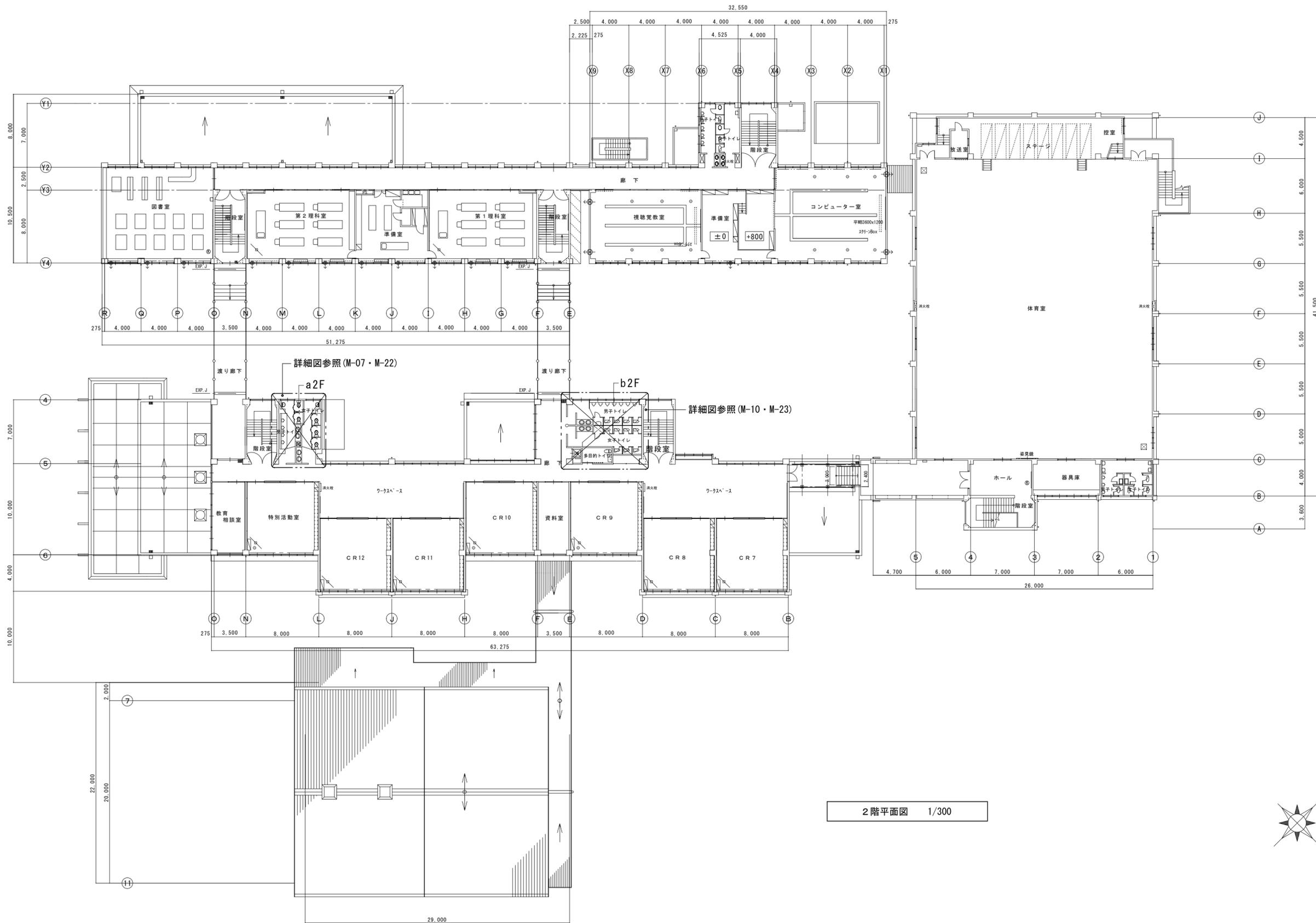
衛 生 器 具 設 備	① 大 便 器	洋風便器の洗浄弁の洗浄水量は8.5L/回以下とする。但しタンク式の洗浄水量は6.5L/回以下とする。
	② 小 便 器	洗浄水量は4L/回以下とし、使用状況により洗浄水量が制御できるものとする。
	③ 自動水栓の電源供給	⊙ AC100V ・ 乾電池 ・ 自己発電
給 水 設 備	④ 紙 巻 器	ステンレス製とし ⊙ 棚付きワンタッチ(スベア付)式 ・ ワンタッチ式 ・ ワンタッチ(スベア付)式
	⑤ 水石けん入れ	・ 手洗器一体型(衛生器具取付け) ・ 手洗器分離型(・ 壁取付け ・ カウンター取付け) ・ 洗面器には水石けん入れは不要 ・ 耐寒水栓(吊コマ) ・ 湯沸室流し用の水栓は泡沫式とする。 ・ カウンター取付形
	⑥ 水 栓	
排 水 設 備	① 配管材料	(1)一般配管 ⊙ステンレス鋼管(SUS304) ・ ポリ粉体鋼管(・ PA ・ PB) ・ 塩ビライニング鋼管(・ VA ・ VB) 上記の選択で、ポリ粉体鋼管または塩ビライニング鋼管を使用する場合、厨房・浴室等のシンダー内配管は(・ PD ・ VD)とする。 (2)地中埋設配管 ・ ステンレス鋼管(SUS316)(・ 建物内 ・ 屋外部分) ・ 硬質ポリ塩化ビニル管(⊙ HVP ・ VP) ・ ポリエチレン管(屋外埋設部分) ・ ポリ粉体鋼管(PD) ・ 塩ビライニング鋼管(VD) (3)水道直結配管 引込みは水道事業者の指定による。量水器以降は(1)及び(2)による。
	2 引き込み納付金	・ 要(・ 本工事 ・ 別途工事) ・ 不要
	3 量 水 器	親メーター (・ 貸与品(移設) ・) 親メーターの形式 (・ 現地表示式 ・ 遠隔表示式) 子メーター (・ 買取り ・) 子メーターの形式 (・ 現地表示式 ・ 遠隔表示式)
試 験	4 量水器樹	・ 水道事業者指定品 (・ 貸与品 ・ 買取り) ・ 標準図MC形
	5 水 栓 柱	・ 合成樹脂製 ・ 人造石とぎ出し製 ・ ステンレス製 ・ アルミニウム合金製
	⑥ 管の地中埋設深さ	埋設深さは原則として、車両通行部分では管の上端より(・ 600mm ・ mm)以上 その他の部分では管の上端より(・ 300mm ・ mm)以上
試 験	① 配管材料	(1)屋内 汚水管 ・ 排水用塩ビライニング鋼管 ⊙ 耐火二層管 ・ コーティング鋼管 ・ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル管(JIS認定品 VP) ・ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管(RF-VP) ⊙ 硬質ポリ塩化ビニル管(⊙ VP ・ VU) 雑排水管・通気管 ・ 配管用炭素鋼管(白) ・ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル管(JIS認定品 VP) ・ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管(RF-VP) ⊙ 耐火二層管 ・ 硬質ポリ塩化ビニル管(⊙ VP ・ VU) 衛生器具廻り ⊙ ビニル管 ・ 鉛管 (2)屋外 第1樹以降及び樹間 ・ 硬質ポリ塩化ビニル管(⊙ VP ・ VU) ・ 排水用リサイクル硬質ポリ塩化ビニル管(REP-VU) ・ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル三層管(RS-VU)
	2 洗面器等の排水管	(1)洗面器及び手洗器に直結する排水管は器具トラップより1サイズアップとする。 (2)給湯室流し等の床上部分の配管は、硬質塩化ビニル管を使用してもよい。
	③ 試 験	衛生器具等の取付完了後に行う試験は(⊙ 通水試験 ・ 煙試験)とする。
放 流 納 付 金	4 放流納付金	・ 要(・ 本工事 ・ 別途) ・ 不要

備 考	

 株 式 会 社 三 宅 設 計 TEL 0574 (62) 1881 FAX 0574 (62) 5432	承 認	設 計	設計年月日	NO.	工事名	可児市立西可児中学校トイレ大規模改造工事(Ⅱ期)	工事設計図
	1級建築士 三宅晶信 第68278号			2024.10	M-02	図面名	機械設備 工事仕様書2 scale N.S



備考	 株式会社 三宅設計 TEL 0574 (62) 1881 FAX 0574 (62) 5432 1級建築士 三宅晶信 第68278号	承認	設計	設計年月日	NO.	工事名	見本市立西可児中学校トイレ大規模改修工事(Ⅱ期)	工事設計図
				2024.10	M-03	図面名	機械設備 1階平面図	scale 1/300

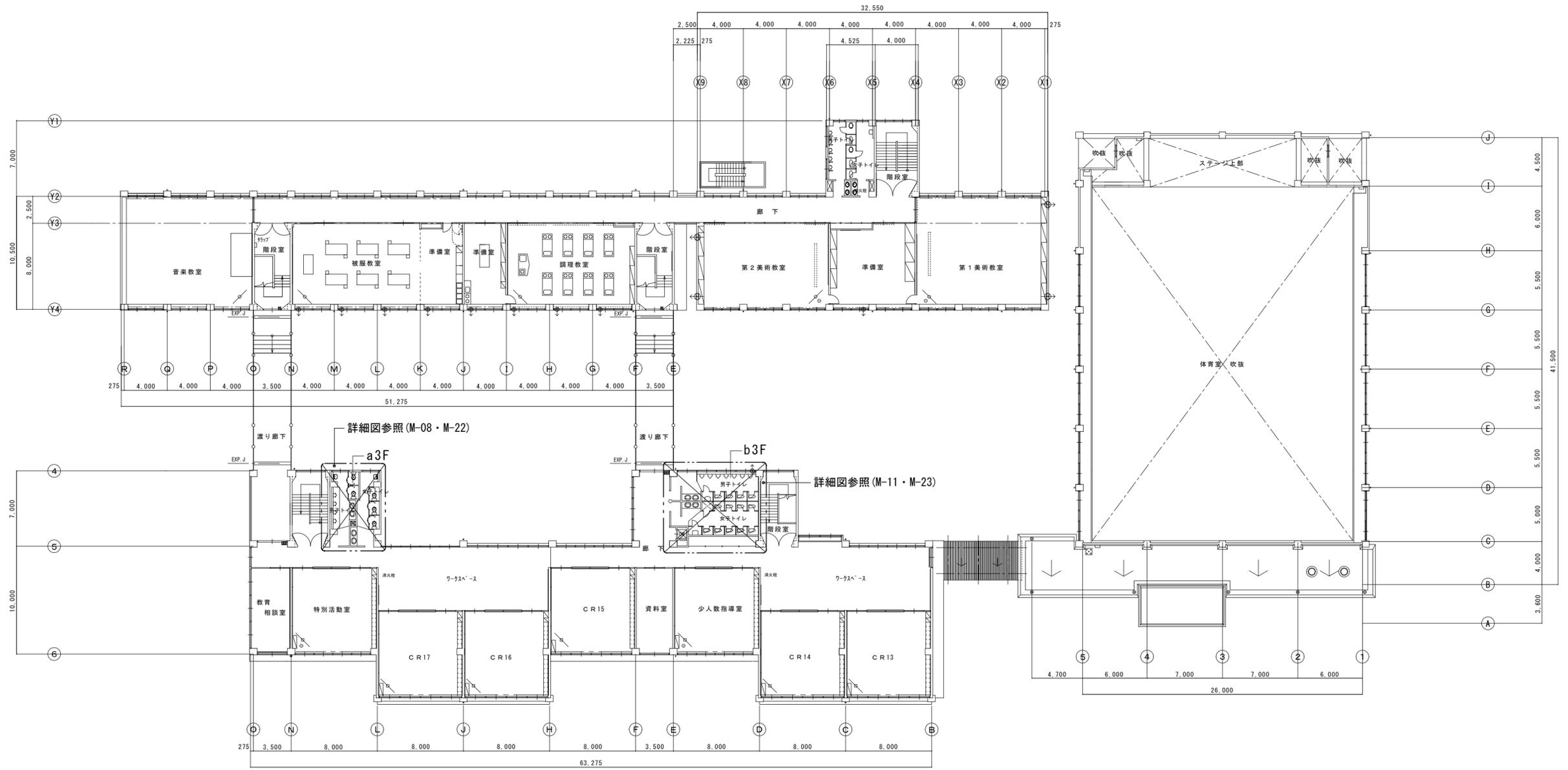


2階平面図 1/300

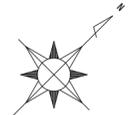
備考

株式会社 三宅設計
 TEL 0574 (62) 1881
 FAX 0574 (62) 5432
 1級建築士 三宅晶信 第68278号

承認	設計	設計年月日	NO.	工事名	工事設計図
		2024.10	M-04	可児市立西可児中学校トイレ大規模改造工事(Ⅱ期)	
				図面名	scale N.S
				機械設備	
				2階平面図	



3階平面図 1/300



備 考	 株式会社 三宅設計 TEL 0574 (62) 1881 FAX 0574 (62) 5432 1級建築士 三宅 晶信 第68278号	承認	設計	設計年月日 2024.10	NO. M-05	工事名	可児市立西可児中学校トイレ大規模改修工事(Ⅱ期)	工事設計図
						図面名	機械設備 3階平面図	scale 1/300

器具表

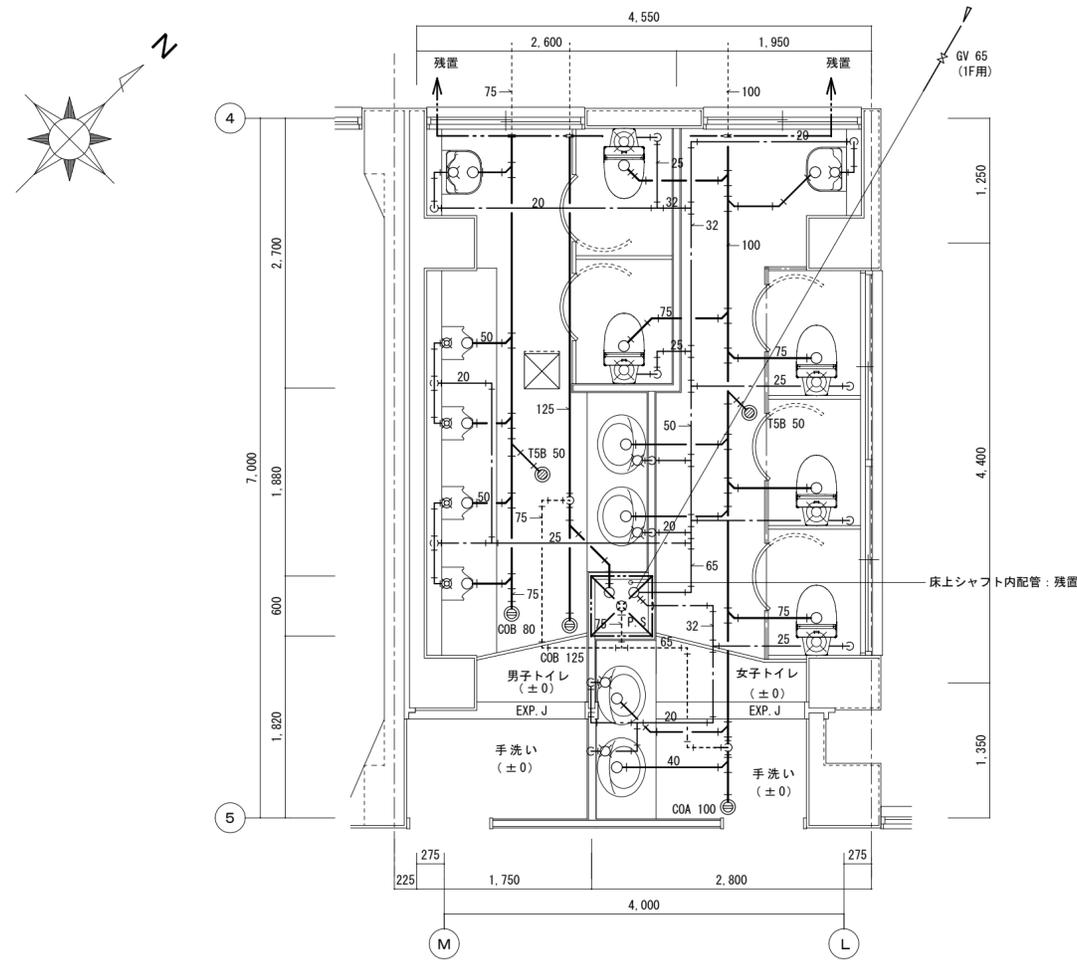
名称	品番		主要付属品・仕様	男子 便所 西	女子 便所 西	合 計
	TOTO	LIXIL				
洋風便器	CFS494CSNS		フラッシュバルブ式(床給水)TV565CP 掃除口付 暖房便座TCF116(ふたあり) SUS製棚付二連紙巻器YH701	2	3	5
小便器	UFS900R	C-P25S	フラッシュバルブ式(床給水)CF-T6115A 掃除口付 暖房便座CF-18ALJ(ふたあり) SUS製棚付二連紙巻器CF-63HS	4		3
		U-A51AP	低リップタイプ 自動洗浄機能(AC-100V)付き			
洗面器	L830CRU		セルフトリミング式 台付自動単水栓TLE33SB3A(AC100V) 床排水金具TLDS2201J	2	2	4
		L-2160FC	オーバーカウンター式 台付自動単水栓AM-300CV1 床排水金具LF-105SAL			
カウンター	ML35		陶器タイプ(プレーン) 奥行350 L=1,800 1方エプロン ブラケット	1	1	2
		MB-350M	マーベリーナカウンター(ベイス) 奥行350 L=1,800 1方エプロン ブラケット			
マルチシンク	SK500		レバー式自在水栓T130AEQF13C 壁排水金具T6PMR 固定金具TL220D	1	1	2
		S-21S	レバー式自在水栓LF-12ZF-13-U 壁排水金具SF-21PAM 壁止金具LF-6L バックハンガー-SF-10E			
手すり	T112CL10		L型 樹脂被覆タイプ 700L×700H 出幅120 固定金具T110D3R	1	1	2
		KF-920AE70D12J	L型 " 700L×700H 出幅120			
"	T112CU22		小便器用 樹脂被覆タイプ 600W×550L×470H 固定金具	1		1
		KF-701AEJ	" " 600W×600L×410H "			
鏡	YM4560A		一般鏡 450W×600H	2	2	4
		KF-4560	" "			

撤去器具表

名称	仕様	男子 便所	女子 便所	合 計
洋風便器	フラッシュ弁式 普通便座	2	3	5
小便器	手動フラッシュ弁	4		4
洗面器	水栓穴1	2	2	4
多目的流し		1	1	2
鏡		2	2	4

改修前(現況)南舎西普通特別教室棟1階トイレ(a1F)平面詳細図

1/50

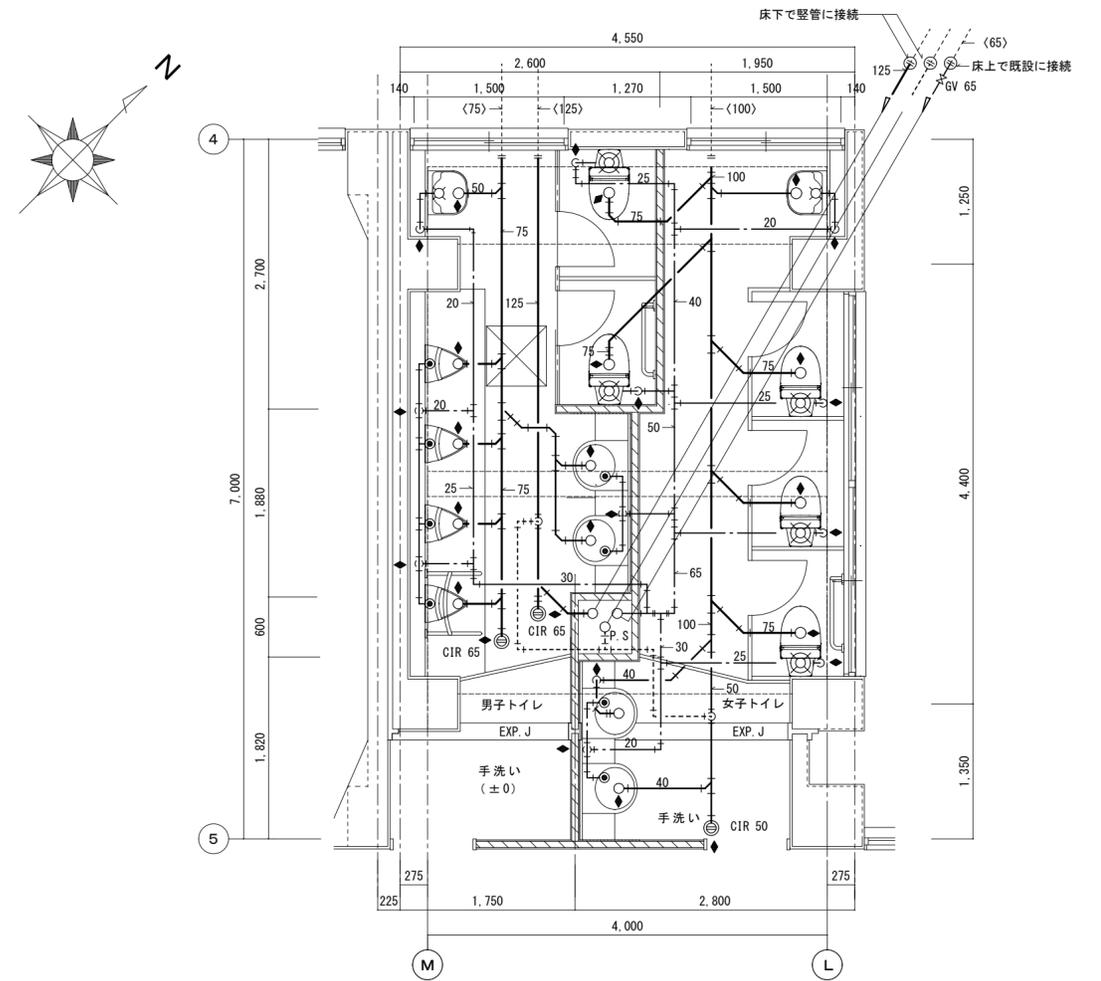


南舎西普通特別教室棟 1階現況平面詳細図 1/50

1. 残置及び躯体埋設配管以外はすべて撤去とする。

改修後 南舎西普通特別教室棟1階トイレ(a1F)平面詳細図

1/50



南舎西普通特別教室棟1階改修後平面詳細図 1/50

1. ◆は、ダイヤモンドカッターによる床研りを示す。
2. 〈 〉は、既設配管を示す。

備考

株式会社 三宅設計
TEL 0574 (62) 1881
FAX 0574 (62) 5432
1級建築士 三宅晶信 第68278号

承認

設計

設計年月日

2024.10

NO.

M-06

工事名 可児市立西可児中学校トイレ大規模改修工事(Ⅱ期) 工事設計図

図面名 南舎西普通特別教室棟1階トイレ
平面詳細図・器具表

scale 1/50

器具表

名称	品番		主要付属品・仕様	男子 便所(西)	女子 便所(西)	合 計
	TOTO	LIXIL				
洋風便器	CFS494CSNS		フラッシュバルブ式(床給水)TV565CP 掃除口付 暖房便座TCF116(ふたあり) SUS製棚付二連紙巻器YH701	2	3	5
		C-P25S	フラッシュバルブ式(床給水)CF-T6115A 掃除口付 暖房便座CF-18ALJ(ふたあり) SUS製棚付二連紙巻器CF-63HS			
小便器	UFS900R		低リップタイプ 自動洗浄機能(AC-100V)付き	4		3
		U-A51AP	" "			
洗面器	L830CRU		セルフトリミング式 台付自動単水栓TLE333B3A(AC100V) 床排水金具TLDS2201J	2	2	4
		L-2160FC	オーバーカウンター式 台付自動単水栓AM-300CV1 床排水金具LF-105SAL			
カウンター	ML35		陶器タイプ(プレーン) 奥行350 L=1,800 1方エプロン ブラケット	1	1	2
		MB-350M	マーベリーナカウンター(ベイス) 奥行350 L=1,800 1方エプロン ブラケット			
マルチシンク	SK500		レバー式自在水栓T130AEQF13C 壁排水金具T6PMR 固定金具TL220D	1	1	2
		S-21S	レバー式自在水栓LF-12ZF-13-U 壁排水金具SF-21PAM 壁止金具LF-6L バックハンガー-SF-10E			
手すり	T112CL10		L型 樹脂被覆タイプ 700L×700H 出幅120 固定金具T110D3R	1	1	2
		KF-920AE70D12J	L型 " 700L×700H 出幅120			
"	T112CU22		小便器用 樹脂被覆タイプ 600W×550L×470H 固定金具	1		1
		KF-701AEJ	" " 600W×600L×410H "			
鏡	YM4560A		一般鏡 450W×600H	2	2	4
		KF-4560	" "			

撤去器具表

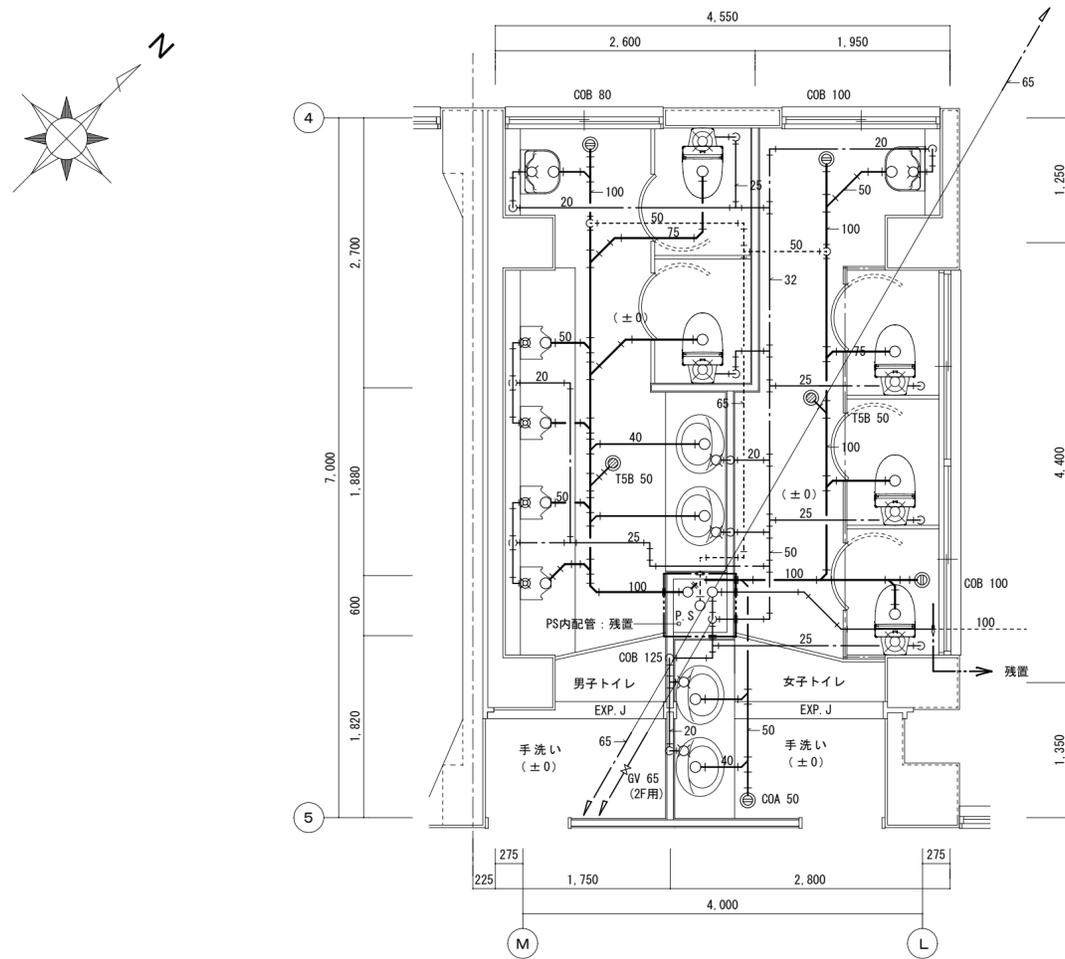
名称	仕様	男子 便所	女子 便所	合 計
洋風便器	フラッシュ弁式 普通便座	2	3	5
小便器	手動フラッシュ弁	4		4
洗面器	水栓穴1	2	2	4
多目的流し		1	1	2
鏡		2	2	4

改修前(現況)南舎西普通特別教室棟2階トイレ(a2F)平面詳細図

1/50

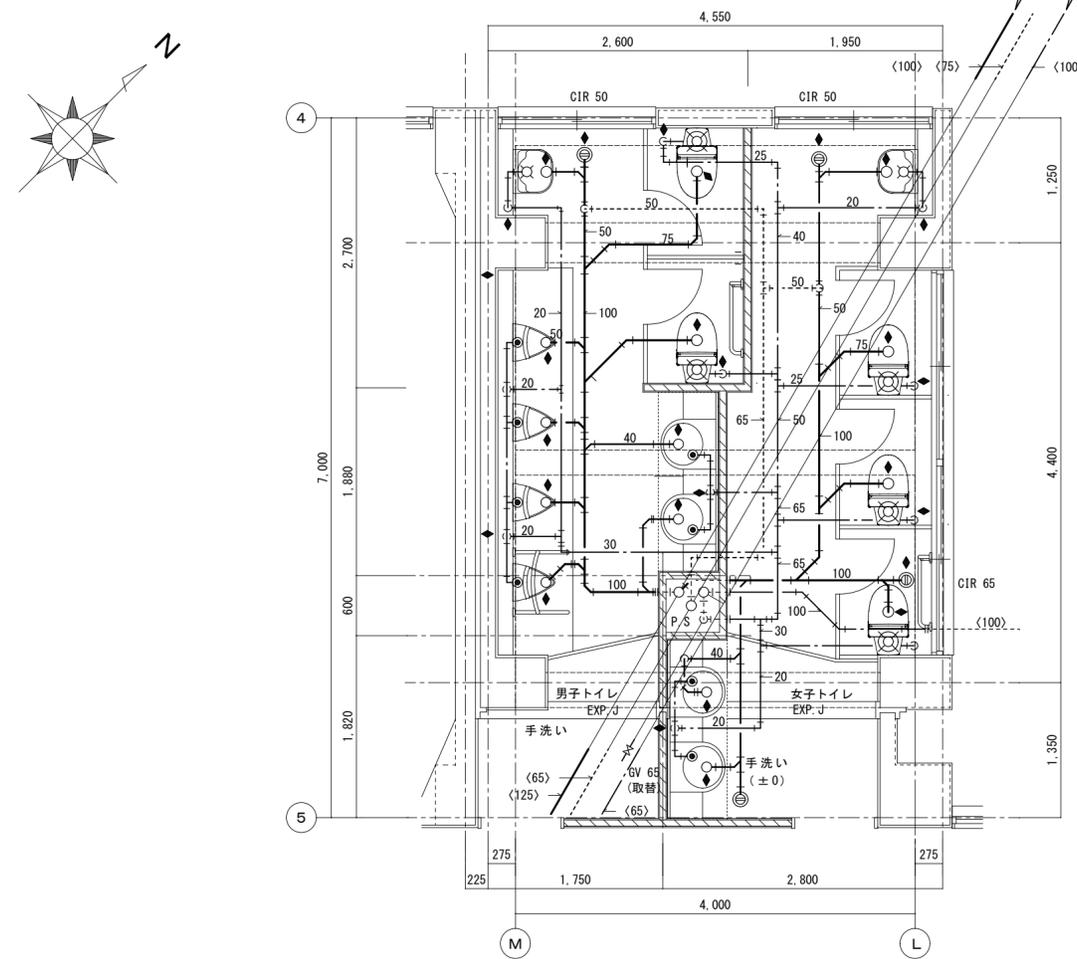
改修後 南舎西普通特別教室棟2階トイレ(a2F)平面詳細図

1/50



南舎西普通特別教室棟 2階現況平面詳細図 1/50

1. 残置以外はすべて撤去とする。



南舎西普通特別教室棟 2階改修後平面詳細図 1/50

備考

株式会社 三宅設計
TEL 0574 (62) 1881
FAX 0574 (62) 5432
1級建築士 三宅晶信 第68278号

承認

設計

設計年月日

NO.

工事名 可児市立西可児中学校トイレ大規模改造工事(Ⅱ期) 工事設計図

2024.10

M-07

図面名 南舎西普通特別教室棟2階トイレ 平面詳細図・器具表 scale 1/50